

取扱説明書

Gathers

Honda Multi Car-AV System

9インチプレミアムインターナビ

VXM-145VFNi

8インチプレミアムインターナビ

VXM-145VFEi

プレミアムインターナビ

VXM-145VFi

ナビゲーション・オーディオ編



Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
ご購入いただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用まえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合、一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
- Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げのHonda販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機(ナビゲーション)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

- ・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

■著作権保護のために…

- ・本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。
- ※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

- ・個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いについては弊社ホームページをご覧ください。





<http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/O401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

本書の見かた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。本書をお読みになる前にご確認ください。

 アドバイス	<ul style="list-style-type: none">● お車や本機のために守っていただきたいこと。 守らないとお車や本機の破損につながるおそれや正規性能を確保できないことがあります。● 本機を使ううえで知っておいていただきたいこと。 知っておくと本機を上手に使うことができ便利です。
A-1	アルファベットは章、数字は章のページを表します。
 お願い	お車のために守っていただきたいことを表します。
	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表します。
MENU	本体に常に表示されている標準キーを表します。
名称	タッチパネル部のボタンを表します。
	画面上でタッチパネル操作を表します。

使用上の注意事項等

- 本機の操作
 - ・ 運転中の操作は避け、停車して行ってください。
 - ・ 運転中に画面を注視しないでください。
- 本機の故障、誤動作または不具合によりSDカードやUSB機器内などの保存データの消失等については補償できません。

道路の状況や本機の精度により、不適切な案内をする場合がありますので、本機はあくまで走行の参考にしてください。ルート案内時でも、走行中は必ず道路標識など実際の交通規制(一方通行など)に従って走行してください。

本書では代表としてVXM-145VFEiのイラスト／画像を記載しています。機種により機能や操作が異なる箇所には、機種名を記載しています。

VXM-145VFNi : **VXM-145VFNi**

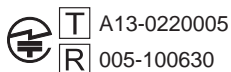
VXM-145VFEi : **VXM-145VFEi**

VXM-145VFi : **VXM-145VFi**

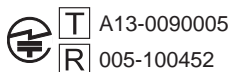


- BLUETOOTH[®] 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

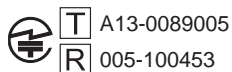
VXM-145VFNi



VXM-145VFEI



VXM-145VFi



もくじ

本書の見かた	3
もくじ	5

はじめに A-1

安全上のご注意	A-2
使用上のお願い	A-6
各部のなまえとはたらき	A-11
タッチパネルの操作のしかた	A-12
メニュー画面の操作方法	A-14
ディスプレイの角度を調整する	A-16
ディスクやSDカードを入れる／取り出す	A-16
文字／数字の入力方法について	A-18
本機を起動する	A-20

ナビゲーションの基本操作 B-1

地図画面の見かた	B-2
地図表示(方位)を切り替える	B-4
地図をスクロールする(地図を動かす)	B-5
地図を拡大／縮小する	B-7
現在地を表示する	B-8
Quick MENUを設定する	B-9
Quick 機能について	B-10
自宅を登録する	B-12
地点を登録する	B-13
右画面に地図／情報を表示する	B-14

目的地を探す C-1

名称で目的地を探す(施設50音)	C-2
電話番号で目的地を探す	C-4
住所で目的地を探す	C-6
目的地履歴の中から目的地を探す／削除する	C-7
周辺にある施設から目的地を探す	C-8
表示できる施設	C-10
施設のジャンルから目的地を探す	C-12
登録地点で目的地を探す	C-16
マップコードで目的地を探す	C-17
郵便番号で目的地を探す	C-18
地図から目的地を探す	C-18
緯度・経度で目的地を探す	C-19
スマートフォンアプリNaviConについて	C-20

ルート探索をする D-1

ルート設定について	D-2
ルート探索をする	D-4

クイック ルート探索をする	D-6
ルートを変更する	D-7
ルート案内をストップ／スタートする	D-12
現在のルートを表示する	D-12
現在のルートを保存する	D-13
現在のルートを削除する	D-13
保存したルートの呼び出し／削除をする	D-13
渋滞地点を確認する	D-14
経由地をスキップする	D-14
デモ走行をする	D-15
迂回探索をする	D-16
再探索をする	D-17
ルート探索条件の設定をする	D-18

情報を見る E-1

ETC 情報を見る	E-2
交通情報／一般情報の操作の流れ	E-3
交通情報(VICS 情報)の画面	E-4
一般情報の画面	E-6
緊急情報を見る	E-7
交通情報／一般情報を選局する	E-8
プリセット(保存)する	E-11
プリセット(保存)呼び出しをする	E-12
プリセット(保存)の上書きをする	E-12
internavi 情報について	E-13
本体情報を見る	E-13
eco ドライブ情報を設定する	E-14

ナビゲーションの設定 F-1

地図画面の設定をする	F-2
地図の色を設定する	F-4
表示項目の設定をする	F-5
ルート案内画面の設定をする	F-7
ランドマーク表示の設定をする	F-15
自車マークの種類を設定する	F-16
現在地(自車)の位置を変更する	F-17
VICS 表示の設定をする	F-18
音声案内の音量調整／詳細設定をする	F-19
平均時速を設定する	F-21
登録地点の編集	F-22
登録地点を並び替える	F-27
自宅／登録地点の位置を修正する	F-29
自宅／登録地点を削除する	F-30
SDカードから地点を登録する	F-31
パーソナルHP と同期について	F-32
軌跡を使う	F-33

各種設定をする	G-1
internavi 設定について	G-2
オプションボタンの設定をする	G-2
ETCの各機能を設定する	G-3
セキュリティを設定する	G-5
フロントカメラ/コーナーカメラ映像を表示する	G-6
リアカメラ映像を設定する	G-13
リアカメラの次回表示ビュー設定 (リアワイドカメラ接続時のみ)	G-18
キー操作音の設定をする	G-19
HDMI 接続の設定をする	G-20
データを初期化(消去)する	G-21
時計表示の設定をする	G-22

オーディオ/共通	H-1
基本操作	H-2
選曲/早戻し/早送りをする	H-4
リピート/ランダム/スキャン/シャッフル再生	H-5
時計を表示する	H-8
音量を調整する	H-8
音声はそのまま、ナビゲーション画面を 表示する	H-9
動作モード(音楽/画像/動画)を切り替える	H-9
映像の調整のしかた	H-10
音声はそのまま画面を消す	H-13
フェード・バランスの調整をする	H-14
イコライザー(音質)の設定をする	H-16
サラウンドの設定をする	H-18
スピーカーの設定をする	H-21
車速連動音量を設定する	H-22

録音設定/データ管理	I-1
録音設定/データ管理について	I-2
音楽CDの録音方法(自動/手動)を選ぶ	I-3
音楽CDを録音する	I-4
録音データを初期化する	I-6
Music Rackの機能/構成について	I-7
Music Rackへ録音時の注意点について	I-8
Music Rackの使用容量を確認する	I-9
ローカル/カスタム/オンライン アップデートについて	I-10
ローカルアップデート/カスタム アップデートをする	I-12
Gracenote データベースのデータを 初期化する	I-17

FM/AMを聞く	J-1
各部のなまえとはたらき	J-2
FM/AM放送を切り替える	J-3
選局する	J-3
プリセットボタンにメモリーする	J-7
交通情報を受信する	J-8

CD・MP3/WMAを聞く	K-1
各部のなまえとはたらき	K-2
未録音CDを挿入したとき	K-3
好きなフォルダを選ぶ (MP3/WMAの場合)	K-3
好きなトラックを選ぶ (CD・MP3/WMAの場合)	K-4
オンライン検索をする	K-5

Music Rackを使う	L-1
各部のなまえとはたらき	L-2
好きなトラックまたはアルバムを選ぶ	L-3
選曲モードより選ぶ	L-5
アルバムリストの編集(曲管理)	L-11
トラックリストの編集(曲管理)	L-19
お気に入りを管理する	L-24
再生中の曲をお気に入り登録する	L-26
再生中の曲のジャンルを設定する	L-28

USB機器/SDカードを使う	M-1
各部のなまえとはたらき	M-2
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ	M-3
選曲モードより選ぶ	M-5
USB機器を接続する	M-9
画像ファイルを表示させる	M-10
動画ファイルを再生する	M-12

iPod/iPhoneを使う	N-1
各部のなまえとはたらき	N-2
好きなトラックを選ぶ	N-3
選曲モードより選ぶ	N-4
再生を一時停止する	N-9
映像データを再生する	N-10
再生したい映像データを選ぶ	N-11
iPod/iPhoneを本機に接続する	N-13

BLUETOOTH Audioを聞く O-1

初期登録設定 O-2
 各部のなまえとはたらき O-8
 好きなトラックを選ぶ O-9
 選曲モードより選ぶ O-10

DVDを見る P-1

各部のなまえとはたらき P-2
 DVDプレーヤーを使う P-3
 DVDの初期設定について P-18

Digital TVを見る Q-1

miniB-CASカードを入れる／取り出す Q-2
 初期設定をする Q-4
 各部のなまえとはたらき Q-7
 テレビを設定する Q-11
 緊急放送(EWS)について Q-14

VTR／AUX／HDMIを使う R-1

各部のなまえとはたらき R-2
 接続する R-3

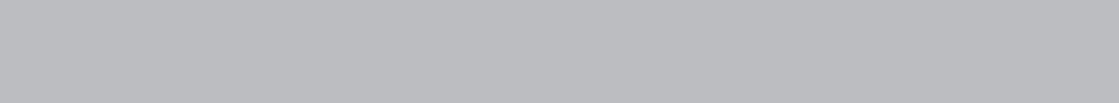
ハンズフリーを使う S-1

初期登録設定 S-2
 電話を受ける S-13
 電話をかける S-18
 発着履歴を削除する S-23
 通話中に地図画面を表示する S-23
 QQコールを利用する S-24
 QQコールを表示する S-24
 Siri Eyes Free機能を使う S-26

必要なとき T-1

初期設定一覧 T-2
 個人情報の取り扱いについて T-5
 リア席モニターについて T-6
 オーディオ／テレビ／ラジオの設定について T-7
 GPS衛星の電波受信と測位 T-8
 自律航法とマップマッチング T-9
 交通情報(VICS情報)について T-10

交通情報(VICS情報)／一般情報の受信に
 ついて T-11
 音声案内について T-12
 ETCについて T-13
 ディスクの取り扱いかた T-14
 本機で再生できるディスクについて T-15
 SDカードの取り扱いかた T-17
 SDカードについて T-18
 USB機器について T-19
 ウォークマン[®]について T-20
 iPod／iPhoneについて T-22
 BLUETOOTH Audioについて T-23
 ハンズフリーについて T-24
 音楽ファイル(MP3／WMA／AAC)について T-26
 画像ファイル(JPEG)について T-30
 動画ファイル(MPEG4／H.264)について T-31
 テレビについて T-33
 miniB-CASカードについて T-35
 Gracenoteデータベースについて T-36
 オーディオ リモコン スイッチ T-38
 地図ソフトについて T-40
 出発地・経由地・目的地の設定について T-44
 ルート案内時の注意点 T-46
 地図に表示される記号 T-50
 市街地図(10 m／25 m／50 mスケール)
 の収録エリア T-52
 VICSについてのお問い合わせ T-56
 故障かな?と思ったら T-60
 メッセージ表示について T-79
 用語説明 T-84
 構成内容 T-89
 主な仕様 T-90
 別売品(システムアップ)について T-91
 保証／アフターサービスについて T-93
 商標など T-94
 さくいん T-96



A

はじめに

安全上のご注意	A-2
使用上のお願い	A-6
各部のなまえとはたらき	A-11
CLOSE状態	A-11
OPEN状態	A-11
タッチパネルの操作のしかた	A-12
メニュー画面の操作方法	A-14
AUDIOメニューの表示のしかた	A-14
目的地メニューの表示のしかた	A-14
トップメニューのボタンを変更する	A-15
ディスプレイの角度を調整する	A-16
ディスクやSDカードを入れる／取り出す	A-16
文字／数字の入力方法について	A-18
ひらがな／カタカナ／英数を入力する	A-18
漢字を入力する	A-18
数字を入力する	A-19
訂正する	A-19
本機を起動する	A-20

安全上のご注意

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき



警告



分解禁止

当商品を分解したり、改造しない
故障の原因となります。



注意



取り付け(取り外し)や配線は、Honda販売店に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがあります
ので、お買い上げのHonda販売店にご依頼ください。

ご使用になるとき

 **警告****実際の交通規制に従って走行する**

ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制、道路標識に従って走行してください。

リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用する

後退時には直接後方の安全確認をしながら運転してください。

フロントカメラ／コーナーカメラはあくまで運転の補助手段として使用する

直接目視による安全確認をしながら運転してください。

運転者がテレビなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車して使用する

テレビは安全のため走行中は表示されません。

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

**テレビやDVDビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない**

車内屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。

ねじなどの小物部品やカード類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

ご使用になるとき

 **警告**



故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。

安全のため運転者は、走行中に操作しない、また、走行中画面を見るときは、必要最小限にする

前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。飲み物などがかからないようにご注意ください。

 **注意**



ナビゲーションによるルート案内と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従って走行する

ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する場合があります、交通事故の原因となります。

長時間で使用にならないときは、ディスク／SDカード／miniB-CASカードを取り出す

長時間、本機内に入れておくと、高温等のためにディスク／SDカード／miniB-CASカードを傷める原因となることがあります。

ご使用になるとき

 **注意**

音声が割れる・ひずむなどの異常状態で使用しない
火災の原因となることがあります。

液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない
液晶パネルのガラスが割れて、ケガの原因となることがあります。

ディスプレイを開けたまま走行しない
急ブレーキ時に開いたディスプレイに体が当たり、思わぬけがを
するおそれがあります。

ディスプレイの収納や角度調整時に、手や指を入れない
挟まれてけがの原因となることがあります。

**ディスク／SDカード／miniB-CASカード挿入口に手や指を
入れない**
けがの原因となることがあります。

使用上のお願い

温度について

- 極端に寒いときや暑いときは、正常に動作しないことがあります。常温に戻ると正常に動作します。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極端に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
- 夏期は車内温度が高くなる場合がありますので、車内の温度を下げてからお使いください。

結露について

雨の日、または湿度が非常に高いとき、または寒いときヒーターをつけた直後など本機内部の光学系レンズに結露(水滴)が生じることがあります。このままですとレーザーによる読み取りができず正常に動作しないことがあります。周囲の状況にもよりますが、ディスクを取り出して放置しておけば、約1時間ほどで結露が取り除かれ正常に動作するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、Honda販売店にご相談ください。

画面の曇りについて

雨の日、または湿度が異常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見つらなくなることがあります。
- ディスプレイの同じ場所に、赤い点や青い点などが現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- タッチパネル面に保護フィルムを貼り付けた場合、正常に動作しないことがありますので、保護フィルムは貼り付けないでください。

地図画面の表示について

- 最も詳細な地図の縮尺が地域によって異なるため、地図画面を移動して縮尺の異なる地域になると、地図が切れたような画面になります。そのまま地図を移動し続けると、通常の地図画面に戻り、縮尺は表示中の地域の最も詳細なものに変わります。
- 走行中は、細街路(道幅5.5 m未満の道路)を表示しません。ただし、下記の画面では、走行中も細街路を表示します。
 - ・車のセレクトレバーをリバースに入れているときの現在地表示画面
 - ・細街路を走行しているときの現在地表示画面※ 細街路によっては、走行中も消えないものもあります。

車のエンジン停止中／アイドリング中でのご使用について

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジン停止中に本機を使用しているとき、エンジンを始動すると、電圧降下により、初期の画面に戻ることがあります。

お手入れについて

<ディスプレイ部の清掃>

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。手で押ししたり、硬い布などでこすると表面に傷がつくことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。(汚れを落とす場合は、中性洗剤を少量溶かした水に浸しよく絞った布か、エタノールをしみ込ませた柔らかい布で拭いてください。)濡れたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。また硬いものでこすったり、たいたいたりしないでください。

<本体の清掃>

- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

GPSアンテナについて

- GPSアンテナに色を塗らないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナの上に物を置いたり、布などをかぶせたりしないでください。GPS衛星の電波を受信できなくなります。
- GPSアンテナを本機の近くに配置しないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
- GPSアンテナをダッシュボード内に取り付けている場合は、取り付け位置上部に物を置いたり、携帯電話やハンディ無線機などを置かないでください。受信感度が低下したり、GPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。

フィルムアンテナについて

- 一度貼り付けたフィルムアンテナは、はがさないようにしてください。機能が損なわれます。
- フロントウィンドウ(車内側)のお手入れの際、フィルムアンテナは柔らかい布で優しく拭き取るようにしてください。(汚れを落とす場合は、中性洗剤に浸しよく絞った布で拭いてください。)有機溶剤(アルコール、ベンジン、シンナーなど)は使用しないでください。
- フィルムアンテナ貼り付け後しばらくたってからまれに気泡が発生することがありますが、油膜が完全に除去されている場合は数日で消えます。

使用上のお願い

パネルについて

本機のパネル面は傷が付くと目立ちやすくなりますので、取り扱いには十分ご注意ください。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)については、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 添付の保証書は、本機を業務用の車両(タクシー・トラック・バスなど)に使用した場合、適用対象にはなりません。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、本機に入力した個人情報(登録地点の住所や電話番号など)の取り扱い、管理(消去など)は、必ずお客様の責任において消去してください。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報(登録地点など)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはデータが失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

外部接続機器(USB機器／iPod／VTR機器／携帯電話)について

- USB機器／iPod／VTR機器／携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- USB機器／iPodが接続されているときに、USB機器／iPodの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

Hondaスマートキーの動作について

Hondaスマートキーが装着されている車両では、Hondaスマートキーをナビゲーション本体に近づけると動作しなくなる場合がありますので、十分にご注意ください。

著作権について

お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録されたUSB機器などは、著作権法の規定による範囲内で使用してください。

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音とぎれたり、静止画面、黒画面となり音が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺の環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像・音声などに不具合が発生する場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。

その他

- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク/SDカード挿入口にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミなど異物を落とさないようにご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めのHonda販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能があります。走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行ってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- ラジオやテレビ、FM多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めのHonda販売店へご相談ください。
- バッテリー交換のときなど当商品への電源供給が止まると、メモリーした内容は消えてしまいます。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなる場合があります。
- 本機の近くで強力な電氣的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- 目的地(自宅)への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。

その他

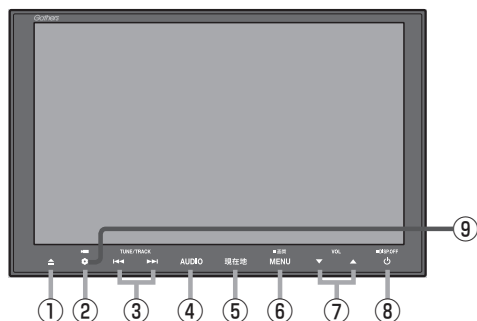
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げのHonda販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因になります。
- 操作パネルや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- 操作パネルの液晶表示部に、小さな黒点や輝点が出ることがありますが、この黒点や輝点は液晶特有の現象で故障ではありません。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- 飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。

各部のなまえとはたらき

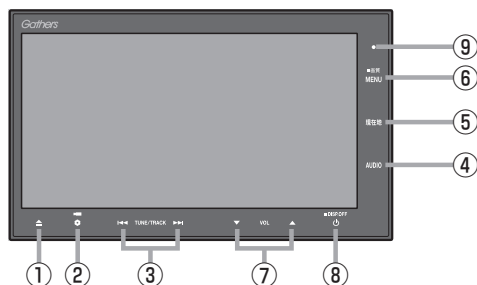
CLOSE 状態

VXM-145VFNi | VXM-145VFEi

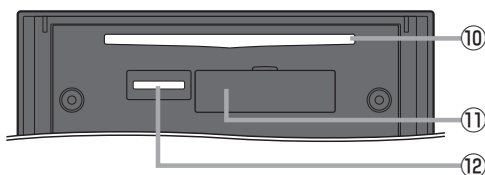
※ VXM-145VFNi と VXM-145VFEi の画面サイズは異なります。



VXM-145VFi



OPEN 状態



- ① **▲ ボタン**
ディスク / SDカード / miniB-CASカードの出し入れをするときにタッチします。
- ② **● ボタン(オプション)**
オプションボタン設定画面で選んだ機能の操作をします。

- ③ **◀▶ ボタン**
 - 短押しで以下の操作になります。
 - 曲 / ファイル : 頭出し
 - FM / AM : 選局
 - ※ 長押しすると自動選局します。
 - Digital TV : 選局
 - DVD : 前後のチャプターへ移動
 - 押し続けると以下の操作になります。
 - 曲 / ファイル : 早戻し(◀◀)、早送り(▶▶)
 - FM / AM : 早戻し(◀◀)、早送り(▶▶)
 - DVD : 早戻し(◀◀) / 早送り(▶▶)(再生中) / スロー戻し(◀◀)*1 / スロー送り(▶▶)(一時停止中)
- * 1…VRモードではスロー戻しに対応していません。

- ④ **AUDIO ボタン**
AV MENU画面または、選択中のオーディオ画面を表示します。
- ⑤ **現在地 ボタン**
現在の地の地図を表示します。
- ⑥ **MENU ボタン**
 - メニュー画面を表示します。
 - 長押しすると画質調整画面を表示します。
 - DVD視聴中に操作ボタン1表示画面を表示します。
- ⑦ **▼ / ▲ ボタン(VOL)**
オーディオの音量を調整します。
- ⑧ **⏻ ボタン**
 - オーディオ操作をON/OFFするときに使います。
 - 長押しで画面を消します。
- ⑨ **セキュリティインジケータ**
セキュリティコード設定時に点滅します。(盗難抑止効果)

- ⑩ **ディスク挿入口**
- ⑪ **miniB-CASカード挿入口カバー**
- ⑫ **SDカード挿入口**

タッチパネルの操作のしかた

タッチ (軽く触れる)

画面に軽く触れます。



- 本書で「〇〇を選ぶ」と記載している場合は、タッチしてください。

ドラッグ (なぞる)

画面をタッチしたまま、指を移動します。



- メニュー画面、地図画面、リスト画面で操作できます。

フリック (はらう)

画面をサッとはらうように指を動かします。



- メニュー画面、地図画面、リスト画面で操作できます。

ピンチ (つまむ、広げる)

親指と人差し指で画面をつまむようにしたり、広げたりします。

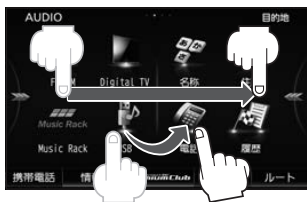


- 地図画面で操作できます。

画面を操作するときは指の腹で操作してください。爪やペンなどで操作すると反応しなかったり、画面に傷が付いたり、誤動作の原因となります。

メニュー画面でのドラッグ／フリック操作例

左右に
ドラッグ
または
フリック



左右のメニューが表示されます。



アドバイス

各メニュー画面の表示のしかたについては、 「メニュー画面の操作方法」A-14

リスト画面でのドラッグ／フリック操作例

しばらくリストをタッチして▲／▼が表示されたときに、ドラッグ／フリック動作ができます。



上下に
ドラッグ
または
フリック



スクロールします。

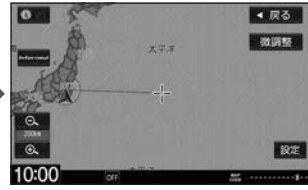
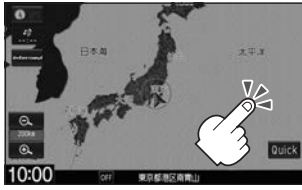


アドバイス

- Digital TVソース(チャンネルリストなど)、FM/AMソース(放送局リストなど)、DVDソース(タイトルリストなど)では、ドラッグ／フリックによるスクロールはできません。
- ドラッグ／フリック操作のほかに、 /  をタッチしてもリストを上下に動かすことができます。
- 走行中はリスト画面でドラッグ／フリック操作はできません。

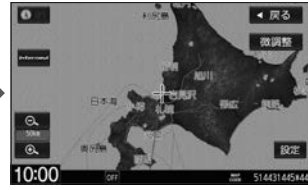
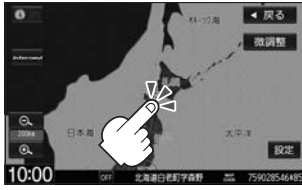
地図画面でのタッチ／ドラッグ／フリック／ピンチ操作例

タッチ
(1回タッチ)



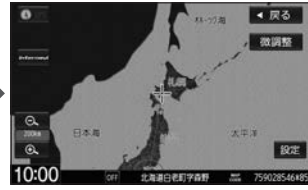
タッチした場所が地図の中心になります。

タッチ
(1本の指ですばやく2回タッチ)



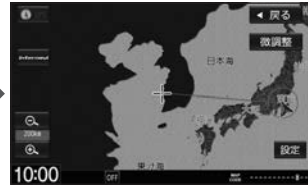
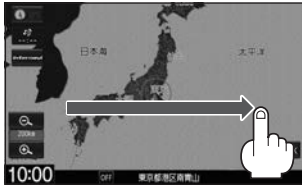
地図が拡大します。

タッチ
(2本の指で1回タッチ)



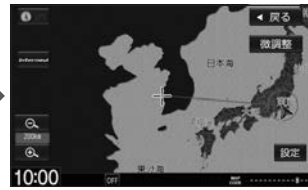
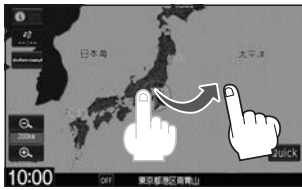
地図が縮小します。

ドラッグ



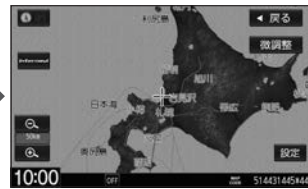
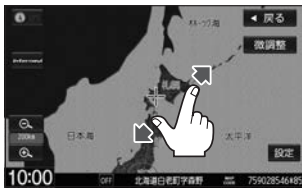
指の動きに合わせて、地図がスクロールします。

フリック



フリックした方向に地図がスクロールします。

ピンチ



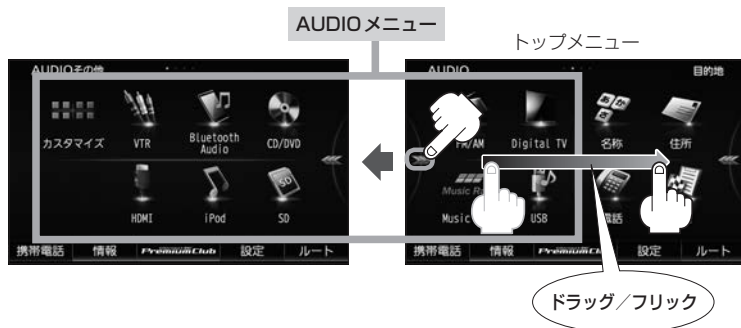
地図画面をつまむようにすると縮小し、指を広げると拡大します。

メニュー画面の操作方法

本機のほとんどの操作はメニュー画面から行います。

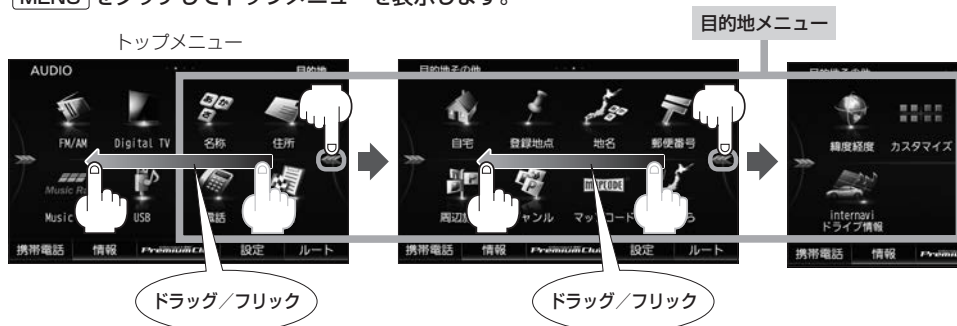
AUDIOメニューの表示のしかた

MENU をタッチしてトップメニューを表示します。



目的地メニューの表示のしかた

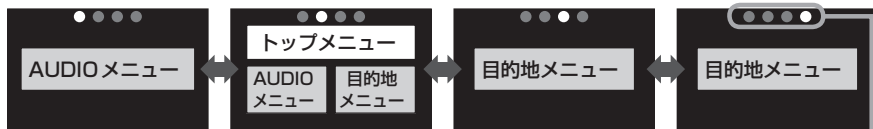
MENU をタッチしてトップメニューを表示します。



アドバイス

- 走行中はドラッグによるメニュー操作はできません。
- 各メニューは下図のように配置されています。

トップメニューには、AUDIOメニュー/目的地メニューの各4ボタンが表示されています。



各メニュー画面共通で表示される項目について

携帯電話 …携帯電話の設定や発着信などのメニューが表示されます。

情報 …FM多重やecoドライブなどのメニューが表示されます。



internavi LINC PremiumClub …インターナビ・リンク プレミアムクラブのメニューが表示されます。

設定 …各種設定メニューが表示されます。

ルート …ルート編集などのメニューが表示されます。

トップメニューのボタンを変更する

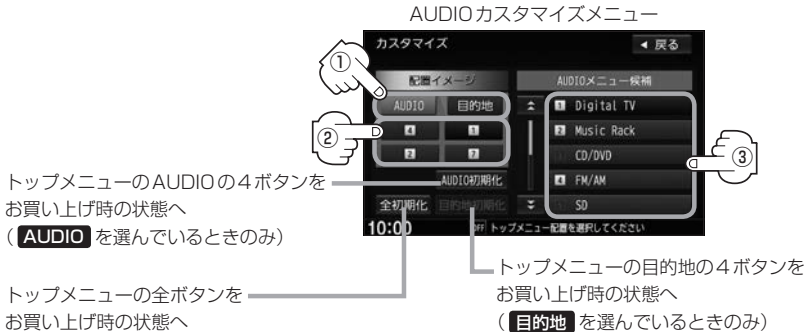
トップメニューに表示する AUDIO メニュー／目的地メニューの各 4 ボタンをお好みに設定できます。

- 1 AUDIO メニュー( A-14)／目的地メニュー( A-14)から **カスタマイズ** をタッチする。

：カスタマイズメニューが表示されます。

- 2 カスタマイズの操作をする。

- ① 配置イメージからカスタマイズしたいメニュー(**AUDIO** ／ **目的地**)を選び、タッチする。
- ② カスタマイズしたいボタンを選び、タッチする。
- ③ 右側のメニュー候補から設定したい機能を選び、タッチする。



- 3 **MENU** をタッチする。

：設定したボタンがトップメニューに表示されます。

ディスプレイの角度を調整する

VXM-145VFiのみ

ディスプレイの角度を手動で工具を使って無理やり調整しないでください。ディスプレイに強い力がかかると、故障の原因となることがあります。

1

 をタッチする。

: TILT / EJECT 画面が表示されます。

2

 または  をタッチする。

※ディスプレイの角度を5段階に調節できます。



アドデバイス

車のエンジンスイッチを0(ロック)にすると、ディスプレイは自動で閉じ収納されますが、次回、車のエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にすると、前回角度調整した段階でディスプレイが開きます。

ディスクやSDカードを入れる／取り出す

miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターに装着してご使用ください。

1

 をタッチする。

2

OPEN をタッチする。

: ディスプレイが開きます。



DISC IN : ディスク挿入済み

NO DISC : ディスク未挿入

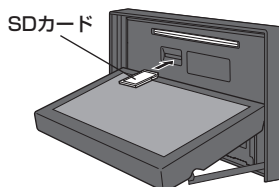
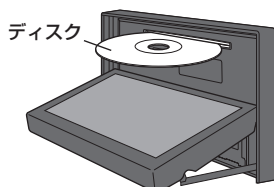
3

■ ディスク／SDカードを入れる

- ① ディスク／SDカード挿入口にディスク／SDカードを挿入する。

：挿入すると、自動的にディスプレイが閉じます。

※SDカードはラベル面を上にして挿入し「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



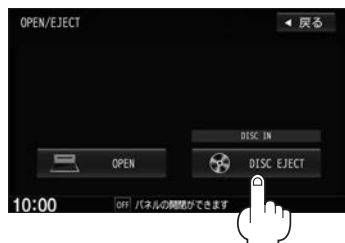
■ ディスクを取り出す

- ① **DISC EJECT** をタッチする。

：ディスクがディスク挿入口より自動で押し出されます。

- ② **▲** をタッチする。

：ディスプレイが閉じます。



■ SDカードを取り出す

- ① SDカードを1回押して取り出す。

- ② **▲** をタッチする。


：ディスプレイが閉じます。



- ディスプレイが開いたまま、車のエンジンスイッチをO(ロック)にした場合は、自動的にディスプレイが閉じます。SDカードが完全に挿入されていない状態で挿入口より出ているときは、自動的に閉じません。
- 長時間ディスク／SDカードを挿入していると、ディスク／SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- ディスクを挿入すると自動でディスクの再生がはじまります。
- ディスク挿入時に **▲** を長押しすると、自動でディスクが押し出されます。
- CDを挿入すると自動で録音を開始する初期設定になっています。設定を変更するには **設定** P-3

文字／数字の入力方法について

入力する場面によっては、入力できる文字の種類に制限があります。画面に表示されるボタンは、入力する画面によって異なります。

(例)施設名称検索(「 C-2)で入力できるのは、「ひらがな」のみです。

ひらがな／カタカナ／英数を入力する

1 入力したい文字の種類を選ぶ。



タッチするたびに
→ **カナ** → **英数** → **かな** と切り替わります。

2 文字を入力し、**決定** をタッチする。

※ひらがなのままでよい場合は、**無変換** → **決定** をタッチしてください。

決定 が暗くなっている場合は、**無変換** / **変換** をタッチしてください。

※小文字に変換したい場合は、**小文字** をタッチしてください。
(パレットが変更可能な文字のみ小文字に変わります。)

漢字を入力する

1 ひらがなで文字を入力し、**変換** をタッチする。

：変換候補画面が表示されます。



2 変換したい漢字を選び、**決定** をタッチする。

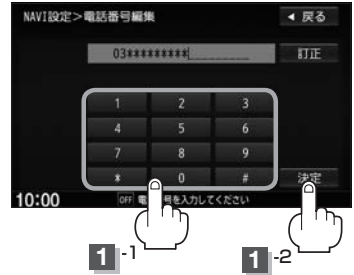


アドバイス

- **←** / **→** をタッチして変換する文字の範囲を選ぶことができます。
- **□** をタッチすると1文字分のスペースを空けることができます。
- 目的地検索では漢字を入力することはできません。
- 設定を変更するときは **決定** をタッチして設定を保存してください。 **決定** をタッチしないで **現在地** / **MENU** / **戻る** をタッチした場合は、設定を保存しないでそれぞれの画面に戻ります。

数字を入力する

1 数字を入力し、**決定** をタッチする。



訂正する

入力した1文字を訂正	訂正 をタッチ
全ての文字を訂正	訂正 を長めにタッチ
途中の文字を訂正	← / → をタッチし、訂正したい文字の右側へカーソルを移動 → 訂正 をタッチ

本機を起動する

- 1 車のエンジンスイッチを I (アクセサリー) または II (ON)に入れる。

: 起動初期画面が表示され、しばらくすると現在の地図が表示されます。

起動初期画面



自車マーク

現在地表示画面



「あれ？画面がちがう…」

起動初期画面を表示した後は、前回車のエンジンスイッチを O (ロック)にする前に表示していたモードの画面になります。地図画面を表示しなかった場合は、**現在地** をタッチしてください。

バッテリーまたは本機を一度車から外した場合

起動初期画面の後に、セキュリティコード入力画面が表示されます。下記操作を行ってください。

- ① 数字をタッチしてセキュリティコードを入力し、

決定 をタッチする。


: 現在の地の地図が表示されます。

※規定回数間違えると、一定時間操作ができなくなります。

※セキュリティカードに5桁のセキュリティコードが記載されています。セキュリティコード入力画面が表示されたら、5桁の数字を入力してください。

セキュリティカードは、なくさないよう保管してください。セキュリティコードを忘れたり、セキュリティカードをなくされた場合は、お買い上げの Honda 販売店までお問い合わせください。

※セキュリティコードを変更することはできません。

※起動時のセキュリティコードの入力を省略するには  G-5



アドハイス

- 実際の現在地を表示してルート案内をするためには、必ずGPSアンテナを接続し、GPS衛星の電波を受信してください。
- お買い上げ後、一度も現在の測位ができていない場合は、本田技研工業株式会社本社付近を表示します。
- 地図画面に表示される各種設定内容は、お客様の設定によって変わります。

B

ナビゲーションの基本操作

地図画面の見かた	B-2	
タッチパネル部について	B-2	
画面の表示内容について	B-3	
地図表示(方位)を切り替える	B-4	
地図をスクロールする(地図を動かす)	B-5	
平面地図でスクロールする	B-5	
3D表示画面でスクロールする	B-6	
地図を拡大／縮小する	B-7	
現在地を表示する	B-8	
表示された現在地が実際の現在地と違うときは	B-8	
Quick MENUを設定する	B-9	
Quick 機能について	B-10	
道路切替ボタンの機能について	B-10	
自宅を登録する	B-12	
地点を登録する	B-13	
右画面に地図／情報を表示する	B-14	
全画面表示に戻す	B-16	

地図画面の見かた

操作するためのタッチボタンやさまざまな情報を地図画面に表示しています。

タッチパネル部について



① 方位ボタン

地図表示(方位)を切り替えることができます。

☞ B-4

② VICSタイムスタンプボタン

- VICS情報が提供された時刻を表示します。
- 渋滞/規制地点を表示します。

③ internavi ボタン

internavi画面を表示します。

☞ 別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編

④ 拡大/縮小ボタン

地図の縮尺スケールを変更します。

⑤ Quick ボタン

Quick MENUを表示します。

☞ B-10

⑥ 戻る ボタン

現在地または1つ前の画面に戻ります。

⑦ 微調整 ボタン

スクロールの微調整をします。(平面地図のみ)

☞ B-6

⑧ 設定 ボタン

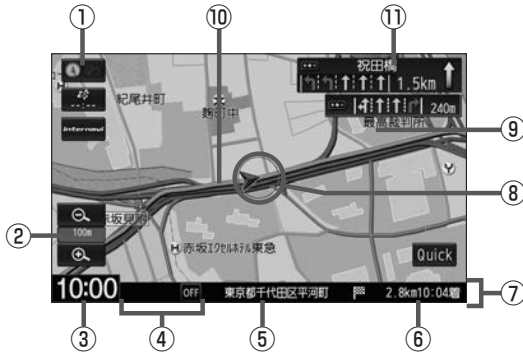
設定MENUを表示します。☞ B-11

閉じる をタッチすると設定MENUを閉じます。

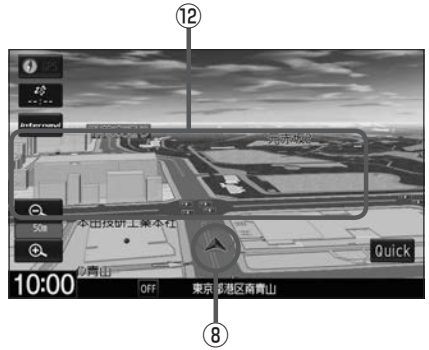
※設定MENU以外の画面をタッチしても閉じることができます。

画面の表示内容について

平面地図画面




3D 地図画面



① GPS 受信表示

現在地の測位の状態を色で示します。
 青色：現在地の測位ができています。
 灰色：現在地の測位ができていない、
 または測位計算中

 測位に時間がかかる場合があり、電源を入れてからしばらくはGPS受信表示が灰色のままのときがあります。

② 縮尺スケール

地図のスケールを表示します。

③ 現在の時刻

④ 各種マーク表示

- 再生中のオーディオソースや接続されている機器のマークを表示します。
- ecoドライブを開始したときにマークを表示します。

⑤ 周辺の住所(または道路名)・AUDIO 情報

※どの情報を表示させるか設定できます。
 [F-5]

⑥ 目的地への残距離、到着予想時刻表示

ルート案内時に、目的地への残距離と到着予想時刻を示します。


⑦ 情報バー

⑧ 自車マーク

自分の車の位置(現在地)と進行方向を示します。
 ※設定により自車マークを変更することができます。
 [F-16]

⑨ 道路

道路の種類を色で区別しています。
 青色：高速道路、有料道路
 赤色：国道
 緑色：主要地方道、県道
 灰色(太線)：一般道、細街路
 灰色(細線)：細街路
 青色(点線)：フェリー航路
 ※灰色(破線)はルート探索できません。
 ※建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。

 道路色は「地図切り替え」で選んだボタンによって変わります。上記の色は「ノーマル」を選んだときの色を記載しています。
 [F-4] 「地図の色を設定する」

⑩ 設定ルート

ルート探索を行うと、探索されたルートがピンクまたはイエロー(設定による)で表示されます。探索されたルート上の有料道路は青色で表示されます。
 [F-8]

⑪ 交差点情報表示

交差点の名称と曲がる方向を矢印で表示します。
 ※お客様の設定によっては表示されません。
 [F-7]

⑫ 立体アイコン

特定の建物を立体的に示します。

地図表示(方位)を切り替える

地図表示画面をワンタッチで切り替えることができます。

1 地図画面の方位ボタンをタッチする。

：タッチするたびに方位表示と画面が切り替わります。

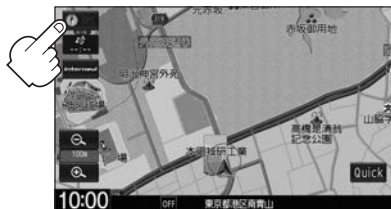
北方向を上

地図の動きが気になるときは、北方向を上
上に固定できます。



進行方向を上

進行方向が常に上になるようにして、自車
マークと画面の向きを一致させることがで
きます。走行に合わせて地図が回転します。



3D表示

進行方向は常に画面の上方向になります。



アドバイス

●設定MENU表示中や目的地検索中などでは、地図表示(方位)を切り替えられない場合があります。

3D表示について

- 3D表示のときは、地図のスクロールが遅くなることがあります。
- 画面の手前と奥で、道路や地名などの表示内容が異なります。
- 画面表示が煩雑(複雑)にならないように、文字表示を間引きしているため、画面が変わったときに文字の表示内容が異なったり、同じ文字の表示が行われなかったりします。また、同一の地名、道路名を複数表示することもあります。
- 3D表示の角度調整をすることができます。☑️「3D表示の角度調整をする」F-3
- 文字と建物が重なり、文字が見えにくくなる場合があります。

地図をスクロールする(地図を動かす)

停車中、地図をスクロールして、見たい地域を表示することができます。

平面地図でスクロールする

タッチしてスクロール

1 地図をタッチする。

：画面にカーソル(→)が表示され、タッチした場所が中心になります。



ドラッグしてスクロール

1 地図をドラッグする。

：指の動きに合わせて、地図がスクロールします。



フリックしてスクロール

1 地図をフリックする。

：フリックした方向に、地図がスクロールします。



アドハイス


- 見たい場所を早く探すには広域な画面で目的地の周辺まで地図を移動させ、それから詳細な地図に変えて目的地を探します。
- 走行中は、スクロール操作が制限されます。

地図をスクロールする(地図を動かす)

微調整をする

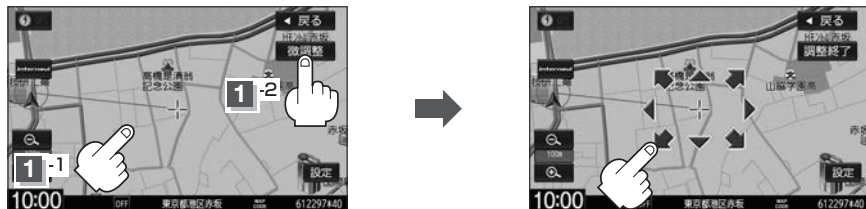
1 地図をタッチし、**微調整** →動かしたい方向の矢印をタッチする。

※タッチし続けると、その方向に一定の速度でスクロールします。

※以外をタッチするとスクロールしません。



※微調整が終了したら**調整終了**をタッチしてください。スクロール画面に戻ります。

※微調整は平面地図のみ可能です。




3D表示画面でスクロールする

1 地図をタッチする。



：画面にカーソル()とが表示されます。

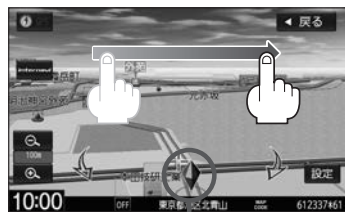
2 動かしたい方向へドラッグ／フリックする。

：地図がスクロールします。

※をタッチして向きを変えることもできます。

：カーソル()を中心に右回転(時計まわり)

：カーソル()を中心に左回転(反時計まわり)





自転車マークはで表示

地図を拡大／縮小する

1

 /  をタッチ、または地図画面をピンチやタッチする。

 /  をタッチしたとき



市街地図(10 m / 25 m / 50 m)表示のスケールの背景色は茶系色、それ以外は灰色で表示



広域(縮小)表示
詳細(拡大)表示



タッチやドラッグでも詳細(拡大)表示、広域(縮小)表示させることができます。
※ドラッグ操作は走行中できません。

地図画面をピンチしたとき



広域(縮小)表示



詳細(拡大)表示

地図画面をタッチしたとき
(1本の指ですばやく2回)



詳細(拡大)表示

地図画面をタッチしたとき
(2本の指で1回)



広域(縮小)表示



アドバイス

- 右画面に地図を表示していて右画面の地図を拡大／縮小するには、右画面上で、同じように操作してください。
- ピンチやドラッグ操作以外でも縮尺ボタンをタッチし続けると地図をフリーズームさせることができます。お好みの縮尺スケールになったら指を離してください。
- 走行中は、ピンチ操作してフリーズームさせることができません。


現在地を表示する

地図をスクロールしたり、住所などで目的地を探索したあとに、現在地表示に戻すには **現在地** をタッチします。

表示された現在地が実際の現在地と違うときは

GPS受信表示が青色の状態(GPS衛星電波を受信した状態)で、電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行してください。GPS衛星電波、自律航法、マップマッチング機能を使って、現在地の位置が補正されます。



- 現在地(自車)マークの位置／角度をご自分で修正することもできます。  F-17
- 現在地から目的地までのルート探索をする前には、必ず実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 現在地(自車)マークの位置や角度が間違っている場合は、修正した後、ルート探索をしてください。

Quick MENUを設定する

よく使う機能を10個までQuick MENUに設定することができます。

- 1** 現在地表示時に **Quick** → **Quick 設定** をタッチする。

：Quick MENU 設定画面が表示されます。



- 2** 配置イメージより配置したい場所を選んでタッチする。

Quick MENUの設定をお買い上げ時の状態へ

選んだメニューを消去

メニューを全て消去



現在設定されているメニューの配置イメージ

- 3** メニュー候補より設定したい項目を選んでタッチする。



Quick MENUに追加できる機能




- | | | | |
|----------------|------------------|------------------|----------------------|
| ① 自宅(自宅へ帰る) | ⑨ 登録地点検索(登録地点) | ⑰ 受信番組設定(受信番組) | ㉕ カーマーク設定(カーマーク) |
| ② 地点を登録 | ⑩ 目的地履歴検索(目的地履歴) | ⑱ VICS文字情報(文字情報) | ㉖ ecoドライブ情報(ecoドライブ) |
| ③ 案内スタート/ストップ | ⑪ 郵便番号検索(郵便番号) | ⑲ VICS図形情報(図形情報) | ㉗ 音声案内 |
| ④ 周辺施設検索(周辺施設) | ⑫ ルート編集 | ㉘ 渋滞地点 | ㉘ 右画面設定(右画面表示) |
| ⑤ 再探索 | ⑬ 全ルート表示(全ルート) | ㉙ ETC情報 | ㉙ 昼夜切替 |
| ⑥ 住所検索(住所) | ⑭ 登録ルート | ㉚ 登録地点編集 | |
| ⑦ 電話番号検索(電話番号) | ⑮ 道路切替 | ㉛ 地図表示設定 | |
| ⑧ ジャンル検索(ジャンル) | ⑯ VICS表示設定 | ㉜ ルート案内設定(ルート案内) | |

()内はQuick MENU表示時のボタン名

Quick機能について

主な操作を簡単にするため、Quick機能(Quick MENU／設定MENU)を設けています。
Quick MENUを表示させるには **Quick** (現在地表示時)、設定MENUを表示させるには **設定** (地図スクロール時)をタッチします。

Quick をタッチ(現在地表示時)

- **自宅へ帰る**
自宅までのルートを探します。
※あらかじめ自宅を登録しておく必要があります。[]「自宅を登録する」B-12
- **案内ストップ** / **案内スタート**
タッチするたびに、ルート案内ストップ↔スタートが切り替わります。
※ルートが設定されていない場合、**案内ストップ** / **案内スタート** ボタンは選べません。(ボタンは暗くなります。)
- **渋滞地点**
設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。
※ルート案内を停止している場合、**渋滞地点** は選べません。(ボタンは暗くなります。)
- **再探索**
探索条件を変えて、再探索することができます。
※ルート案内を停止している場合、**再探索** は選べません。(ボタンは暗くなります。)
- **地点を登録**
地点の登録を行います。
- **周辺施設**
現在地の周辺施設を検索することができます。[]「周辺にある施設から目的地を探す」C-8
- **右画面表示**
右画面に表示する情報画面を選びます。(選択時表示点灯) []「右画面に地図／情報を表示する」B-14
- **昼夜切替**
画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えることができます。
- **道路切替**
一般または有料道の切り替えをします。



アドバイス

よくお使いになる機能を現在地表示時のQuick MENUに設定することができます。

[]「Quick MENUを設定する」B-9

道路切替ボタンの機能について

一般道または有料道を走行中に、本機が実際の走行道路と違う道路を走行していた場合に **道路切替** をタッチすると強制的に他の道路へと切り替わります。

※強制的に道路変更できるのは、一般道と有料道が近くにある場合のみです。必ず、ご希望の道路に切り替わるとは限りません。



アドバイス

有料道に切り替えた場合、正しい料金計算ができないため料金表示はされません。

設定 をタッチ(地図スクロール時)

- **目的地セット**
目的地を登録し、ルートを探索します。[📍]「**現在地から目的地までのルートを探索する**」D-6
- **出発地セット**
出発地を登録し、ルート探索します。[📍]「**出発地/目的地の変更**」D-7
※ルート編集画面で出発地の変更を行う場合に表示されます。
- **経由地セット**
経由地を登録し、ルート探索します。[📍]「**経由地の追加**」D-9
※ルート案内を停止している場合、このボタンは表示されません。
- **複数探索**
複数ルート探索を行います。[📍]「**■ 複数ルート探索**」D-5
- **自宅セット**
自宅を登録します。[📍]「**自宅を登録する**」B-12
※自宅の登録を行う場合に表示されます。すでに自宅が登録されている場合は表示されません。
- **テナント情報**
テナント情報(建物の名前だけでなく、建物の中のテナント名や階数、電話番号などの詳細情報)が確認できます。
※市街地図(10 m / 25 m / 50 m)表示のスケールでテナント情報のある物件にカーソル(-|-)をあわせませす。
- **地点登録**
地点の登録を行います。
- **地点編集**
登録地点の編集や並び替え、削除ができます。[📍]「**登録地点の編集**」F-22 / 「**登録地点を並び替える**」F-27
※登録地点マークにカーソル(-|-)をあわせませす。
- **周辺検索**
スクロール先の周辺施設を検索することができます。[📍]「**周辺にある施設から目的地を探す**」C-8
- **施設詳細**
ランドマーク表示する設定をして、その表示されたランドマークにカーソルを合わせると施設の詳細情報が表示されます。

自宅を登録する

自宅を登録しておく、自宅までのルートを探ることができます。

1 目的地メニュー(☞ A-14)から **自宅** → **はい** をタッチする。

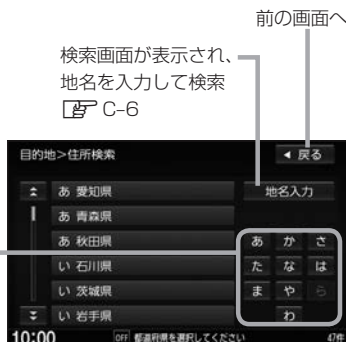
2 登録方法を選び、タッチする。

例 住所から自宅を探し登録する

① **住所** をタッチする。

② リストから画面に従って都道府県名、市区町村名、町名、丁目などを順次選び、タッチする。

：自宅周辺の地図と設定メニューが表示されます。
(**地図**から / **出発地付近** / **目的地付近** で探索した場合、地図のみ表示されます。)



該当する地名の頭文字を表示し、効率よく絞り込み
(該当しない地名の頭文字は暗くなります。)
頭文字をタッチすることに行のリストを切り替え



アドバイス

- 丁目・字・街区・地番・戸番・枝番を表示するリスト画面右の数字をタッチすると、該当する住所が表示され、効率よく場所を絞り込むことができます。
- 番地など住所の詳細が分からないときは都道府県名、市区町村名、町名を選んだあと **代表地点** をタッチすると、選んだ場所の代表地点の地図が表示されます。

3 自宅を登録する。

表示された位置で良いとき

自宅セット をタッチ

※ **設定** が表示されたら、**設定** → **自宅セット** をタッチ

位置修正やスケール変更を
するとき

閉じる / 地図画面をタッチ → カーソル(—|—)を自宅に
合わせる → **設定** → **自宅セット** をタッチ

：自宅が登録され、メッセージが表示されます。**はい** をタッチすると、現在地から自宅までのルート探索をします。**いいえ** をタッチすると、地図が表示されます。



アドバイス

- 自動的にマークは📍になります。マークを変更することができます。
- 登録地の表示をしない設定にしている場合は、地点を登録しても地図上にマークは表示されません。
- 自宅を変更したい場合は、登録した自宅を削除してから再登録するか、または自宅編集から変更してください。

地点を登録する

覚えておきたい場所にマークをつけて登録することができます。(最大300カ所・自宅は含まれません。)

1

マークをつけたい場所にカーソル(—|—)を合わせ、**設定** をタッチする。

：設定MENUが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。




2

地点登録 をタッチする。

：メッセージが表示され、地図上に地点マークが追加されます。



- 地点を登録してルート探索した結果と、ジャンル検索でルート探索した結果が異なる場合があります。
- 別売のフロントカメラまたはコーナーカメラを接続している場合は、上記手順 **2** の **地点登録** をタッチした後にメッセージが表示されます。
- SDカードに保存している地点を本機に登録する場合は「SDカードから地点を登録する」F-31をご覧ください。
- マークを非表示にできます。(登録地検索時は表示)  F-5

右画面に地図／情報を表示する

現在地表示時、画面を2つに分けて、右画面にルート情報やecoドライブ情報などの情報画面を表示させることができます。

1 現在地表示時に、**Quick** → **右画面表示** をタッチする。

：右画面表示画面が表示されます。



2 表示項目を選んでタッチする。



■ 右画面に地図を表示する

① **地図** → **OK** をタッチする。

：地図が2画面で表示されます。



- 右画面が表示されるまで、少し時間がかかることがあります。
- 右画面は、全画面表示のときと同じ方法で、地図の表示内容の設定や縮尺の変更ができます。
- デモ走行中は右画面地図表示 ↔ 全画面表示の切り替えはできません。
- 右画面の地図はスクロールできません。

右画面の地図表示(方位)を変更



右画面の縮尺スケールを変更

■ 右画面にecoドライブ画面を表示する

① **ecoドライブ** → **OK** をタッチする。

：右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケーターまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。

(**表示切替** をタッチで表示の切り替え)



- ルート案内中は交差点拡大図などを表示する設定にしている場合、交差点拡大図などを優先して表示します。
- ecoドライブ画面については「 E-18



■ 右画面にオーディオ画面を表示する

- ① **AV** → **OK** をタッチする。

：右画面にオーディオ画面が表示されます。



右画面にオーディオ画面を表示するには、オーディオを ONの状態にしてください。



■ 右画面にルート情報を表示する

- ① **ルート情報** → **OK** をタッチする。

：ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離などを表示します。



ルート情報は、ルート案内時とデモ走行時に表示できます。



経由地や各ポイントへの必要時間と距離を表示

■ ハイウェイモードの表示切り替えをする

- ① **ハイウェイモード** をタッチする。

：表示灯が点灯の時はハイウェイモード(高速道路／一般有料道路の情報)を表示する設定になります。消灯の時は表示しない設定になります。



経由地や各ポイントへの必要時間と距離を表示



- ハイウェイモードはルート案内時とデモ走行時に表示されます。
- **設定**「**■ 右画面にルート情報を表示する**」(上記)で **ルート情報** をタッチまたは、**設定**「**■ ルート情報の表示設定**」F-9で「ルート情報の表示」を **する** に設定すると高速道路／一般道路の情報も表示する設定になるため、**ハイウェイモード** が選べなくなります。
- ハイウェイモードを選んでいる場合、他の表示項目を選んでもハイウェイモードを優先して表示します。
- ハイウェイモードを表示する設定にしている場合、ルートを引きいていないと表示されません。

右画面に地図／情報を表示する

■ 右画面に時計を表示する

- ① **時計** → **OK** をタッチする。

：右画面に日付と時間が表示されます。



アドバイス

右画面表示時に左画面の地図をスクロールすると全画面表示に切り替わります。

現在地 または **戻る** をタッチすると、右画面表示に戻ります。

全画面表示に戻す

1

- 現在地表示時に **Quick** → **右画面表示** → **OFF** → **OK** をタッチする。



C

目的地を探す

名称で目的地を探す(施設50音).....	C-2
順番を並び替えて表示する.....	C-3
電話番号で目的地を探す.....	C-4
住所で目的地を探す.....	C-6
目的地履歴の中から目的地を探す／削除する..	C-7
周辺にある施設から目的地を探す.....	C-8
表示できる施設.....	C-10
施設のジャンルから目的地を探す.....	C-12
道路名から地点を探す.....	C-15
登録地点で目的地を探す.....	C-16
マップコードで目的地を探す.....	C-17

郵便番号で目的地を探す.....	C-18
地図から目的地を探す.....	C-18
緯度・経度で目的地を探す.....	C-19
スマートフォンアプリNaviConについて.....	C-20
NaviCon対応スマートフォン.....	C-20
準備する.....	C-20
NaviConを使用する.....	C-20

名称で目的地を探す(施設50音)

施設の名前を直接入力したり、候補を絞り込んで探すことができます。

1 目的地メニュー(☰ A-14)から**名称**をタッチする。

: 施設名入力画面が表示されます。

2 施設名をひらがなで入力し、**検索**をタッチする。

: 施設リスト画面が表示されます。

※検索施設が10,000件より多い場合 **検索** は選べません。



- 濁点、半濁点、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 入力できない文字は暗くなります。

3 検索方法を選ぶ。

■ リストから施設名を選ぶ

① リストから施設名を選び、**ここを**をタッチする。

: 施設周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入口情報のリスト画面が表示された場合は、リストより選び、**ここを**をタッチしてください。



■ 絞り込み検索で施設を選ぶ

① **絞り込み**をタッチする。

: 条件入力画面が表示されます。

② 条件を選び、タッチする。

地域	都道府県名⇒市区町村名をタッチ
ジャンル	施設のジャンル⇒施設の種類をタッチ

名称で目的地を探す(施設50音)

③リストから施設名を選び、

ここを をタッチする。

：施設周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入口情報のリスト画面が表示された場合は、リストより選んでください。

条件入力画面で選んだ条件が青色文字で表示されます。



- 検索施設の件数が増えるほど施設のリストが表示されるのに時間がかかります。
- ハイブリッド検索は、最初に地域で絞り込み、さらにジャンルで絞り込むというように条件を組み合わせて絞り込むことができます。
- 指定した条件を変更したい場合は、変更したい条件のボタンをタッチして変更してください。
- リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。

順番を並び替えて表示する

表示したい方法を選び、タッチする。

50音順	50音順に表示
距離順	地図上の直線距離で現在地から近い順に表示



名称で目的地を探す(施設50音)

4

地図を見る、または詳細情報を見る。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は **[F] 「ルート探索をする」** D-4

■ 周辺の地図を見る

① **[閉じる]** または地図画面をタッチする。

: 設定MENUを閉じ、周辺の地図が表示されます。



■ 施設の詳細情報を見る

① **[施設詳細]** をタッチする。

: 施設の詳細情報が表示されます。

※ **[施設詳細]** は、情報がある場合しか表示されません。

※ 電話番号が収録されている場合 **[電話する]** が表示されます。 **[電話する]** → **[はい]** をタッチすると発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(あらかじめBLUETOOTH対応の携帯電話を接続する必要があります。 **[F] S-2**)
携帯電話を接続していない場合、 **[電話する]** は選べません。(ボタンは暗くなります)

電話番号で目的地を探す

電話番号から、その地域の地図を表示することができます。電話番号を入力して目的地を探することができます。本機には、NTTタウンページの情報の一部および(株)ダイケイのテレデータ(個人宅情報)が収録されています。

1

目的地メニュー(**[F] A-14**)から **[電話]** をタッチする。

: 電話番号入力画面が表示されます。

2

電話番号を入力し、**検索** をタッチする。


※電話番号は市外・市内局番を含めて全桁(最大10桁)入力してください。



2-2

■ タウンページなどから個人宅以外の電話番号を入力する

: 周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は  「ルート探索をする」D-4



アドバース

- 入力した電話番号に対して複数の施設候補がある場合は、項目を選ぶと地図が表示されます。
- 入力途中で **検索** をタッチした場合や該当する電話番号が収録されていない場合は、市内局番に該当する周辺地図を表示します。

■ 個人宅の電話番号を入力する


プライバシー保護のため、個人宅の電話番号と登録者名の名字が合致したときに地図が表示されます。

① 登録者名の名字を入力後、

検索 をタッチする。

: 入力した名字が正しい場合は、個人宅付近の地図が表示されます。入力した名字が間違っている場合は、メッセージが表示されます。

※該当するデータが収録されていない場合、地図は表示されません。入力した名字を確認のうえ、再度入力してください。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は  「ルート探索をする」D-4



アドバース

- 入力方法は、ひらがなのみとなります。
- 登録者名は必ず名字のみ入力してください。濁点、半濁点、長音符(ー)の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
- 公開電話番号登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上、実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。
- 個人宅電話番号検索では、一部検索できない場合またはピンポイント検索ができない場合があります。
- 電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。

住所で目的地を探す

住所を入力して目的地を探すことができます。

1 目的地メニュー(☰ A-14)から **住所** をタッチする。

：住所検索リスト画面が表示されます。

2 リストから選ぶまたは地名を入力して探す。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は [☰ 「ルート探索をする」 D-4

※郡は表示(選ぶまたは入力)できません。町村から選ぶまたは入力をしてください。

■ リストから探す

- ① リストから画面に従って都道府県名、市区町村名、町名、丁目などを
順次選び、タッチする。

■ 地名を入力して探す

※市町村名で検索できます。

- ① **地名入力** をタッチする。

：地名入力検索画面が表示されます。



- ② 地名をひらがなで入力し、
検索 をタッチする。

：リストが表示されます。



- ③ リストから地名を選んでタッチする。



- ④ 丁目などを順次選び、タッチする。



目的地メニューから **地名** をタッチしても、地名を入力して目的地を探すことができます。

※複数の都道府県に該当する地名がある場合は **絞込み** が表示されます。

絞込み をタッチすると都道府県を絞り込むことができます。

目的地履歴の中から目的地を探す／削除する

過去に設定した目的地周辺の地図を表示することができます。一度設定した目的地に、また行きたいときに便利です。

1 目的地メニュー(A-14)から履歴をタッチする。

：目的地履歴検索画面が表示されます。

2 リストより目的地を表示させる、または履歴を削除する。

■ 目的地を表示

① リストから見たい履歴を選び、

ここを をタッチする。

：選んだ目的地付近の地図画面を表示します。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は

A 「ルート探索をする」D-4



目的地

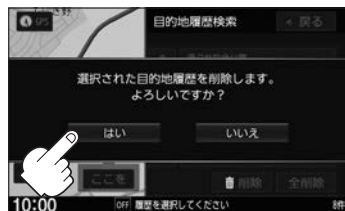


設定した目的地は、最新のものから順に20個まで自動的に登録されます。
登録数が20個を超えると古いものから順に消去されます。

■ 履歴を削除

① リストから削除したい履歴を選び、 **削除** → **はい** をタッチする。

※全履歴を削除する場合は **全削除** → **はい** をタッチしてください。



※リストに他の履歴がない場合はメニュー画面に戻ります。

周辺にある施設から目的地を探す

現在地またはスクロール先周辺にある施設の中から目的地を探すことができます。施設までの距離と施設の位置も確認でき、近くのコンビニエンスストアなどを探したいときに便利です。検索できる施設の種類のについては、[「表示できる施設」C-10](#)

1

現在地 をタッチする、
または地図上のカーソル(—|—)を検索したい場所に合わせる。

2

目的地メニュー(☰ A-14)から **周辺施設** をタッチする。
：周辺施設検索画面が表示されます。

3

検索方法を選ぶ。

地図周辺	現在地またはスクロール先周辺を検索
ルート沿い	ルート沿いにある施設を検索
目的地周辺	目的地周辺にある施設を検索



アドバース

- ルート案内していない場合、**ルート沿い** / **目的地周辺** は選べません。(ボタンが暗くなります)
- 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合は、現在地またはスクロール先から半径 10 km 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。
- ルート沿いにある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向に沿って 10 km 以内で、ルートの左右約 100 m 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。

4

探している施設のジャンルを選び、タッチする。

※詳細分類があるジャンルは▶マークが表示されます。

■ 施設の種類が表示されたとき

C-9手順 **5** へ

■ 施設名が表示されたとき

C-9手順 **6** へ

5

表示したい施設の種類の選び、

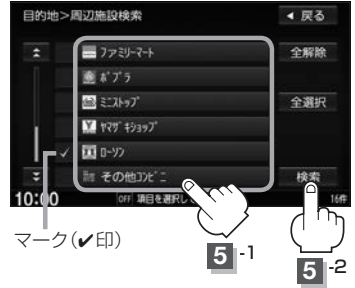
検索 をタッチする。

※リストに▶が表示された場合、▶をタッチすると、さらに細かくリストを選ぶことができます。

※選んだ種類にマーク(✓印)が付きます。

全選択 をタッチすると、全種類にマーク(✓印)が付きます。

※選択を解除したい場合は再度ボタンをタッチしてマーク(✓印)を消します。**全解除** をタッチすると、リストに付いているマーク(✓印)を全て消します。



マーク(✓印)

5-1

5-2

6

リストから施設名を選び、**ここを** をタッチする。

：施設の周辺地図が表示されます。



- C-8手順 3 で **地図周辺** を選んだ場合、施設名の横に施設から現在地またはスクロール先への距離を表示します。また、左画面の地図に現在地から施設の方向を赤い線で表示します。
ルート沿い を選んだ場合、現在地からの距離とルート沿いの左右どちらに施設があるかを表示します。
目的地周辺 を選んだ場合、右画面リストに目的地からの距離を表示します。
- リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。(施設名がスクロールし続けます。)

7

地図を見る、または詳細情報を見る。

操作方法 C-4


※目的地として設定し、ルート探索する場合は 「ルート探索をする」 D-4

表示できる施設

ジャンル	中分類	ジャンル	中分類	ジャンル	中分類	
コンビニエンスストア	コンビニエンスストア	観る(続き)	史跡	買う(続き)	アウトドア用品店	
ガソリンスタンド	ガソリンスタンド		名所・観光地等		CDレコード店	
駐車場	駐車場		イベント		中古CDレコード店	
交通機関	駅		ビューポイント		レンタルビデオ・CD	
			高速・都市高速・有料道路施設		住宅展示場	化粧品・装飾品・民芸工芸品
		道の駅	ホテル		オーディオ・パソコン・OA	
		フェリーターミナル	ビジネスホテル		金物店・刃物店	
		港	旅館		ガラス・陶磁器	
空港	ペンション	公共の宿	その他小売店			
タクシー	ファッションホテル	カプセルホテル	食べる		ファミリーレストラン	
遊ぶ	遊園地(テーマパーク) レジャー公園・牧場 その他レジャー施設 海洋・海浜公園 サファリパーク 海水浴場 川くんだり 果物狩り 遊覧船 遊覧飛行機 リフト・ロープウェイ 釣り キャンプ場 公営ギャンブル パチンコ 麻雀 ゲームセンター ビリヤード ボウリング場 カラオケボックス マンガ喫茶 インターネットカフェ アニメ・ゲームグッズ プラネタリウム クラブ・ライブハウス マリーナ 待ち合わせ場所 趣味・娯楽・教養	家族旅行村		ファミリーレストラン		
		国民休暇村		ファストフード		
		民宿		ラーメン		
		その他宿泊施設		うどん・そば		
		買う		カー用品 ホームセンター ディスカウント スーパー デパート 複合大型商業施設 アウトレットモール 家電 本 ファッション 衣服・呉服・小物 シューズ バッグ・コート・毛皮 その他繊維製品 スポーツ 雑貨 ドラッグストア 100円ショップ その他日用品・雑貨・文具 チケット売買・プレイガイド 携帯電話ショップ リサイクルショップ おもちゃ屋 子供用品・服 酒屋 食材 パン・お菓子 花屋 園芸店 家具店 インテリア用品店 メガネ・コンタクトレンズ 釣具店	日本料理	焼肉・ホルモン
					中華	韓国料理
					イタリア料理	お好み焼き
					寿司屋	とんかつ
					回転寿司	持ち帰り弁当
			フランス料理		喫茶	
			カレーハウス		酒場	
			焼肉・ホルモン		うなぎ料理店	
			韓国料理		おでん屋	
			お好み焼き		海鮮料理店	
			とんかつ		懐石料理	
持ち帰り弁当	割烹・料亭					
喫茶	スパゲティ専門店					
酒場	ステーキハウス					
うなぎ料理店	てんぷら料理店					
おでん屋	鳥料理店					
海鮮料理店	ビザハウス					
懐石料理	アイスクリーム					
割烹・料亭	その他和風飲食店					
スパゲティ専門店	その他洋風・中華飲食店					
ステーキハウス	生活施設	郵便				
てんぷら料理店		理容・美容				
鳥料理店		クリーニング				
ビザハウス		温泉				
アイスクリーム		銭湯				
その他和風飲食店		サウナ・健康センター				
その他洋風・中華飲食店		クアハウス・スパ				
観る		動物園 植物園 水族館 美術館 博物館 資料館 文化施設 ホール会館 劇場 映画館 城・城跡	子供用品・服	教養施設・福祉施設		
			酒屋	写真・写真館		
			食材			
	パン・お菓子					
	花屋					
	園芸店					
	家具店					
	インテリア用品店					
	メガネ・コンタクトレンズ					
	釣具店					

ジャンル	中分類	ジャンル	中分類	ジャンル	中分類
生活施設 (続き)	組合	スポーツ施設(続き)	武道館	自動車関連 (続き)	レッカーサービス
	人材紹介・ 代行サービス		スポーツクラブ		ロードサービス
	録音スタジオ		バッティングセンター		レンタカー
	クレジット・質屋・ 買取		公営スポーツ施設		レンタルバイク
	宅配便・運輸		その他スポーツ施設		その他自動車・ オートバイ・自転車
トイレ	トイレ	神社・仏閣・ 教会・巡礼	神社	エコステーション	エコステーション
銀行	都市銀行		仏閣・寺	その他 ジャンル	大使館・領事館
	地方銀行		教会		マスメディア
	その他銀行		全国著名巡礼名所		旅行・観光業
公共施設	役所	Honda Cars店	Honda Cars店		ペット
	警察署・交番	カー ディーラー	スズキ		製造・卸売業
	消防署		スバル	農園・果樹園	
	図書館		ダイハツ		
	裁判所		トヨタ		
	税務署		日産		
	年金事務所		マツダ		
	保健所		三菱		
	法務局		レクサス		
	運転免許試験場		アウディ		
	学校・ 教育施設	大学		アルファロメオ	
		高校		クライスラー	
		中学校		シトロエン	
		小学校		ジャガー	
		短大		GM	
高専			GMDAT		
中等教育学校			BMW		
幼稚園			フィアット		
保育園			フェラーリ		
特別支援学校			フォルクスワーゲン		
自動車学校			フォード		
各種専門学校			プジョー		
予備校			ベントレー		
その他学校・教育施設			ボルシェ		
病院		病院		ボルボ	
	冠婚葬祭		マセラティ		
冠婚葬祭	冠婚葬祭場		MINI		
	結婚式場		メルセデス・ベンツ		
	霊園・墓地		ヤナセ		
	造花・装飾・花環		ランドローバー		
	スポーツ 施設	ゴルフ		ランボルギーニ	
		スキー・スケート		ルノー	
マリンスポーツ			ロータス		
野球場			ロールスロイス		
競技場			いすゞ		
プール			日野		
モータースポーツ			三菱ふそう		
自転車			UDトラックス		
テニスコート			その他カーディーラー		
体育館			自動車関連	自動車整備工場	
				中古車販売	

施設のジャンルから目的地を探す

施設のジャンルや都道府県を指定して該当する施設の名称リストを表示させ、住所や電話番号などの施設情報を見ることができます。ドライブ先の観光スポットを探すときなどに便利です。検索できる施設の種類については、「表示できる施設」C-10

1 目的地メニュー(A-14)から **ジャンル** をタッチする。

: ジャンル検索画面が表示されます。

2 検索方法を選ぶ。

※細かい分類がある場合は▶マークが表示されます。

■ リストから選ぶ

- ① 探している施設のジャンルを選び、さらに細かく分類された施設の種類を選んでタッチする。

■ ジャンル名を入力して選ぶ

- ① **ジャンル名入力** →文字をタッチしてジャンル名を入力し、**検索** →ジャンル検索リストから該当するジャンルを選び、タッチする。

※候補が100件より多い場合は検索できません。

※ジャンル検索リストがさらに続く場合はリストより選んでタッチしてください。



3 さらに検索する条件を選ぶ。

現在地またはスクロール先周辺を検索	地図周辺 をタッチ
目的地周辺にある施設を検索	目的地周辺 をタッチ
ルート沿いにある施設を検索	ルート周辺 をタッチ
都道府県で検索	都道府県 →都道府県名を選び、タッチ ※市区町村名などさらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。
地域/路線で検索	地域/路線 →地域を選び、タッチ→路線を選び、タッチ



- ルート案内をしていない場合は **目的地周辺** / **ルート周辺** は選べません。(ボタンが暗くなります。)
- 現在地またはスクロール先周辺を検索する場合は、現在地またはスクロール先周辺から半径 10 km 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。
- ルート周辺にある施設を検索する場合は現在地からルートの進行方向にそって 10 km 以内で、ルートの左右約 100 m 以内に存在する施設を最大 100 件まで表示します。現在地が設定したルートから離れすぎている場合は検索できません。
- **地域/路線** は、**交通機関** → **高速・都市高速/有料道路施設** → **IC** / **SA** / **PA** を選んだときのみ表示されます。

4

リストから施設名を選ぶ。

■ **地図周辺** / **目的地周辺** / **ルート周辺** を選んだとき

① リストから施設名を選び、

ここを をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合はリストより選んで、**ここを** をタッチしてください。



コンビニエンスストア、ファストフード、ファミリーレストランの場合、選んだ施設に情報があるときは、アイコンが表示されます。

■ **都道府県** を選んだとき

① リストから施設名を選び、

ここを をタッチする。

：施設の周辺地図が表示されます。さらに施設・出入り口情報のリスト画面が表示された場合はリストより選び、**ここを** をタッチしてください。

選んだ頭文字の行をリストに表示します。(リストにない場合や **距離順** を選んでいる場合は、ボタンが暗くなり選べません。)

現在地から近い順に **頭文字を送る** リストを表示します。 **ことができます。**



施設のジャンルから目的地を探す

■ 地域/路線を選んだとき

- ① リストから施設名を選び、
ここを をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。



アドバイス

リストの施設名が表示しきれない場合、施設名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。

5

地図を見る、または詳細情報を見る。

操作方法  C-4

※ルート探索する場合は  「ルート探索をする」D-4

道路名から地点を探す

1 目的地メニュー(☰ A-14)から **ジャンル** をタッチする。

: ジャンル検索画面が表示されます。

2 **交通機関** → **高速・都市高速・有料道路施設** をタッチする。

: リスト画面が表示されます。



目的地

3 **地域/路線選択** をタッチする。

: 地域選択画面が表示されます。

※さらに選択画面が続く場合は画面に従ってタッチしてください。



4 リストから表示したい地点をタッチし、**ここを** をタッチする。

: 周辺の地図が表示されます。



登録地点で目的地を探す

あらかじめ登録しておいた場所の中から目的地を探すことができます。よく利用する場所を登録しておく、簡単に目的地として設定することができます。



アドバイス

あらかじめ地点を登録しておく必要があります。☞ 「地点を登録する」B-13

1

目的地メニュー(☞ A-14)から**登録地点**をタッチする。

：登録地点検索画面が表示されます。

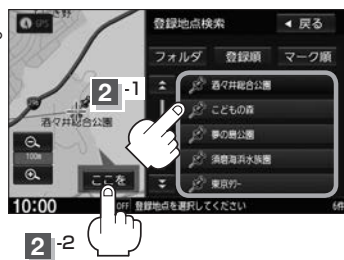
2

リストから登録地点を選び、**ここを**をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は

☞ 「ルート探索をする」D-4



2-2



アドバイス

- 登録地点の表示方法を選ぶことができます。
- 登録地点をお好きなフォルダに入れるには ☞ F-23

同じマーク同士をまとめて表示

地点が登録された順に表示

フォルダごとに表示
(表示したい登録地点が
入っているフォルダを
タッチ)



マップコードで目的地を探す

ガイドブックなどに掲載されているマップコードから、周辺付近の地図を表示することができます。

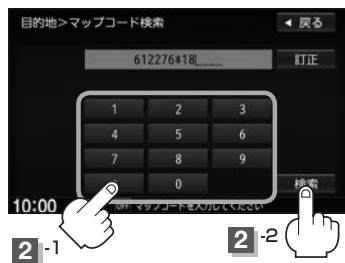
1 目的地メニュー(☞ A-14)から **マップコード** をタッチする。

：マップコード入力画面が表示されます。

2 マップコードを入力し、 **検索** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は
☞ 「ルート探索をする」D-4



アドバイス

マップコードについて

- 6～10桁の数字で地図上の位置を表すコードで、施設などの位置を示すためにガイドブックなどに掲載されています。
- 本機では、地図画面でカーソルを合わせた場所のマップコードを表示します。
- 入力したマップコードのデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、入力画面に戻ります。

***** について

マップコード入力後、***** をタッチし2ケタの数字を追加(入力)することで、さらに細かく地点を探すことができます。

郵便番号で目的地を探す

郵便番号簿などに掲載されている郵便番号から、周辺の地図を表示することができます。

1 目的地メニュー(☞ A-14)から **郵便番号** をタッチする。

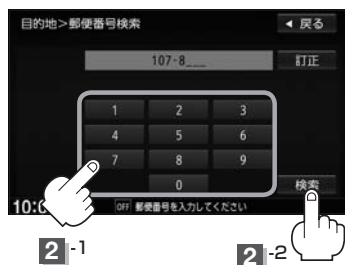
：郵便番号入力画面が表示されます。

2 郵便番号を入力し、**検索** をタッチする。

：周辺の地図画面が表示されます。

※ルート探索する場合は

☞ 「ルート探索をする」D-4



アドバイス

- 企業など専用の郵便番号は検索できない場合があります。
- 4桁以上の入力が必要です。
- 入力途中で **検索** をタッチした場合、検索リストが表示されます。

地図から目的地を探す

表示中の地図から目的地を探すことができます。

1 目的地メニュー(☞ A-14)から **地図から** をタッチする。

：この画面に入る前の地図画面を表示します。

※ 目的地として設定し、ルート探索する場合は ☞ 「ルート探索をする」D-4

緯度・経度で目的地を探す

緯度と経度(日本測地系)を入力して目的地を探すことができます。

1 目的地メニュー(☰ A-14)から **緯度経度** をタッチする。

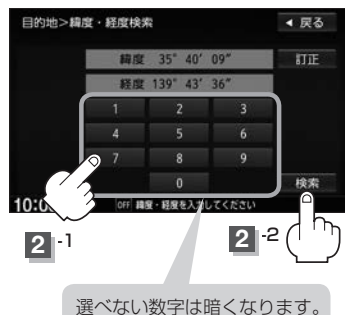
：緯度・経度入力画面が表示されます。

2 緯度・経度(日本測地系) 〔緯度(北緯)と経度(東経)]を入力し、 **検索** をタッチする。

：周辺の地図が表示されます。

※目的地として設定し、ルート探索する場合は

☰「ルート探索をする」D-4



目的地



アドバイス

- 入力した緯度と経度のデータが収録されていない場合は、地図は表示されず、入力画面に戻ります。
- 本機で表示している緯度・経度の座標数値は、日本測地系に基づくものとなっていますので、世界測地系に基づいた緯度・経度で検索すると異なる場所を表示する場合があります。

スマートフォンアプリ NaviCon について

本機はスマートフォンアプリ NaviCon に対応しています。

スマートフォンアプリ NaviCon で、行きたい場所を検索して目的地を本機に送信し、本機でルート探索・ルート案内を行うことができます。

NaviCon 対応スマートフォン

iPhone (iOS Ver5.1 以降)

Android スマートフォン (OS Ver2.3 以降)

※お手持ちのスマートフォンによっては使用できない場合があります。

準備する

- 本機にスマートフォンをハンズフリー登録してください。(登録方法 [「P」初期登録設定](#) S-2)
- 本機とスマートフォンをケーブルで接続している場合は、スマートフォンをケーブルから外してください。
- 本機に iPod を接続している場合、iPhone で NaviCon は使用できません。iPod をケーブルから外してください。

NaviCon を使用する

NaviCon アプリ側での操作方法は、NaviCon のホームページまたは NaviCon アプリ上の説明をご覧ください。

1 スマートフォン側で NaviCon アプリを起動する。

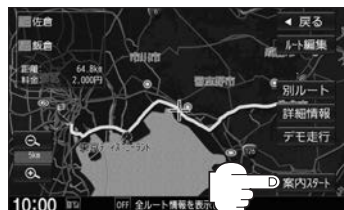
※本機と BLUETOOTH 接続がされていることをアプリ側で確認してください。

2 アプリ側で目的地を設定する。

：本機に目的地が送信され、ルート探索を始めます。

3 本機で **案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。



NaviCon アプリ側で地図をスクロール／拡大／縮小すると、本機の地図にも反映されます。

D

ルート探索をする

ルート設定について	D-2		
ルート設定の流れ	D-3		
ルート探索をする	D-4		
クイック ルート探索をする	D-6		
現在地から目的地までのルートを探索する	D-6		
現在地から自宅までのルートを探索する	D-6		
ルートを変更する	D-7		
出発地／目的地の変更	D-7		
目的地の追加	D-8		
経由地の追加	D-9		
経由地の変更／削除	D-10		
経由地／目的地など地点の入れ替え	D-10		
探索条件の変更	D-11		
		ルート案内をストップ／スタートする	D-12
		現在のルートを表示する	D-12
		現在のルートを保存する	D-13
		現在のルートを削除する	D-13
		保存したルートの呼び出し／削除をする	D-13
		渋滞地点を確認する	D-14
		経由地をスキップする	D-14
		デモ走行をする	D-15
		迂回探索をする	D-16
		再探索をする	D-17
		ルート探索条件の設定をする	D-18

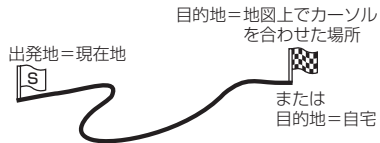
ルート設定について

本機は、登録した条件と地図ソフトのデータをもとに、出発地から目的地までのルートを探索し、ルート案内画面を表示します。このルート上を走ることによって、目的地に到着します。

ルート設定は、主に下記の方法で行います。また、探索条件設定をすることができます。

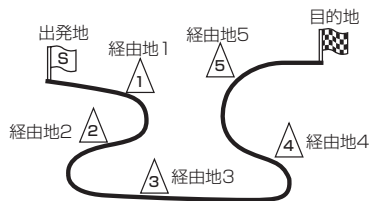
クイック ルート探索

- カーソル(→)を目的地に合わせ **設定** → **目的地セット** をタッチすると、現在地から目的地までのルートが表示されます。
☞ 「**現在地から目的地までのルートを探索する**」 D-6
- 現在地表示時に、**Quick** → **自宅へ帰る** をタッチすると、現在地から自宅までのルートが表示されます。
☞ 「**現在地から自宅までのルートを探索する**」 D-6



ルート から1ルート探索／複数ルート探索

- 複数探索** をタッチすると、5ルートを同時に探索します。表示されたルートを見て、最適なルートを選んでください。
- 途中に寄りたい場所や通りたい道などを経由地として5つまで登録できます。
- 経由地を設定すると、**複数探索** は選べません。



目的地メニューから探索方法を選んでルート探索

電話番号／施設名称／ジャンルなど、お好きな方法で目的地を登録し、現在地から目的地までのルートを探索します。

NAVI設定 から探索条件を設定 ☞ D-18

探索条件や有料道路料金表示の車種を設定することができます。

internaviルート

インターナビが提供するルート配信サービスで、下記の探索方法からお好みのルートを選ぶことができます。

- ① 時間と料金のバランスがよい **スマートルート**
- ② 燃料消費が最も少なく、CO₂排出量も削減する **省燃費ルート**
- ③ 最も早く目的地に到着できる **最速ルート**
- ④ 無料道路で最も早く目的地に到着できる **最速無料優先ルート**
- ⑤ ETC割引を最大限に活用できる **ETC割引ルート**

また、目的地を設定後にインターナビがおすすめルートを提案するサービスもあります。(シーニックルート)

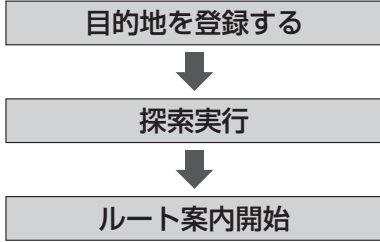
※インターナビの提供サービス変更に伴い、ルートの種類は変更される場合があります。

※設定した目的地によっては、シーニックルートを提案しない場合があります。

ルート設定の流れ

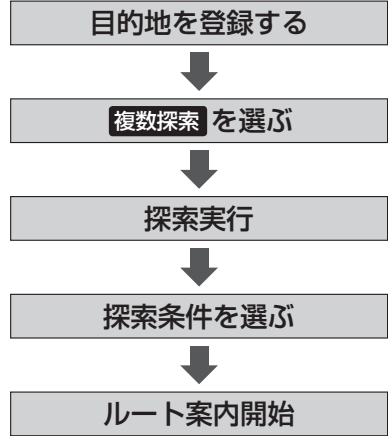
1 ルート探索

地図ソフトのデータをもとに、本機がルートをもとに1つ探索する簡単な方法です。



複数ルート探索

有料道路や距離、道幅などの条件から5ルートを表示し、その中から最適なルートを選ぶ探索方法です。



ルート

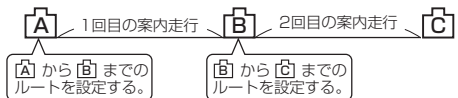
探索条件について

推奨	高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索
有料優先	高速道路や有料道路を通るルート優先的に探索
一般優先	国道や県道などを通るルート優先的に探索
距離優先	走行距離がなるべく短くなるようなルート優先的に探索
道幅優先	なるべく道幅が広いところを優先的に探索
internavi ルート	インターナビより配信される探索条件から選んでルートを探索 (複数ルート探索ではinternaviルート探索は行いません。)



アドバイス

- ルート探索中に車のエンジンスイッチを0(ロック)に入れると、ルート探索を中断します。この後に車のエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にすると前回探索途中のルートは中止(削除)されています。
- 現在地を出発地にする場合は、ルート設定をする前に、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 経由地が設定されている場合は複数ルート探索はできません。
- 出発地と目的地との距離が長いほど、また、1ルート探索より複数ルート探索の方が、ルート探索に時間がかかります。
- 出発地と目的地との距離が長すぎると、メッセージが表示され、ルート探索できない場合があります。
例えば、A地点からC地点に行く場合、途中のB地点で区切り、ルートを2回に分けてください。



- 細街路の時間規制は考慮されない場合があります。

ルート探索をする

1

目的地メニュー(☞ A-14)から検索方法を選ぶ、
または **ルート** → **ルート編集** → **☞** をタッチする。

この後は、選んだ方法で登録する場所周辺の地図画面を表示します。

- **名称** ☞ C-2
- **電話** ☞ C-4
- **住所** ☞ C-6
- **履歴** ☞ C-7
- **自宅**
- **周辺施設** ☞ C-8
- **登録地点** ☞ C-16
- **ジャンル** ☞ C-12
- **地名** ☞ C-6
- **マップコード** ☞ C-17
- **郵便番号** ☞ C-18
- **地図から** ☞ C-18
- **緯度経度** ☞ C-19
- **目的地付近** : 目的地の地図を表示
- **出発地付近** : 出発地の地図を表示
- **現在地付近** : 現在地の地図を表示



アドバイス

目的地メニューから **自宅** を選んだ場合、☞ D-5 手順 **3** に進んでください。

2

目的地を設定する。

地図のみ表示されたら	設定 → 目的地セット をタッチ
設定MENUと共に表示された目的地で良い	目的地セット をタッチ
設定MENU表示中、目的地の位置調整をする	閉じる または地図画面をタッチ→カーソルを目的地に合わせる → 設定 をタッチ → 目的地セット をタッチ

- 目的地メニューから探索した場合、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。(設定によっては表示されません。)
- **ルート** から探索した場合、目的地を登録すると、ルート編集画面に戻ります。**探索開始** をタッチすると、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、全ルート表示画面が表示されます。(設定によっては表示されません。)
- 目的地を設定する際、設定MENUまたはルート編集画面の **複数探索** をタッチすると、複数ルート(最大5ルート)探索できます。最適なルートを選んでください。

3

ルート案内を開始する。

■ 1 ルート探索

① **案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。

全ルート表示画面



ルートの詳細情報を表示

■ 複数ルート探索

※経由地を設定しているときは複数ルート探索はできません。

① **別ルート** をタッチする。

全ルート表示画面



② 探索条件をタッチしてルートを確認し、**案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「---円」と表示されます。)



ルートの詳細情報を表示




- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。
- 有料道路を優先しない設定にしている場合、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。

クイック ルート探索をする

現在地から目的地までのルートを探索し、地図上に表示します。自宅が登録済みの場合は、現在地から自宅までの帰り道を探索できます。

現在地から目的地までのルートを探索する

1 地図をスクロールさせ、目的地の地図を表示する。

 「地図をスクロールする(地図を動かす)」B-5

2 カーソル(-|-)を目的地に合わせ、**設定** → **目的地セット** をタッチする。

：ルートの探索を始めます。探索完了後全ルート表示画面になります。
(設定によっては表示しません。)

案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※確認メッセージが表示されたときは、有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)上に設定する場合は **有料道路** を、一般道路上に設定する場合は **一般道路** をタッチしてください。

現在地から自宅までのルートを探索する

1 **現在地** → **Quick** → **自宅へ帰る** をタッチする。

：ルートの探索を始めます。探索完了後全ルート表示画面になります。
(設定によっては表示しません。)


案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※すでに探索されているルートがある場合、メッセージが表示されるので **はい** を選ぶとルート探索を開始します。

※自宅が登録されていない場合、メッセージが表示され、**はい** を選ぶと自宅登録方法画面が表示されるので、自宅を登録してください。



アドバイス

-  (オプション)に **自宅** を設定している場合は、 をタッチすると自宅までのルートを探索します。(オプションボタンの設定方法  G-2)
- ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。

ルートを変更する

設定したルートを修正して、新しいルートを探索することができます。

出発地の変更、目的地の変更、経由地の追加／変更／削除、経由地／出発地／目的地の入れ替え、探索条件の変更ができます。

出発地／目的地の変更

1

MENU → **ルート** → **ルート編集** をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

2

S または **旗** → 吹き出しから **変更** をタッチする。

：出発地または目的地設定画面が表示されます。



ルート

3

検索方法を選び、タッチする。

※この後は、選んだ方法で出発地／目的地に設定する場所周辺の地図画面を表示します。



4

出発地または目的地を設定する。

地図のみ表示されたら	設定 → 出発地セット / 目的地セット をタッチ
設定MENUと共に表示された出発地または目的地が良い	出発地セット / 目的地セット をタッチ
設定MENU表示中、出発地または目的地の位置調整をする	閉じる または地図画面をタッチ → カーソルを出発地または目的地に合わせる → 設定 → 出発地セット / 目的地セット をタッチ

ルートを変更する

5

探索開始 / **複数探索** を選び、タッチする。

探索開始	ルート探索が完了し 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
複数探索	ルート探索が完了したものから順に、最大5つのルートが表示されます。 (探索条件に設定したルートは優先的に探索されます。) 好きなルートを選び、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。



ナビゲーション

- 複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。
- 経由地を設定したときは、**複数探索** は選べません。
- 到着予想時刻は平均速度の設定によって異なります。
- 有料道路を優先しない設定にしている場合でも、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- 出発地を現在地と異なる場所に設定した場合でも **案内スタート** をタッチすると、現在地からルート案内を開始します。
- 事前にルートを調べたいときなど、現在地と異なる場所を出発地としたルート案内を見たい場合は、**デモ走行** をタッチしてください。[D-15]

目的地の追加

追加する地点を目的地にし、すでに設定されている目的地を経由地にすることができます。

1

MENU → **ルート** → **ルート編集** → **目的地追加** をタッチする。

2

検索方法を選び、タッチする。

3

目的地を設定する。

地図のみ表示されたら	設定 → 目的地セット をタッチ
設定MENUと共に表示された目的地が良い	目的地セット をタッチ
設定MENUが表示中、目的地の位置調整をする	閉じる または地図画面をタッチ → カーソルを目的地に合わせ 設定 をタッチ → 目的地セット をタッチ

：目的地が追加され、もとの目的地は経由地に変更されます。

4

ルートを探するには **探索開始** → **案内スタート** をタッチする。

経路地の追加

経路地を5つまで追加できます。

1 追加方法を選ぶ。

ルート編集画面から追加	MENU → ルート → ルート編集 → 追加する場所の 経路地追加 をタッチ → 経路地の検索方法を選ぶ
ルート案内中に目的地メニューから追加	目的地メニューから検索方法を選ぶ

※この後は、選んだ方法で追加経路地に設定する場所周辺の地図画面を表示します。

2 経路地を設定する。

地図のみ表示されたら	設定 → 経路地セット をタッチ
設定MENUと共に表示された経路地で良い	経路地セット をタッチ
設定MENUが表示中、経路地の位置調整をする	閉じる または地図画面をタッチ → カーソルを経路地に合わせ 設定 をタッチ → 経路地セット をタッチ

：ルート編集画面または経路地追加画面が表示されます。

3 ルート探索をする。

ルート編集画面が表示されたら	探索開始 をタッチ
経路地追加画面が表示されたら	追加 をタッチ

：ルート探索を開始します。

4 **案内スタート** をタッチする。



アドバイス

- となりあう経路地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に動かない場合があります。
- すでに通過した区間には経路地を設定することはできません。

ルートを変更する

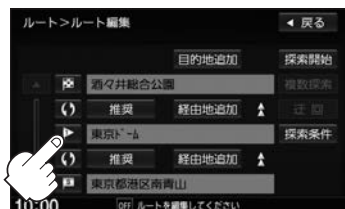
経由地の変更／削除

1

MENU → **ルート** → **ルート編集** をタッチし、
変更／削除する経由地の **▶** をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

経由地 1 を選んだ場合



2

変更または削除する。

変更する

変更 をタッチし、新しい経由地を設定する

※検索方法の画面が表示されますので、検索方法を選び、経由地を設定してください。

削除する

削除 をタッチ



アドバイス

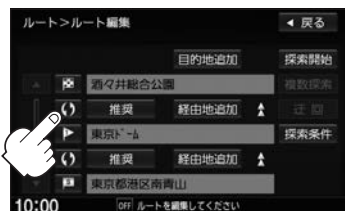
閉じる をタッチすると、変更／削除の操作を中止します。

経由地／目的地など地点の入れ替え

1

MENU → **ルート** → **ルート編集** をタッチし、
入れ替えたい場所の **↻** をタッチする。

経由地 1 と目的地を入れ替える場合



アドバイス

すでに通過した経由地の変更・入れ替えはできません。

探索条件の変更

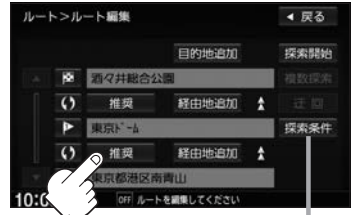
探索条件を変更することができます。

1

MENU → **ルート** → **ルート編集** をタッチし、
変更する場所の **推奨** をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

経由地1までの探索条件を変更する場合



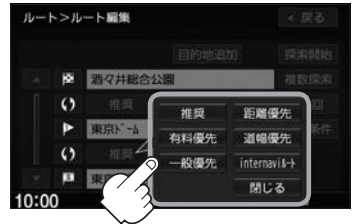
探索条件を変更

「ルート探索条件の設定をする」D-18

2

探索条件を選んでタッチする。

※探索条件の変更を中止する場合は、**閉じる** をタッチ
してください。



ルート

探索条件について

推奨	高速・有料道路／一般道路の使用を自動で判断し、ルートを探索
有料優先	高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索
一般優先	国道や県道などを通るルートを優先的に探索
距離優先	走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索
道幅優先	なるべく道幅が広いところを優先的に探索
internaviルート	インターナビより配信される探索条件から選んでルートを探索 (複数ルート探索ではinternaviルート探索は行いません。)



アドパイス

- **距離優先** を表示させると、細い道路ばかり通ったり、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
- **距離優先** で探索させた場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
- internaviルートを利用するには、インターナビ・リンク プレミアムクラブに登録する必要があります。

ルート案内をストップ／スタートする

よく知っている道など案内が必要ない場合は音声案内と画面表示を一時的に停止させたり、設定したルートの案内を再度開始させることができます。

1

MENU → ルート → 案内ストップ または 案内スタート をタッチする。

案内ストップ ルート案内を停止し、地図画面を表示

案内スタート 前回ルート探索したルート案内を開始



アドバイス

- ルート設定していない場合は選べません。(ボタンは暗くなります。)
- 現在地表示時に **Quick** → **案内ストップ** / **案内スタート** をタッチしても案内をストップ／スタートすることができます。
- ルート案内をやめても、探索されたルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートと呼び出ししたりするまでは保存されています。

現在のルートを表示する

設定したルート(出発地から目的地まで)を全画面に表示させて確認することができます。

1

MENU → ルート → 全ルート表示 をタッチする。

：全ルート表示画面が表示されます。

「入口」：最初に乗るICの名称

「出口」：目的地から一番近いICの名称

「距離」：現在地から目的地までのおおよその距離

「料金」：有料道路を使用した場合の合計料金

※高速道路を使わない場合や、一般道や一部の有料道路で

料金不明の場合は「---円」と表示されます。

出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。



アドバイス

- 3D表示のときでも、全ルート表示は平面地図画面で表示されます。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
- 表示される料金は、実際の料金と異なる場合があります。

現在のルートを保存する

20個まで保存することができます。保存したルートは、再度呼び出すことができます。

1

MENU → ルート → ルート管理 → ルート保存 をタッチする。



現在のルートは、ルートの変更や再探索をして、新たなルートを設定した場合、自動的に削除されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。

現在のルート削除する

1

MENU → ルート → ルート管理 → ルート削除 をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** を選ぶとルートを削除し、ルートメニューになります。



現在のルートは、ルートの変更や再探索をして、新たなルートを設定した場合、自動的に削除されます。

保存したルートの呼び出し／削除をする

保存したルート呼び出して、ルート探索をすることができます。また、保存しているルートを削除することができます。

1

MENU → ルート → 登録ルート をタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。

2

保存しているルートを呼び出す、または削除する。

ルートを呼び出す	リストから呼び出したいルートをタッチ ：ルート探索後、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。 ※保存したときの探索条件でルート探索されます。 ※全ルート表示画面は、設定によっては表示されません。 ※すでに現在のルートがあるときは、メッセージが表示され、 はい を選ぶとルート探索を開始します。
ルートを削除する	リストから削除したいルートの 削除 をタッチ ：メッセージが表示され、 はい を選ぶと選んだルートを削除します。

渋滞地点を確認する

設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。

1 現在地表示画面でVICSタイムスタンプボタンをタッチする。

：音声案内とともに渋滞／規制地点が表示されます。



アドバイス

- ルート上に渋滞／規制がない場合、VICSタイムスタンプボタンをタッチしても地点は表示されません。音声案内のみとなります。
- 渋滞地点は現在地から前方 10 km 以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- Quick MENU に **渋滞地点** を設定すると、**Quick** → **渋滞地点** で、渋滞地点を確認することもできます。
- ルート案内を停止している場合、VICSタイムスタンプボタンは選べません。また、FM多重の受信番組設定を **一般情報番組** に設定している場合も選べません。(VICSタイムスタンプボタンが“FM一般”と表示されているとき)

経路地をスキップする

ルート案内時、経路地を設定している場合、検索した経路地に立ち寄る必要がなくなったときなど、経路地を通過済みとしてルートを再探索することができます。

※通過していない経路地がある場合に選べます。

1 **MENU** → **ルート** → **経路地スキップ** をタッチする。

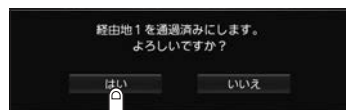
：メッセージが表示されます。

2 **はい** をタッチする。

：ルートが再探索され、ルート案内画面に戻ります。

※経路地のスキップは、次の経路地がスキップ(通過済み)されます。

※経路地を通過済みにならない場合は、**いいえ** をタッチすると、ルートメニューに戻ります。



デモ走行をする

設定したルートを画面に表示し、地図上でそのルートを走ってみることができます。(これをデモ走行と呼びます。)ルート情報表示、音声案内をすることもでき、出発前に前もってルートを確認するのに便利です。

1

MENU → **ルート** → **全ルート表示** をタッチする。

: 全ルート表示画面が表示されます。

2

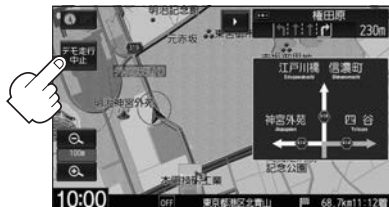
デモ走行 をタッチする。

: デモ走行が開始されます。



3

デモ走行を終えるには **デモ走行中止** または **MENU** をタッチする。



アドバイス

- デモ走行を終了しても、ルートは設定されています。走行を開始するとルート案内を開始します。
- デモ走行時、交差点拡大図を表示しない／道路名表示をしない／音声案内が遅れる／自車マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。
- デモ走行中の動作(操作など)は、実際の操作と異なります。(Quick MENUなどは操作できません。また、軌跡の表示はしません。)
- 上記手順 **2** で **詳細情報** をタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
- デモ走行中に **▶** をタッチすると、JCTビュー、交差点拡大図表示を一時的に消すことができます。再度表示したい場合 **◀** をタッチしてください。

迂回探索をする

ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

1

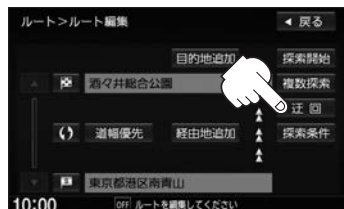
MENU → **ルート** → **ルート編集** をタッチする。

: ルート編集画面が表示されます。

2

迂回 をタッチする。

: 迂回距離選択画面が表示されます。



3

迂回距離を選ぶ。

: 選んだ距離の迂回ルートを再探索します。



アドバイス

- 保存ルート呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 他の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。(すでに通過している経由地は除く。)

再探索をする

本機はルート案内走行時に設定ルートから外れると自動的に再探索(リルート)するように初期設定されていますが、再探索しない設定にしている場合にルート案内走行時に設定ルートから外れてしまった場合、下記の手順(手動)で再探索することができます。

再探索が完了すると、古いルートが消えて、新しいルートが表示されます。

※あらかじめQuick MENUに「再探索」を設定しておく必要があります。

☞ 「Quick MENUを設定する」B-9

1 現在地表示画面で、Quick → 再探索 をタッチする。

：再探索条件設定画面が表示されます。



2 探索条件を選んでタッチする。



アドバイス

- 経由地を設定している場合は、経由地を通るルートを探します。(すでに通過した経由地は除く。)
- 経由地を設定している場合、選んだ探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行ってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行ってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地(現在地)が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。

ルート探索条件の設定をする

ルートを探査する条件を変更することができます。次に行うルート探索から、変更後の条件で探索します。

1

MENU → 設定 → NAVI設定 → 探索条件 をタッチする。

：探索条件設定画面が表示されます。

2

探索条件を選んでタッチする。



探索する条件を設定

車種別に有料道路料金表示を設定



自動再探索する／しないを設定

フェリーを優先する／しないを設定

季節規制を考慮する／しないを設定



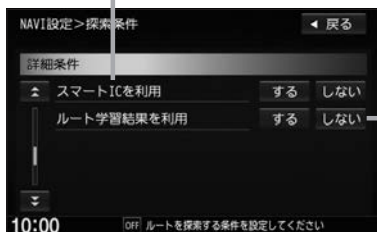
時間規制／曜日規制を考慮する／しないを設定

- 祝祭日指定の時間規制のある道路では、一年中規制があるものとしてルート探索します。
- 実際の規制とは異なる場所もありますので、実際の交通規制に従って走行してください。

利用できるスマートIC(SA/PA)などから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジを利用する／しないを設定

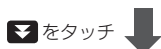


利用できるスマートIC(SA/PA)などから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジを利用する／しないを設定



過去の交通状況データや自車の走行履歴などをもとにしたルート学習結果を利用する／しないを設定

※上記の探索条件で「距離優先」を選んでいる場合は、ルート学習結果を考慮しない場合があります。



VICS情報をもとにVICS自動再探索する／しないを設定

※internavi交通情報を考慮 **しない** に設定するとボタンが暗くなり選べなくなります。

※FM VICSのみの場合は、規制による自動探索は行いますが、渋滞による自動探索は行いません。



internavi交通情報をもとに渋滞や交通規制を考慮する／しないを設定



● **推奨**、**有料優先**、**一般優先**、**距離優先**、**道幅優先**、**internaviルート** は、いずれか1つ設定できます。

- ルート探索条件の変更はルート編集からも変更することができます。[D-11]
- ルート案内中に探索条件を変更し **戻る** をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で **一般優先** または **距離優先** を選んでいる場合でも、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- フェリーを優先 **する** に設定していても、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にはない)場合は、陸路になります。
- フェリーを優先 **する** に設定していても、フェリー航路を優先しない場合もあります。

料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 首都高速などの単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行っても、料金は表示されません。
- 1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行うと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行った場合は、料金表示はされず、「---円」と表示される場合があります。(ルートの出発地／目的地が高速(有料)道路上にある時も、料金の表示は「---円」となります。)
- “〇〇IC”を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行わない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- 全ルート表示画面では出発地から目的地までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- 新規開通道路または料金非対応路線を含むルートの場合は、「---円」または実際の料金と異なる場合があります。

ルート探索条件の設定をする

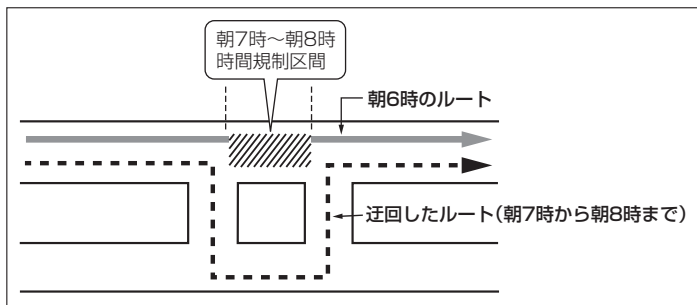


スマートICについて

- スマートICとは、高速道路の本線やSA・PAから乗り降りができるように設置されたETC搭載車両専用のインターチェンジ(IC)のことです。
 - 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行っていますが、対象車種を考慮したルート探索は行っていません。(営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。)
- ※ETCを搭載していない車両は通行できません。
※通行可能車両、通行可能時間などが制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

時間規制道路を考慮について

下記斜線部分に朝7時から朝8時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。



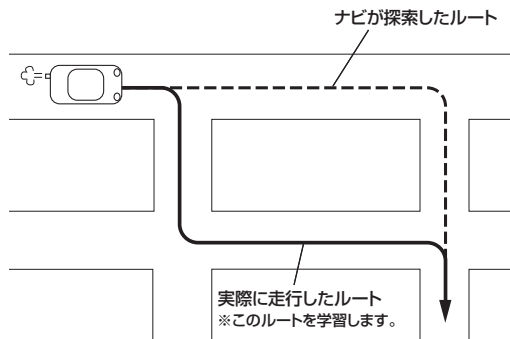
※ルート探索した時間が朝6時のときは迂回しないルート探索をしますが、実際に運転されていて朝7時を過ぎると自動的に再探索され、迂回するルートに変わります。

ルート学習結果について

ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。

※探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。

※ルート学習結果を初期化するには「 「データを初期化(消去)する」G-21」をご覧ください。



VICS自動再探索について

- VICS自動再探索 **する** に設定すると、ルート前方に通行止めなどの規制情報が存在した場合に、自動でルートを再探索します。
- 探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。

E

情報を見る

ETC 情報を見る	E-2		
交通情報／一般情報の操作の流れ	E-3		
情報の消去	E-3		
交通情報 (VICS 情報) の画面	E-4		
交通情報 (VICS 情報) とは	E-4		
マーカー一覧表	E-5		
一般情報の画面	E-6		
一般情報とは	E-6		
一般情報の内容 (番組)	E-6		
一般情報放送局	E-6		
緊急情報を見る	E-7		
緊急情報について	E-7		
交通情報／一般情報を選局する	E-8		
自動選局	E-8		
自動選局をやめる	E-9		
手動選局	E-9		
エリア選局	E-10		
		プリセット (保存) する	E-11
		プリセット (保存) 呼び出しをする	E-12
		プリセット (保存) の上書きをする	E-12
		internavi 情報について	E-13
		本体情報を見る	E-13
		eco ドライブ情報を設定する	E-14
		eco ドライブ設定をする	E-15
		評価履歴を見る	E-16
		グラフ表示で見る	E-16
		評価履歴を削除する	E-17

ETC 情報を見る

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCの利用履歴や、ETC管理情報を表示することができます。

1

MENU → **情報** → **ETC 情報** をタッチする。

： ETC 情報画面が表示されます。

2

管理情報または履歴を表示する。

車載器情報を表示する	車載器情報 をタッチ ： ETC 本体の登録内容が表示されます。
カード情報を表示する	カード情報 をタッチ ： カード情報内容が表示されます。
履歴を表示する	利用履歴 をタッチ ： 今までの利用履歴が最大 100 件まで日付の新しい順に表示されます。 ※地図ソフトに収録されていない料金所の名称は“登録なし”と表示されます。



アドバンス

接続可能なETC車載器(ナビ連動タイプ)について詳しくは、Honda 販売店へご相談ください。

交通情報／一般情報の操作の流れ

FM多重放送を使って提供される交通情報(VICS)と一般情報(各放送局が独自に製作して放送している文字情報)を表示することができます。

1

MENU → **情報** → **FM多重** → **受信番組設定** をタッチし、受信する情報を選ぶ。

交通情報を表示する	交通情報番組(VICS) をタッチ
一般情報を表示する	一般情報番組 をタッチ

2

手順 **1** で選んだ情報を放送している放送局を受信し、見たい情報を選ぶ。

- ☞ 「交通情報(VICS 情報)の画面」E-4
- ☞ 「一般情報の画面」E-6
- ☞ 「緊急情報を見る」E-7
- ☞ 「VICS表示の設定をする」F-18



アドバイス

- よく使う放送局はプリセット(保存)しておく便利です。☞「プリセット(保存する)E-11
- 交通情報番組を受信する設定にしているときは、VICSタイムスタンプボタンに、交通情報提供時刻を表示します。一般情報番組を受信する設定にしているときは、VICSタイムスタンプボタンに一般情報スタンプ(“FM一般”)を表示します。

情報の消去

次の場合は、本機で受信した情報が消去されます。

- 車のエンジンスイッチを0(ロック)にしたり、受信周波数が変わると受信した情報が消去される場合があります。
- 渋滞情報保存時間が経過した場合、消去されます。
- 受信する情報(交通情報／一般情報)を切り替えた場合、切り替える前の情報は消去されます。(たとえば、交通情報を受信していて、一般情報に切り替え、再度、交通情報に切り替えた場合、前回受信していた交通情報は消去されています。ただし、レベル3情報については切り替える直前のデータが保持されるため、一定時間の表示は可能です。)

情報

交通情報(VICS情報)の画面

交通情報(VICS情報)とは

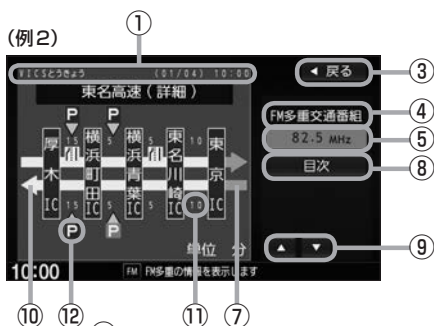
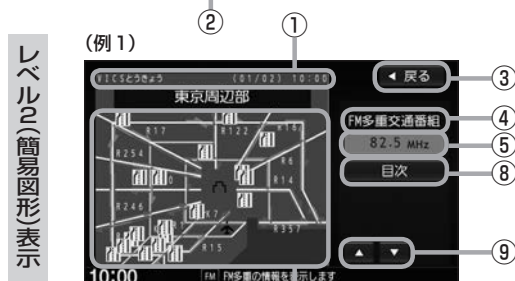
FM多重放送局の中には、VICSセンターから提供されるVICS情報(レベル1～レベル3)を放送している局^{*1}があります。本書および画面表示では、このVICS情報を“交通情報”とも呼んでいます。

*1…本書では交通情報を放送しているFM多重放送局を“VICS放送局”と呼んでいます。

交通情報の表示には、3種類(レベル1、レベル2、レベル3)があります。

※表示形式は、放送局によって異なる場合があります。

※表示内容は更新(変更)される場合があります。



- ① **ヘッダー文**
VICS 放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。
- ② **表示内容**
- ③ **戻る ボタン**
1つ前の画面に戻ります。
- ④ **受信中の情報**
表示中の情報が交通情報であることを示します。
- ⑤ **受信中の周波数**
- ⑥ **表示内容選択ボタン**
- ⑦ **渋滞情報**
【レベル2表示の場合】
赤色：渋滞 橙色：混雑
※渋滞方向を矢印で表示します。
【レベル3表示の場合】
赤色：渋滞 橙色：混雑 緑色：渋滞なし 黄色：規制
※渋滞の方向を矢印で表示します。
←：交通情報
- ⑧ **目次 ボタン**
目次画面に戻ります。
※暗い項目は選べません。
- ⑨ **▲ / ▼ ボタン(ページ戻し/送り)**
ページ戻し/送りをします。
※2ページ以上ある場合にのみ表示され、暗い項目は選べません。
- ⑩ 高速・有料道路がこの先も続くことを示します。
この先の情報提供がない場合は灰色です。
- ⑪ **矢印方向の次の地点までの所要時間(5分単位)**
この例の場合は、東京ICから東名川崎ICまで、約10分かかることを示しています。
- ⑫ **VICS 情報マーク**
[マーク一覧表] 下記
- ⑬ **VICS タイムスタンプボタン**
 - 交通情報の提供時刻を表示します。
※表示可能なレベル3情報がないときは“--:--”を表示します。
 - ※一般情報を受信する設定になっている場合は、“FM一般”を表示します。
 - ルート案内中にタッチすると、渋滞/規制を確認することができます。
- ⑭ **マーク詳細情報**
地図をスクロールさせてVICS 情報マークにカーソル(→)をあわせると、マーク詳細情報が表示されます。



アドハイス

- 渋滞情報は、渋滞や混雑がない場合、または情報が不明な場合は表示されません。
- 縮尺によってはレベル3表示できない場合があります。
- レベル3表示の情報提供時刻は、レベル1やレベル2表示の情報提供時刻と一致しない場合があります。
- 情報提供時刻が表示されているとき(“--:--”表示ではないとき)に、レベル3が表示できます。
- 受信状況によっては、3種類(レベル1～レベル3)の情報を全て表示することはできない場合があります。

マーク一覧表

交通情報によっては、下記のマークが表示されます。

※下記マークは一例です。

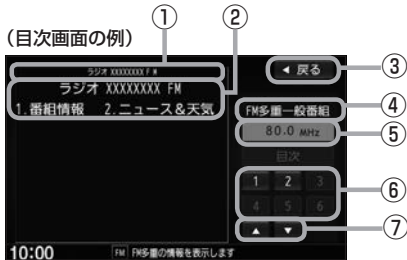
事故	工事	通行止め/閉鎖	進入禁止	駐車場(混雑)	対面通行	入り口閉鎖	速度規制 ^{80km/h}
故障車	凍結	片側交互通行	駐車場(空)	駐車場(不明)	車線規制	大型通行止め	
路上障害	作業	チェーン規制	駐車場(満)	駐車場(閉)	徐行	入り口制限	


一般情報の画面

一般情報とは

FM多重放送局の中には、各放送局が製作した文字情報(レベル1)を放送している局*1があります。本書および画面表示では、この文字情報を“一般情報”と呼んでいます。

* 1…本書では一般情報を放送しているFM多重放送局を“一般情報放送局”と呼んでいます。



 ページ数は番組によって異なり、番組によっては自動的にページ送りするものもあります。

①ヘッダー文

放送局名、番組名、ページなどを表示します。

②表示内容

③戻るボタン

1つ前の画面に戻ります。

④受信中の情報

表示中の情報が一般情報であることを示します。

⑤受信中の周波数

⑥表示内容選択ボタン

⑦▲/▼ボタン

ページ戻し/送りをします。

一般情報の内容(番組)

1つの放送局から、同時に複数の番組が放送されています。番組の数や内容は、放送局によって異なります。番組は目次画面で選ぶことができます。

番組は大きく次の2つに分けられます。

●連動情報番組(番組情報チャンネル)

FM音声放送と連動した番組です。放送中の曲名、アーティスト名、リクエストの受付電話番号など、音声放送に関連した内容です。音声放送に合わせて、放送局が内容を変えていきます。

●独立情報番組(天気予報、ニュース&スポーツ、交通情報、エンターテインメントチャンネルなど)

FM音声放送とは関連のない、独立した番組です。ページ送りは、放送局が行う場合もあります。

※番組の名称、数、内容などは、放送局によって異なります。また、番組の更新情報を受信すると、自動的に本機内に保存している一般情報が更新されます。

一般情報放送局

一般情報放送局(民放FM放送局)には、JFN系列/JFL系列/独立局などがあります。

一般情報番組を受信する設定にしている場合は、現在地周辺の最新エリアの放送局を受信します。



- 各放送局の放送休止時間帯は一般情報を受信できません。
- 電波の状況によっては、FM音声放送は受信できても、一般情報は受信できない場合があります。
- 一般情報は親局の中継局でも受信できます。

緊急情報を見る

交通情報を受信中は、交通情報の緊急情報番組を受信します。
また、一般情報を受信中は、一般情報の緊急情報番組を受信します。

1

MENU → **情報** → **FM多重** → **緊急情報** をタッチする。

※情報を受信していないときは、ボタンは暗くなります。

※情報表示中に新しい情報を受信すると、自動的に情報を書き替えます。

緊急情報について

受信中の放送局の緊急情報番組を受信すると、音声で受信したことを知らせます。

- 現在地、スクロール画面、トップメニュー画面、AV画面表示時などに受信した場合は、自動的に情報を表示します。ただし、再探索中などは割り込み表示しません。
※しばらくすると緊急情報画面は消え、自動的に現在地表示に戻りますが、緊急情報表示画面で、**▶** をタッチして、割り込み前の画面に戻すこともできます。
- 交通情報(文字情報／図形情報)表示中、または一般情報表示中に受信した場合は、他の情報より優先して、受信した緊急情報を表示します。この場合、緊急情報表示画面で、**戻る** をタッチすると、メニューに戻ります。
- 上記以外のときに受信した場合、緊急情報を見るには **MENU** → **情報** → **FM多重** → **緊急情報** をタッチしてください。



アドバイス

- 緊急情報は、見終わった後も消えません。再度緊急情報を見るときは **MENU** → **情報** → **FM多重** → **緊急情報** をタッチすると表示されます。

※情報を消去する行為をした場合は、緊急情報も消えます。

歯 「情報の消去」E-3

- 緊急情報表示をやめる場合は、**現在地** / **MENU** / **戻る** をタッチしてください。

交通情報／一般情報を選局する

交通情報を見るにはVICS放送局を受信、一般情報を見るには一般情報放送局を受信してください。
選局には、自動選局、手動選局、エリア選局の3つの方法があります。



受信した放送局をプリセット(保存)しておく、後で呼び出すことができます。

アドバイス

【】「プリセット(保存)する」E-11

自動選局

自動選局に設定すると、受信中の電波が弱くなった場合、自動的に電波の強い周波数に切り替わります。

1

MENU → **情報** → **FM多重** → **周波数設定** をタッチする。

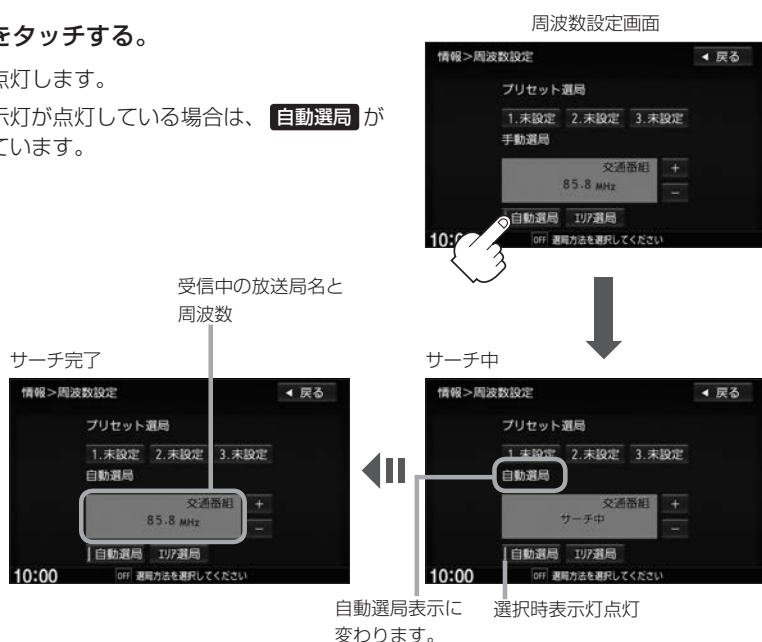
: 周波数設定画面が表示されます。

2

自動選局 をタッチする。

: 表示灯が点灯します。

※すでに表示灯が点灯している場合は、**自動選局** が設定されています。



放送局が受信できるまでは、周波数設定画面は“サーチ中”を表示したままとなります。電波状況が悪く、自動選局で放送局が受信できない場合は、手動選局(【】 E-9)またはエリア選局(【】 E-10)を行ってください。

アドバイス

自動選局をやめる

周波数設定画面が“自動選局”表示になっているときは、自動選局機能が働いて、受信中の電波が弱くなると、自動的に電波の強い周波数(放送局)に切り替わります。自動選局をやめる場合は、**自動選局**をタッチして表示灯を消灯し、表示を“手動選局”に変えてください。

手動選局

手動で周波数を合わせることができます。

1

MENU → **情報** → **FM多重** → **周波数設定** をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

2

+ / **-** をタッチし、
受信したい周波数を表示させる。

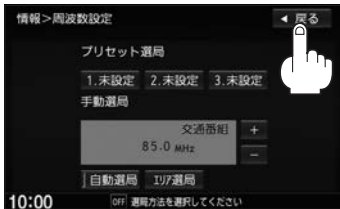
※ **+** をタッチすると、0.1 MHzアップ、長押しすると始めは0.1 MHzアップし、その後1 MHzずつアップします。
- をタッチすると、0.1 MHzダウン、長押しすると始めは0.1 MHzダウンし、その後1 MHzずつダウンします。



情報

3

戻る をタッチする。



手順 2 で表示させた周波数に
変わります。

エリア選局

現在地周辺のFM放送局リストが表示され、選んだ放送局を受信します。



電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなり、受信できない場合があります。その場合は手動選局で周波数を設定してください。【】「**手動選局**」E-9

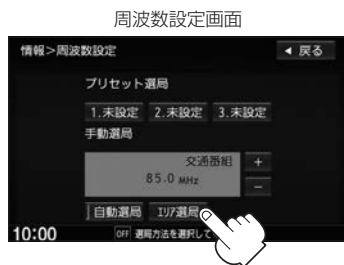
1

MENU → **情報** → **FM多重** → **周波数設定** をタッチする。

：周波数設定画面が表示されます。

2

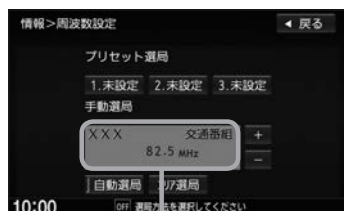
エリア選局 をタッチする。



3

受信する放送局を選び、タッチする。

現在地周辺のFM放送局リスト



リストで選んだ放送局を受信

プリセット(保存)する

放送局を3局までプリセット(保存)できます。

- 1 プリセットしたい放送局を受信する。
(画面は、周波数設定画面のままにしておきます。)

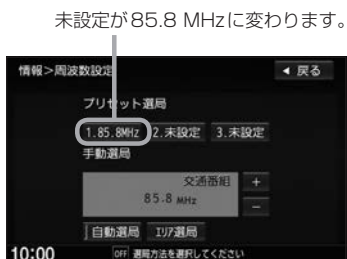
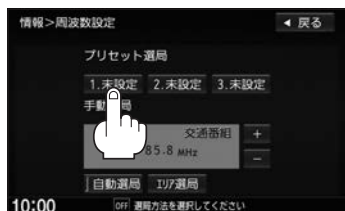


アドバイス

自動選局にしている場合は、自動選局を止めてください。自動選局のままにしておくと、受信中の電波が弱くなった場合に本機はサーチを始めてしまい、周波数が変わってしまいます。

「自動選局をやる」E-9

- 2 保存する場所(1.未設定 / 2.未設定 / 3.未設定)を選び、長押しする。



未設定が85.8 MHzに変わります。



アドバイス

上記手順 2 で、すでに他の放送局が保存されている場所を選ぶと、保存されている放送局を消去して、新しい放送局を保存します。

プリセット(保存)呼び出しをする

プリセット(保存)した放送局を呼び出すことができます。

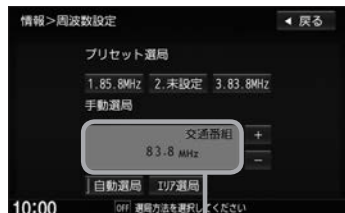
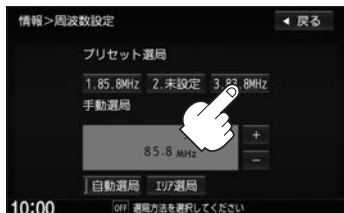
1

MENU → 情報 → FM多重 → 周波数設定 をタッチする。

: 周波数設定画面が表示されます。

2

呼び出す周波数を選び、タッチする。



85.8 MHzが83.8 MHzに変わります。

※プリセットを呼び出したときは、手動選局表示になります。

プリセット(保存)の上書きをする

プリセットした放送局に新しい放送局を上書きすることができます。

1

MENU → 情報 → FM多重 → 周波数設定 をタッチする。

: 周波数設定画面が表示されます。

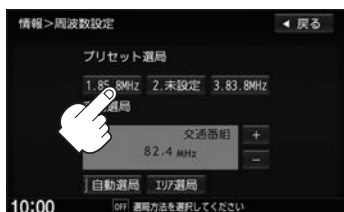
2

新しい放送局を呼び出す。

☞ 「交通情報／一般情報を選局する」E-8

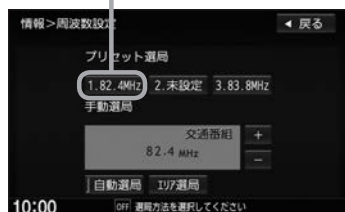
3

上書きしたい場所を選び、長押しする。



長押しする

85.8 MHzが82.4 MHzに変わります。



internavi 情報について

internavi に接続して、インターナビが提供する情報を見ることができます。

1

MENU → 情報 → **internavi 情報** をタッチする。

2

各操作は、別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

本体情報を見る

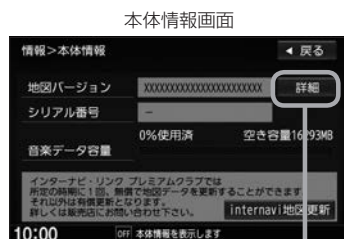
情報

地図データのバージョン、本体のシリアル番号、音楽データ容量を見ることができます。

1

MENU → 情報 → **本体情報** をタッチする。

: 本体情報画面が表示されます。



地図データの詳細を表示

ecoドライブ情報を設定する

走行中の「加速」や「減速」「アイドリング時間」などをGPS衛星の信号をもとに計算し、ドライビングスタイルが環境にやさしく無駄の少ない運転(ecoドライブ)ができていないか評価して、その情報を確認することができます。

1

MENU → **情報** → **ecoドライブ** をタッチする。

: ecoドライブ情報画面が表示されます。



ecoドライブ情報画面について

- 1日の評価時間内の結果をグラフで表示します。

評価レベル 初級で評価した場合、**B**マークを表示

急加速 急に加速した回数

急減速 急に減速した回数

eco速度 規定速度以上で走行した時間(法定速度とは異なりますのでご注意ください。)

アイドリング 車両停車時間(一定時間以上の停車をアイドリングとします。)

総合評価 総合評価をA～Eの5段階で判定

ecoドライブ情報画面



- この評価は本機独自の評価です。グラフの数が5つのときはA、4つのときはB、3つのときはC、2つのときはD、1つのときはE評価です。グラフの数が多いほど環境にやさしく、無駄の少ない運転ができていないことを意味します。

2

ecoドライブ評価を中止/開始する。

ecoドライブ評価を開始する

ecoドライブ評価開始 をタッチする。

: ecoドライブ評価を開始します。

※現在地画面を表示させると情報バーに

eco マークを表示します。

ecoドライブ情報画面



■ ecoドライブ評価を止める

ecoドライブ評価中止 をタッチする。

：ecoドライブ評価を中止します。

※現在地画面を表示させると情報バーの

eco マークが消えます。



ecoドライブ設定をする

1

MENU → **情報** → **ecoドライブ** → **設定** を
タッチする。

：ecoドライブ設定画面が表示されます。



情報

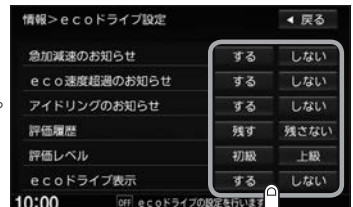
2

各種設定を選び、タッチする。

※評価レベルを変更する場合、メッセージが表示されるので、**はい** / **いいえ** を選び、タッチしてください。

※ecoドライブ評価中止時、ecoドライブ表示を **する** をタッチした場合、メッセージが表示されるので、内容を確認し、**OK** をタッチしてください。

※eco速度超過のお知らせの **する** をタッチした場合、メッセージが表示されるので、内容を確認し **OK** をタッチしてください。



アドバイス

- 手順 2 でecoドライブ表示を **する** に設定した場合、ecoドライブ評価中は現在地の地図画面に戻ったとき右画面にecoドライブ情報を表示します。ecoドライブ情報の表示を止めたい場合は、ecoドライブ表示の **しない** をタッチしてください。
- 手順 2 で評価レベルの **初級** を選ぶと、2画面表示またはecoドライブ情報を表示させたとき **B** マークが表示されます。
- ルート情報/ハイウェイモード表示中はecoドライブ表示を **する** に設定しても右画面にecoドライブ情報は表示されません。
- Quick** → **右画面表示** → **ecoドライブ** とタッチして、右画面にecoドライブ情報を表示することもできます。

評価履歴を見る

1 MENU → 情報 → ecoドライブ → 履歴 をタッチする。

: ecoドライブ評価履歴画面が表示されます。
今までの評価履歴が最大50件まで日付の新しい順に表示されます。



2 リストから見たい日時の履歴を選んでタッチする。

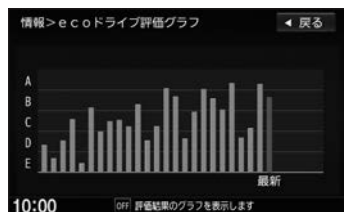
: ecoドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。



グラフ表示で見る

1 MENU → 情報 → ecoドライブ → グラフ をタッチする。

: グラフ画面が表示されます。
評価グラフは最大30件まで表示されます。



評価履歴を削除する

1 MENU → 情報 → ecoドライブ → 履歴 をタッチする。

: ecoドライブ評価履歴画面が表示されます。



2 削除したい履歴を選び、タッチする。

: ecoドライブ評価履歴の詳細画面が表示されます。



全ての評価履歴を削除

情報

3 削除 をタッチする。

: メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると履歴を削除し、評価履歴画面に戻ります。



ecoドライブ情報を設定する



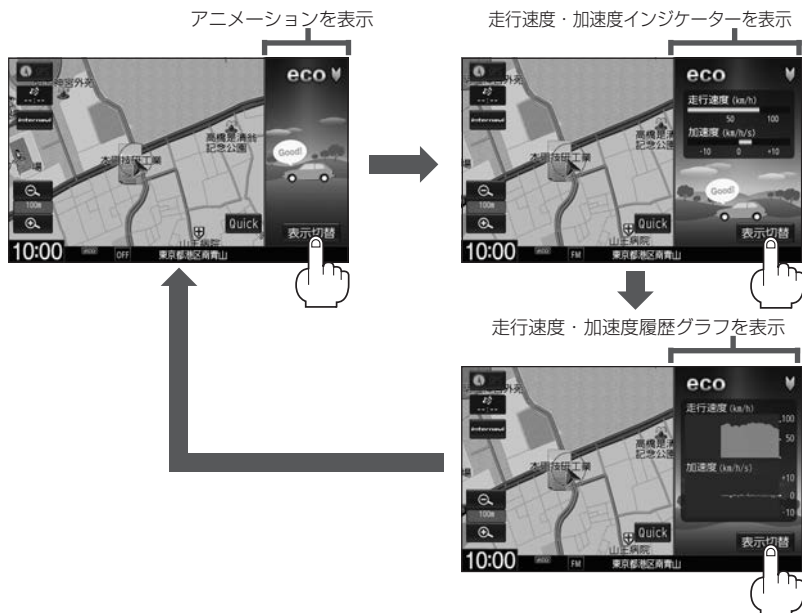
アドバイス

- E-14の手順 **2** でecoドライブ評価を開始した場合、走行中に各評価レベルの設定値を超えたときにはチャイムを鳴らし、メッセージを表示してお知らせします。

※ ecoドライブ情報を表示しているときに、チャイムを鳴らしてメッセージを表示します。

- 右画面にecoドライブ情報を表示する設定にすると右画面にアニメーション、走行速度・加速度インジケータまたは、走行速度・加速度履歴グラフを表示することができます。表示されたecoドライブ情報は、**表示切替** をタッチして、表示の切り替えをすることができます。ルート案内中などで交差点拡大図などを表示する設定にしている場合は、交差点拡大図などを優先して表示します。

※ ecoドライブ評価を開始していない場合は、右画面にecoドライブ情報を表示しません。



- ecoドライブ情報は、実際の走行状態を表すものではありません。
- アニメーション、走行速度・加速度インジケータの場合、現在の走行状態によって車の色が変わります。(水色=優良、ピンク色=注意、茶色=要注意)
- GPSが受信されていない場合は正しい評価をすることができません。
- 評価は1日単位で保存します。
- ecoドライブ情報での評価内容は、あくまでも目安です。

F

ナビゲーションの設定

地図画面の設定をする	F-2	平均時速を設定する	F-21
3D表示の角度調整をする	F-3	登録地点の編集	F-22
地図の色を設定する	F-4	登録地点を並び替える	F-27
表示項目の設定をする	F-5	自宅／登録地点の位置を修正する	F-29
ルート案内画面の設定をする	F-7	自宅／登録地点を削除する	F-30
ランドマーク表示の設定をする	F-15	SDカードから地点を登録する	F-31
自車マークの種類を設定する	F-16	パーソナルHPと同期について	F-32
現在地(自車)の位置を変更する	F-17	軌跡を使う	F-33
VICS表示の設定をする	F-18		
音声案内の音量調整／詳細設定をする	F-19		
音声案内の音量調整／消音設定をする	F-19		
音声案内の詳細設定をする	F-20		

地図画面の設定をする

メイン画面または右画面の名称の文字サイズ／吹き出し表示／標高地図を表示をする・しない／地図モード／3Dの視角調整をそれぞれ選ぶことができます。

1

MENU → **設定** → **NAVI設定** → **表示** → **地図表示設定** をタッチする。

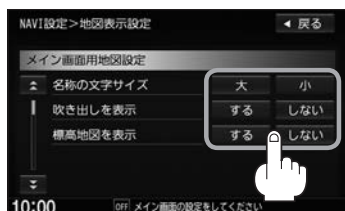
：メイン画面用地図設定画面が表示されます。

2

メイン画面または右画面の設定をする。

■ メイン画面の設定

① “メイン画面用地図設定” から変更したい設定項目を選んでタッチする。



▼ をタッチ

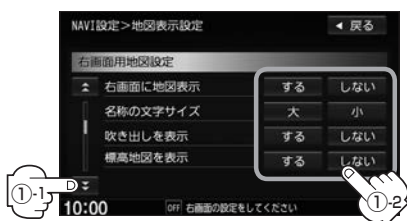


▲ をタッチ



■ 右画面の設定

① ▼ → “右画面用地図設定” を表示させ、変更したい設定項目を選んでタッチする。



▼ をタッチ



▲ をタッチ



“名称の文字サイズ” について

地図に表示されている名称の文字サイズを替えることができます。

“吹き出しを表示” について


高速道路の出入口、主要交差点の交差点名を表示することができます。表示は収録されているデータに基づいて行うため、収録されていない交差点では表示しません。



“標高地図を表示”について



地図の縮尺が10 km以上の画面で、地形地図にする／しないの設定ができます。


“地図モード”について


- 地図表示(方位)を“北方向を上”“進行方向を上”“3D”に設定できます。
地図表示(方位)は、地図画面の方位ボタンをタッチして切り替えることもできます。
各地図表示の特長については「「地図表示(方位)を切り替える」B-4
- 1 ルート探索／複数ルート探索やルート変更をするときに、目的地／経由地／出発地を登録する際の地図は“北方向を上”の地図になります。また、自車マークの位置／方位を修正する際の地図も、“北方向を上”の地図になります。

3D表示の角度調整をする

1 F-2手順 **1**、**2** に従って操作する。

2  /  をタッチして調整する。

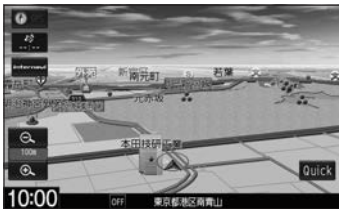
 : 角度を下げます。

 : 角度を上げます。

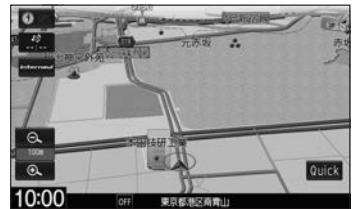


NAV
設定

見下ろし角度が低いとき



見下ろし角度が高いとき



地図の色を設定する

平面・3D地図画面時の色、地図切り替え、標高地図の色を選ぶことができます。

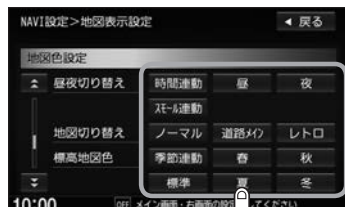
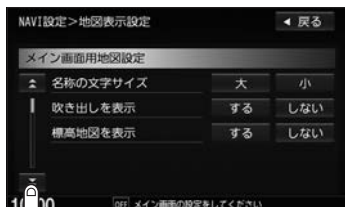
1

MENU → **設定** → **NAVI設定** → **表示** → **地図表示設定** をタッチする。

：メイン画面用地図設定画面が表示されます。

2

▼ → “**地図色設定**” を表示させ、設定したい項目を選んでタッチする。



昼夜切り替え	時間連動	日付、時間と自転車位置を考慮し、地図色を切り替え
	スモール連動	車のライトをONにすると夜モードの色に、ライトをOFFにすると昼モードの色に自動的に切り替え
地図切り替え	ノーマル	道路・文字が標準的に表示
	道路メイン	詳細地図で国道と一般道を識別しやすくするため、道路をしっかりと表示
	レトロ	彩度を落とした落ち着いた色調で表示
標高地図色	季節連動	GPSからの日付情報をもとに3月～5月は春、6月～8月は夏、9月～11月は秋、12月～2月は冬と自動的に切り替え

表示項目の設定をする

地図画面や情報バーにMAPCODE / AUDIO情報 / 緯度・経度 / 登録地点 / 右画面AVの表示または非表示の設定、地図情報の表示設定を行います。

1

MENU → **設定** → **NAVI設定** → **表示** → **地図表示設定** をタッチする。

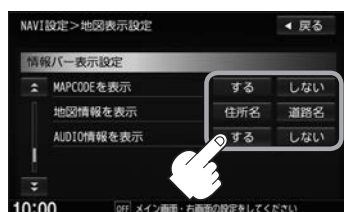
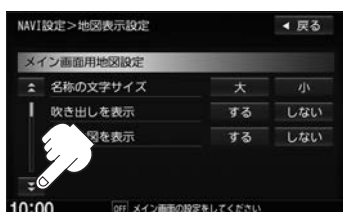
: メイン画面用地図設定画面が表示されます。

2

情報バー表示またはその他の設定をする。

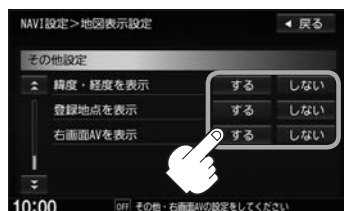
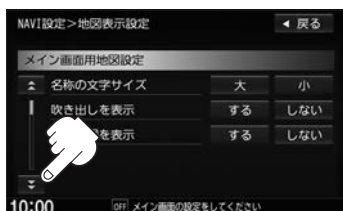
■ 情報バー表示設定

① **▼** → “情報バー表示設定” を表示させ、設定項目を選んでタッチする。



■ その他の設定

① **▼** → “その他設定” を表示させ、設定項目を選んでタッチする。



“MAPCODEを表示” について

情報バー（現在地表示時は除く）に、マップコードを表示することができます。



表示項目の設定をする

“地図情報を表示”について

- 情報バーの表示を住所名または道路名のどちらを表示させるか選ぶことができます。
- 道路名表示ができない場合は周辺の住所を表示します。
- GPS衛星電波の誤差により、実際に走行している道路名が出なかったり、近くの別の道路名が出る場合もあります。

道路名を表示する場合



“AUDIO情報を表示”について

- 現在地表示時に、情報バーに再生中の曲名や周波数、放送局名などを表示することができます。
- ※ BLUETOOTH Audio 再生時は曲名がでない場合もあります。

曲名を表示する場合



“緯度・経度を表示”について

- 地図画面(現在地表示時は除く)に、緯度・経度を表示することができます。



“登録地点を表示”について

- しない** にすると、一時的に地図上から登録地点マークを消すことができます。



登録地点マーク

“右画面AVを表示”について

- ナビ画面とオーディオ画面を左右に分割して同時に表示することができます。
- Quick MENUから設定することもできます。
- REC(録音)中でも右画面AV表示にすることができます。
- 右画面AV(ナビ+DVD)の場合、DVDの初期設定でアスペクト比を“16:9”に設定していても、その比率で表示されません。※走行中は音声のみとなります。

ナビ+DVDの場合



※走行中は音声のみとなります。

ルート案内画面の設定をする

ルート案内時に表示する内容を設定します。

1

MENU → **設定** → **NAVI設定** → **表示** → **ルート案内設定** をタッチする。

：ルート案内の設定画面が表示されます。

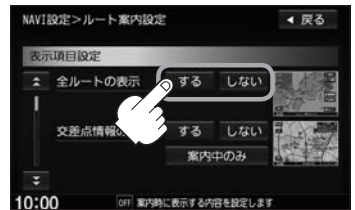
2

設定する項目を選んでタッチする。

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 全ルートの表示…………… F-7 | <input type="checkbox"/> リアル3D表示…………… F-11 |
| <input type="checkbox"/> 交差点情報の表示…………… F-7 | <input type="checkbox"/> 方面看板の表示…………… F-12 |
| <input type="checkbox"/> ルート色の表示…………… F-8 | <input type="checkbox"/> AV画面中の案内割込み…………… F-12 |
| <input type="checkbox"/> ETCレーンの表示…………… F-8 | <input type="checkbox"/> 右画面AV中の案内割込み…………… F-13 |
| <input type="checkbox"/> ルート情報の表示…………… F-9 | <input type="checkbox"/> 盗難多発地点案内…………… F-13 |
| <input type="checkbox"/> ハイウェイモードの表示…………… F-9 | <input type="checkbox"/> 目的地方向を表示…………… F-14 |
| <input type="checkbox"/> JCTビューの表示…………… F-10 | <input type="checkbox"/> EWS(緊急情報)の割込み…………… F-14 |
| <input type="checkbox"/> 交差点拡大図の表示…………… F-11 | |

■ 全ルートの表示設定

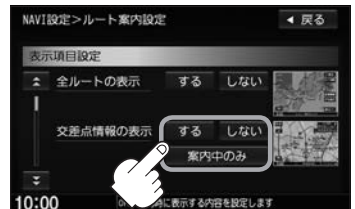
する	ルート探索終了後全ルートを表示
しない	ルート探索終了後全ルートは非表示 ※複数ルート探索後は全ルート表示となります。



NAVI
設定

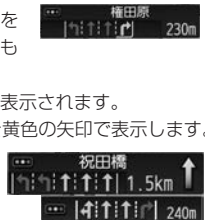
■ 交差点情報の表示設定

する	走行中は常に交差点情報を表示
しない	交差点情報を非表示
案内中のみ	ルート案内時のみ交差点情報を表示



アトバイス

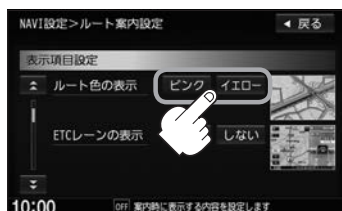
- 交差点情報は次の案内ポイントまでの距離と曲がる方向、交差点の名称を表示します。(表示される距離は目安です。実際の距離とは異なる場合があります)
※次の交差点が10 km以上の場合には交差点情報マークに“みちなり”と表示されます。
- **する** / **案内中のみ** に設定している場合、ルート案内時に曲がる方向を黄色の矢印で表示します。
- 次の案内ポイントまでにレーン情報がある場合、交差点情報の下にその交差点までの距離とレーンガイドを表示します。



ルート案内画面の設定をする

■ ルート色の表示設定

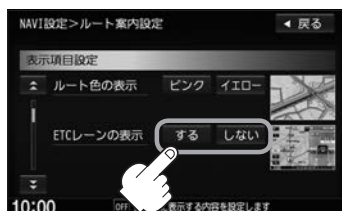
ピンク	設定ルートの色をピンクで表示
イエロー	設定ルートの色をイエローで表示



ピンク / **イエロー** のどちらを選んでも有料道路の設定ルートは青色になります。

■ ETCレーンの表示設定

する	料金所の手前でETCレーンを表示
しない	ETCレーンを非表示



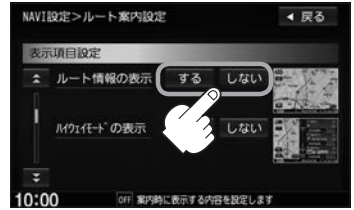
- ETCレーン表示のとき **▶** をタッチすると、一時的に消すことができます。再度表示したい場合は **◀** をタッチしてください。
- ETCレーン表示は、ETC車載器未接続時でも表示されます。
- 表示は地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
 - ・データが収録されていないETCレーンでは、ETCレーン表示はしません。
 - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ETCレーン表示など)が実際とは異なる場合がありますのでご注意ください。

ETCレーンの表示



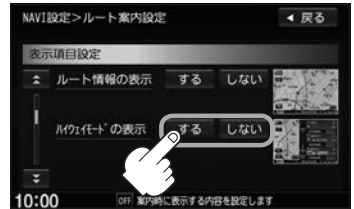
■ ルート情報の表示設定

する	ルート情報を表示
しない	ルート情報を非表示



■ ハイウェイモード設定

する	高速道路／一般有料道路走行時のみ 情報を表示
しない	情報を非表示



- “ルート情報の表示”の**する**を選ぶと、ルート探索をしてルート案内に従って走行しているとき、道路名称、曲がるべき方向／距離、高速道路／一般有料道路の各区間ごとの料金や情報などを表示します。**する**を選んだ場合、ルート情報は、ルート案内時とデモ走行時に表示できます。
- “ルート情報の表示”の**する**を選ぶと、高速道路／一般道路の情報も表示する設定になるため、“ハイウェイモードの表示”は選べなくなります。
- ハイウェイモードを表示する設定にしている場合、ルートを引きいていないと表示されません。
- ハイウェイモード設定はQuick MENUから設定することもできます。
☞「右画面に地図／情報を表示する」B-14
- 停車中に**詳細**をタッチすると、特徴や施設情報などの詳細情報を表示することができます。（探索したルートに高速道路がある場合でも、その高速道路に情報がない場合はボタンは表示されません。）
- 走行中は詳細情報は表示できません。

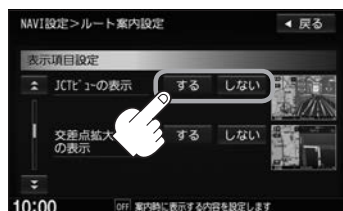


- * 1…ルート案内中に高速道路または有料道路を走行中 **SA/PA** をタッチすると、サービスエリア・パーキングエリアのみルート情報を表示します。
再度 **SA/PA** をタッチするともとの情報に戻ります。
 - * 2…ルート情報／ハイウェイモード表示に経由地や各ポイントなどへの到着時間と距離を表示します。
- ※探索したルートに高速道路または有料道路がある場合でもその高速道路または有料道路にサービスエリアまたはパーキングエリアがないときは選べません。
- VICS 情報を受信している場合、その区間の渋滞状況やVICS 情報マークを表示します。
☞「**マーカー一覧表**」E-5

ルート案内画面の設定をする

■ JCTビューの表示設定

する	JCTビューを表示
しない	JCTビューを非表示



- 高速道路や都市高速道路のJCT(ジャンクション)分岐や都市高速道路の出口(ランプ)が近づくと、その付近の案内図(JCTビュー)を表示します。案内図には、方面案内とともに、曲がるべき方向が表示されます。案内が終わると、もとの画面に戻ります。

- JCTビュー表示のとき **▶** をタッチすると、一時的に消すことができます。再度、表示したい場合は **◀** をタッチしてください。

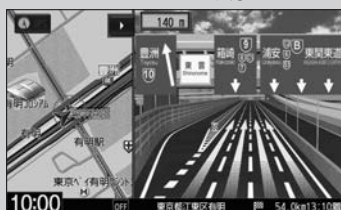
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、

- ・ データが収録されていない分岐点では、JCTビューは表示しません。

- ・ データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ランドマークなど)が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

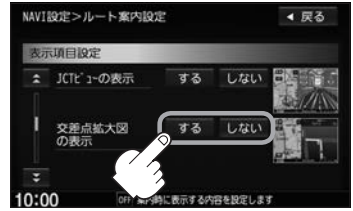
- 地図ソフトでは、JCTビューは、高速道路や都市高速道路の一部に対応しています。

JCTビューの表示



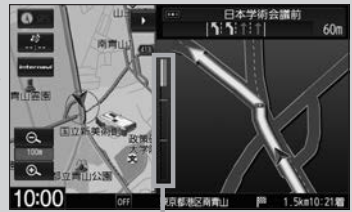
■ 交差点拡大図の表示設定

する	交差点拡大図を表示
しない	交差点拡大図を非表示



- 主要な交差点に近づくと、その交差点の拡大図を右画面に表示します。拡大図には、交差点名やランドマーク(ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、公園など、目印となる施設)とともに、曲がるべき方向が矢印で表示されます。
- GPS衛星からの電波が受信できず、正しい測位ができない場合やGPSデータの誤差が大きい場合は、交差点拡大機能は正常に働きません。また、連続する交差点間の距離が短すぎる場合も働きません。
- 交差点拡大図表示のとき **▶** をタッチすると、一時的に消すことができます。再度、表示したい場合は **◀** をタッチしてください。
- 表示は、地図ソフトに収録されているデータに基づいて行うため、
 - ・データが収録されていない交差点では、交差点拡大表示はしません。
 - ・交差点によっては、交差点名やランドマークが表示されないものもあります。
 - ・データは地図ソフト作成時のものであるため、表示された内容(ランドマークなど)が実際とは異なる場合がありますので、ご注意ください。

交差点拡大図の表示

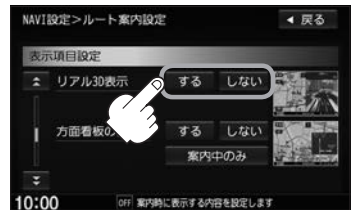


※バーの長さが短くなることによって交差点までの残距離の目安を表します。

NAV
I
設定

■ リアル3Dの表示設定

する	リアル3D交差点を表示
しない	リアル3D交差点を非表示



- ルート案内時、札幌市、仙台市、さいたま市、千葉市、東京23区、横浜市、川崎市、相模原市、新潟市、静岡市、浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、岡山市、広島市、北九州市、福岡市、熊本市の一部交差点でリアル3D交差点(立体的デザイン)を表示します。
- **▶** をタッチすると、リアル3D交差点表示を一時的に消すことができます。再度、表示したい場合は **◀** をタッチしてください。

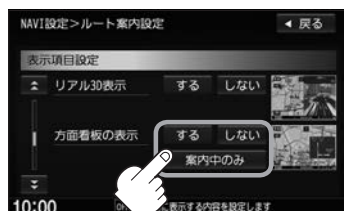
リアル3D表示



ルート案内画面の設定をする

■ 方面看板の表示設定

する	走行中は常に方面看板を表示
しない	方面看板を非表示
案内中のみ	ルート案内時のみ方面看板を表示



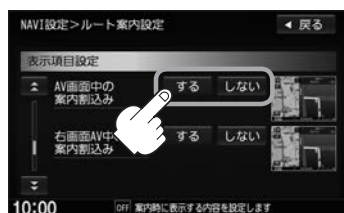
- 全国の主要交差点の国道をはじめとした一般道の行き先案内を示す方面看板(案内標識)が表示されます。看板には方面、方向が表示されます。
- 方面看板表示は交差点の約1 km手前で表示され、案内ポイントに近づくると約150 m手前で交差点拡大表示に切り替わります。



- 交差点までに距離がない(約150 m未満)の場合は方面看板は表示せず、交差点拡大表示となります。
- **する** / **案内中のみ** に設定している場合、ルート案内時に進む方向を黄色の矢印で表示します。
- **▶** をタッチすると、方面看板表示を一時的に消すことができます。再度、表示したい場合は **◀** をタッチしてください。

■ AV画面中の案内割込み設定

する	AV画面表示中に右折や左折などの情報がある場合、ナビゲーション画面に切り替え、ルート案内画面を表示 ※ルート案内終了後、AV画面に戻ります。
しない	案内割込みが発生しても、ナビゲーション画面への切り替えなし

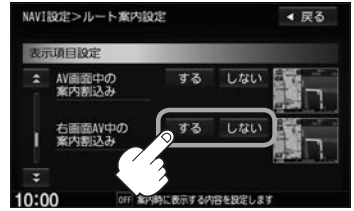


- **▶** をタッチするとルート案内画面を一時的に消すことができます。
- AV画面中の案内割込みを **する** に設定しているとき、AV画面表示中に、右折や左折などの案内割込みが発生しても、AV画面を操作している場合はナビゲーション画面に切り替わりません。
- AV画面中の案内割込みを **する** に設定しているとき、ナビゲーション画面に切り替わった際にナビゲーション画面を操作すると、AV画面には戻りません。



■ 右画面 AV 中の案内割込み設定

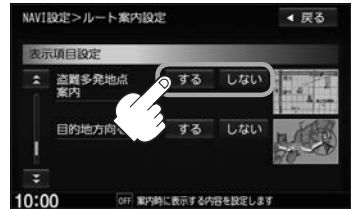
する	右画面 AV 画面表示中に右折や左折などの情報がある場合、ナビゲーション画面に切り替え、ルート案内画面を表示 ※ルート案内終了後、AV 画面に戻ります。
しない	案内割込みが発生しても、ナビゲーション画面への切り替えなし



- ▶ をタッチするとルート案内画面を一時的に消すことができます。
- 右画面 AV 表示に設定している場合、ルート案内中にルート案内画面を割り込ませて表示することができます。

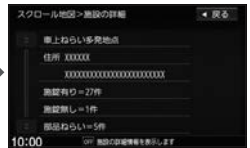
■ 盗難多発地点案内設定

する	地図上に盗難多発地点 (マーク) を表示
しない	盗難多発地点 (マーク) を非表示



- **する** を選んだ場合は、盗難多発地点の詳細情報を見ることができます。

マークは地図の縮尺スケールが 200 m 以下で表示されます。



地図をスクロールして、 マークに合わせる。

設定 をタッチ

施設詳細 を
タッチ

：過去に盗難があった地点の情報が表示されます。



- 盗難多発地点は青森県、岩手県、宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、鹿児島県、沖縄県に対応しています。

- 盗難多発地点の マークの表示は盗難の危険が高い順に赤色→黄色→青色で表示します。(地域により基準は異なります。)

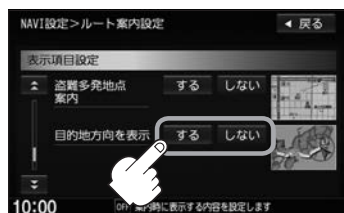
- 盗難多発地点を目的地に設定した場合、メッセージと音声の後にルート探索を開始します。目的地付近を走行するとメッセージと音声でお知らせします。

- 3D 表示では マークの表示はされませんが、地図画面上に「車上ねらい多発地点」は表示されません。また、**設定** をタッチして詳細情報を確認することもできません。詳細情報を確認したい場合は、地図表示を切り替えてください。[「地図表示(方位)を切り替える」] B-4

ルート案内画面の設定をする

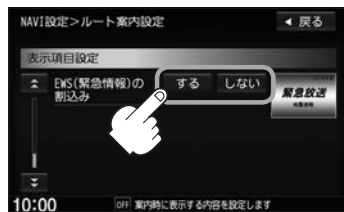
■ 目的地方向表示の設定

する	自車マークから目的地まで直線で表示
しない	目的地方向を非表示



■ EWS(緊急情報)の割込み設定

する	EWS(緊急情報)(☎ Q-14)受信時に、自動的に緊急警報放送に切り替え
しない	緊急警報放送への切り替えなし



ランドマーク表示の設定をする

特定の施設を探したいとき、または道しるべとして利用したいときなどは、各施設を地図上にマークで表示(ランドマーク表示・最大300件)させることができます。

1

MENU → **設定** → **NAVI設定** → **表示** → **ランドマーク設定** をタッチする。

: ランドマーク設定画面が表示されます。

2

リストから表示したいジャンルを選んでタッチする。

: 詳細施設が表示されます。

※ランドマーク名横に▶マーク(詳細施設)がない場合は、選んだジャンルにマーク(✓印)が付き、設定が完了します。

詳細施設がある場合は
▶マークが表示されます。



マーク(✓印)された数
ランドマークが表示できる数

3

リストから表示したい詳細施設を選んでタッチする。

: 選んだ施設にマーク(✓印)が付きます。

※ **全選択** をタッチすると全施設にマーク(✓印)が付きます。



マーク(✓印)

NAVI
設定

■ ランドマークの表示をやめる

① 上記手順 2 で表示をやめたいジャンルを選んでタッチする。

※ランドマーク名横に▶マーク(詳細施設)がない場合は、マーク(✓印)が消え、設定が完了します。

② 詳細施設をタッチする。

: マーク(✓印)が消えます。

※全解除したい場合は、**全解除** をタッチします。

4

戻る をタッチする。

: 選んだジャンルにマーク(✓印)が付きます。

ランドマーク表示の設定をする



アドバイス

- ランドマーク表示は、縮尺スケールが400 m以下の場合に表示されます。
- 複数の施設を表示する場合、情報がたくさんある地域では、地図がマークだらけになり、マークが重なり合っで見づらくなります。不要な施設は表示をやめることをおすすめします。
- ランドマークにカーソル(→)を合わせると、地図画面上に施設名が表示されます。

設定 → **施設詳細** をタッチすると施設の詳細情報を見ることができます。

施設に電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。**電話する** をタッチすると、メッセージが表示されるので **はい** を選ぶと発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(BLUETOOTH対応の携帯電話を接続する必要があります。)

※携帯電話を接続(登録)していない場合、**電話する** は選べません。(ボタンは暗くなります)



詳細情報画面



自車マークの種類を設定する

自車マークの種類を選ぶことができます。

1

MENU → **設定** → **NAVI設定** → **表示** → **カーマーク設定** をタッチする。

：カーマーク設定画面が表示されます。

2

マークの種類を選んでタッチする。



現在地(自車)の位置を変更する

走行環境やGPS衛星の状態などにより、現在地(自車)マークの位置／角度が実際の車の位置／角度とずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物のない見晴らしの良い場所を、一定速度でしばらく走行すると、自動的に現在地(自車)マークの位置／角度が修正されますが、下記の手順で、ご自分で修正することもできます。

- 1 地図をスクロールし、自車マークを表示する場所にカーソル(—|—)を合わせる。



- 2 **MENU** → **設定** → **NAVI設定** → **表示** → **自車位置設定** をタッチする。

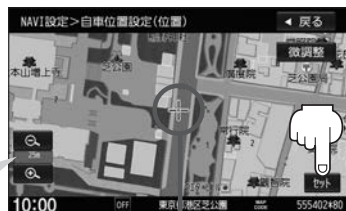
：自車位置設定(位置)画面が表示されます。

- 3 カーソル(—|—)の位置を確認し、必要であれば微調整して修正する。

- 4 **セット** をタッチする。

：自車位置設定(角度)画面になります。

最も詳細な地図を選んでおくと、より正確な位置の修正ができます。



カーソル(—|—)

- 5 矢印をタッチして、現在地(自車)マークの角度を修正し、**セット** をタッチする。

：修正した現在地の地図画面が表示されます。



5-1
5-2



現在地から目的地までのルート探索をする際、現在地(自車)マークの位置／角度がまちがっている場合は、必ず修正してください。

VICS 表示の設定をする

地図画面に交通情報(レベル3)を表示する道路や表示する項目の設定をすることができます。

1

MENU → **設定** → **NAVI設定** → **VICS** をタッチする。

: VICS 表示設定画面が表示されます。

2

表示したい道路を選んでタッチする。

: 表示灯が点灯/消灯し、マークや矢印の表示/非表示が切り替わります。

一般道	一般道路に対し交通情報を表示
有料道	有料道路に対し交通情報を表示



3

表示したい項目を選んでタッチする。

: 表示灯が点灯/消灯し、選んだ項目の表示/非表示が切り替わります。



アドバイス

- 表示したい項目の表示灯を点灯させても、レベル3表示されない場合は、表示中の地域に情報がない、または表示中の縮尺がレベル3表示できない縮尺であることが考えられます。
- 情報が多い場合は、レベル3表示するまでに数秒かかることがあります。
- レベル3表示は、地図スクロール中はデータ処理のために消える場合がありますが、スクロールを止めると表示されます。
- 地図画面に交通情報(レベル3)を表示する場合は、交通情報(VICS)を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。

☞ 「交通情報/一般情報の操作の流れ」E-3

☞ 「交通情報/一般情報を選局する」E-8

音声案内の音量調整／詳細設定をする

ルート案内時の音声案内の音量調整や合流案内／踏み切り案内／専用レーン案内／高速走行時の音声切替／VICS案内のお知らせの設定をすることができます。

音声案内の音量調整／消音設定をする

1

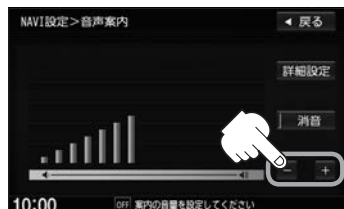
MENU → 設定 → NAVI設定 → 音声案内 をタッチする。

：音声案内画面が表示されます。

■ 音声案内の音量調整

- ① **-** / **+** をタッチして、
好みの音量に調整する。

：調整時にテスト音声が鳴ります。



■ 音声案内をやめる

- ① **消音** をタッチする。

：表示灯が点灯し、音声が消えます。
※音声を出した場合は、再度 **消音** をタッチ
してください。

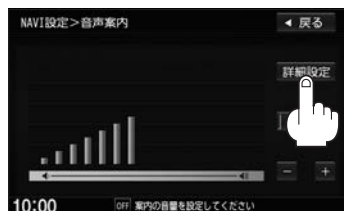


音声案内は前側の右スピーカーから出力されます。

音声案内の詳細設定をする

1

MENU → 設定 → NAVI設定 → 音声案内 →
詳細設定 をタッチする。



2

設定したい項目をタッチする。



■ 合流案内／踏み切り案内の設定

高速道路で合流地点が近くなった際の音声案内や踏み切りが近くなった際の音声案内の設定を変えることができます。

① 合流案内／踏み切り案内の設定を選んでタッチする。

常時	ルートを設定していないときでも音声案内をする
案内中	ルート案内中に音声案内をする
しない	音声案内をしない

■ 専用レーン案内の設定

ルート案内中に、右折専用道路または左折専用道路がある場合、音声で知らせる／知らせないを設定することができます。

① 専用レーン案内の設定を選んでタッチする。

ON	ルート案内中に音声案内をする
OFF	音声案内をしない

■ 高速走行時の音声切替の設定

高速走行時の音声案内の音量を自動で設定することができます。

① 高速走行時の音声切替の設定を選んでタッチする。

ON	高速走行中に自動で音量を上げる
OFF	高速走行中に自動で音量を上げない

■ VICS 案内の設定

発生した渋滞や交通規制をお知らせする音声案内の設定をすることができます。

① VICS 案内の設定を選んでタッチする。

ON	渋滞／規制情報がある場合に音声案内をする
OFF	情報がある場合でも音声案内しない



VICS 情報を受信できない場合などは、VICS 案内の **ON** を選んでいても、渋滞／規制情報を音声案内しない場合があります。

平均時速を設定する

ルート案内時に目的地までの到着予想時刻を表示させることができます。
そのとき、平均走行速度を設定しておけばより正確な到着予想時刻を知ることができます。

1

MENU → **設定** → **NAVI 設定** → **到着予想** をタッチする。

：到着予想設定画面が表示されます。

2

自動 → **-** / **+** をタッチして平均走行速度を設定する。(5 km/h 単位)

※走行は実際の法定速度に従って走行してください。



自動 をタッチして表示灯を消灯にしてから、各道路の平均走行速度を設定してください。

登録地点の編集

登録した地点の名称／マークを変更したり、電話番号(TEL)／メモを登録したり、登録地点に近づいたときのアラーム音の種類／フォルダを指定して登録した地点を探しやすくしたりすることができます。また、低速でカメラ地点に近づいたときに自動でカメラ映像に切り替える設定をすることもできます。

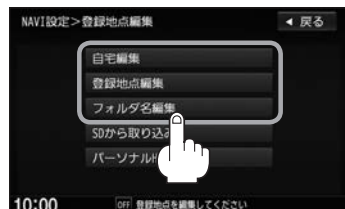
1

MENU → **設定** → **NAVI設定** → **地点編集** をタッチする。

: 登録地点編集画面が表示されます。

2

編集したい項目を選んでタッチする。



■ 自宅／登録地点を編集する

① 自宅編集 / 登録地点編集 をタッチする。

: 自宅編集画面 / 登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。

※ **登録地点編集** をタッチした場合は、さらにリストより編集したい登録地点を選んでください。



● 前回 **フォルダ** を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。登録地点を全て表示させるには **全表示** をタッチしてください。

● カーソル(→←)を登録地点マークに合わせ **設定** → **地点編集** をタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。

※この場合、位置修正はできません。



② 変更 / 登録する項目をタッチする。

名称 …名称を変更します。

フォルダ …フォルダを選べます。
(登録地点編集時のみ表示)

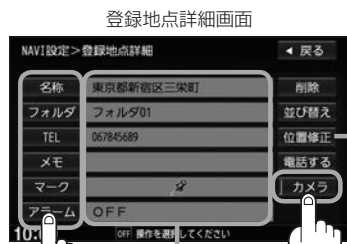
TEL …電話番号を登録します。

メモ …メモを登録します。

マーク …マークを変更します。

アラーム …アラーム音を変更します。

カメラ …カメラ地点の自動表示を設定します。
(別売のフロントカメラ / コーナーカメラ接続時のみ表示)



現在登録している
情報を表示

登録地点の位置を修正



電話番号が収録されている場合 **電話する** が表示されます。**電話する** をタッチすると、メッセージが表示されるので **はい** を選ぶと発信中画面を表示し、相手につながると通話中画面になります。(BLUETOOTH対応の携帯電話を接続する必要があります。[S-2]携帯電話を接続していない場合、**電話する** は選べません。(ボタンは暗くなります。)

□ 名称／メモを編集する

1. **名称** または **メモ** をタッチする。

: 名称編集またはメモ編集画面が表示されます。

2. 文字を入力し、**決定** をタッチする。

: 登録地点詳細画面に戻ります。



□ フォルダを変更する

1. **フォルダ** をタッチする。

: フォルダ選択画面が表示されます。

2. リストから移動したいフォルダを選んでタッチする。

: 選んだフォルダに登録地点が移動し、登録地点詳細画面に戻ります。



□ 電話番号を編集する

1. **TEL** をタッチする。

：電話番号編集画面が表示されます。

2. 数字をタッチし、**決定** をタッチする。

※ 20文字まで入力できます。



□ アラームを編集する

1. **アラーム** をタッチする。

：アラーム編集画面が表示されます。

2. お好みのアラーム音を選んでタッチする。

※ **OFF** を選んだ場合、アラーム音は鳴りません。

3. 案内距離を選んでタッチする。

※ 選んだ距離まで近づくと、アラーム音が鳴ります。

4. 特定の方向から登録地点に近づいたときにアラーム音を鳴らす場合は、**進入角度** をタッチする。

：進入角度編集画面が表示されます。

5. 矢印をタッチして自転車マークの方向を修正し、**セット** をタッチする。

：アラーム編集画面に戻り、**進入角度** の表示灯が点灯します。

6. **戻る** をタッチする。



アラーム音の種類

アラーム1	登録地付近です
アラーム2	チェックポイントです
アラーム3	スピードに注意してください
アラーム4	お帰りのなさい
アラーム5	運転おつかれさまでした
アラーム6	効果音 1
アラーム7	効果音 2
アラーム8	効果音 3
アラーム9	効果音 4



音声案内の音量設定(設定 F-19)で消音設定している場合はアラーム音が鳴りません。

□ マークを編集する

1. **マーク** をタッチする。

: マーク編集画面が表示されます。

2. 変更したいマークをタッチして **戻る** をタッチする。

※選んだマークが地図上に表示されます。

※下記の□**カメラ地点編集をする** で **カメラ地点** を表示する(ON)に設定している場合は、マークの変更はできません。

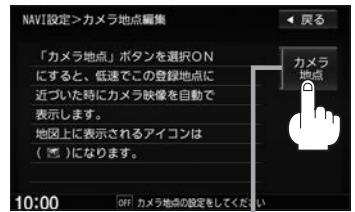
□ カメラ地点編集をする

1. **カメラ** をタッチする。

: カメラ地点編集画面が表示されます。

2. **カメラ地点** をタッチする。

: 表示灯を点灯／消灯するたびにカメラ映像を自動で表示する(ON)／しない(OFF)が切り替わります。



表示灯

3. **戻る** をタッチする。

アドバンス

表示する(ON)に設定した場合、カメラ地点として設定されます。地図上のマークは📷になり、他のマークには変更できません。

■ フォルダ名を編集する

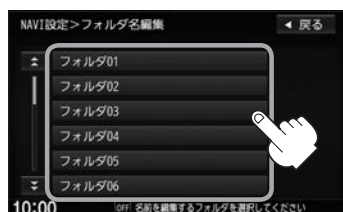
- ① **フォルダ名編集** → リストから編集する
フォルダを選び、タッチする。

：フォルダ名編集画面が表示されます。



アドドライブ

フォルダ指定なし は編集できないため表示されません。



- ② 文字を入力し、**決定** をタッチする。



アドドライブ

本機は“かな”を1度に入力できる文字数が14文字までのため、14文字まで入力したら一度 **変換** / **無変換** をタッチして文字を確定し、再度残りの文字を入力してください。

登録地点を並び替える

登録地点編集画面に表示される地点の並び順を替えることができます。

1

MENU → 設定 → NAVI設定 → 地点編集 をタッチする。

2

登録地点編集 をタッチする。

：登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。



※ F-22で「フォルダ」を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

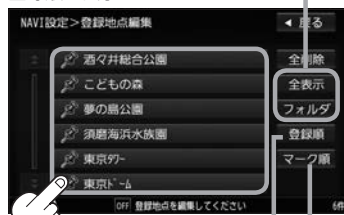
3

並び替えをしたい地点を選んでタッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

※全ての登録地点を表示している場合は全登録地点での並び替え、フォルダで表示している場合は選んだフォルダ内での並び替えをします。

登録順で表示 表示方法を選択



地点が登録された順
(古いものから)に表示

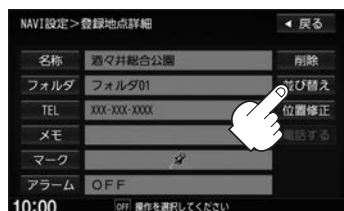
同じマークのもの同士を
まとめて表示

NAVI
設定

4

並び替え をタッチする。

：登録地点詳細画面が表示されます。

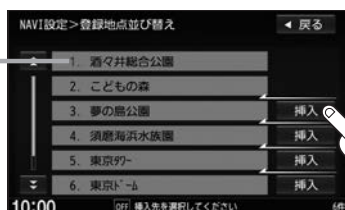


登録地点を並び替える

5 挿入したい場所の **挿入** をタッチする。

例 2. こどもの森の下に挿入する場合

並び替えしたい
地点の番号を
青色で表示



アドバイス

- 登録地点が自宅以外に2個以上ある場合に並び替えができます。1個の場合は **並び替え** は表示されません。
- カーソル(→)を登録地点マークに合わせ、**設定** → **地点編集** をタッチして登録地点詳細画面を表示させることもできます。

自宅／登録地点の位置を修正する

1

MENU → **設定** → **NAVI設定** → **地点編集** をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

2

自宅編集／**登録地点編集** をタッチする。

：自宅編集画面／登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。

※ **自宅編集** をタッチした場合は手順 **4** へ進んでください。



【F-22でフォルダ】を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。

3

登録地点 をタッチする。



4

位置修正 をタッチする。

：自宅または選んだ登録地点の地図が表示されます。



5

カーソル(-|-)の位置を修正する。

6

セット をタッチする。

：位置が修正されます。

自宅／登録地点を削除する

1

MENU → 設定 → NAVI設定 → 地点編集 をタッチする。

: 登録地点編集画面が表示されます。

2

自宅編集 / 登録地点編集 をタッチする。

: 自宅編集画面 / 登録地点編集画面またはフォルダ選択画面が表示されます。

※ **自宅編集** をタッチした場合は手順 **4** へ進んでください。



【車 F-22で **フォルダ** を選んでいる場合は、フォルダ選択画面が表示されます。



3

削除したい地点を選び、タッチする。

: 登録地点詳細画面が表示されます。

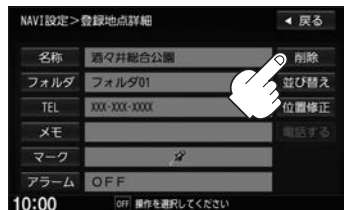
全ての登録地点を削除



4

削除 をタッチする。

: メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、地点を削除し、登録地点編集画面に戻ります。



登録地点を削除すると、地図上からマークが消え、登録した名称などの項目も全て消えます。

SDカードから地点を登録する

パソコンを使用してSDカードに保存した地点を本機に登録することができます。(最大300カ所)
あらかじめインターナビ・リンク プレミアムクラブのパーソナルホームページからダウンロードした
位置情報ファイルを、SDカードに登録する必要があります。

※SDカードの再生を停止してから操作してください。

1  → **OPEN** をタッチする。

: ディスプレイが開きます。

2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

: 自動でディスプレイが閉じます。

3 **MENU** → **設定** → **NAVI設定** → **地点編集** をタッチする。

: 登録地点編集画面が表示されます。

4 **SDから取り込み** をタッチする。

: SDカードに保存した登録地点リストが表示されます。

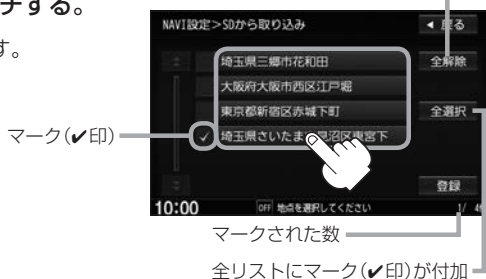
※SDカードに位置情報ファイルがないとメッセージが
表示されるので、**OK** をタッチしてください。



5 本機に登録したい地点を選んでタッチする。

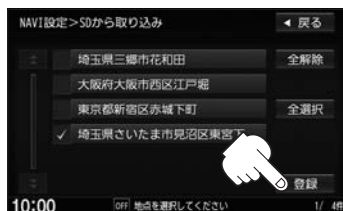
: 選んだリストにマーク(✓印)が付きます。

マーク(✓印)は全て消去



6 **登録** をタッチする。

: フォルダ選択画面が表示されます。



SDカードから地点を登録する

7 保存したいフォルダを選んでタッチする。

：メッセージが表示され、登録地点編集画面に戻ります。



アドバイス

- 登録した地点を確認するには、**[MENU] → 設定 → NAVI設定 → 地点編集 → 登録地点編集** をタッチしてください。
- 本機に登録しないと、名称/フォルダ/TEL/メモ/マーク/アラーム/カメラなどの編集を行うことはできません。
- SDカードから本機に登録した地点の詳細内容を変更することができます。[OFF]「登録地点の編集」F-22
- 地点情報により、アラームが設定される場合もあります。
- miniSDカード/microSDカードを使用する場合は、必ず専用のカードアダプターを使用し、正しい差し込み方向をご確認ください。アダプターが装着されていない状態で本機に差し込むと機器に不具合が生じることがあります。また、miniSDカード/microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。必ずアダプターごと抜き、本機にアダプターだけ残さないようにしてください。

パーソナルHPと同期について

登録地点の情報を、本機とインターナビ・リンク プレミアムクラブ会員専用のパーソナル・ホームページを同期することにより、お互いの情報を最新の内容に更新できます。

1 **[MENU] → 設定 → NAVI設定 → 地点編集** をタッチする。

：登録地点編集画面が表示されます。

2 **パーソナルHPと同期** をタッチする。



3 操作については別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

軌跡を使う

通った道にしるしをつけ、記録(メモリ)することができます。
通った道をあとで確認したり、同じ道を通りたいときなどに便利です。

1

MENU → **設定** → **NAVI設定** → **走行軌跡** をタッチする。

: 走行軌跡の設定画面が表示されます。

2

軌跡の記録開始/停止/表示/非表示/確認/削除をする。

■ 軌跡の記録をする

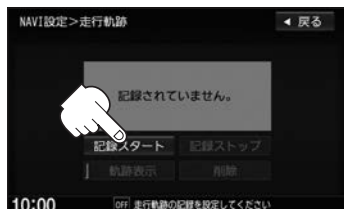
① **記録スタート** をタッチする。

: 軌跡の記録を開始します。現在地(自車)マークが移動すると、軌跡があらわれます。また、それら軌跡の登録も開始します。



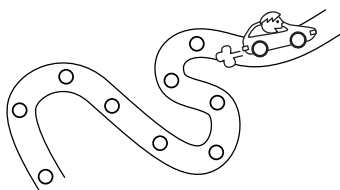
アドバイス

- 軌跡は、約500 kmまで記録できます。容量をこえると、古い軌跡から順に自動的に消し、新しい軌跡を記録します。
- 軌跡の色は青です。
- 軌跡の記録を止め、再度軌跡の記録を開始した場合は、前回記録した続きより記録されます。
- デモ走行中は軌跡の記録を行いません。



10:00

OFF 走行軌跡の記録を設定してください

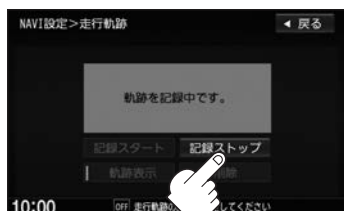


NAVI
設定

■ 軌跡の記録をやめる

① **記録ストップ** をタッチする。

: 軌跡の記録をやめます。



10:00

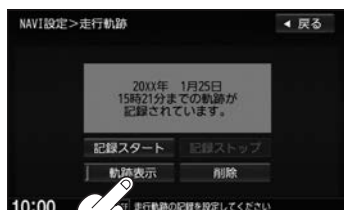
OFF 走行軌跡の記録を設定してください

■ 地図上に軌跡を表示する

① **軌跡表示** をタッチして表示灯を点灯させる。

: 記録されている軌跡を表示します。

※走行軌跡の記録をしていない場合はタッチできません。



10:00

OFF 走行軌跡の記録を設定してください

■ 地図上の軌跡の表示をやめる

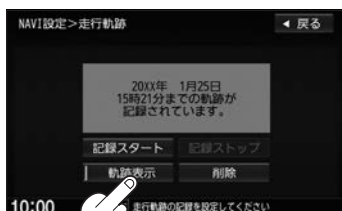
- ① **軌跡表示** をタッチして表示灯を消灯させる。

：記録されている軌跡の表示をやめます。



アドバイス

軌跡を記録中は、軌跡の表示をやめることはできません。

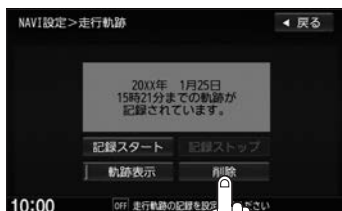


■ 軌跡を削除する

- ① **削除** をタッチする。

：メッセージが表示されるので、**はい** をタッチします。

※走行軌跡の記録をしていない場合はタッチできません。



G

各種設定をする

internavi 設定について	G-2	リアカメラ映像を設定する	G-13
オプションボタンの設定をする	G-2	リアカメラ映像を表示する	G-13
ETCの各機能を設定する	G-3	ビューの切り替えをする	G-13
セキュリティを設定する	G-5	リアカメラガイドを表示/非表示する	G-14
フロントカメラ/コーナーカメラ映像を表示する	G-6	警告文の位置を上げる	G-15
フロントカメラ/コーナーカメラの設定をする	G-6	リアカメラガイドの見かた	G-16
フロントカメラ/コーナーカメラ映像を表示する	G-8	カメラの映像について	G-17
リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使用する	G-8	リアカメラの次回表示ビュー設定 (リアワイドカメラ接続時のみ)	G-18
フロントカメラ/コーナーカメラ地点を登録する	G-9	キー操作音の設定をする	G-19
コーナーカメラガイドを表示/非表示する	G-10	HDMI接続の設定をする	G-20
コーナーカメラのビューを切り替える	G-10	データを初期化(消去)する	G-21
コーナーカメラガイドの見かた	G-11	時計表示の設定をする	G-22
カメラの映像について	G-12		

internavi 設定について



インターナビの各種設定をすることができます。

1 **MENU** → **設定** → **internavi 設定** をタッチする。

: internavi 設定画面が表示されます。

2 各操作については別冊のインターナビ・リンク プレミアムクラブ編をご覧ください。

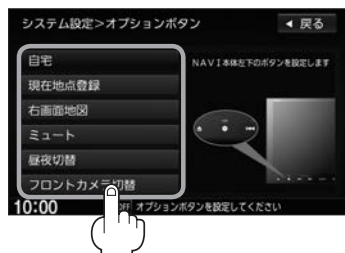
オプションボタンの設定をする



本機の  (オプション) によく使う機能を設定することができます。設定すると  をタッチして、右画面地図表示や消音などの操作ができます。

1 **MENU** → **設定** → **システム設定** → **オプションボタン** をタッチする。

: オプションボタン設定画面が表示されます。

2 設定する機能を選んでタッチする。



自宅	自宅までのルート探索をします。
現在地点登録	現在地を地点登録します。
右画面地図	現在地表示の右画面に地図を表示します。
ミュート	画面はそのまま、オーディオの音量のみ消します。再度  をタッチすると音量が出ます。
昼夜切替	 をタッチするたびに、画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えます。地図設定色も昼用・夜用の色に切り替えます。
フロントカメラ切替 コーナーカメラ切替	画面をフロントカメラまたはコーナーカメラの映像に切り替えます。(別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時のみ表示) ※フロントカメラまたはコーナーカメラを接続した直後は、強制的に フロントカメラ切替 または コーナーカメラ切替 に設定されます。

ETCの各機能を設定する

別売

本機に別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)を接続している場合に本機でETCカード挿入アイコンの表示/非表示、料金所通過確認ブザーやETCカード有効期限案内の設定をすることができます。詳しくは別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に付属の説明書をご覧ください。

1

MENU → **設定** → **システム設定** → **ETC** をタッチする。

: ETC設定画面が表示されます。

2

設定する項目を選んでタッチする。



▼ をタッチ



▲ をタッチ



■ カード挿入アイコン表示の設定

する	ETCカードを挿入すると情報バーに ETC アイコンが表示
しない	ETCカードを挿入しても情報バーに ETC アイコンは非表示



カード挿入アイコン表示を **する** に設定している場合、有効期限の切れたETCカードを別売のETC車載器(ナビ連動タイプ)に挿入すると、情報バーに **ETC** アイコンが表示されますが、ETCゲートは通過できませんのでご注意ください。

システム
設定

■ 本体ブザー音の設定

する	ETCカードを挿入したときや、入口/出口料金所通過時などにETC車載器のブザーでお知らせ
しない	ブザーでのお知らせなし

■ 音声案内の設定

する	利用料金などをナビゲーション本体から音声案内
しない	音声案内なし

■ カード入れ忘れ警告の設定

する	車のエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にしたときにETCカードが挿入されていない場合、画面と音声でお知らせ
しない	お知らせなし

■ カード有効期限案内の設定

する	ETCカードの有効期限の2か月前または有効期限が切れている場合、ETCカードを挿入するもしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをI (アクセサリ)またはII (ON)にすると、音声とメッセージ画面でお知らせ
しない	お知らせなし

■ 表示割込み時間の設定

5秒 10秒	ETC関係のお知らせをそれぞれの時間で表示
15秒 30秒	
しない	ETC関係のお知らせはなし



アドバイス

しない に設定していても料金所通過時、料金支払時は表示割込みされます。

セキュリティを設定する

本機は盗難防止抑制の観点からセキュリティ設定機能を搭載しています。設定すると、ナビゲーションがバッテリーから外され、再度接続されたとき、セキュリティコードを入力しないとナビゲーションが起動しません。

また、セキュリティインジケータの設定もすることができます。

セキュリティカードに5桁のセキュリティコードが記載されています。

※セキュリティカードは、なくさないよう保管ください。セキュリティコードを忘れたり、セキュリティカードをなくされた場合は、お買い上げのHonda 販売店までお問い合わせください。

※セキュリティコードを変更することはできません。

1

MENU → **設定** → **システム設定** → **セキュリティ** をタッチする。

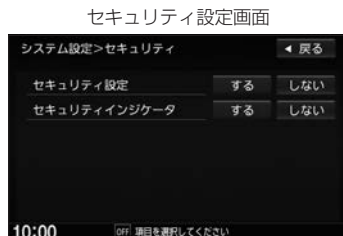
：セキュリティ設定画面が表示されます。

2

設定する機能を選んでタッチする。

■ セキュリティ設定

する	ナビゲーションをバッテリーから外し、再度接続した際にセキュリティコード入力画面を表示
しない	ナビゲーションをバッテリーから外し、再度接続してもセキュリティコード入力画面は非表示



■ セキュリティインジケータの表示設定 ※セキュリティ設定が **する** のときのみ設定可能

する	車のエンジンスイッチが0(ロック)時に、インジケータが点滅
しない	インジケータの点滅なし

フロントカメラ／コーナカメラ映像を表示する 別売

本機に別売のフロントカメラ／コーナカメラを接続している場合、走行速度が低速になると自動的に画面がフロントカメラ／コーナカメラの映像に切り替わるように設定できます。左右の見通しがよくない場所や道路端への幅寄せ・細い道路でのすれ違いなどで車のフロント付近／左サイドコーナ付近から前方をモニター画面で確認することができます。

フロントカメラ設定／**コーナカメラ設定** は別売のフロントカメラ／コーナカメラ接続時に表示されます。

※フロントカメラ／コーナカメラの画質を調整するには **設定**「映像の調整のしかた」H-10

フロントカメラ／コーナカメラの設定をする

走行速度に連動してカメラ映像を自動で表示できるようにしたり、**カメラ** アイコンを情報バーに表示するように設定することができます。

1 **MENU** → **設定** → **システム設定** をタッチする。

2 **フロントカメラ設定**／**コーナカメラ設定** をタッチする。

：カメラ設定画面が表示されます。

コーナカメラを接続している場合は、ボタン表示が **コーナカメラ設定**



3 設定したい項目を選んでタッチする。

フロントカメラ接続の場合



4 **戻る** をタッチする。

：設定を保存し、システム設定画面に戻ります。

“フロント／コーナーカメラ自動表示” について

車の走行速度が低速になったとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。

“登録地点検知” について

- 登録したカメラ地点に低速で近づいたとき、自動的にカメラ映像を表示する／しないの設定ができます。
- あらかじめカメラ地点を登録しておく必要があります。
🔍 「フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する」 G-9
- カメラ地点編集画面で カメラ地点 の表示灯を消灯している場合は、自動的にカメラ映像は表示されません。
🔍 「カメラ地点編集をする」 F-25

“カメラインジケータ表示” について

フロントカメラ／コーナーカメラを接続すると情報バーに

📷 アイコンを表示する／しないの設定ができます。

アイコンの色について

緑色：低速走行になると自動的にカメラ映像を表示できます。

灰色：低速走行になっても自動的にカメラ映像を表示できません。



アイコン

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示する

“フロントカメラ／コーナーカメラ自動表示” や “登録地点検知” で **はい** に設定すると、車速判定機能により、車の走行速度が低速になると自動的にカメラ映像が表示されます。

低速で走行すると・・・

：前方または左前コーナーのカメラ映像を表示します。





走行速度があがると・・・

：もとの画面に戻ります。



アドバイス


フロントカメラ／コーナーカメラ自動表示 **いいえ** を設定した場合

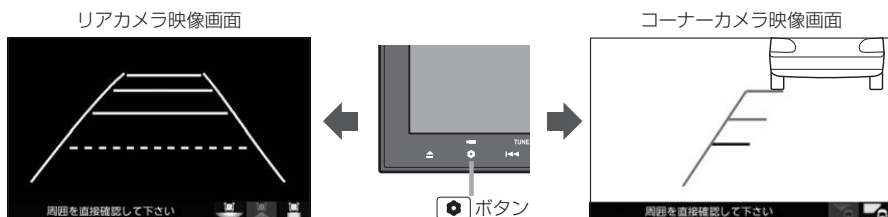
- カメラの操作は、オプションボタンの設定を **フロントカメラ切替** ／ **コーナーカメラ切替** にしておく必要があります。[設定] G-2
- 低速走行または停車時に  をタッチして、フロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示することができます。もとの画面に戻りたいときは、再度  をタッチしてください。
- 高速走行時は  をタッチしても、メッセージが表示されフロントカメラ／コーナーカメラ映像を表示できません。低速走行になると、1回だけカメラ映像を表示します。(再度  をタッチするとメッセージが表示され、低速走行になってもカメラ映像は表示しません。)

リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使用する

リアカメラとコーナーカメラを組み合わせて使う場合、車のセレクトレバーをリバースに入れているときに、リアカメラとコーナーカメラの映像を切り替えることができます。縦列駐車をする場合などに、映像画面を切り替えて後方と左側面を確認することができます。

1 車のセレクトレバーをリバースに入れる。

※  をタッチするたびに、映像画面が切り替わります。



アドバイス

車のセレクトレバーをリバース以外に入れている場合は、コーナーカメラ映像のみ表示します。リアカメラ映像画面への切り替えはできません。

フロントカメラ／コーナーカメラ地点を登録する

フロントカメラ／コーナーカメラ映像を自動的に表示する地点を登録します。

1 地図をスクロールさせて、マークをつけたい場所にカーソル(—|—)を合わせ、**設定**をタッチする。

：設定MENUが表示されます。


最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。

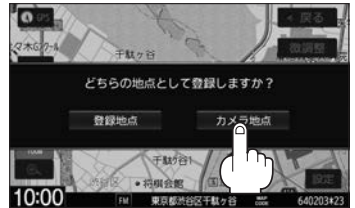


2 **地点登録**をタッチする。



3 **カメラ地点**をタッチする。

：メッセージが表示され、地図上にカメラ地点マークが追加されます。



フロントカメラまたはコーナーカメラを接続していない場合は、どちらの地点として登録するか
のメッセージは表示されません。

システム
設定

コーナーカメラガイドを表示／非表示する

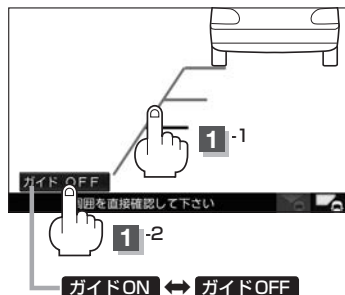


- 必要なガイド線はHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- フロントカメラではガイド表示はしません。

1

コーナーカメラ映像画面で画面をタッチし、**ガイドOFF**をタッチする。

：コーナーカメラガイドが非表示になります。



2

再度、表示させるには画面をタッチして**ガイドON**をタッチする。

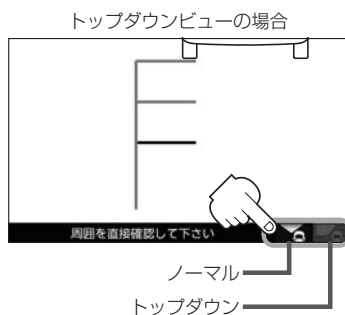
コーナーカメラのビューを切り替える (コーナーカメラ(2ビュー)接続時のみ)

1

ビュー(ノーマル／トップダウン)
切り替えボタンをタッチする。

：それぞれのコーナーカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューは灰色表示となり、タッチできません。



コーナーカメラガイドの見かた

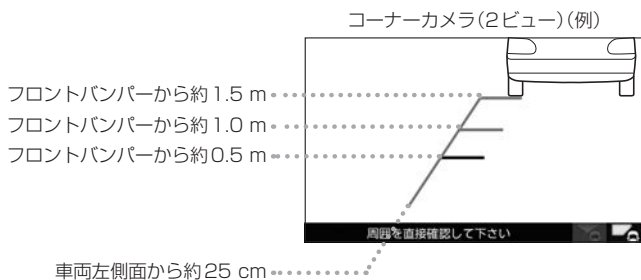
画面上に車両の前側バンパー左コーナーと路肩の距離の目安が表示されます。



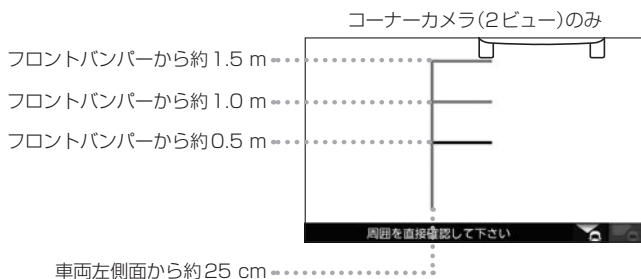
お願い

- 画面上に表示されるコーナーカメラガイドは目安です。コーナーカメラの映像だけを見ながらの運転は絶対に行わないでください。また、左折時には内輪差に注意してください。
- 道路端へ幅寄せするときは、直接目で周囲の安全を確認し、ゆっくりした速度で運転してください。

■ コーナーカメラ(ノーマルビュー)画面



■ コーナーカメラ(トップダウンビュー)画面



アドバイス

- ガイド線は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
 - ・図に示すガイド線の距離は、車種によって異なります。
 - ・次のようなときはガイド線と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド線は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- コーナーカメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。



お願い

- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- 高圧洗車をする場合は、カメラの周囲部に直接水をかけないでください。水が入り、カメラレンズに結露などが発生したり、故障の原因となったり、火災、感電の原因となります。
- カメラ部は精密機械のため、強い衝撃は与えないでください。故障の原因となったり、破損して火災、感電の原因となります。
- 車両の乗車人数や燃料の容量、車両姿勢などによってコーナーカメラガイドの示す位置がずれます。実際の周りの状況を直接目で確認してご使用ください。
- フロントカメラ／コーナーカメラの映像は、あくまで運転の補助手段としてご使用ください。安全のためカメラ使用時も直接目で安全確認しながら運転してください。
- フロントカメラ／コーナーカメラの映像調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。

リアカメラ映像を設定する

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車のセレクトレバーをリバースに入れると、自動的に画面がリアカメラの映像に切り替わります。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続しているときは、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。

※リアカメラの映像を調整するには「 「映像の調整のしかた」H-10

リアカメラ映像を表示する

■ 車のセレクトレバーをリバースに入れる

：リバースに入れている間は、リアカメラの映像を表示します。

■ 車のセレクトレバーをリバース以外に入れる

：もとの画面に戻ります。



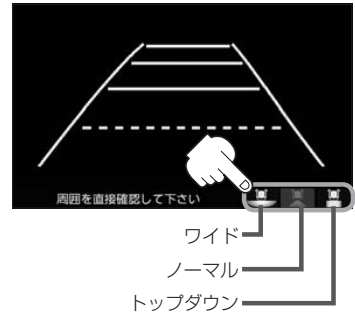
リアワイドカメラ接続時のみ表示

ビューの切り替えをする (リアワイドカメラ接続時のみ)

1 ビュー(ワイド/ノーマル/トップダウン) 切り替えボタンをタッチする。

：それぞれのリアカメラ映像が表示されます。

※現在表示中のビューは灰色表示となり、タッチできません。



システム
設定

お願い

ビューの切り替えは、低速で走行中でも可能ですが十分に周囲の安全を確認してから行ってください。

リアカメラ映像を設定する

リアカメラガイドを表示／非表示する

- 1** パーキングブレーキをかけた車のセレクトレバーをリバースに入れリアカメラ映像画面を表示し、画面をタッチしてボタンを表示させ、**ガイドOFF**をタッチする。

：リアカメラガイドが非表示になります。



アドドライブ

ガイドON ↔ **ガイドOFF** はパーキングブレーキをかけなくてもタッチすることができます。

周囲の安全を確認してから行ってください。

- 2** 再度、表示させるには画面をタッチして **ガイドON** をタッチする。

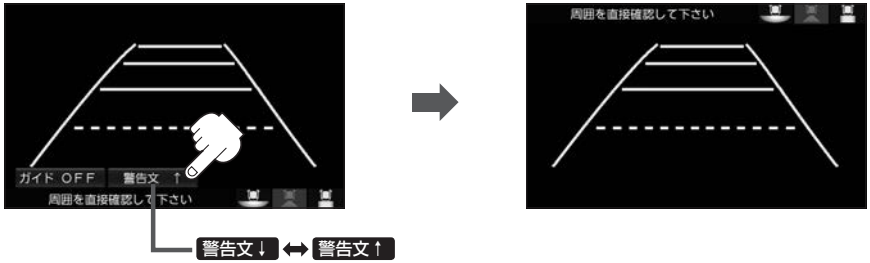
お願い

- リアカメラが映し出す範囲には限界があります。またリアカメラの画面上に表示されるリアカメラガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。
- 夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。
- 後退するときには、直接目で後方を確認しながら後退を開始してください。リアカメラの映像は後方確認の補助手段としてご使用ください。
- リアカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。
- リアカメラの表示ビューの切り替えや映像調整、警告文位置の調整などをするときは、必ず車を安全な場所に停車して行ってください。

警告文の位置を上げる

1 リアカメラ映像画面表示中に画面をタッチして **警告文↑** をタッチする。

：画面下部の警告文が画面上部に表示されます。



2 位置を下げるには画面をタッチして **警告文↓** をタッチする。



アドバイス

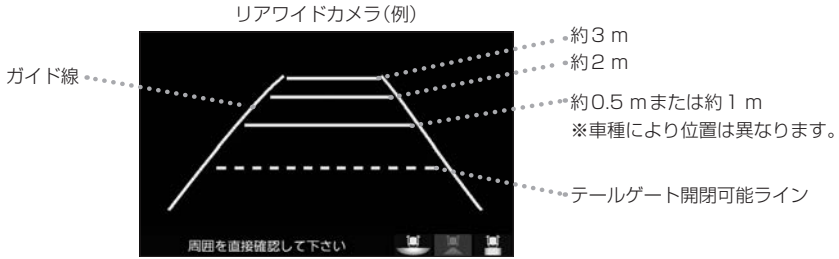
車種によっては、警告文を画面下側にすると車両後端が見えなくなり、危険な場合があります。
その場合は警告文を画面上側にするなどしてください。

リアカメラ映像を設定する

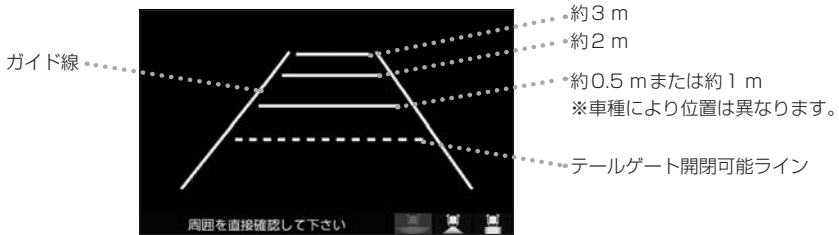
リアカメラガイドの見かた

画面上に車両の後方と車幅や距離感覚を補う目安が表示されます。
接続されているリアカメラの種類および選んだ表示ビューにより見え方が異なります。

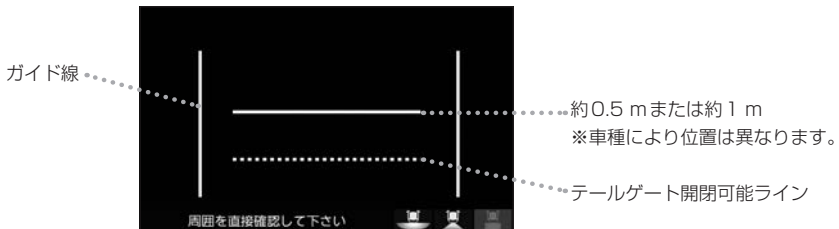
■ リアカメラ、リアワイドカメラ(ノーマルビュー)画面



■ リアワイドカメラ(ワイドビュー)画面

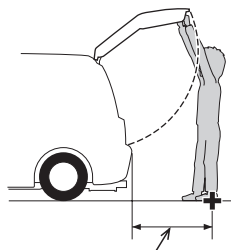


■ リアワイドカメラ(トップダウンビュー)画面





- テールゲートなどの開閉に必要な距離は、Honda 販売店で設定されます。
- 設定の変更などについては、Honda 販売店にご相談ください。
- ガイド表示は、車幅や距離感覚を補うための目安です。
 - ・ 図(15) G-16)に示すガイド表示の距離は、車種によって異なります。
 - ・ 次のようなときはガイド表示と実際の路面上の距離・障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・ 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき。
 - ・ 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき。
- ガイド表示は路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。



テールゲートなどの開閉に必要な距離

カメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見えにくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で乾いた布などで強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

リアカメラの次回表示ビュー設定(リアワイドカメラ接続時のみ)

車両標準装備
別売

リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続している場合、リアカメラの次回表示ビューの設定をすることができます。

リアカメラ設定 はリアワイドカメラ標準装備車または別売のリアワイドカメラ接続時に表示されます。

1

MENU → **設定** → **システム設定** → **リアカメラ設定** をタッチする。

: リアカメラ設定画面が表示されます。

2

トップダウンビューでリアカメラ表示を終了したときの次回表示ビューを設定する。

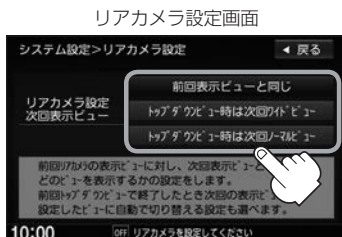
- 次回表示ビューをワイドビューまたはノーマルビューに自動で切り替える

- ① **トップダウンビュー時は次回ワイドビュー** / **トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー** をタッチする。

※リアカメラ表示終了後に 10 km/h を超えて走行していない場合は、次回表示ビューは切り替わりません。

- 次回表示ビューをトップダウンビューのままとする

- ① **前回表示ビューと同じ** をタッチする。



キー操作音の設定をする

ナビゲーション操作時、キー操作音(ピッ)を出す／出さないを選べます。

1

MENU → **設定** → **システム設定** → **その他** をタッチする。

: その他画面が表示されます。

2

キー操作音 をタッチする。

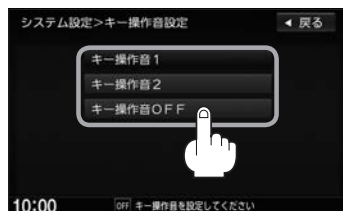
: キー操作音設定画面が表示されます。



3

キー操作音を選んでタッチする。

キー操作音 1	キー操作音 1 を出す
キー操作音 2	キー操作音 2 を出す
キー操作音 OFF	キー操作音を出さない



HDMI 接続の設定をする

HDMIを使用する／しないを選べます。

1

MENU → **設定** → **システム設定** → **その他** をタッチする。

: その他画面が表示されます。

2

HDMI 接続設定 をタッチする。

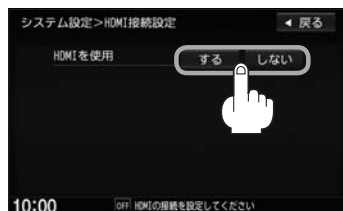
: HDMI接続設定画面が表示されます。



3

設定を選んでタッチする。

する	HDMI 接続する
しない	HDMI 接続しない



アドバース

HDMI機器を接続している状態でも、HDMIを使用する設定にしていないとHDMIは使用できません。

データを初期化(消去)する

本機に登録・設定された内容(登録地点、登録ルートなど)やSDカードにあるデータ、センサー学習結果、ルート学習結果を初期化することができます。

1

MENU → **設定** → **システム設定** → **その他** をタッチする。

: その他画面が表示されます。

2

初期化 をタッチする。

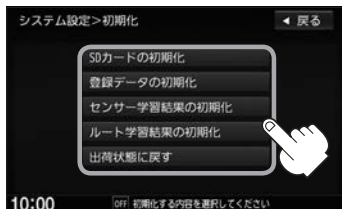
: 初期化画面が表示されます。



3

初期化したい項目をタッチする。

※メッセージが表示されるので **はい** を画面に従って選びます。



SDカードの初期化	SDカードにあるデータを初期化します。
登録データの初期化	音楽データ以外の登録・設定した内容を初期化します。
センサー学習結果の初期化	車の走行状況を初期化します。
ルート学習結果の初期化	本機のルート学習機能を初期化します。
出荷状態に戻す	個人情報に関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。 オーディオモードはOFFになります。

システム
設定



お願い

- 初期化中は他の操作(モードを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
 - 初期化で **はい** を選ぶと、お客様の登録情報は消去され、二度と復帰しません。
- ※すでにデータが書き込まれている“SDカード”を初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないように、ご注意ください。(SDカード内全てのデータが消去されます。)
- SDカードに誤消去防止スイッチ(LOCK)が付いている場合、「LOCK」にしていると初期化(フォーマット)できません。「LOCK」を解除してください。

データを初期化(消去)する



- 初期化が終了したら、車のエンジンスイッチを0(ロック)にしてください。
- 他人に譲渡または処分などされる際は、お客様が入力された個人情報(登録地点の住所や電話番号など)、登録ルートなどの登録情報を必ず消去してください。
- 本機は、走行するたびに車の走行状況(距離・方位・傾斜(3D))を学習し、記録しています。(センサー学習度)走行を重ねることで測位の精度が高くなります。測位の誤差が大きくなったり、タイヤ交換やチェーンの装着、他車への載せ替えなどされたり、他人に譲渡または処分などされる場合は、センサー学習度の初期化を行ってください。
- 本機はルート案内中に通った道を学習しており、ルート設定では学習した道を探索しやすくなります。従って、他の効率の良い道が見つかって、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときはルート学習結果をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。

時計表示の設定をする

映像の全画面表示中に時計を表示する／しないを選べます。

1

MENU → **設定** → **システム設定** → **その他** をタッチする。

: その他画面が表示されます。

2

表示設定を選んでタッチする。

する	時計を表示する
しない	時計を表示しない



オーディオ / 共通

基本操作	H-2		
各ソースを選ぶ	H-2		
映像の表示について	H-2		
オーディオをON/OFFする	H-3		
選曲 / 早戻し / 早送りをする	H-4		
1曲ずつトラックを戻す / 進める	H-4		
早戻し / 早送りをする	H-4		
リピート / ランダム / スキャン /			
シャッフル再生	H-5		
時計を表示する	H-8		
音量を調整する	H-8		
音声はそのまま、ナビゲーション画面を			
表示する	H-9		
		動作モード(音楽 / 画像 / 動画)を切り替える	H-9
		映像の調整のしかた	H-10
		昼夜切替をする	H-12
		画質調整を初期値に戻す	H-13
		音声はそのまま画面を消す	H-13
		フェード・バランスの調整をする	H-14
		イコライザー(音質)の設定をする	H-16
		イコライザーの値を初期値に戻す	H-17
		サラウンドの設定をする	H-18
		スピーカーの設定をする	H-21
		車速連動音量を設定する	H-22

基本操作

各ソースを選ぶ

1

AUDIO をタッチする。

：AV MENU画面または前回最後に選んでいたソース画面が表示されます。前回のソース画面から他のソースに変えたい場合は再度 **AUDIO** をタッチしてAV MENU画面を表示させてください。

2

操作したいソースをタッチする。

：選んだそれぞれのソース画面が表示されます。

AV MENU画面

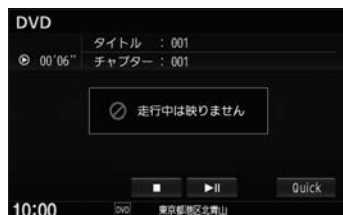


映像の表示について

安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

※別売のリア席モニターを接続している場合、リア席モニターでは走行中でも映像をご覧いただけます。

DVDソース画面(走行中)



オーディオをON / OFFする

1

 をタッチする。

：オーディオの各ソースを再生 / 終了します。

※前回、音楽またはDVDを再生していた場合は
つづきから再生を始めます。

 ボタン



アドハイス

- 録音中の場合、CDソースを終了しても(再生を止めても)録音は継続されます。
- BLUETOOTH Audioソースの場合、BLUETOOTH Audio対応機器や携帯電話の仕様によっては、AV電源OFF / 車のエンジンスイッチをO(ロック)にしても、再生を継続するものもあります。電池の消費などが気になる場合には、手動で再生を停止させるか、機器の電源をOFFにしてください。

選曲／早戻し／早送りをする

1 曲ずつトラックを戻す／進める

1 曲ずつトラックを戻したり進めたりすることができます。

前のトラックに戻る	 を2回タッチ ※ 1 回タッチした場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。CD／iPod ソースのとき、トラック再生開始後すぐにタッチした場合は、前のトラックの頭に戻ります。
次のトラックに進む	 をタッチ



アドバース

- 音楽CD録音(REC)中は、トラックを戻す／進めることはできません。
- BLUETOOTH Audioソースのとき、BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては操作したときの動作が異なる場合や、操作できない場合があります。


早戻し／早送りをする

早戻しで戻る	 を押し続ける
早送りで進む	 を押し続ける

※それぞれのボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。



アドバース

- DVDソースの場合、通常の10倍の速さでの早戻し／早送りをします。
- 音楽CD録音(REC)中は、CDおよび動画再生の早戻し／早送りはできません。
- BLUETOOTH Audioソースのとき、BLUETOOTH Audio機器の仕様によっては操作したときの動作が異なる場合や操作できない場合があります。また、早戻し／早送り中に再生時間表示が変化しない、正しい時間を表示しない場合があります。早戻し／早送りをすばやく解除すると、機器によっては早戻し／早送りが解除されない場合があります。(その場合は  (再生)／ (一時停止)をタッチして解除してください。)
-  /  をしばらく押し続けていると早戻し／早送りが止まり、通常の再生に戻ります。

リピート／ランダム／スキャン／シャッフル再生

再生モード(リピート／ランダム／スキャン／シャッフル)を選ぶことができます。

1

再生モード をタッチする。

* 1…手順 **2** で選んだ再生モードのマークを表示



オーディオ
共通

2

再生したいモードを選び、タッチする。

■ リピート(繰り返し)再生

① **リピート** をタッチする。

: 表示灯が点灯し、リピート再生されます。

※ **リピート** をタッチすることにより下記の
ように切り替わります。

再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯
の状態を表示

CD / Music Rack / USB / iPod /
SD / BLUETOOTH Audio *2

再生中の曲のリピート
(TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)

通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯、マーク表示無)

MP3 / WMA

再生中の曲のリピート
(TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)

フォルダ内の曲のリピート
(TOP画面のとき **REPEAT FOLDER** マーク表示有)

通常再生(リピート解除)
(表示灯消灯、マーク表示無)

* 2…AVRCP Version1.4対応でリピート再生可能なBLUETOOTH Audio機器を接続している場合(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。)

■ ランダム(順序不同)再生

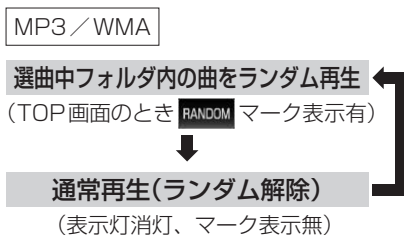
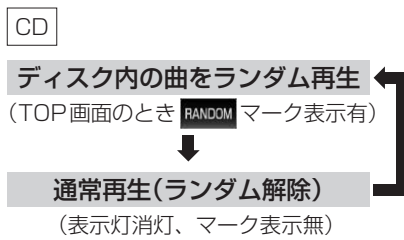
① **ランダム** をタッチする。

：表示灯が点灯し、ランダム再生されます。


※ **ランダム** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。



再生モード選択画面
選択中の再生モード 選択時点灯の状態を表示



* 1…AVRCP Version 1.4 対応でランダム再生可能なBLUETOOTH Audio機器を接続している場合(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。)

 **アドバイス** ランダム再生は、次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生

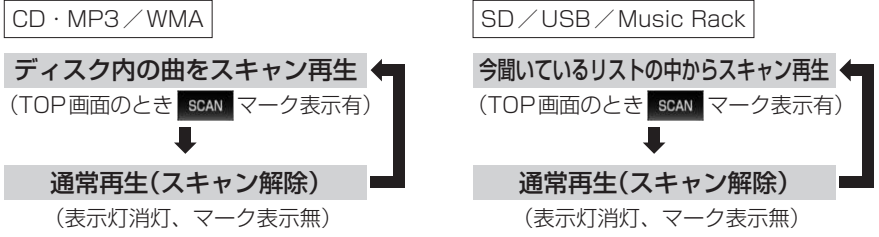
① **スキャン** をタッチする。

：表示灯が点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

※ **スキャン** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。



再生モード選択画面
選択中の再生モード 選択時点灯の状態を表示



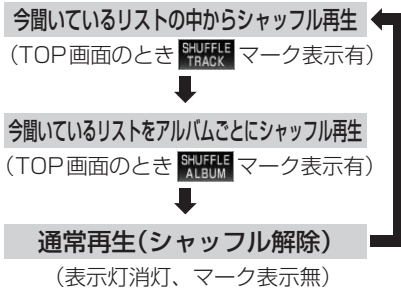
スキャンを解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

■ シャッフル(順序不同)再生(iPodソースのみ)

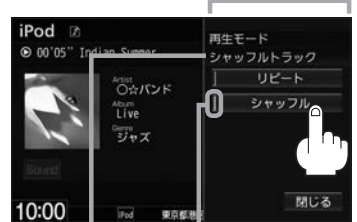
① **シャッフル** をタッチする。

：表示灯が点灯し、シャッフル再生されます。

※ **シャッフル** をタッチするごとに下記のように用途が変わります。



再生モード選択画面



選択中の再生モード 選択時点灯の状態を表示



曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため、同じ曲が連続で再生されることがあります。

3

設定を終えるには、**閉じる** をタッチする。



- 録音 (REC) 中は CD ソースの再生モード操作はできません。
- CD ソースでリピート／ランダム／スキャン再生を設定している場合に録音 (REC) を行うと設定は解除されず。

時計を表示する

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。

1 各ソースのTOP画面で、**切替**をタッチする。

：画面中央に時計が大きく表示されます。

※映像を表示するソースの場合、本設定はできません。

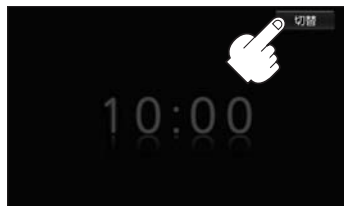
SDソースの場合



■ 再度、画面を表示する

① 画面をタッチし、**切替**をタッチする。

：手順 **1** で表示させていたソースの再生画面が表示されます。



音量を調整する

1 ▼ / ▲ をタッチする。

：画面に現在の音の大きさを示す音量表示が表示されます。

※押し続けても調整することができます。

SDソース画面



▲ をタッチすると音量を上げ、
▼ をタッチすると音量を下げます。



- DVD / BLUETOOTH Audio / VTR / AUX / HDMI ソースの場合は個別に設定可能です。
- (オプション) にミュート機能を設定している場合は、() をタッチして音を消すことができます。
☞ 「オプションボタンの設定をする」 G-2

音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する

今のソースの音声を聞きながら、地図を見たり、ナビゲーションの操作をすることができます。

オーディオ
共通

1 各ソース画面で、**現在地**をタッチする。

：音声はそのまま、画面がナビゲーション画面に変わります。

■ 今聞いているソースの画面に戻す

① **AUDIO**をタッチする。

：今聞いているソースの画面に戻り、操作が可能になります。



音量調整や / を使った操作は、ナビゲーション画面のままでもできます。

動作モード(音楽／画像／動画)を切り替える

SD／USB ソースのとき、再生したいファイル(音楽／画像／動画)に切り替えます。

1 **モード切替**をタッチする。

：モード切替画面が表示されます。

※映像データを再生中の場合は、画面をタッチして操作ボタンを表示させてください。

SD ソース画面



2 再生したいファイルの種類をタッチする。

音楽ファイル	MP3／WMA／AACなどの音楽ファイルを再生
画像ファイル	写真などのJPEG画像を表示
動画ファイル	MPEG4／H.264ファイルの映像を表示



音楽ファイル……

画像ファイル……

動画ファイル……

映像の調整のしかた

明るさ／色の濃さ／コントラスト／色合いの調整やディスプレイを選ぶことができます。

※選んでいるソースによって設定できる項目が異なります。

映像の調整は停車中に行ってください。



アドバイス

- ディスプレイ選択はノーマル／フル／ワイド／シネマの中から表示画面を選べます。ただし、Digital TV ソースの場合はノーマル／フルのみを選べます。
- 映像の調整は各ソースごとに設定できます。(音楽／画像ファイル再生画面を除く)
- 携帯電話** タッチ後は、**MENU** を長押ししても画質調整を行うことはできません。

1

MENU を長押しする。

：画面調整画面または画質調整画面が表示されます。

※映像を表示するソースで画面調整画面が表示された場合は下記手順 **2** へ、
画質調整画面が表示された場合は下記手順 **3** へ、
音楽／画像再生の場合は下記手順 **3** アドバイスへ進んでください。

2

画質調整 をタッチする。

：画質調整画面が表示されます。

画面調整画面



3

調整したい項目をタッチする。



アドバイス

音楽／画像再生の場合、**明るさ**／**コントラスト** の調整となります。



画質調整画面

映像を表示するソースの場合



4

◀ / ▶ をタッチして値を調整する。



調整はタッチパネルの ▶ または ▶ をタッチし続けても調整できます。タッチするのをやめると、その値で止まります。お好みの調整レベルでタッチするのをやめてください。



明るさ(1～31)調整

◀ をタッチすると暗くなり、▶ をタッチすると明るくなる。



車のライトをつけているとき(ON時)とライトを消しているとき(OFF時)とで、それぞれ、明るさをメモリーしています。ライトをつけている／ライトを消しているときの明るさを、それぞれ、お好みの明るさに調整してください。

コントラスト(1～31)調整

◀ をタッチすると黒さが増し、▶ をタッチすると白さが増す。

色の濃さ(1～31)調整

◀ をタッチすると淡くなり、▶ をタッチすると濃くなる。

色合い(1～31)調整

◀ をタッチすると赤が強くなり、▶ をタッチすると緑が強くなる。



人間の肌の色が自然な感じになるように調整してください。

映像の調整のしかた

■ ディスプレイ選択のとき

- ① **MENU** を長押しし、画面調整画面を表示する。
- ② ノーマル／フル／ワイド／シネマの中から、お好きな表示画面のボタンをタッチする。



ノーマル	: 4 : 3 の映像の画面
フル	: 4 : 3 の映像を左右に引き伸ばし、16 : 9 にした画面
ワイド	: “フル” の違和感を少なくした画面
シネマ	: 4 : 3 の映像をそのまま拡大した画面



- シネマを選んだ場合、映像を拡大して表示するため映像の上下が画面から切れて見えなくなります。
- ワイドを選んだ場合、映像を拡大して表示するため映像の左右が画面から切れて見えなくなります。

昼夜切替をする

画面の輝度を昼(通常)／夜(減光)と切り替えることができます。

1 画質調整画面で **昼夜切替** をタッチする。

: タッチするたびに昼／夜と画面の輝度が切り替わります。



車のライトを ON / OFF した場合、昼 / 夜も連動して切り替わります。



画質調整を初期値に戻す

調整した画質をお買い上げ時に戻すことができます。

1

画質調整画面で **初期値** をタッチする。

：設定した値がお買い上げ時の値に戻ります。



音声はそのまま画面を消す

画面を消して、音声のみ聞くことができます。

1

 を長押しする。

：画面が黒くなります。


■ 再度、画面を表示する

画面をタッチするか、再度  をタッチする。

：画面が表示されます。



アドドライブ

- リアカメラが接続されている場合に車のセレクトレバーをリバースに入れると、画面消し中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。
※セレクトレバーをリバース以外に入れると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。
- リアカメラを接続してカメラ映像を表示している場合は、 を長押ししても画面を消すことはできません。

フェード・バランスの調整をする

前後左右のスピーカーの音量バランスを調整することができます。

※ AV電源OFFの場合、フェード・バランスの調整をすることはできません。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

※ DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2 **設定** → **AUDIO 設定** → **フェードバランス** をタッチする。

：フェード・バランス設定画面が表示されます。



3 調整したい項目(フェード / バランス)の **◀** / **▶** または **▼** / **▲** をタッチする。

※車内イラストを直接タッチし、ポイント(値)を移動させて調整することもできます。



FADE(前9～後9)調整

▼ をタッチすると前スピーカーの音量が下がり、
▲ をタッチすると後ろスピーカーの音量が下がる。

BALANCE(左9～右9)調整

◀ をタッチすると右スピーカーの音量が下がり、
▶ をタッチすると左スピーカーの音量が下がる。

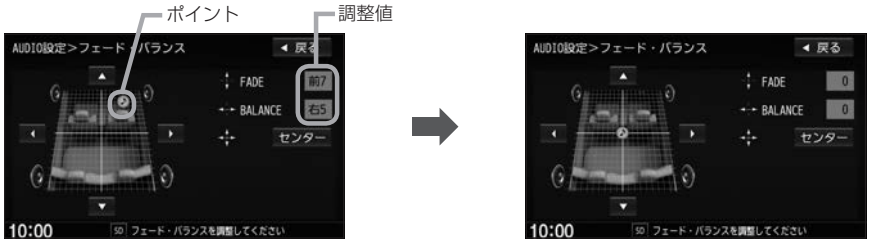
4 設定を終えるには、 **戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。

フェード・バランスの調整をする



アドバイス

- **センター** をタッチすると“FADE”と“BALANCE”の値が“0”になり、ポイントを中心線上に戻すことができます。



- 調整時に ◀ / ▶ / ▼ / ▲ をタッチし続けると、連続的に変化します。
- 車内イラストは音の設定位置を表すイメージ図です。

イコライザー(音質)の設定をする

再生する音楽の音質を選んだり、イコライザーの微妙な音響調整をすることができます。

※ AV電源OFFの場合、イコライザーの設定をすることはできません。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

※ DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2 **設定** → **AUDIO設定** → **イコライザー** をタッチする。

：イコライザー画面が表示されます。



交通情報受信画面(LINK J-2)の場合、イコライザーの設定はできません。(ボタンは選べません。)

3 お好みの音質を選ぶまたは値を設定する。

■ お好みの音質を選ぶ

① 設定したい音質をタッチする。

：音質が確定され、選んだ音質で再生されます。

※さらにお好きな値に調整することもできます。

▶ H-17



イコライザー画面で **OFF** をタッチすると音質効果なし(±0のフラット状態)となります。



POP / **ROCK** / **JAZZ** の値は本機に既存の値が設定されています。

USER1 / **USER2** の値はOFF状態(±0)に設定されています。

イコライザー(音質)の設定をする

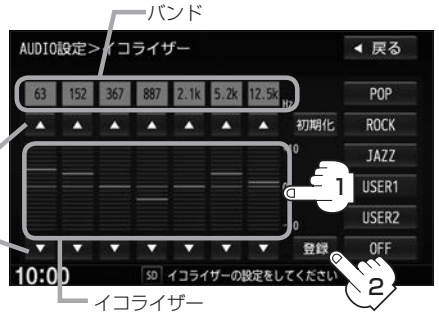
□ お好きな値に調整するには

1. 値を調整する。

：イコライザーをタッチする方法と
▲ / ▼ をタッチする方法の
2種類があります。



- ▲ : レベルアップ
- ▼ : レベルダウン



イコライザー
※イコライザーの—の部分
が値(レベル)を表します。

2. 登録 をタッチする。

：調整した値で保存されます。



走行中、イコライザーの値を調整することはできません。

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。



- **登録** をタッチする前に音質を変更(**POP** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER1** / **USER2** を選択)すると、設定した値(レベル)は保存されません。
- 手順 **3** で音質を選ぶとDSP(Ⓛ H-18)、SRS CS Auto(Ⓛ H-19)は自動的に **OFF** となります。
- イコライザー設定中はオーディオ画面のとき **EQ** マークが表示されます。

SD ソース画面



イコライザー画面を表示

マーク表示

イコライザーの値を初期値に戻す

調整した値をお買い上げ時に戻すことができます。

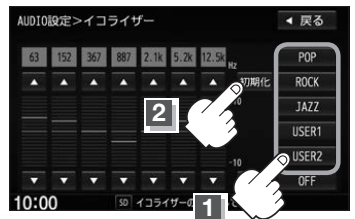
1

イコライザー画面で初期化したい音質をタッチする。

2

初期化 をタッチする。

：設定した値がお買い上げ時の値に戻ります。



サラウンドの設定をする

※ AV電源OFFの場合、サラウンドの設定をすることはできません。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

※ DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2 **設定** → **AUDIO設定** → **サラウンド** をタッチする。

：サラウンド設定画面が表示されます。



交通情報受信画面(LIF J-2)の場合、サラウンド(臨場感)の設定はできません。(ボタンは選べません。)

AUDIO設定画面



3 お好みのサラウンド(DSP / SRS CS Auto)を選ぶ。

■ DSPを使用する

再生する音楽に残響音を加え、いろいろな環境のサラウンドを擬似的に再現することができます。

LIVE	サラウンドをライブハウスに設定
HALL	サラウンドをコンサートホールに設定
STADIUM	サラウンドをスタジアムに設定
CHURCH	サラウンドを残響音の多い教会に設定

① **DSP** をタッチし、お好みのサラウンドをタッチする。

：選んだサラウンド効果で再生されます。



DSPとSRS CS Autoの同時設定はできません。

サラウンド設定画面



■ SRS CS Autoを使用する **SRS**
CS Auto

センタースピーカーやサブウーファーがなくても
4スピーカーのまま迫力の臨場感を再現することができます。

① **SRS CS Auto** をタッチする。

: SRSのサラウンド効果で再生されます。

② 各項目と **-** / **+** をタッチして音の高さ
/ 低音の強さ / 音の位置をお好みの値に
調整する。

サラウンド設定画面



FOCUS	耳の高さから音が聞こえるように調整
TruBass	低音の強さをフロント・リアで個別に調整 (サブウーファーがなくても重低音再生が可能です。)
MixToRear	フロントの音をリアにふり分け (後席でもセリフなどを聞きやすくできます。)

□ **FOCUS** を選んだとき



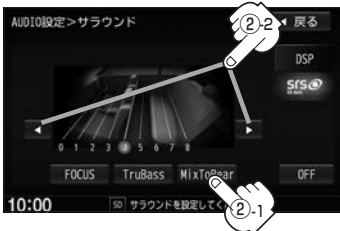
フロントまたはリアの音の高さを
+ / **-** タッチで調整します。
(0~8)

□ **TruBass** を選んだとき



フロントまたはリアの低音のレベルを
+ / **-** タッチで調整します。
(0~8)

□ **MixToRear** を選んだとき



リアスピーカーへのフロントスピーカーの
出力成分割合を **◀** / **▶** タッチで調整し
ます。(0~8)

サラウンドの設定をする



- 2スピーカーではサラウンド効果は得られません。
- FOCUSを選んでも車種によっては耳の高さから聞こえない場合もあります。
- 表示されるイラストはサラウンドを表すためのイメージ図です。

サラウンド設定画面(例)



— サラウンド効果(臨場感)をやめたい場合はタッチ

4

設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。



SDソース画面



手順 **3** で選んだサラウンドを表示

手順 **3** で **SRS CS Auto**、**DSP** を選ぶとイコライザーの設定は自動的に **OFF** となります。

スピーカーの設定をする

車種によってスピーカーの大きさが異なるため、下記の設定をすることによりSRS CS Auto設定時の音のゆがみを抑制することができます。

※AV電源OFFの場合、スピーカーの設定はできません。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

※DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2 **設定** → **AUDIO設定** → **スピーカー** をタッチする。

：スピーカー設定画面が表示されます。



3 **LARGE** / **NORMAL** をタッチする。

スピーカー設定画面



選んだ結果が反映される

 : NORMAL 選択時

 : LARGE 選択時

位置/大きさ	LARGE	NORMAL
フロント	17 cm以上	16 cm以下
リア	17 cm以上	16 cm以下

※スピーカーの大きさは目安ですので、設定する場合はSRS CS AutoをONにした状態で低音を確認し、低音がよりよく聞こえる方のスピーカー(大きさ)を選んでください。

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。

車速連動音量を設定する

車の走行速度によってオーディオの音量を自動で調整します。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

※DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2 **設定** → **AUDIO 設定** → **車速連動音量** をタッチする。

：車速連動音量画面が表示されます。



3 設定したい連動音量をタッチする。

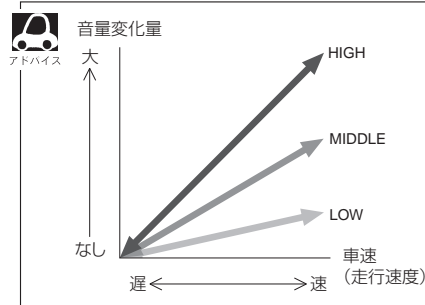
：車速(走行速度)に応じて音量変化は

- HIGH…大きい
 - MIDDLE…HIGHとLOWの間
 - LOW…小さい
- となります。



連動音量を設定しない場合は **OFF** をタッチ

4 設定を終えるには、**戻る** をタッチして表示したい画面まで戻る。



- 車速連動音量を設定することにより、加速に応じて自動的に音量を上げ、減速すると音量を下げます。
※高速走行中に発生するノイズによって聞こえにくくなるオーディオの音量を、自動で調整することができます。
- すでに設定を変更した場合はその設定で確定されます。

録音設定／データ管理

Gracenote データベースの更新でローカルアップデートとカスタムアップデートの操作手順(専用アプリケーションの使用)については指定ホームページで提供しております。(注)

(注)操作方法については、

VXM-145VFNiの場合

<http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-145vfni/>

VXM-145VFEiの場合

<http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-145vfei/>

VXM-145VFiの場合

<http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-145vfi/>

をご参照ください。

また、ご使用の際はユーザー登録をお願いいたします。

※ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

録音設定／データ管理について	1-2
音楽CDの録音方法(自動／手動)を選ぶ	1-3
音楽CDを録音する	1-4
録音方法／録音音質を選び、録音を開始する	1-4
録音データを初期化する	1-6
Music Rackの機能／構成について	1-7
Music Rackへ録音時の注意点について	1-8
Music Rackの使用容量を確認する	1-9
ローカル／カスタム／オンライン アップデートについて	1-10
タイトル情報更新の流れについて	1-10
ローカルアップデート／カスタム アップデートをする	1-12
Gracenoteデータベースのデータを 初期化する	1-17

録音設定／データ管理について

録音やデータベースのアップデートなどデータ管理に関わる内容を説明しています。

- 音楽CDを本機(Music Rack)へ手動録音するための設定

〔P〕1-3

- Music Rackの機能について

〔P〕1-7

※ Music Rackの構成や音楽CDを本機(Music Rack)に録音(保存)するときの注意事項を記載しています。

※ 音楽CDのデータベースを内蔵しており、アルバム名、アーティスト名、ジャンル名などが自動的に付加され、整理をすることができます。

※ Gracenoteデータベースを使用しています。

- Gracenoteデータベースのアップデート方法

〔P〕1-10

- Music Rackの機能の特徴は下記ようになります。

できること	音楽CDの録音・再生
本機以外に必要なもの (別にご購入頂くなどご準備頂くもの)	音楽CD
その他機能	アルバム名、アーティスト名などを自動的に付加するので、入力の手間を省けます。 新曲が出て、アルバム名、アーティスト名などのデータベースを更新できます。
データ保存場所	Music Rack

音楽CDの録音方法(自動／手動)を選ぶ

音楽CDを本機に挿入したとき、再生される曲を本機(Music Rack)へ録音することができます。録音には自動録音と手動録音があります。

※本機の初期の録音方法は「自動録音」に設定されています。

※アルバム名、アーティスト名を付加できない場合もあります。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

※DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2 **設定** → **AUDIO設定** → **録音管理** をタッチする。

: 録音管理画面が表示されます。

3 **CD録音設定** → **録音方法** を選び、タッチする。

自動録音	音楽CDを本機に挿入すると曲の再生と同時に本機に曲の録音を開始します。
手動録音	CDソース画面で 録音 をタッチし、録音方法(全曲録音／選択曲録音)／録音音質(高音質モード／標準モード)を選び、 録音開始 をタッチすると録音を開始します。

CD録音設定画面



音質の選択や録音可能時間、本機の残容量の確認もできます。



アドバイス

すでに1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合、自動録音は開始されません。未録音の曲を録音したい場合は、**録音** をタッチして録音を開始させてください。

音楽CDを録音する

録音方法／録音音質を選び、録音を開始する

全曲録音するか、お好みの曲を録音するかの設定と、音質の設定をすることができます。

1 CDソース時、**録音** をタッチする。

：録音開始画面が表示されます。

CDソース画面(手動録音設定時)



2 録音方法を選ぶ。

全曲録音をする

全曲録音 をタッチ

：CD内にある全ての曲の録音となります。ただし本機の容量が足りない場合 **全曲録音** はタッチできません。

※録音順はCDに収録されているとおりとなります。

曲を選んで録音をする

選択曲録音 → 録音したい曲を選ぶ → **決定** をタッチ

録音曲選択画面



※ **戻る** をタッチした場合、選択が解除され、前の画面に戻ります。

※ **決定** をタッチすると録音したい曲が確定し前の画面に戻ります。

トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

☑：このトラックを録音します。

☐：このトラックは録音しません。

※すでに録音済みのトラックは暗く表示され、選べません。



- 本機に録音される順番はアルバム(CD)に収録されているとおりとなります。
- タイトル情報が収録されていない場合、リスト表示は“トラックxx”と表示されます。
※xxにはトラック番号の数字が入ります。

3

録音音質を選ぶ。

高音質で録音	高音質モード をタッチ : 音の質は良くなりますがデータ容量が大きくなります。
標準で録音	標準モード をタッチ : 音の質は下がりますがデータ容量が小さくなります。

4

●録音開始 をタッチする。

: アーティスト名/アルバム名/トラック名と録音状態を示す情報を表示し、全曲または録音曲選択画面(☞I-4)で選んだ曲の1曲目から順に再生しながら録音します。



録音を止めたい場合は **録音中止** をタッチ
*録音を中止してもすでに録音したトラックは本機に保存されます。



アドバイス

- 全曲の録音が完了すると、自動で録音を終了し、録音完了時に再生していた曲を継続再生します。
- 録音(REC)をしながら他のソースにすることができます。

*録音(REC)が終了すると画面に終了を知らせるメッセージが数秒間表示されます。

現在地 をタッチ: ナビゲーション画面を表示します。

AUDIO をタッチ: 操作したいソースをタッチしてください。

- 本機への録音可能時間の情報を知ることができます。☞「Music Rackの使用容量を確認する」I-9
- CDソースでリピート/ランダム/スキャン再生を設定している場合に録音を行うと設定は解除されます。

録音データを初期化する

録音(REC)した音楽データを初期化することができます。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

※DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2 **設定** → **AUDIO設定** → **録音管理** をタッチする。

：録音管理画面が表示されます。

3 **音楽データ初期化** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** を選んでください。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ず音楽データの初期化を行ってください。

※Music Rack / SD / USB 機器再生中の場合、初期化中再生は停止されます。



4 設定を終えるには、**AUDIO** をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

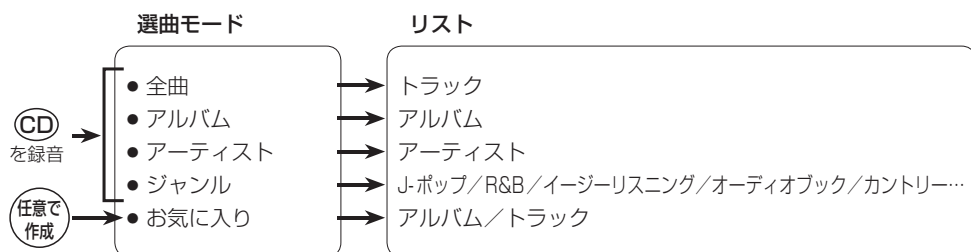
※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

- 初期化中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で **はい** を選ぶと、お客様の音楽データは消去され、二度と復帰しません。

Music Rackの機能／構成について

本機には主に下記に示すような Music Rack 機能があります。

- 録音時にタイトル情報を自動付加
- 録音された曲は自動で3種類(アルバム／アーティスト／ジャンル)の選曲モードに分類され、さらに細かく分かれて管理されます。選曲モードの各ボタンの中から絞り込んで検索することができるので便利です。
 - ※全曲は全てのトラックを表示します。お気に入りはお好みの曲だけを集めたオリジナルリストを表示します。
 - ※アルバムや曲の削除／再生選択を行うと、詳細画面にしたとき選曲モードは自動的に“全曲”となります。(編集前の選曲モードの再生リストを継続しません。)
 - ※録音された音楽CDがGracenoteデータベースでタイトル情報が取得されている場合に限りです。
- 録音済みの音楽をお好みの曲だけ集めたお気に入りリスト作成可能
- 設定により手動録音／自動録音の選択が可能



アドバイス

- 選曲モードの各モードへの振り分けは収録しているデータベースに合致した場合には行われ、自動振り分けがされない場合もあります。
- 録音可能曲数と容量は以下の通りとなります。

録音可能曲数*1	約4000曲
最大容量	16 GB

- * 1…録音音質は高音質モードで1曲を4分で換算した場合
(録音音質を標準モードで1曲4分で換算した場合は約4600曲となります。)
- ※最大曲数または最大容量に達すると録音はできなくなります。
- Music Rackには4つのアルバムと4つのトラックのお気に入りフォルダを作成することができ、1つのアルバムフォルダに200アルバム、1つのトラックフォルダに200曲の登録が可能です。

Music Rackへ録音時の注意点について

- 本機の故障、誤動作または不具合により記録できなかったデータ(録音内容など)、消失したデータ、本機内の保存データについては補償できません。
 - 録音中に車のエンジンスイッチを変更したり、本機に振動や衝撃を加えると録音したデータの消失・故障の原因となるおそれがあります。
- 車のエンジンスイッチを0(ロック)またはオーディオをOFF状態にしても前回設定した手動/自動の選択、録音音質は保持されます。
 - 本機のMusic Rackへの録音は音楽CDのみです。MP3/WMAファイル、DVD、FM、AM、Digital TV、SDカード、BLUETOOTH Audio、USB機器、iPodなどから録音することはできません。
 - 車のエンジンスイッチを「I(アクセサリ)」の状態では録音しているときに、「II(始動)」にしてエンジンをスタート(始動)すると、録音したデータが消失するおそれがあります。また、その他のデータが壊れたり、本機が故障するおそれがあります。
 - ノンストップCD(曲と曲の間の無音部分が無いCD)を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがあります。録音するCDに依存しますのでご了承ください。
 - 録音の開始時や、終了時には、数秒間音楽や音声が停止することがあります。
 - ・ 音楽CDを録音中にラジオなどに切り替えた場合、録音が終了すると終了を知らせるメッセージが数秒間表示されます。
 - 録音中、ソースを切り替えても、録音は継続されます。また、オーディオをOFF状態にしても録音は継続されます。
 - 本機で録音したCDは、重複して録音することはできません。
 - 自動録音に設定した場合、すでに本機に録音済みまたは1曲でも録音済みのディスクを挿入した場合は自動録音は開始されません。未録音の曲を録音したい場合は録音方法を選んで録音を開始させてください。☞「音楽CDの録音方法(自動/手動)を選ぶ」I-3
 - 録音途中で録音を停止する場合は次曲を3秒ほど再生してください。
 - ※ 音楽の終了と同時に録音を終了した場合は、正常に録音できていない場合があります。
 - 録音可能時間がCDの演奏時間より短い場合は録音されません。
 - 音楽CDの記録面の傷、汚れなどの状況や録音(記録)内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。また、コピーコントロールCDは正常に録音、再生できない場合があります。
 - 録音中の再生音はMusic Rackに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
 - 録音終了時、最後に再生していたトラックの先頭から再生が終わるまで早送り/早戻し、再生モードの変更はできません。
 - 録音を行うと録音前に設定されていた再生モードは解除されます。
 - 次の場合、録音中のトラック(曲)を削除します。
 - ・ 録音中に車のエンジンスイッチを変更した場合
 - ・ 録音中にCDを取り出した場合

Music Rack の使用容量を確認する

本機の Music Rack 内の使用状況を確認することができます。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

※ DVD ソース時は **MENU** を 2 回タッチします。

2 **設定** → **AUDIO 設定** → **録音管理** をタッチする。

：録音管理画面が表示されます。

3 **Music Rack 情報** をタッチする。

：本機の Music Rack の使用状況が表示されます。

4 使用状況を確認したら、

AUDIO をタッチする。

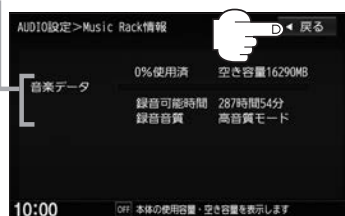
：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると 1 つ前の画面に戻ります。

録音管理画面



音楽データの使用情報



ローカル／カスタム／オンラインアップデートについて

本機にはあらかじめ商用CDタイトルの約95%のアルバム情報を取得成功できるデータベースが収録されており、CD再生時のタイトル情報表示や、CD録音時に自動でアーティスト名・タイトル名などを付けることができますので、入力の手間を省くことができます。

※全てのタイトル名の取得および正確性を保証するものではありません。

※データベースにタイトル情報がない場合は、誤ったタイトルを表示する場合があります。

タイトル情報更新の流れについて

本機に収録されている Gracenote データベースはアップデートすることができます。アップデートする方法はローカルアップデート(定期更新)とカスタムアップデート(個別更新)・オンラインアップデート(オンライン検索)があります。

■ ローカルアップデート(定期更新)

Hondaのホームページに年に数回、定期的にアップデートされるデータを使って、本機に収録されている Gracenote データベースを最新の情報に更新することができます。

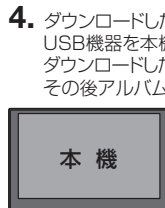
1. SDカードまたはUSB機器をパソコンに挿入する。
2. 指定のホームページにアクセスし、ユーザー登録する。
3. SDカードまたはUSB機器にダウンロードする。



または



Honda
ホームページ



本機

4. ダウンロードしたSDカードまたはUSB機器を本機に挿入し、本機にダウンロードした情報を取り込む。その後アルバム情報画面またはトラック情報画面で Gracenote データベース再検索を行ってタイトル情報を更新する。

■ カスタムアップデート(個別更新)

Gracenote データベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、Gracenote 音楽認識サービスより個別に取得できます。

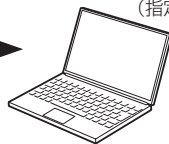
1. SDカードまたはUSB機器を本機に挿入し、タイトル情報のなかったアルバム情報を書き出す。
▶P-14
2. アルバム情報が記憶されたSDカードまたはUSB機器をパソコンに挿入する。
3. タイトル情報を追加するアプリケーションをインターネット(指定のホームページ)からパソコンにダウンロードする。



本機



または



7. アルバム情報画面またはトラック情報画面で Gracenote データベース再検索を行ってタイトル情報を更新する。
6. SDカードまたはUSB機器より取得した情報を本機に取り込む。
5. タイトル情報をSDカードまたはUSB機器に取り込む。

4. Gracenote 音楽認識サービスからタイトル情報を取得する。



アドバイス

- Gracenote データベースよりタイトル情報を入手するにはパソコン 100 MB 以上の空き容量、インターネット接続環境 (64 kbps 以上推奨)、SD カード 8 MB 以上などの動作環境を整えていただく必要があります。
- ローカルアップデート (定期更新)、カスタムアップデート (個別更新) には専用アプリケーションが必要です。専用アプリケーションは指定ホームページから入手できます。操作手順 (操作方法) は指定ホームページ^(注) でご確認ください。ご利用いただくにはユーザー登録をお願いいたします。

(注)：指定のホームページ

VXM-145VFNi の場合 <http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-145vfni/>

VXM-145VFEi の場合 <http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-145vfei/>

VXM-145VFi の場合 <http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-145vfi/>

※ ホームページのアドレスは都合により変更させていただく場合があります。

■ オンラインアップデート (オンライン検索)

Gracenote データベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、インターナビ用データ通信 USB を使用して Gracenote 音楽認識サービスより取得できます。☞ 「オンライン検索をする」 K-5

オンライン検索する方法は、録音を行う前の CD 再生画面からタイトルを取得する方法と Music Rack 再生画面からタイトルを取得する方法の 2 種類あります。

Music Rack 再生画面からタイトルを取得する場合 ☞ L-14、L-21

CD 再生画面からタイトルを取得する場合 ☞ 下記

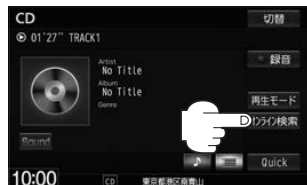
1. CD 再生画面の **オンライン検索** をタッチする。

：アルバム情報画面またはトラック情報画面でタイトル情報が更新されます。



アドバイス

録音済みの曲をオンライン検索する場合は、Music Rack から行ってください。



ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

Gracenote データベース検索を利用して本機に収録されていない(アーティスト名・タイトル名などの)情報をアップデートすることができます。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

※DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2 **設定** → **AUDIO設定** → **Gracenote データベース** *¹ をタッチする。

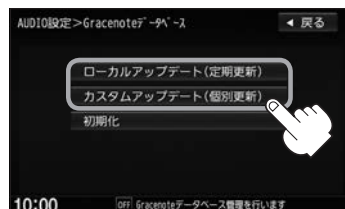
: Gracenote データベース画面が表示されます。

* 1…走行中／録音中は選べません。

3 アップデートの方法をタッチする。

※ Music Rack / SD / USB 機器再生中はメッセージが表示されるので **はい** をタッチして再生を停止させる必要があります。

Gracenote データベース画面



■ **ローカルアップデート(定期更新)** をタッチ



アドバイス

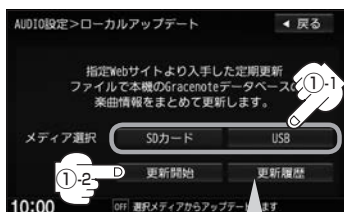
ローカルアップデート(定期更新)する前に…

1. ローカルアップデート用専用アプリケーションをパソコンにダウンロードする。
 2. データベースファイルをパソコンにダウンロードする。
 3. ローカルアップデート専用アプリケーションを使用して半角でNVDATA フォルダを作成する。
 4. パソコンにダウンロードしたデータベースファイルをNVDATA フォルダに移動させ、SDカードまたはUSB機器に取り込む。
 5. SD カードまたはUSB機器を本機に挿入／接続する。
- ※ローカルアップデートは情報の取り込みのみを行います。

ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

① メディア(**SDカード** / **USB**)を選び、 **更新開始** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、選んだ方法で本機に情報を取り込みます。



注意

更新中は他の操作(ソースの切り替え/車のエンジンスイッチ変更/電源を切る/CD・SDカード・USB機器を抜くなど)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

更新履歴 をタッチすると、SDカードまたはUSB機器からアップデートしたGracenote データベースのバージョンを確認することができます。

バージョン更新履歴確認画面



お買い上げ時のバージョンを表示

お客様が追加されたデータベースのバージョンを表示

Gracenote データベース検索でここに表示されていないバージョンをアップデートしてください。確認画面に表示できるデータベースのバージョン情報は200個です。それ以上はバージョン情報の古い順に上書き表示されます。



アドバイス

最新のアップデートファイルを更新しても、全てのデータベースが更新されるわけではありません。アップデートをしたい期間のアップデートファイルを全てダウンロードし、アップデートを行ってください。

② 取り込み(更新)完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、**OK** を画面に従ってタッチする。

本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で

データベース再検索 をタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

[⏪] [■データベースから再検索する] L-14、L-21

ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

■ カスタムアップデート(個別更新) をタッチ

※SDカード／USB 機器を本機に挿入／接続(準備)しておく必要があります。

[左] 「ディスクやSDカードを入れる／取り出す」A-16

[左] 「USB 機器を接続する」M-9



データの書き出しをする

新規アルバム表示または、間違っただイトル表示のときにデータの書き出しを行います。

□ 新規アルバム(No title表示)のとき

※新規タイトルxxと表示されるアルバムは、自動でアルバム情報の保存を行います。

1. I-15の手順①へ進んでください。

□ 間違っただイトルを表示(ミスヒット)しているとき

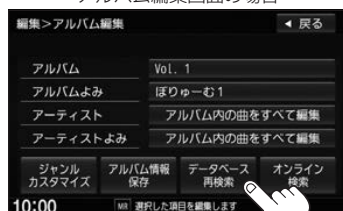
■ データベースに複数のタイトル情報がある場合

1. Music Rack ソースでデータベース再検索をする。

アルバム編集画面([左] L-11 手順 **1** ~ **3**)または、トラック編集画面([左] L-19 手順 **1**、**2**)で

データベース再検索 をタッチする。

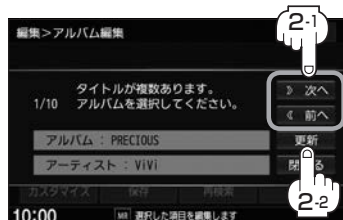
アルバム編集画面の場合



2. 表示したいアルバム名を

次へ / **前へ** をタッチして検索し、希望のアルバム名が見つかった場合は **更新** をタッチする。

：タイトル情報が更新されます。



3. I-16の手順 **4** へ進んでください。

※手順2のとき希望のアルバム名がなかった場合は

[左] 「■データベースにタイトル情報がない場合」I-15へ進んでください。

- **データベースにタイトル情報がない場合** ※ Music Rack 再生中は、再生を停止する必要があります。

1. Music Rack ソースで **編集** → **曲管理** をタッチする。

：曲管理画面が表示されます。



曲管理画面

2. 間違った情報のアルバムをタッチし、

アルバム編集 をタッチする。

：アルバム編集画面が表示されます。

3. **アルバム情報保存** をタッチする。

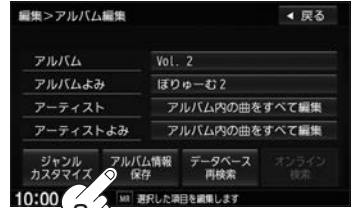
：間違ったアルバム情報を一旦本機に保存します。



4. 1-12の手順 **1**、**2** に従って操作し、 手順 **3** のとき **カスタムアップデート(個別更新)** を タッチする。

5. 下記手順①へ進んでください。

アルバム編集画面



① **SDカード** / **USB** → **書き出し** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチするとSDカード／USB機器にタイトル情報のなかったアルバム情報を書き出します。

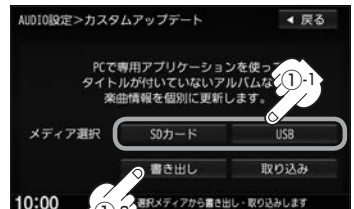
② 書き出し完了を知らせるメッセージが表示されるので、内容を確認し、**OK** をタッチする。

③ 本機よりSDカード／USB機器を取り外し、パソコンに挿入／接続する。

④ パソコンからGracenote 音楽認識サービスに接続し、タイトル情報を取得する。

⑤ 取得した情報をSDカード／USB機器に取り込む。

⑥ SDカード／USB機器をパソコンより取り外し、本機に挿入／接続する。



ローカルアップデート／カスタムアップデートをする

データの取り込みをする

※カスタムアップデート画面を表示している場合は下記手順⑦へ進んでください。

表示していない場合は1-12の手順 **1**、**2** に従って操作し、
手順 **3** のとき **カスタムアップデート(個別更新)** をタッチする。

- ⑦ **SDカード** / **USB** → **取り込み** → **はい** をタッチする。



：メッセージが表示されるので **はい** をタッチするとSDカード／USB機器より取得した情報を本機に取り込みます。

⚠ 注意

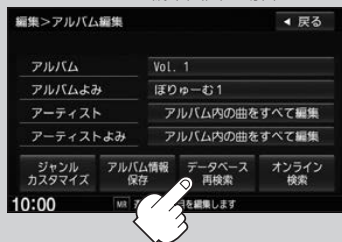
更新中は他の操作(ソースの切り替え／車のエンジンス
イッチ変更／電源を切る／CD・SDカード・USB機器
を抜くなど)をしないでください。
他の操作をすると故障の原因となります。

- ⑧ 取り込み完了を知らせるメッセージが表示されるので内容を確認し、**OK** をタッチする。

本機に取り込んだ情報を反映するには、アルバム編集画面またはトラック編集画面で **データベース再検索** をタッチしてタイトル情報を更新してください。

※アルバム、トラックどちらの編集画面でもタイトル情報を更新できます。

アルバム編集画面の場合



- 4** 設定を終えるには、**AUDIO** をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

Gracenote データベースのデータを初期化する

Gracenote データベースのデータを初期化することができます。

1 オーディオ画面で **MENU** をタッチする。

※DVDソース時は **MENU** を2回タッチします。

2 **設定** → **AUDIO設定** → **Gracenoteデータベース** *¹ をタッチする。

：Gracenote データベース画面が表示されます。

* 1…走行中／録音中は選べません。

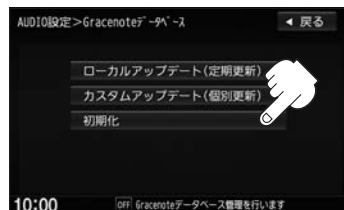
3 **初期化** をタッチする。

※ Music Rack / SD / USB 機器再生中はメッセージが表示されるので **はい** をタッチして再生を停止させる必要があります。

：メッセージが表示されるので、**はい** を画面に従ってタッチするとデータを消去し、Gracenote データベース画面に戻ります。

※本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合は必ずデータの初期化を行ってください。

Gracenote データベース画面



4 設定を終えるには、**AUDIO** をタッチする。

：現在選択中のソースの再生画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

- 初期化中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。
- 初期化で **はい** を選ぶと、お客様の今までアップデートしたデータ(ローカルアップデート(定期更新)/カスタムアップデート(個別更新))は消去され、データは元に戻りません。初期化は十分確認のうえ行ってください。

J

FM / AM を聞く

FM
/
AM

各部のなまえとはたらき	J-2
FM / AM 放送を切り替える	J-3
選局する	J-3
プリセットボタンにメモリーする	J-7
交通情報を受信する	J-8
道路交通情報聞く	J-8
道路交通情報の受信を止める	J-8
道路交通情報の周波数を切り替える	J-8

各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー([] A-14)から **FM/AM** をタッチすると、ラジオ画面が表示されます。

FM画面(**エリア** 選択時)



- ① 周波数
- ② 放送局名
- ③ イコライザー設定／選択中のサラウンドマーク
- ④ ステレオ放送受信マーク
- ⑤ 交通情報を受信
- ⑥ FM/AMの切り替え
- ⑦ 現在いるエリアの放送局リストを更新
(**エリア** をタッチしたときのみ表示)
- ⑧ 放送局リスト画面を表示
- ⑨ イコライザー設定画面を表示
- ⑩ **プリセット** / **エリア表示** / **リスト表示**
(タッチして選局)
- ⑪ ユーザープリセットした放送局を⑩に表示
([] 下記アドバイス)
- ⑫ 現在地周辺の放送局を⑩に表示
- ⑬ Quick MENUを表示
- ⑭ 1つ前の画面に戻る
- ⑮ 周波数の切り替え

交通情報受信画面



アドバイス

放送局名は、全ての放送局の名称が表示されるわけではありません。

ユーザープリセットについて

P1 **P2** それぞれに1～6のボタンがあり、ボタンを長押しすると、現在聞いている放送局をメモリーし、お好みの局リストにすることができます。

交通情報について

初期設定では1620 kHzに設定されています。

選局する

■ P1 / P2(ユーザープリセット選局)で放送局を選ぶ

プリセット (1～6)にメモリーした放送局を呼び出すことができます。

※あらかじめ **プリセット** (1～6)に放送局をメモリーしておく必要があります。

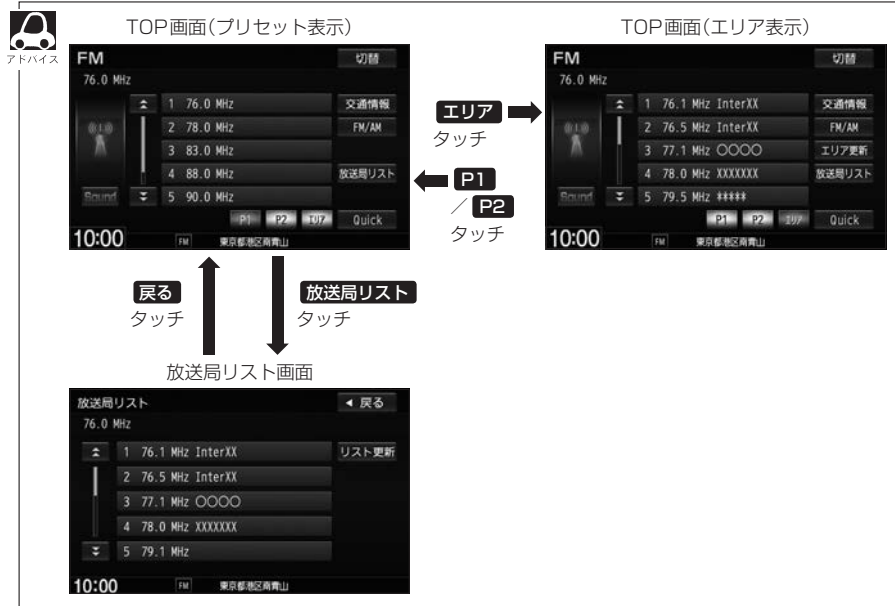
☞「プリセットボタンにメモリーする」J-7

① **P1** または **P2** をタッチする。

：選択中モード(FM / AM)のプリセット表示となります。

② 呼び出したい **プリセット** (1～6)をタッチする。

：選んだラジオ放送を受信します。



■ エリア選局で放送局を選ぶ

現在の車の位置周辺で放送されている放送局を呼び出すことができます。

① **エリア** をタッチする。



: 現在地周辺のエリアで放送されている放送局が **エリア表示** (1～12) に表示されます。

② **エリア表示** (1～12) の中で聞きたい放送局をタッチする。

エリア表示 ボタン
(1～12)
※地域によって放送局
の数は変わります。



: 選んだラジオ放送を受信します。



アドバイス

- 表示された放送局が必ず受信されるわけではありません。
- 地域によって放送局の数が異なりますので、全ての **エリア表示** に表示されるとは限りません。
- 放送局名を表示したとき、同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、重複した放送局が表示されることがあります。
- エリア表示のまま放置(走行)していた場合に **エリア更新** をタッチするとエリアが更新され、現在地周辺の最新エリアの放送局が表示されます。

選局する

■ 放送局リスト選局で放送局を選ぶ

受信できる放送局のリストを表示します。

※FM/AMソース以外のとき、自動で放送局をサーチします。

① 放送局リスト をタッチする。



: 受信できる放送局を **リスト表示** に表示します。

② リスト表示 (1~12) の中で聞きたい放送局をタッチする。



リスト表示 ボタン

: 選んだラジオ放送を受信し、TOP画面に戻ります。

□ 放送局リスト選局でリストを更新する

手動で車の現在地周辺で放送されている放送局のリストへ更新します。

① リスト更新 をタッチする。



: サーチ中はリスト表示や音声が消え、サーチが完了すると更新された放送局リストが表示されます。受信できる放送局がない場合は、**リスト更新** をタッチする前のリストを表示します。



アトハイス

- リスト更新を行うとエリア選局の放送局名も更新されます。
- 自動で取得した放送局リストが正しく表示されない場合、リスト更新をすることで最新の放送局に更新することができます。

プリセットボタンにメモリーする

メモリーしたい局を選び、**プリセット** (1～6)にメモリーします。
FM、AMの各バンドで、P1/P2に6局ずつ、計24局メモリーできます。

1 プリセットを選ぶ。

2  /  をタッチして、メモリーしたい局を選ぶ。

 「 手動選局で放送局を選ぶ /  自動選局で放送局を選ぶ」 J-3

3 **プリセット** (1～6)のうち、メモリーしたいボタンをプリセットボタンの表示がメモリーしたい局の表示に変わるまで長押しする。

例 手順 **1** で“P1”を、手順 **2** で“85.1 MHz”を選び、**プリセット** 2にメモリーする場合



プリセット ボタン(1～6)



プリセットボタン2にメモリーできた



アドバイス

- すでにプリセットされているボタンに新たにプリセットすると、それまでの放送局は上書き(消去)されます。
- メモリーした放送局を呼び出すには、**P1** または **P2** をタッチし、呼び出したい **プリセット** (1～6) をタッチします。

交通情報を受信する

道路交通情報を聞く

1

交通情報 をタッチする。

: 交通情報受信画面になり、
道路交通情報を受信します。



アドバイス

交通情報画面はAV MENU画面の**交通情報** をタッチ
しても表示させることができます。

TOP画面



道路交通情報の受信を止める

戻る をタッチ 最後を選んでいたソースが表示され、交通情報の受信を終了します。

電源 をタッチ AV電源がOFFになります。

道路交通情報の周波数を切り替える

1620 kHz をタッチ 周波数が1620 kHzに切り替わります。

1629 kHz をタッチ 周波数が1629 kHzに切り替わります。

K

CD・MP3 / WMA を聞く

W
M
A
/
C
D
・
M
P
3

各部のなまえとはたらき	K-2
未録音CDを挿入したとき	K-3
好きなフォルダを選ぶ (MP3 / WMAの場合)	K-3
好きなトラックを選ぶ (CD・MP3 / WMAの場合)	K-4
オンライン検索をする	K-5

各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー(A-14)から **CD/DVD** をタッチすると、CD・MP3/WMA ファイル再生画面が表示されます。

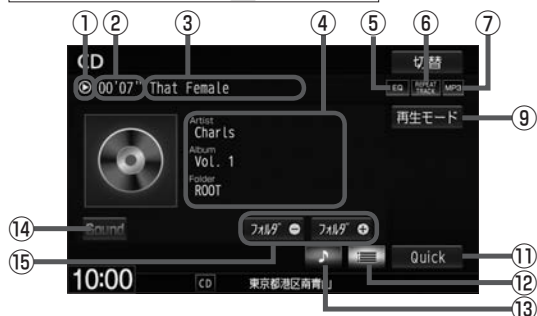
CD再生画面(をタッチ時)



- ① 再生状態マーク
(▶:通常再生 ▶▶:早送り ◀◀:早戻し)
- ② 再生時間
- ③ トラック名/ファイル名
- ④ アーティスト名/アルバム名/ジャンル名*1 /フォルダ名*2
- ⑤ イコライザー設定/選択中のサラウンドマーク
- ⑥ 再生モードマーク
- ⑦ 再生ファイルマーク
- ⑧ 録音開始画面を表示
- ⑨ 再生モードを選択
- ⑩ CDタイトル情報を取得
- ⑪ Quick MENUを表示
- ⑫ トラックリストを表示
- ⑬ 再生中トラックの詳細情報表示
- ⑭ イコライザー設定画面を表示
- ⑮ 前後のフォルダに移動

- * 1…CD再生時
- * 2…MP3/WMA再生時

MP3/WMA再生画面(をタッチ時)



アドバース

- 録音(REC)中に他ソースよりCDソースにした場合は、録音画面になります。
 - 1枚のディスクに音楽データとMP3/WMAデータが混在する場合はMP3/WMAデータは再生しません。
 - アーティスト名/トラック名/アルバム名が表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
 - ディスク内のCD-TEXT情報と、Gracenoteデータベースの検索結果によって再生時の表示は以下の様になります。
 - ・ ディスクにCD-TEXT情報があれば、トラック名/アーティスト名/アルバム名はCD-TEXTが優先して表示されます。ジャンルは空欄となります。
 - ・ CD-TEXT情報がなくGracenoteデータベースにヒットしている場合は、Gracenoteデータベースのトラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名が表示されます。
 - ・ ディスクにCD-TEXT情報がなくGracenoteデータベースにもヒットしなければ、アーティスト名/アルバム名は“No Title”と表示されます。
 - 本機へ録音されるタイトル情報はGracenoteデータベースにヒットしている場合のみであり、CD-TEXT情報は反映されません。
 - CD再生中のリスト表示はGracenoteデータベースにヒットしている場合はトラック名が表示され、ディスクにCD-TEXT情報がある場合はCD-TEXT情報を優先してリスト表示されます。どちらの情報もない場合は“TRACK1…”と表示され、タイトル表示されません。
- ※市販されているほとんどの音楽CDにはCD-TEXT情報は入っていません。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

未録音CDを挿入したとき

※ CDソースの場合

Music Rackに1曲も録音していない音楽CDを挿入すると、録音方法が自動録音に設定されている場合、再生と同時にMusic Rackへ全曲の録音を開始します。



録音を停止したい場合は、**録音中止** をタッチ



アドバイス

- Music Rackに録音すれば車内がCDであふれることもなく、ディスクの交換の手間も省け便利です。Music Rackへ録音した曲は、再生選択や削除などの編集も可能です。
【 「アルバムリストの編集(曲管理)」L-11】
- 音楽CD以外(MP3/WMAなど)は録音(REC)できません。
- 未録音CDが本機に挿入された状態で他のオーディオソースからCDソースにした場合や、CDソースでOFF→ONにした場合は再度録音が始まります。(自動録音設定時)
- 自動録音/手動録音は変更することができます。【 I-3】
- 手動録音の場合は、CDソースで録音前にオンライン検索でタイトル情報を取得することができます。
- 手動録音の場合は、録音する曲を選んだり、録音音質を変更することができます。
【 「音楽CDを録音する」I-4】

WMA
CD・MP3

好きなフォルダを選ぶ (MP3 / WMAの場合)

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1

フォルダ / **フォルダ** をタッチする。

前のフォルダに戻る **フォルダ** をタッチ

次のフォルダに進む **フォルダ** をタッチ



好きなトラックを選ぶ (CD・MP3 / WMAの場合)

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1

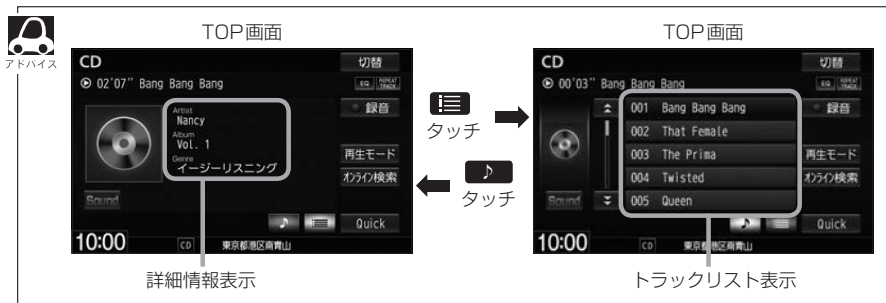
 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※MP3 / WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル(曲)がトラックリストに表示されます。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

TOP画面(詳細情報表示)

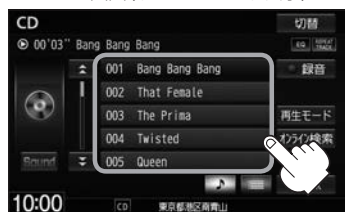


2



再生したいトラックをタッチする。

：選んだトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示)



アドバイス

-  /  をタッチしてトラックを選ぶこともできます。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
 - ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
 - ※走行中はスクロールしません。
- CDソース時のトラックリストについて
 - ・ CD-TEXT 情報または Gracenote データベースタイトル情報が表示されます。
 - ・ タイトル情報がない場合は、TRACK 1、TRACK 2、TRACK 3……と表示されます。

オンライン検索をする

※ CD ソースの場合

Gracenote データベースにヒットしない新譜などのアルバムや、異なったタイトル情報が検索されたアルバムの情報を、インターナビ用データ通信 USB を利用して Gracenote 音楽認識サービスより個別に取得できます。

1

オンライン検索 をタッチする。

：インターナビ用データ通信 USB を利用したデータ通信 (接続) を開始します。

※接続に成功すると Gracenote 音楽認識サービス (サイト) より、タイトル情報を取得します。

※取得をやめる場合は、メッセージ表示中に **中止** をタッチしてください。

(タイトル情報更新中に **中止** は選べません。)

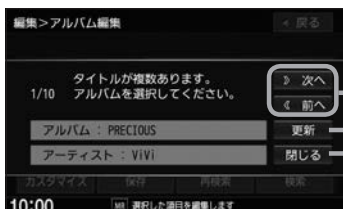


W
M
A
・
S
C
M



アドハイス

- 新作 CD などは、情報が取得できない場合があります。
- オンライン検索は、CD ソースまたは Music Rack ソースから行うことができますが、録音後に CD ソースでオンライン検索をしても Music Rack ソースには反映されません。
 - ※録音前に CD ソースでオンライン検索をしておくと Music Rack ソースでもタイトル情報が反映されます。
- 録音後に CD ソースでオンライン検索した場合は Music Rack ソースではオンライン検索をしなくてもデータベース再探索をしてタイトル情報を更新することができます。
- 電波状況や情報のデータ量によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 以下の場合は、オンライン検索は使用できません。
 - ・他の通信を行っているとき
 - ・接続しているインターナビ用データ通信 USB の圏外に車が移動したとき
 - ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- 情報のデータ量や電波状況によっては、情報の取得に時間がかかる場合があります。
- 情報取得が終了すると、自動的に通信回線は切断されます。
- 情報取得中に通信が途切れた場合は、再度データを取得していただくことになります。
- 必ずしも正しいタイトル情報が表示されるわけではありません。該当する情報が取得できない場合もあります。
- タイトル情報が複数ある場合は、好きなアルバムを選ぶことができます。



1

次へ / **前へ** をタッチして次のアルバムを表示

2

アルバムを選んだら **更新** をタッチ

閉じる をタッチすると CD ソース TOP 画面に戻る。

L

Music Rackを使う

各部のなまえとはたらき	L-2
好きなトラックまたはアルバムを選ぶ	L-3
選曲モードより選ぶ	L-5
アルバムリストの編集(曲管理)	L-11
アルバム編集をする	L-11
再生選択をする	L-15
お気に入り登録をする	L-16
ジャケット写真を登録する	L-17
削除する	L-18
トラックリストの編集(曲管理)	L-19
トラック編集をする	L-19
再生選択をする	L-22
お気に入り登録をする	L-23
削除する	L-23
お気に入りを管理する	L-24
再生中の曲をお気に入り登録する	L-26
再生中の曲のジャンルを設定する	L-28

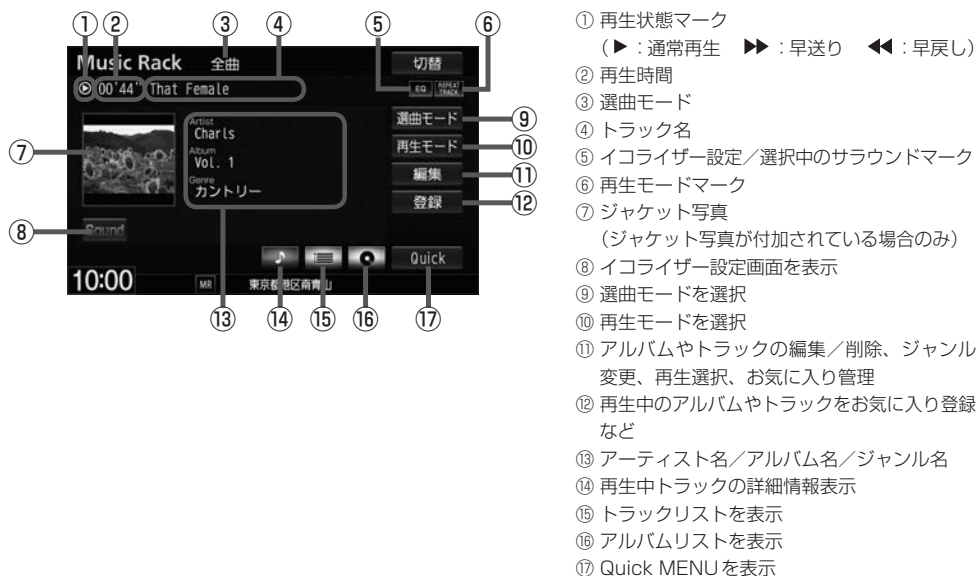
各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー([A-14])から **Music Rack** をタッチすると、Music Rack再生画面が表示されます。

※ CDから1曲も録音(REC)していない場合、Music Rackを聞くことはできません。

CDからの録音については [A-14] 「音楽CDを録音する」I-4

Music Rack再生画面(▶)をタッチ時



アドバイス

● 走行中は以下の機能が制限されます。

編集 **登録** : 操作できません。

選曲モード : 一部操作ができなくなります。

- トラック名/ジャンル名/アーティスト名/アルバム名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名が記録されていない場合は、“新規アルバム XXXXXXXX”と表示されます。(Xには西暦・月日を表示)
- 該当するジャンル名がない場合は“その他”と表示されます。
- アーティスト名が記録されていない場合は、“新規アーティスト”と表示されます。
- トラック名/アーティスト名/アルバム名が表示しきれない場合は、タッチするとスクロールし、見られるようになります。スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- ジャケット写真の登録方法については [A-14] 「ジャケット写真を登録する」L-17

好きなトラックまたはアルバムを選ぶ

選曲モードで選んだボタンのトラックまたはアルバムをリストより選択再生させることができます。





1

 または  をタッチする。

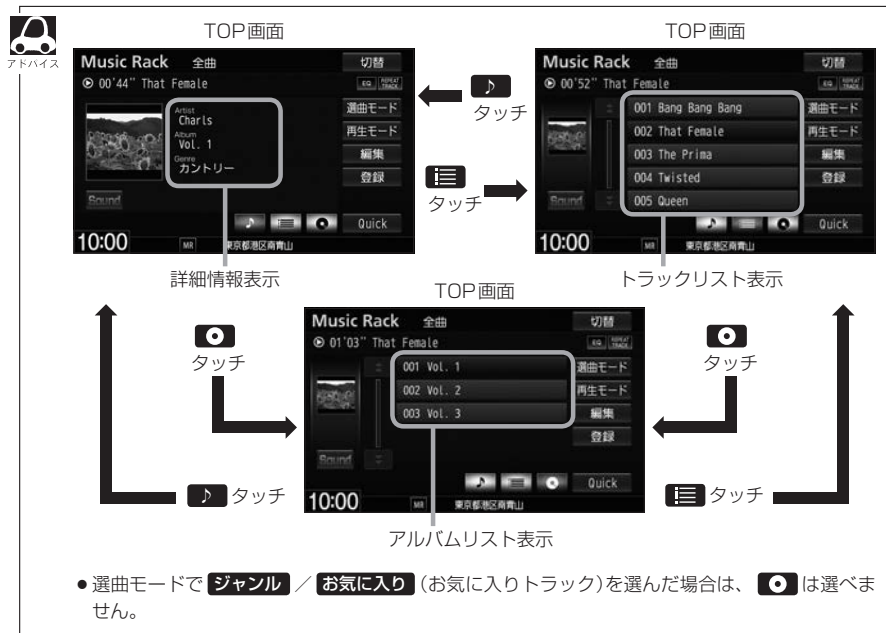
※すでに表示したいリスト表示になっている場合は手順 1 を省略することができます。

TOP画面(詳細情報表示時)



	<p>トラックリストを表示</p> <p> 選曲モードで選んだボタンのトラックリスト表示となります。</p>
	<p>アルバムリストを表示</p> <p> 選曲モードで選んだボタン(全曲/アーティスト)のアルバムリスト表示となります。 ※選曲モードでアルバムを選んだ場合は全てのアルバム表示となります。</p>

Music Rack



好きなトラックまたはアルバムを選ぶ

2

再生したいトラックまたはアルバムをタッチする。

：選んだリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示時)



アドバイス

- [⏮] / [⏭] をタッチしてトラックを選ぶこともできます。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

選曲モードより選ぶ

本機はCDの録音と同時に Gracenote 音楽認識サービスにより、該当する選曲モードの各ボタン(全曲/アルバム/アーティスト/ジャンル)に自動で振り分けます。選曲モード内はさらに細かく分かれ管理されます。聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

※録音された音楽CDが Gracenote データベースでタイトル情報が取得されている場合に限りです。

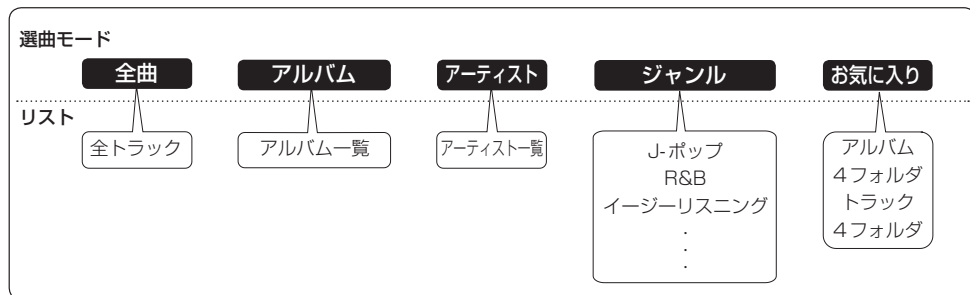
録音は [F] I-4、Gracenote データベースの更新は [F] I-10

また、本機のお好みの曲だけを集めた“お気に入り”ボタンもあります。

※あらかじめお気に入り登録をしておく必要があります。

[F] 「再生中の曲をお気に入り登録する」L-26

Music Rack ソースイメージ図



※アルバムやトラックの削除/再生選択を行うと、トラック情報画面にしたとき選曲モードは自動的に“全曲”となります。(編集前の選曲モードの再生リストを継続しません。)

選曲モードより選ぶ

1

選曲モード をタッチする。

: 選曲モード画面が表示されます。

TOP画面(詳細情報表示時)



2

選曲モードより選曲する方法を選び、
タッチする。

※走行中は、**全曲** 以外は操作できません。

選曲モード画面



アドバイス

- 録音した曲数が増えるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- **再生中画面** をタッチするとTOP画面に戻ります。

走行中のリストの操作について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になる場合があります。

■ **全曲** をタッチ

: TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

■ **アルバム** をタッチ

: アルバムリストが表示されます。

- ① 再生したいアルバムをタッチする。 ② 再生したいトラックをタッチする。



: 選んだアルバムに収録されているトラックリストが表示されます。



: 選んだ曲を再生します。

M
R
a
c
k



アドバイス

アルバムリスト表示(①)のとき、表示されるリストの並び順を変えることができます。

1. **登録順** をタッチする。

: 本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** をタッチしてください。アルバム名のみ(“アルバムよみ”)が入っていないと正しく名前順に表示されません。アルバム名のみが入っているものをリストより名前順に並び替え、さらにその下により名が入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。(アルバムの編集は「**音** L-11)

※お買い上げ時は名前順表示となっています。(登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

登録順表示の場合



選曲モードより選ぶ

■ **アーティスト** をタッチ

: アーティストリストが表示されます。

① 再生したいアーティストを タッチする。

名前順表示の場合



: 選んだアーティストのアルバムが表示されます。

② 再生したいアルバムをタッチする。

アルバムリスト



: 選んだアルバムに収録されているトラックリストが表示されます。

③ 再生したいトラックをタッチする。

トラックリスト



: 選んだ曲を再生します。



アドバイス

1. **登録順** をタッチする。

: 本機に登録(録音)した順にリスト一番上より新しいものが表示されます。

※名前順表示に戻したい場合は **名前順** をタッチしてください。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並べ替えて表示します。Gracenoteデータベースにヒットし再生画面で正しく表示されている場合でもアーティスト名のよみ("アーティストよみ"の項目を選び、編集画面にしたとき)に何も入っていないとSHIFT-JIS順表示となります。(アルバム/アーティストの編集は「**設定**」L-11)

※お買い上げ時は名前順表示となっています。(登録順表示にしても他の画面にするとリストは名前順表示に戻ります。)

登録順表示の場合



■ **ジャンル** をタッチ

：ジャンルリストが表示されます。

- ① 再生したいジャンルをタッチする。 ② 再生したいトラックをタッチする。



：選んだジャンルのトラックリストが表示されます。



：選んだ曲を再生します。



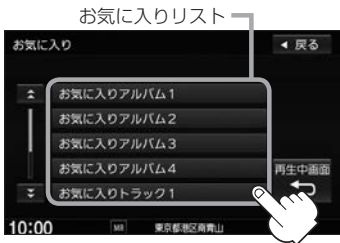
アドバイス

- トラックリストはGracenote データベースにヒットした(タイトル情報がある)場合にトラックを表示します。
- トラックのジャンル情報はお客様の主観にあわせて設定しなおすことができます。
🔗 「再生中の曲のジャンルを設定する」L-28

■ **お気に入り** をタッチ

：お気に入りリストが表示されます。

- ① 再生したいお気に入りアルバム 1～4
 またはお気に入りトラック 1～4を
 タッチする。



アドバイス

- お気に入り登録をしていないと、手順 1.
 (🔗 L-10)以降の操作はできません。
🔗 「再生中の曲をお気に入り登録する」L-26

選曲モードより選ぶ

□ お気に入りアルバム1 をタッチ

: お気に入りアルバム1に収録されているアルバムリストを表示します。

1. 再生したいアルバムをタッチする。



: 選んだアルバムに収録されているトラックリストが表示されます。



2. 再生したいトラックをタッチする。



: 選んだ曲を再生します。

□ お気に入りトラック1 をタッチ

: お気に入りトラック1に収録されているトラックリストが表示されます。

1. 再生したいトラックをタッチする。



: 選んだ曲を再生します。

3

再生中画面 をタッチする。

: TOP画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。



アドバイス

ジャンルリスト(📁 L-9)、お気に入りリスト(📁 L-9)で再生したいジャンル、お気に入り曲を選んだとき該当するトラックがない(Gracenoteデータベースにヒットしない、またはお気に入り登録していない)場合、リストには何も表示されません。

アルバムリストの編集(曲管理)

アルバム名の変更や再生選択、お気に入り登録、アルバムの削除などを行うことができます。また、ジャンルの変更やデータベースの再検索なども行うことができます。

アルバム編集をする

1

編集 をタッチする。

: 編集メニューが表示されます。



2

編集メニューより **曲管理** をタッチする。



: 曲管理画面が表示されます。

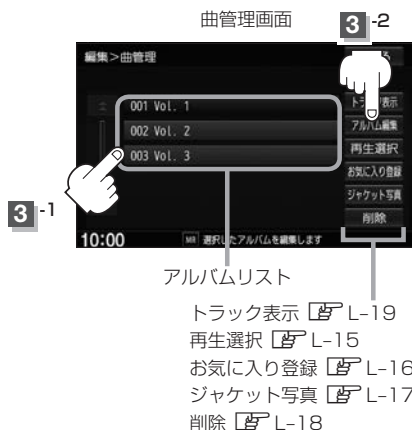
※ Music Rack再生中は編集メニューのボタンを選ばせん。

はい をタッチして再生を停止してください。

3

編集したいアルバムを選び、
アルバム編集 をタッチする。

: アルバム編集画面が表示されます。



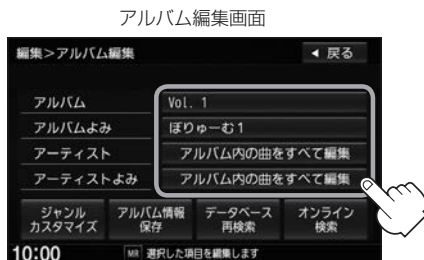
アルバムリストの編集(曲管理)

■ タイトルの編集をする

※アルバム名/アーティスト名や、アルバム名/アーティスト名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

: タイトル編集画面が表示されます。



アドバンス

- アーティスト名(**アルバム内の曲をすべて編集**)は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。

※選んでいるアルバムのアーティスト名が一括で変更となります。

- アルバム編集画面の情報はアルバムリスト画面(L-7) / アーティストリスト画面(L-8)の名前順検索の情報となります。
- アーティスト名 / アーティスト名の読みがなを入力してもアルバム編集画面には表示されません。変更状態はトラック編集画面(L-19)から確認することができます。
※再生画面(TOP画面の詳細表示)からアーティスト名の確認ができます。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** または **オンライン検索** をタッチしてください。

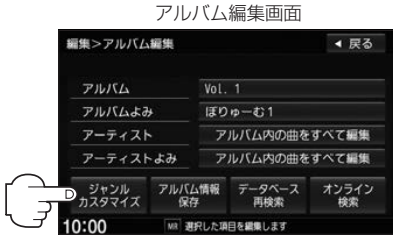
② 入力する。

※入力できる文字数は全角32(半角64)文字です。

■ ジャンルを変更する

※本機によって振り分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

- ① **ジャンルカスタマイズ** をタッチする。



: ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

- ② **好きなジャンルボタン**をタッチする。

※ジャンルの種類は [L9] L-9 アドバイス

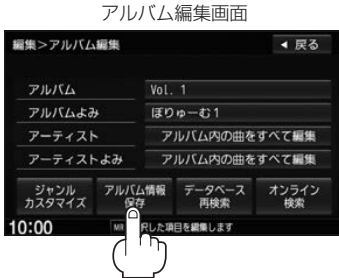


: 選んだアルバムのジャンルは変更され、アルバム編集画面に戻ります。

■ アルバム情報を保存する

※本機に収録されていないタイトル情報を本機の Gracenote データベースフォルダに保存します。

- ① **アルバム情報保存** をタッチする。



: アルバム情報を保存し、アルバム編集画面に戻ります。



アドバイス

保存した情報はカスタムアップデートをすることによって未収録だったタイトルを付加(取得)することができます。

カスタムアップデート(個別更新)

1. Gracenote 音楽認識サービスよりタイトル情報を取得する。([L15] L-15 ①~⑥)
2. データベース再検索を行って取り込んだタイトル情報を本機で反映する。([L16] L-16 ⑦)

アルバムリストの編集(曲管理)

■ データベースから再検索する

- ① **データベース再検索** をタッチする。



※誤ったタイトル(アルバム名／アーティスト名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)

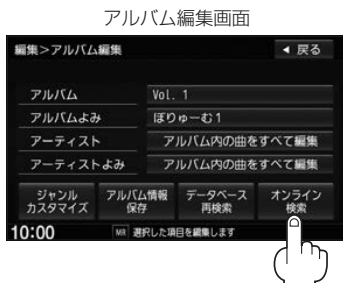
編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

：タイトル情報を更新し、アルバム編集画面に戻ります。

■ オンライン検索する

※タイトルがヒットしていない場合や誤ったタイトル(アルバム名／アーティスト名)が表示されている場合にオンライン検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したりする場合に使用します。

- ① **オンライン検索** をタッチする。



：データ通信(接続)を開始し、接続に成功するとGracenote 音楽認識サービス(サイト)よりタイトル情報を取得・更新してアルバム編集画面に戻ります。

※タイトル情報の取得をやめる場合は **中止** をメッセージ表示中にタッチしてください。(タイトル情報更新中は **中止** は選べません。)

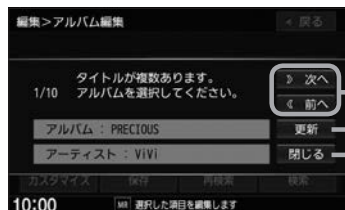


アルバム

データベース再検索／オンライン検索をしたとき、タイトル情報が複数ある場合は好きなアルバムを選ぶことができます。

※データベースにヒットしなかった場合は正しいタイトルが入手できない場合があります。

タイトル複数選択画面



1 **次へ**／**前へ** をタッチして次のアルバムを表示させることができます。

2 上書きするアルバムが決まったら **更新** をタッチします。

閉じる をタッチするとアルバム編集画面に戻ります。

再生選択をする

✓マークのアルバムのみ再生させることができます。

1 L-11の手順**1**、**2**に従って操作する。

: 曲管理画面が表示されます。

2 **再生選択** をタッチする。

: 再生選択画面が表示されます。

曲管理画面



3 再生させたくないアルバムを選び、**決定** をタッチする。

再生選択画面



アルバムを一括で選択
(全てのアルバムにチェックマーク(✓)が付きます。)

選んだアルバムを取り消し
(全てのアルバムのチェックマーク(✓)を消します。)

アルバムをタッチするたびに✓表示の有無を切り替え

□表示: このアルバムは再生されません。

✓表示: このアルバムは再生されます。

: 曲管理画面に戻ります。



デトバイス

- ✓マークを外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(アルバム)は存在したままとなります。また、ジャンル/お気に入りのリストには反映されません。
- ✓マークを外して再生しない設定にしても、選曲モードでアーティスト名は表示されます。
- 本機の登録アルバム数が100以上の場合、再生選択画面に**前へ** / **次へ**が表示されます。
※ **前へ** / **次へ** をタッチして100アルバムごとの再生選択をしてください。

アルバムリストの編集(曲管理)

お気に入り登録をする

※アルバムリスト(☞ L-11)より好きなアルバムを選び、お気に入り登録することができます。

1 L-11の手順1、2に従って操作する。

: 曲管理画面が表示されます。

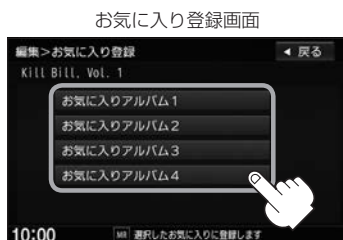
2 お気に入り登録したいアルバムを選び、 お気に入り登録 をタッチする。

: お気に入り登録画面が表示されます。



3 登録したい場所(お気に入りアルバム1~4) をタッチする。

: 選んだお気に入りアルバムにアルバムが登録され、
曲管理画面に戻ります。



アドバイス

- 1つの“お気に入りアルバム”に登録できるアルバム数は200です。合計800アルバムの登録が可能です。
- トラックリストより好きなトラックを選び、お気に入り登録するには ☞ L-23
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。
☞ 「再生中の曲をお気に入り登録する」L-26

ジャケット写真を登録する

※メディアに保存している画像をアルバムのジャケット写真として登録し表示させることができます。

1 L-11の手順**1**、**2**に従って操作する。

: 曲管理画面が表示されます。

2 表示したいアルバムを選び、**ジャケット写真**をタッチする。

: メディア選択画面が表示されます。



3 登録したい画像データが入ったメディアを選び、**ジャケット写真を選択する**をタッチする。

: フォルダ選択画面が表示されます。



4 登録したいフォルダをタッチする。

: 画像選択画面がサムネイル表示されます。



Music Rack

5 登録したい画像をタッチする。

：ジャケット写真として登録され、メディア選択画面に戻ります。

※選んだアルバムに画像がすでに登録されている場合はメッセージが表示されるので

はい / **いいえ** を選んでください。



サムネイル表示



登録した画像



アドバイス

- Music Rackのアルバムへ登録できる画像はJPEG形式のみです。
- 登録するジャケット写真は176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。
 - ※ 176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示されます。
 - ※ 16×16ピクセル未満の画像は登録できません。

削除する

※アルバムを削除することができます。

1 L-11の手順1、2に従って操作する。

：曲管理画面が表示されます。

2 削除したいアルバムを選び、

削除 をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチしてください。

※削除しない場合は **いいえ** をタッチしてください。



注意

削除中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

※アルバムを削除すると、お気に入り登録したアルバムやトラックも削除されます。

トラックリストの編集(曲管理)

アーティスト名/トラック名の変更や、再生選択、お気に入り登録、トラックの削除をすることができます。

トラック編集をする

- 1 L-11の手順1、2に従って操作し、編集したいアルバムを選び、**トラック表示**をタッチする。

：曲管理のトラック表示画面が表示されます。



- 2 編集したいトラックを選び、**トラック編集**をタッチする。

：トラック編集画面が表示されます。

トラックリスト



再生選択 [L-22]

お気に入り登録 [L-23]

削除 [L-23]

トラックリストの編集(曲管理)

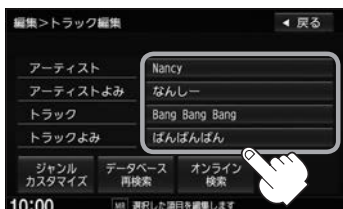
■ タイトルの編集をする

※アーティスト名/トラック名や、アーティスト名/トラック名の読みがな(読みかた)を編集することができます。

① 編集したい項目をタッチする。

: タイトル編集画面が表示されます。

トラック編集画面



アドバイス

- アーティスト名は、誤った名前を表示したりヒットしなかった場合に編集(入力)します。(再生画面に正しく表示されていても編集画面にすると情報なし(未表示)の場合があります。その場合は名前順検索時に正しく検索できませんのでアーティスト名を編集画面にて入力してください。)
- トラック編集画面の情報はアーティストリスト画面(L8 L-8)の名前順検索の情報となります。アーティスト名のよみが入っているものをリスト上より名前順に並び替え、さらにその下によみが入っていないものをSHIFT-JIS順に並び替えて表示します。
- 編集によって変えてしまったタイトルを元に戻す(入力前の情報に戻したい)場合は **データベース再検索** または **オンライン検索** をタッチしてください。

② 入力する。

■ ジャンルを変更する

※本機によって振り分けられたジャンルを変えたい場合に使用します。

① **ジャンルカスタマイズ** をタッチする。

トラック編集画面



: ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

② **お好きなジャンルボタン** をタッチする。

ジャンルカスタマイズ画面



: 選んだトラックのジャンルは変更され、トラック編集画面に戻ります。

■ データベースから再検索する

- ① **データベース再検索** をタッチする。



※誤ったタイトル(アーティスト名/トラック名)が表示されている場合に再検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したり、新たに取り込んだ情報の書きかえなどをする場合に使用します。

: タイトル情報を更新し、トラック編集画面に戻ります。

■ オンライン検索する

※タイトルがヒットしていない場合や誤ったタイトル(アーティスト名/トラック名)が表示されている場合にオンライン検索によって正しいタイトル情報を上書きすることができます。(上書きできない場合もあります。)編集によって変えてしまったタイトル名を元に戻したりする場合に使用します。

- ① **オンライン検索** をタッチする。



: データ通信(接続)を開始し、接続に成功すると Gracenote 音楽認識サービス(サイト)よりタイトル情報を取得・更新してトラック編集画面に戻ります。

※タイトル情報の取得をやめる場合は **中止** をメッセージ表示中にタッチしてください。(タイトル情報更新中は **中止** は選べません。)



アドバイス

- トラック編集でオンライン検索を行っても、現在表示されているトラックしかタイトルは更新されません。オンライン検索はアルバム編集画面(☞ L-14)で行うことをおすすめします。
- データベース再検索/オンライン検索をしたとき、タイトル情報が複数ある場合はお好きなアルバム名を選ぶことができます。☞ L-14
- オンライン検索は☞ K-5 アドバイス

トラックリストの編集(曲管理)

再生選択をする

✓マークのトラックのみ再生させることができます。

1

L-11の手順**1**、**2**に従って操作し、
編集したいアルバムを選び、**トラック表示**をタッチする。

: トラック表示画面が表示されます。

2

再生選択をタッチする。

: 再生選択画面が表示されます。

トラック表示画面



3

再生させたくないトラックを選び、**決定**をタッチする。

再生選択画面



トラックを一括で選ぶことができます。
(全てのトラックにチェックマーク(✓)が付きます。)

選んだトラックをやめる(取り消す)ことができます。
(全てのトラックのチェックマーク(✓)を消します。)

トラックをタッチするたびに✓表示の有無が切り替わります。

□表示: このトラックは再生されません。

✓表示: このトラックは再生されます。

: 曲管理のトラック表示画面に戻ります。



アドバイス

- ✓マークを外して再生しない設定にしても、本機内の音楽(トラック)は存在したままとなります。また、ジャンル/お気に入りのリストには反映されません。
- ✓マークを外して再生しない設定にしても、選曲モードでアルバム名/アーティスト名は表示されます。

お気に入り登録をする

※トラック表示画面より好きなトラックを選び、お気に入り登録することができます。

- 1 L-11の手順**1**、**2**に従って操作し、編集したいアルバムを選び、**トラック表示**をタッチする。

：トラック表示画面が表示されます。

- 2 お気に入り登録したいトラックを選び、**お気に入り登録**をタッチする。

：お気に入り登録画面が表示されます。



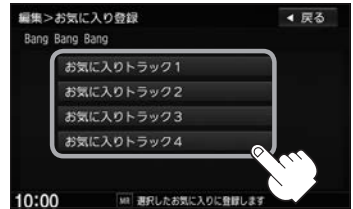
- 3 登録したい場所(お気に入りトラック1~4)をタッチする。

：選んだお気に入りトラックにトラックが登録され、曲管理のトラック表示画面に戻ります。



- 1つの“お気に入りトラック”に登録できるトラック数は200です。合計800曲の登録が可能です。
- アルバムリストより好きなアルバムを選び、お気に入り登録するには **L-11**、**L-16**
- 再生中の曲(アルバム)をお気に入り登録することもできます。**L-26**「再生中の曲をお気に入り登録する」

お気に入り登録画面



削除する

※トラックを削除することができます。

- 1 L-11の手順**1**、**2**に従って操作し、編集したいアルバムを選び、**トラック表示**をタッチする。

：トラック表示画面が表示されます。

- 2 削除したいトラックを選び、**削除**をタッチする。

：メッセージが表示されるので**はい**をタッチしてください。

※削除しない場合は**いいえ**をタッチしてください。

※トラックを削除すると、お気に入り登録したトラックも削除されます。



削除中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

お気に入り入りを管理する

お気に入りフォルダ(お気に入りアルバム1~4 / お気に入りトラック1~4)の名前の変更やお気に入りフォルダ内のアルバム / トラックを削除をすることができます。

1

編集 をタッチする。

: 編集メニューが表示されます。



2

編集メニューより **お気に入り管理** をタッチする。

: お気に入り管理画面が表示されます。

※ Music Rack 再生中は編集メニューのボタンを選べません。

はい をタッチして再生を停止してください。

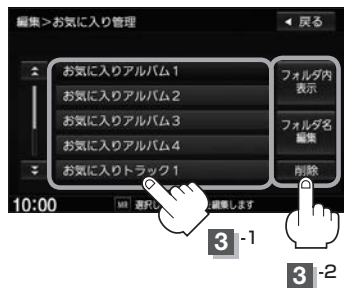
編集メニュー画面



3

編集したいお気に入りフォルダを選び、
操作したい項目をタッチする。

お気に入り管理画面



3-1

3-2

■ フォルダ内表示 をタッチ

：フォルダ内表示画面が表示されます。

- ① 削除するには削除したいアルバムまたはトラックを選び、**削除**をタッチする。

フォルダ内表示画面



L-24手順 3 で選んだフォルダ内の情報(内容)を表示

※選んだお気に入りフォルダ内の確認とアルバムまたはトラックの削除をすることができます。

- ② メッセージが表示されるので**はい**をタッチする。

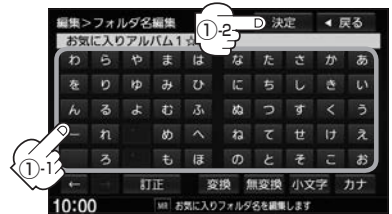
：選んだアルバムまたはトラックを削除し、フォルダ内表示画面に戻ります。

■ フォルダ名編集 をタッチ

：お気に入りフォルダ名編集画面が表示されます。

- ① 50音パレットを使って入力し、**決定**をタッチする。

※フォルダ名を変更することができます。



■ 削除 をタッチ

- ① メッセージが表示されるので**はい**をタッチする。

：選んだお気に入りフォルダ内の曲を全て削除し、お気に入り管理画面に戻ります。

※選んだお気に入りフォルダ内の曲を一括で削除することができます。



注意 削除中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチの変更)をしないでください。他の操作をすると故障の原因となります。

再生中の曲をお気に入り登録する

再生中の曲をお気に入り登録してオリジナルリスト(お気に入りのアルバムだけを集めた“お気に入りアルバム”／お気に入りの曲だけを集めた“お気に入りトラック”)を作成することができます。

1

登録 をタッチする。

：登録メニュー画面が表示されます。



2

お気に入り をタッチする。

登録メニュー画面



1曲またはアルバムのジャンルを変えたいときに使用
[P L-28]

：お気に入り登録画面が表示されます。

※ Music Rack 再生中はお気に入り登録できません。

はい をタッチして再生を停止してください。

3

再生中トラックのアルバムを登録したい場合は
お気に入りアルバム1 ～ **お気に入りアルバム4** の中から、
再生中トラックを登録したい場合は
お気に入りトラック1 ～ **お気に入りトラック4** の中から
登録したい場所をタッチする。

：選んだお気に入りフォルダに登録され、TOP画面に戻ります。

お気に入り登録画面



アルバム名／トラック名を表示
(長い場合は途中までの表示となります。)



アドバイス

- 1つのアルバムまたはトラックに登録できる数は200アルバムおよび200トラックです。合計800アルバムおよび800曲の登録が可能です。
- お気に入りフォルダの名前を変更したり登録したアルバムやトラックを削除することができます。
 「お気に入り进行管理する」L-24、
- 再生していない曲をリストより選んでお気に入り登録することもできます。
 - ・ アルバムを登録するときは
 「**お気に入り登録をする**」L-16
 - ・ トラックを登録するときは
 「**お気に入り登録をする**」L-23

お気に入りフォルダ(お気に入りリスト)の構成

お気に入りアルバム1 <input type="radio"/> フォルダ 200アルバム (200CD)	4つのアルバム フォルダ
お気に入りアルバム2 <input type="radio"/> フォルダ 200アルバム (200CD)	
お気に入りアルバム3 <input type="radio"/> フォルダ 200アルバム (200CD)	
お気に入りアルバム4 <input type="radio"/> フォルダ 200アルバム (200CD)	
お気に入りトラック1 <input type="radio"/> フォルダ 200トラック (200曲)	4つのトラック フォルダ
お気に入りトラック2 <input type="radio"/> フォルダ 200トラック (200曲)	
お気に入りトラック3 <input type="radio"/> フォルダ 200トラック (200曲)	
お気に入りトラック4 <input type="radio"/> フォルダ 200トラック (200曲)	
	1フォルダに200アルバム 合計800アルバム登録可能
	1フォルダに200曲 合計800曲登録可能

再生中の曲のジャンルを設定する

本機によって振り分けられたジャンルをお好みにあわせて設定しなおす(カスタマイズする)ことができます。

1

登録 をタッチする。

: 画面右側に登録メニュー画面が表示されます。



2

ジャンル をタッチする。

: ジャンルカスタマイズ画面が表示されます。

※ Music Rack 再生中は設定できません。

はい をタッチして再生を停止してください。

登録メニュー画面



3

アルバム単位 または **トラック単位** をタッチする。

選択中アルバムのジャンル変更



選択中トラックのジャンル変更

4

好きなジャンル をタッチする。

: ジャンルは変更(登録)されTOP画面に戻ります。

選択中のトラック名または
アルバム名を表示



M

USB機器／SDカードを使う

本書ではUSBフラッシュメモリとウォークマン[®]を総称してUSB機器と記載しています。

各部のなまえとはたらき	M-2
好きなトラックまたはフォルダを選ぶ	M-3
選曲モードより選ぶ	M-5
USB機器を接続する	M-9
USB機器を本機に接続する	M-9
USB機器の接続をやめる	M-9
画像ファイルを表示させる	M-10
スライドショーを表示する	M-10
画像を回転させる	M-11
リストより画像を選ぶ	M-11
動画ファイルを再生する	M-12
再生を一時停止する	M-12
リストより動画を選ぶ	M-13

各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー(A-14)から **USB** / **SD** をタッチすると、USB 機器 / SDカード再生画面が表示されます。

※USBフラッシュメモリの画面を例にしています。ウォークマン®やSDカードの再生時も同様の操作になります。

音楽(MP3/WMA/AACファイル)再生画面(をタッチ時)



- ① 再生状態マーク
(▶ : 通常再生 ▶▶ : 早送り ◀◀ : 早戻し
|| : 一時停止)
※一時停止は動画のみ
- ② USBまたはSDを表示
- ③ 再生時間
- ④ 選曲モード/プレイリスト名(ウォークマン®
接続時で選曲モードが **プレイリスト** の場合)
- ⑤ トラック名/ファイル名
- ⑥ イコライザー設定/選択中のサラウンドマーク
- ⑦ 再生モードマーク
- ⑧ 再生ファイルマーク
- ⑨ ジャケット写真
(ジャケット写真が附加されている場合のみ)
- ⑩ アーティスト名/アルバム名/ジャンル名/フォルダ名
※ウォークマン®を接続時は、フォルダ名を表示しません。
- ⑪ イコライザー設定画面を表示
- ⑫ 選曲モードを選択
- ⑬ 再生モードを選択
- ⑭ 動作モード(音楽/画像/動画)を切り替え
- ⑮ 再生中トラックの詳細情報を表示
- ⑯ トラックリストを表示
- ⑰ フォルダリストを表示



アドバイス

- トラック名/フォルダ名/アーティスト名/アルバム名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名/アーティスト名/ジャンル名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
- トラック名/フォルダ名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名が表示しきれない場合はタッチするとスクロールします。スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。

画像(JPEGファイル)再生画面



- ⑱ Quick MENUを表示
- ⑲ 画像名
- ⑳ サムネイル画面に戻る
(サムネイル画面からファイルを選んだときのみ)
- ㉑ 撮影年月日
- ㉒ フォルダ内の画像を順次表示
- ㉓ 表示中の画像を90度回転
- ㉔ 画像が入っているフォルダリストを表示
- ㉕ フォルダ名表示

※「全ファイル」再生時は、フォルダ名は表示されません。

動画(MPEG4/H.264ファイル)再生画面



- ⑳ 再生中のファイル名
- ㉑ 再生/一時停止
- ㉒ 動画リストを表示

※画像再生画面/動画再生画面で画面をタッチすると、全画面表示されます。

※画像再生画面で表示しているフォルダ内に2枚以上の画像がある場合、画像再生画面の全画面表示時に左へドラッグ/フリックで次の画像、右へドラッグ/フリックで前の画像を表示します。







好きなトラックまたはフォルダを選ぶ

音楽ファイル

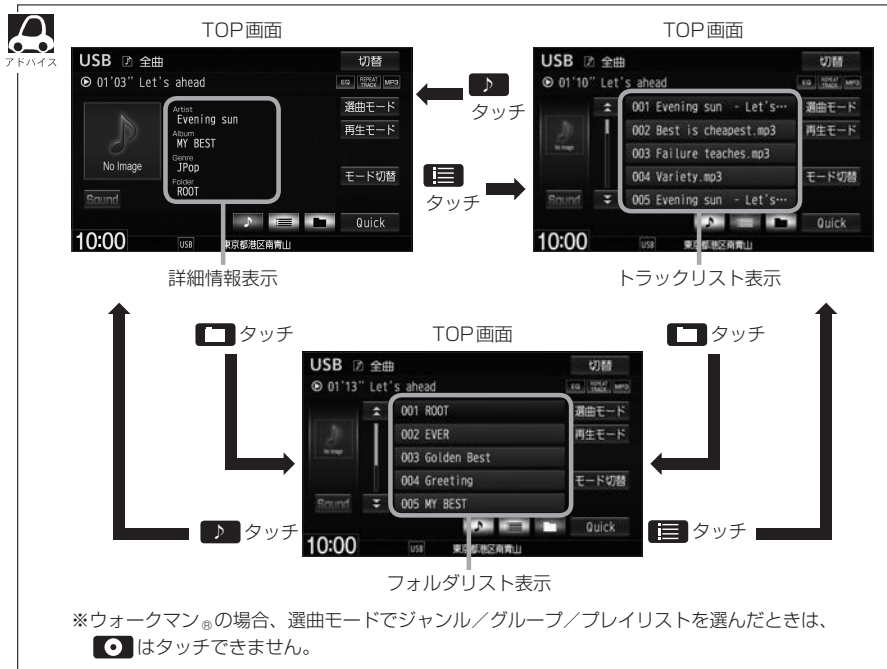
1


 または  をタッチする。

※すでに表示したいリスト表示になっている場合は手順1を省略することができます。

	<p>トラックリストを表示</p> <p> 選んだ選曲モードのトラックリスト表示となります。</p>
	<p>フォルダリストを表示</p> <p> ●ウォークマン®の場合、 が  に変わり、アルバムリストを表示します。</p> <p>●ウォークマン®の場合、選んだ選曲モード(全曲/アーティスト)のアルバム表示リストとなります。</p> <p>※選曲モードでアルバムを選んだ場合は全てのアルバムのリスト表示となります。</p>

TOP画面(詳細情報表示)



※ウォークマン®の場合、選曲モードでジャンル/グループ/プレイリストを選んだときは、 はタッチできません。

USB機器
/ USBケーブル

2

再生したいトラックをタッチする。

: 選んだリストのトラックが再生されます。

TOP画面(トラックリスト表示)



アドバイス

- ◀ / ▶ をタッチしてトラックを選ぶこともできます。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

選曲モードより選ぶ

音楽ファイル

1

選曲モード をタッチする。

: 選曲モード画面が表示されます。

TOP画面(詳細情報表示)



2

選曲モードより選曲する方法を選ぶ。

※走行中は、**全曲** 以外は操作できません。

■ USBフラッシュメモリ/SDカード
(MP3/WMA/AAC)



選曲モード

■ ウォークマン®



選曲モード

USB機器
/SDカード

□ **全曲** をタッチした場合

: TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

□ **フォルダ** をタッチした場合

: フォルダリストが表示されます。

① 再生したいフォルダをタッチする。



: 選んだフォルダに収録されているトラックリストが表示されます。

② 再生したいトラックをタッチする。



: 選んだ曲を再生します。

□ **アルバム** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: アルバムリストが表示されます。

① 再生したいアルバムをタッチする。



アルバムリスト

: 選んだアルバムに収録されている
トラックリストが表示されます。

② 再生したいトラックをタッチする。



トラックリスト

: 選んだ曲を再生します。

□ **アーティスト** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: アーティストリストが表示されます。

① 再生したいアーティストを
タッチする。



: 選んだアーティストのアルバムが
表示されます。

② 再生したいアルバムをタッチする。



: 選んだアルバムに収録されている
トラックリストが表示されます。

③ 再生したいトラックをタッチする。



: 選んだ曲を再生します。

□ **ジャンル** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: ジャンルリストが表示されます。

- ① 再生したいジャンル*¹ をタッチする。 ② 再生したいトラックをタッチする。



: 選んだジャンルのトラックリストが表示されます。

* 1…ウォークマン®に収録されているジャンル名



: 選んだ曲を再生します。

□ **グループ** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: グループリストが表示されます。

- ① 再生したいグループをタッチする。 ② 再生したいトラックをタッチする。



: 選んだグループのトラックリストが表示されます。



: 選んだ曲を再生します。

□ **プレイリスト** をタッチした場合 (ウォークマン®再生時)

: プレイリストが表示されます。

- ① 再生したいプレイリストをタッチする。 ② 再生したいトラックをタッチする。



: 選んだプレイリストに収録されているトラックリストが表示されます。



: 選んだ曲を再生します。

3

再生中画面 をタッチする。

: TOP画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。



- USB機器に収録されている曲数が増えるほど各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- **再生中画面** をタッチするとTOP画面に戻ります。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

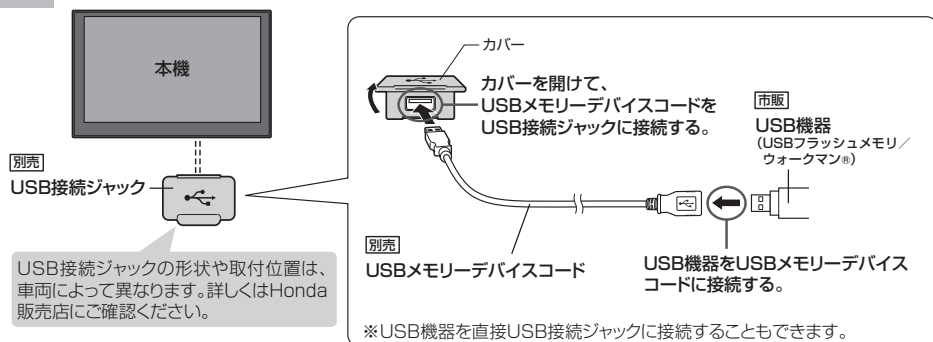
走行中のリストの操作について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になる場合があります。

USB 機器を接続する

USB 機器を本機に接続する

1 別売のUSB接続ジャックとUSB機器を接続する。



アドバース

- 車のエンジンスイッチが0(ロック)の状態で行ってください。
 - USB接続ジャックに別売のiPod接続コードが接続されている場合はそちらを外してください。【車】N-13
- ※USB機器使用時は、iPodは使用できません。

USB機器の接続をやめる

1 をタッチする。

：AV電源をOFFします。

2 USB接続ジャックからUSB機器を外す。

3 カバーを閉じる。

※開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそれがあります。



アドバース

- USB機器を外して再度接続し再生を始めると、前に再生していたつづきから再生を始めます。
- ※USB機器認識中(再生中)に外した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にUSB機器を外すとデータがこわれたり、USB機器が破損するおそれがあります。必ずUSBモードを終了(OFF)にして外してください。

お願い

- USBソースのときに、ウォークマン®の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずウォークマン®を取り外してください。ウォークマン®の電池を消耗することがあります。

画像ファイルを表示させる

USB / SD ソースのとき、画像を本機に表示させることができます。画像は回転させたり、スライドショーをすることができます。

※ JPEG 画像の入った USB 機器 / SD を本機に接続 / 挿入しておく必要があります。

1

モード切替 → **画像ファイル** をタッチする。

：操作ボタンと共に画像が表示されます。

※画像再生画面で表示しているフォルダ内に2枚以上の画像がある場合、画像再生画面の全画面表示時に左ヘドラッグ／フリックで次の画像、右ヘドラッグ／フリックで前の画像を表示します。

▶▶ / ◀◀ の操作でも次の画像 / 前の画像を表示させることができます。

2

操作したい項目をタッチする。

スライドショー	☞ 「スライドショーを表示する」 下記
回転	☞ 「画像を回転させる」 M-11
リスト	☞ 「リストより画像を選ぶ」 M-11



スライドショーを表示する

選んでいるフォルダ内のファイル(画像)のスライドショーが開始されます。



スライドショーの再生間隔を変更することができます。

1. 画面をタッチし、**再生間隔** をタッチする。
2. お好みの間隔 (**3秒** / **10秒** / **30秒** / **1分**) をタッチする。
3. **閉じる** → **開始** をタッチする。

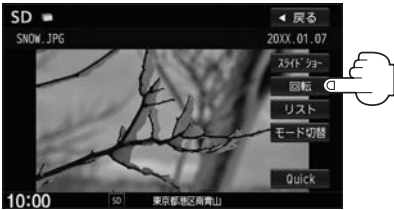
：選んだ間隔でスライドショーを行います。

■ スライドショーを止める

- ① 画面をタッチし操作ボタンを表示させ、**終了** をタッチする。

画像を回転させる

- ① **回転** をタッチする。



: タッチするたびに表示中の画像が
90度ずつ右回転(時計まわり)します。

リストより画像を選ぶ

- ① リストより表示したいフォルダをタッチする。



: ファイルがサムネイル表示されます。

- ② 表示したいファイルをタッチする。



: 選んだファイル(画像)が表示されます。




アドバイス

画像ファイルのサイズが大きい場合、表示されるまでに時間がかかることがあります。



アドバイス

- 画像表示のとき、操作ボタンを表示させるには画面をタッチしてください。
- 画像ファイルの制限については「 「画像ファイル(JPEG)について」 T-30

動画ファイルを再生する

USB / SD ソースのとき、動画再生をすることができます。

※動画ファイルの入ったUSB 機器 / SD を本機に接続 / 挿入しておく必要があります。





1

モード切替 → **動画ファイル** をタッチする。

: 映像が再生されます。

2

画面をタッチし操作ボタンを表示させ、操作したい項目をタッチする。

	 「再生を一時停止する」 下記
	 「リストより動画を選ぶ」 M-13

SD ソース(動画ファイル)の場合



再生を一時停止する

再生を一時停止します。

※本機は再生を止めた位置をメモリーします。



再度再生を始める

①  (再生 / 一時停止) をタッチする。

: 再生を止めた続きから再生を始めます。

リストより動画を選ぶ

① **リスト変更** をタッチする。

: リスト選択画面が表示されます。



■ **全ファイル** から選ぶ

1. **全ファイル** をタッチする。

: ファイルリストが表示されます。



2. 再生したいファイルをタッチする。

: 選んだファイルが再生されます。



■ **任意のフォルダ** からファイルを選ぶ

1. **フォルダ** をタッチする。

: フォルダリストが表示されます。



2. 再生したいフォルダをタッチする。

: ファイルリストが表示されます。



フォルダリスト

3. 再生したいファイルをタッチする。

: 選んだファイルが再生されます。



ファイルリスト



ウォークマン®の場合、**全ファイル** が **全てのビデオ**、**フォルダ** が **VIDEO** に変わります。

N

iPod / iPhone を使う

各部のなまえとはたらき	N-2
好きなトラックを選ぶ	N-3
選曲モードより選ぶ	N-4
再生を一時停止する	N-9
映像データを再生する	N-10
再生したい映像データを選ぶ	N-11
iPod / iPhone を本機に接続する	N-13

各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー(A-14)から **iPod** をタッチすると、iPod / iPhone再生画面が表示されます。

ミュージックモード画面(をタッチ時)



- 再生状態マーク
(▶ : 通常再生 ▶▶ : 早送り ◀◀ : 早戻し
|| : 一時停止)
- 再生時間
- トラック名
- イコライザー設定 / 選択中のサラウンドマーク
- 再生モードマーク
- ジャケット写真
(ジャケット写真が付加されている場合のみ)
- イコライザー設定画面を表示
- 選曲モードを選択
- 再生 / 一時停止
- 再生モードを選択
- ビデオモードに切り替え
- アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名
- 再生中トラックの詳細情報表示
- トラックリストを表示
- Quick MENUを表示

ビデオモード画面

ビデオ再生中に画面をタッチすると、ビデオファイルリストを表示させることができます。

■ビデオファイルリスト表示



- 再生状態マーク
(▶ : 通常再生 ▶▶ : 早送り ◀◀ : 早戻し
|| : 一時停止)
- 再生時間
- 再生中のファイル名
- ビデオファイルのリスト
- イコライザー設定 / 選択中のサラウンドマーク
- 映像画面を表示
- 再生モードマーク
- ビデオのカテゴリを選択
- 再生 / 一時停止
- 再生モードを選択
- ミュージックモードに切り替え
- Quick MENUを表示



アドハイス

●表示内容は iPod / iPhone 本体で表示されるトラック名 / アーティスト名 / アルバム名となります。ただし、iPod / iPhone の機種やバージョンによっては、アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名が正しく表示されないことがあります。

●本機は日本語 / 英数字のみ表示可能です。

●iPod / iPhone 本体で表示される～(半角波形表示)は、本機では～(ハイフン表示)となります。

●iPod / iPhone は iPod ソースで再生します。USB ソースでは動作しません。

●iPod / iPhone 本体の設定の "EQ" を "オフ" 以外にすると、音質が悪くなる場合があります。

好きなトラックを選ぶ

ミュージック

選曲モード(Ⓛ N-4)で選んだボタンのトラックをリストより選択再生させることができます。

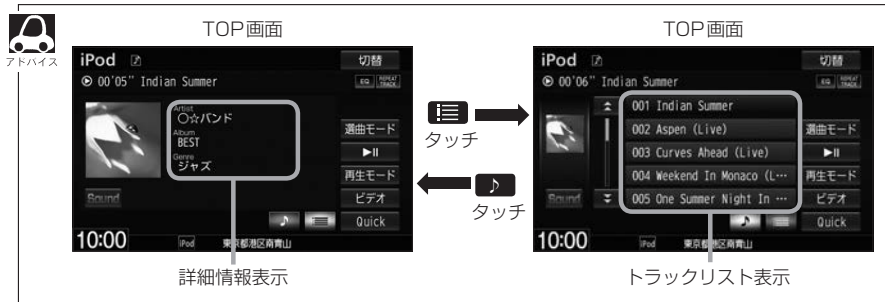
1

 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

TOP画面(詳細情報表示)





2

再生したいトラックをタッチする。

：選んだトラックが再生されます。



アドバイス

-  /  をタッチしてトラックを選ぶこともできます。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

iPod

選曲モードより選ぶ

ミュージック

再生したい曲を絞り込んで検索することができます。

1

選曲モード をタッチする。

: 選曲モード画面が表示されます。

TOP画面(詳細情報表示)



2

選曲モードより選曲する方法を選び、タッチする。

※走行中は、**全曲** 以外は操作できません。

選曲モード画面

選曲モード



■ **全曲** をタッチ

: TOP画面が表示され、リスト一番上の曲が再生されます。

■ **アルバム** をタッチ

: アルバムリスト画面が表示されます。

① 再生したいアルバムをタッチする。 ② 再生したいトラックをタッチする。

アルバムリスト画面



: 選んだアルバムに収録されているトラックリストが表示されます。

トラックリスト画面



: 選んだ曲を再生します。

すべて をタッチすると iPod / iPhone 内全曲のトラックリストが表示されます。

■ アーティスト をタッチ

: アーティストリスト画面が表示されます。

- ① 再生したいアーティストをタッチする。 ② 再生したいアルバムをタッチする。

アーティストリスト画面



: 選んだアーティストのアルバムが表示されます。

すべて をタッチすると iPod/iPhone 内の全アルバムが表示されます。—さらに—

アルバムリスト画面



: 選んだアルバムに収録されているトラックリストが表示されます。

すべて をタッチすると iPod/iPhone 内全曲のトラックリストが表示されます。

- ③ 再生したいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



: 選んだ曲を再生します。

■ ポッドキャスト をタッチ

: ポッドキャスト画面が表示されます。

- ① 再生したいポッドキャストをタッチする。 ② 再生したいポッドキャストをタッチする。

ポッドキャスト画面



: 選んだポッドキャストに収録されているリストが表示されます。

ポッドキャストリスト画面



: 選んだポッドキャストを再生します。

■ **ジャンル** をタッチ

: ジャンルリスト画面が表示されます。

- ① 再生したいジャンルをタッチする。 ② 再生したいアーティストをタッチする。

ジャンルリスト画面



: 選んだジャンルに該当するアーティストが表示されます。

すべて をタッチすると iPod / iPhone 内の全アーティストが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると iPod 内の全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると iPod / iPhone 内の全曲のトラックリストが表示されます。→手順④へ

アーティストリスト画面



: 選んだアーティストのアルバムが表示されます。

すべて をタッチすると①で選んだジャンルに該当する全アルバムが表示されます。さらに **すべて** をタッチすると該当する全曲のトラックリストが表示されます。
→手順④へ

- ③ 再生したいアルバムをタッチする。 ④ 再生したいトラックをタッチする。

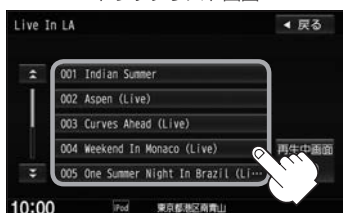
アルバムリスト画面



: 選んだアルバムに収録されているトラックリストが表示されます。

すべて をタッチすると②で選んだアーティストのトラックリストが表示されます。→手順④へ

トラックリスト画面



: 選んだ曲を再生します。



アドバース

ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)は iPod 本体に収録されている内容となります。

■ **プレイリスト** をタッチ

：プレイリスト画面が表示されます。

① 再生したいプレイリストをタッチする。



プレイリスト

：選んだプレイリストに収録されているトラックリストが表示されます。

② 再生したいトラックをタッチする。



トラックリスト

：選んだ曲を再生します。

■ **作曲家** をタッチ

：作曲家リスト画面が表示されます。

① 再生したい作曲者をタッチする。



：選んだ作曲者のアルバムが表示されます。

すべて をタッチするとiPod/iPhone内の全アルバムが表示されます。さらに**すべて** をタッチするとiPod/iPhone内の全曲のトラックリストが表示されます。

➔手順③へ

② 再生したいアルバムをタッチする。



：選んだアルバムに収録されているトラックリストが表示されます。

すべて をタッチすると①で選んだ作曲者に該当する全曲のトラックリストが表示されます。➔手順③へ

③ 再生したいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



: 選んだ曲を再生します。

3

再生中画面 をタッチする。

: TOP画面に戻ります。

※ **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

アドバース

- 選曲モードは、iPod/iPhone本体に収録されている内容となります。
- iPod/iPhoneのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- **再生中画面** をタッチするとTOP画面に戻ります。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)

走行中のリストの操作について

- 走行中は安全のため選曲モードのリスト操作はできません。
- リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になる場合があります。

再生を一時停止する

1

▶|| (再生／一時停止)をタッチする。

: 再生を止めます。

■ 再度再生を始める

▶|| (再生／一時停止)をタッチする。

: 再生を止めた続きから再生を始めます。



映像データを再生する

ビデオ

TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されている映像データを本機に表示することができます。ビデオに対応しているiPod/iPhoneについては「[対応可能なiPod/iPhone](#)」T-22

1

ビデオ をタッチする。

：映像が表示されます。

ミュージックモード画面
(**▶** をタッチ時)



映像



アドバイス

- iOSのバージョンにより、iPod touch、iPhoneが映像を表示しない場合があります。
- ビデオモードを使うには、iPod本体でTV出力の設定を“オン”にしてください。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合、映像は表示されません。
画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**ミュージック** をタッチしてミュージックモードに戻してください。

再生したい映像データを選ぶ

ビデオ

1 ビデオ再生中に画面をタッチする。

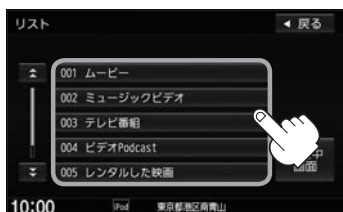


■ ビデオファイルリストより選び、再生させる

- ① **リスト** をタッチする。
- ② **リスト**より再生したい動画をタッチする。

：選んだ動画が再生されます。

※さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。



■ 再生中のビデオを繰り返し再生させる

- ① **再生モード** をタッチする。
- ② **リピート** をタッチする。



表示灯

：表示灯が点灯し、リピート再生します。

※再度タッチして表示灯を消灯すると、リピート再生をやめます。

- ③ **閉じる** をタッチする。

iPod

■ ビデオモードのときミュージックモードに戻す

- ① **ミュージック** をタッチする。



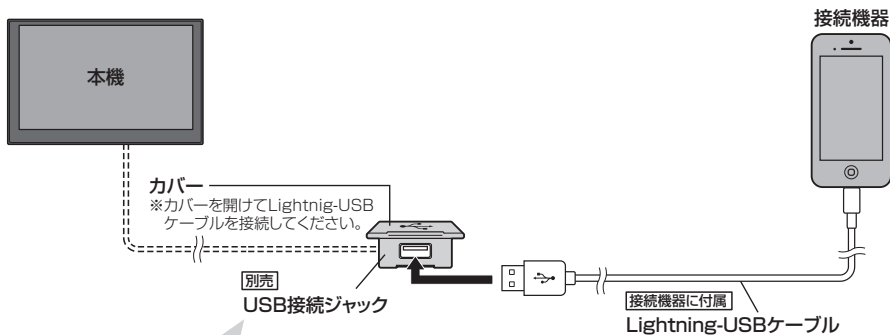
アドバイス

- 映像データがないときは画面は黒表示となります。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod / iPhone 本体の操作はできません。
- ビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPod / iPhoneがおぼえています。他のオーディオ画面に切り替えても再度ビデオモードにすると前回の続き(再生位置)から再生が始まります。ただし、車のエンジンスイッチを「0(ロック)」にしたりミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、リジューム機能は解除され、リスト一番上の曲からの再生となります。
- アーティスト/アルバムなどのタイトルを登録していないビデオは再生できません。

iPod / iPhone を本機に接続する

Lightning コネクタの場合

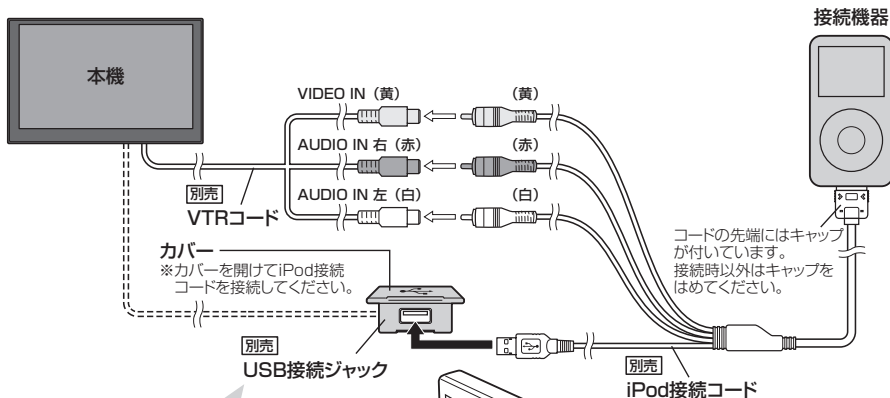
※ビデオ再生はできません。



USB接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくはHonda販売店にご確認ください。

Dock コネクタの場合

※別売のVTRコードとiPod接続コードを使用すると音楽・ビデオの再生が可能となります。
(ビデオ再生については「P N-10」)



USB接続ジャックの形状や取付位置は、車両によって異なります。詳しくはHonda販売店にご確認ください。



iPod

iPod / iPhone を本機に接続する



- USB 接続ジャックに USB 機器や USB デバイスコードが接続されている場合は外してください。[M-9] M-9
※ iPod 使用時は、USB 機器は使用できません。
- USB 接続ジャックから Lightning-USB ケーブルや iPod 接続コードを外した後は、カバーを閉じてください。開けたままにすると異物が入ったり、体に当たって破損するおそがあります。
- VTR コードに VTR 機器が接続されている場合は外してください。[R-3] R-3
- 未接続の場合、AV MENU 画面で **iPod** は選べません。

iPod / iPhone を本機に接続すると

- iPod / iPhone に収録されたデータが本機に表示されます。
(なにも収録されていない場合は動画や曲を見たり聞いたりすることはできません。)
- 本機に接続すると、起動中は iPod や iPhone へ充電を行います。
- 接続中は iPod / iPhone 本体を操作しないでください。
- iPod / iPhone が正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPod / iPhone を外して iPod / iPhone をリセットしてから再度接続してください。
- 端末によってはヘッドフォンなどの機器が接続されていると、本機で動作しない場合があります。本機に iPod / iPhone を接続するときはヘッドフォンなどの機器は外して iPod / iPhone 単体でお使いください。
- 接続した状態で車のエンジンスイッチを O (ロック) にすると数分後に iPod 本体の電源も OFF されます。(ただし、車のエンジンスイッチを O (ロック) にした場合の動作は iPod に依存しますので保証するものではありません。)
- iPod ソースのときに、iPod / iPhone の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 車のエンジンスイッチを I (アクセサリ) を OFF にしたあとは、必ず iPod / iPhone を取り外してください。iPod / iPhone の電池を消耗することがあります。



BLUETOOTH Audioを聞く

0-001
I-001-001

初期登録設定	0-2
機器を初期登録設定する	0-2
登録した機器の詳細情報を見る／ 登録した機器を削除する	0-3
登録機器を切り替える	0-4
登録した機器の自動接続／優先接続を設定する	0-5
本機のBLUETOOTH情報を確認／変更する	0-6
各部のなまえとはたらき	0-8
好きなトラックを選ぶ	0-9
選曲モードより選ぶ	0-10

初期登録設定

機器を初期登録設定する

BLUETOOTH Audioを使用するには、はじめに初期登録(BLUETOOTH Audio対応機器の登録)をする必要があります。また、登録の削除や登録したBLUETOOTH Audio対応機器の切り替えなどの各設定をすることができます。(最大2台まで登録することができます。)

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **携帯電話機器登録** → **Bluetooth Audio** をタッチする。

2

BLUETOOTH Audio対応機器側を操作して登録を行う。

※登録方法は、お手持ちのBLUETOOTH Audio対応機器の説明書をご覧ください。



※接続待機中に**中止**をタッチすると接続を中止し、端末登録設定画面に戻ります。



※登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい**をタッチすると登録が完了します。



アドバイス

- パスキーとは、BLUETOOTH対応機器を本機に登録するためのパスワードです。
※パスキーは任意の数字に変更することができます。[設定]「**■パスキーを変更する**」0-7
- 上記手順 **2** でハンズフリー機器として登録しても、BLUETOOTH Audioとしてはご利用いただけません。誤って登録してしまった場合には、一度削除([設定]0-4)したあと、再度登録してください。
- BLUETOOTH Audioの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために周囲の他のBLUETOOTH対応機器の電源はお切りください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- BLUETOOTH Audio対応機器の登録はBLUETOOTH Audioソース画面からも設定することができます。
 - ・BLUETOOTH Audioソース画面から設定する場合、BLUETOOTH Audioソース画面にしたとき、機器未登録/未接続の場合は**設定**をタッチして登録または接続を行ってください。
 - ・登録 [設定] 上記
 - ・接続 [設定] 0-4

BLUETOOTH Audio
BLUETOOTH未登録/未接続の場合



登録した機器の詳細情報を見る／登録した機器を削除する

本機に登録している機器の詳細情報を確認したり、登録している機器を削除することができます。

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** →
Bluetooth Audio をタッチする。

：登録機器一覧画面が表示されます。

※表示は最大2件です。登録されている
BLUETOOTH Audio 対応機器がない場合、
登録機器一覧 → **Bluetooth Audio** は選べません。



2

情報を確認／登録機器を削除する。

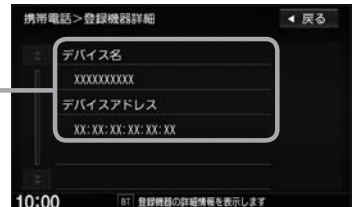
■ 登録機器の詳細情報を見る

① **詳細** をタッチする。

：登録機器詳細画面が表示されます。



登録機器詳細画面



登録しているBLUETOOTH Audio対応機器の
詳細情報を確認

0-0-0-0
I-00-0000

初期登録設定

■ 登録機器を削除する

① 削除したい機器の **削除** をタッチする。

：メッセージを確認し、**はい** をタッチすると、登録機器を削除します。



アドバイス

2台の登録があり、現在使用中のBLUETOOTH Audio対応機器を削除した場合は、残り1台を接続可能なBLUETOOTH Audio対応機器として自動で切り替えます。

登録機器一覧画面



アドバイス

安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録機器を切り替える

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **Bluetooth Audio** をタッチする。

※表示は最大2件です。登録されているBLUETOOTH Audio対応機器がない場合、**登録機器一覧** → **Bluetooth Audio** は選べません。

BLUETOOTH設定画面



登録機器一覧画面



2

切り替えたい機器名の **接続する** をタッチする。

：タッチするたびにBLUETOOTH接続する対象が切り替わります。



アドバイス

- BLUETOOTH Audio対応機器を切り替えたい際、接続するまでに時間がかかることがあります。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

3 設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

：**戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

本機のBLUETOOTH情報を確認/変更する

1 **MENU** → **携帯電話** → **設定** → **Bluetooth本体情報** をタッチする。

：BLUETOOTH本体情報画面が表示されます。

※変更する場合は手順**2**へ進んでください。



2 デバイス名またはパスキーの変更をする。

■ **デバイス名を変更する**

① **デバイス名変更** をタッチする。

② デバイス名を入力し、**決定** をタッチする。



：デバイス名が変更され、BLUETOOTH本体情報画面に戻ります。

■ パスキーを変更する

① **パスキー変更** をタッチする。② **Bluetooth Audio** をタッチする。③ 10キーボタンをタッチして
パスキー(4～6桁)を入力し、
決定 をタッチする。

: パスキーは変更されBLUETOOTH本体情報画面に戻ります。



アドバイス

- パスキーとは、BLUETOOTH対応機器を本機に登録する際に使用するパスワードです。
- **決定** をタッチしないと変更した内容は保存されません。
- 入力した文字を訂正するときは **訂正** をタッチして、再入力してください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

各部のなまえとはたらき






AUDIOメニュー(「 A-14)から **Bluetooth Audio** をタッチすると、BLUETOOTH Audio再生画面が表示されます。

※接続するBLUETOOTH Audio対応機器により、表示画面は異なります。

BLUETOOTH Audio再生画面( をタッチ時)



- ① 再生状態マーク
(▶ : 通常再生 ▶▶ : 早送り ◀◀ : 早戻し
|| : 一時停止)
- ② 再生時間
- ③ トラック名/ファイル名*¹
- ④ アーティスト名/アルバム名*¹
- ⑤ イコライザー設定/選択中のサラウンドマーク
- ⑥ 再生モードマーク*²
- ⑦ イコライザー設定画面を表示
- ⑧ 選曲モードを選択*²
- ⑨ 再生モードを選択*²
- ⑩ 再生
- ⑪ 一時停止
- ⑫ 再生機器の電池残量表示*¹

表示						
残量	無し	少	←	→	多	充電中



- ⑬ 再生機器の名称
- ⑭ 再生中トラックの詳細情報表示
- ⑮ トラックリストを表示*²
- ⑯ Quick MENUを表示

* 1…AVRCP ver.1.0では非表示

* 2…AVRCP ver.1.3以下では非表示



オーディオ

- 機器によってはリストを表示するのに時間がかかる場合があります。
- 機器の仕様によっては、機器側のオーディオプレイヤーを起動させる必要があります。また、オーディオプレイヤー画面中でないと正しく操作できない場合があります。
- 機器の機種によっては、オーディオ出力先を切り替えられる場合があります。その場合は出力先をBLUETOOTHにしてください。
- BLUETOOTH Audioではリストの先頭から最後尾または最後尾から先頭へ直接スクロールすることはできません。
- BLUETOOTH Audioでは、スクロールバーの位置表示/操作はできません。
- 機器によっては、機器側で操作を行うと、本機で表示される内容と機器側で表示される内容が異なる場合があります。
- 機器によっては、再生モードが正しく反映されない場合があります。
- 機器の仕様によっては、表示部の内容は機器の表示と一致しない場合があります。また機器によっては、ナビゲーション上に表示ができないことがあります。
- 早送り/早戻しをすばやく解除すると、機器によっては早送り/早戻しが解除されない場合があります。そのような場合は  (再生)または  (一時停止)で解除してください。
- 電池残量表示は機器によって表示されない場合があります。

好きなトラックを選ぶ

選んだ選曲モードのトラックをリストより選択再生させることができます。

1

 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※機器によってはリスト表示されない場合または、表示するのに時間がかかる場合があります。

※すでにトラックリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

TOP画面 (詳細情報表示)



アトデバイス

TOP画面



詳細情報表示

タッチ

タッチ

TOP画面



トラックリスト表示

2

再生したいトラックをタッチする。

：選んだトラックが再生されます。

※機器によっては、現在再生中の曲のハイライト表示がされない場合があります。

スクロールバーの位置表示／操作はできません。



TOP画面



0-00-001
I-00-001



アトデバイス

-  /  をタッチしてトラックを選ぶこともできます。
- BLUETOOTH Audio ではリストの先頭から最後尾、または最後尾から先頭へ直接スクロールすることはできません。
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
※走行中はスクロールしません。

選曲モードより選ぶ

再生したい曲を絞り込んで検索することができます。

1

選曲モード をタッチする。

：選曲モード画面が表示されます。



2

選曲モードより選曲する方法を選び、
タッチする。

：以降の操作は機器によって異なります。

※選曲モードに表示される内容は、機器に収録されている内容となります。機器によって異なる場合があります。



- 機器のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 再生中画面** をタッチするとTOP画面に戻ります。
- 機器によっては、ボタン表示をタッチしても、選曲モード画面を表示できない場合があります。

走行中の操作制限について

リスト操作中に走行状態になると制限がかかり、リストが灰色表示になります。

■ **プレイリスト** をタッチ (例)

：プレイリスト選択画面が表示されます。

① 再生したいプレイリスト⇒トラックをタッチする。

：選んだ曲を再生します。

P

DVDを見る

各部のなまえとはたらき	P-2
DVDプレーヤーを使う	P-3
視聴制限ディスクを挿入したとき	P-3
メニュー画面が表示されたときの 操作方法について	P-3
再生を停止する	P-4
再生を一時停止(静止)する	P-5
再生中にチャプターを戻す/進める	P-5
スロー戻し/スロー送りをする	P-6
DVDメニューを使う	P-7
タイトルメニューを使う	P-9
好きな所から再生する(サーチ選択)	P-11
音声言語/字幕言語を切り替える	P-13
TITLE/CHAPTER/TIMEの表示を替える	P-14
リピート(繰り返し)再生する	P-15
アングル(角度)を切り替える	P-16
VRモードディスク内の映像をリストより選び、 再生させる	P-16
DVDの初期設定について	P-18
初期設定を変更する	P-18

各部のなまえとはたらき

操作ボタン1表示画面



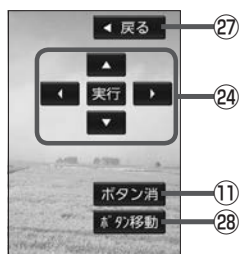
停止画面



操作ボタン2表示画面



カーソル表示画面



サーチ選択画面／10キー入力画面



操作ボタンは、無操作の状態がしばらく続くと、自動的に消えます。

- ① タイトルメニュー／タイトルリスト表示
- ② DVDメニュー／プレイリスト表示
- ③ 停止画面を表示
- ④ 再生／一時停止
- ⑤ 音声言語／音声チャンネルの切り替え
- ⑥ 字幕言語の切り替え
- ⑦ アングルの切り替え
- ⑧ メニュー画面表示前の再生ポイントに戻って再生
- ⑨ 操作ボタン2画面へ
- ⑩ Quick MENUを表示
- ⑪ 操作ボタンを非表示
- ⑫ 再生時間の表示
- ⑬ リピートモードの切り替え
- ⑭ カーソル表示画面を表示
- ⑮ 10キー入力画面を表示
- ⑯ サーチ選択画面を表示
- ⑰ 選んだ項目を実行
- ⑱ DVDメニュー画面操作時、1つ前の画面に戻る
- ⑲ DVD設定画面を表示
- ⑳ 操作ボタン1画面へ
- ㉑ 入力した数字を訂正
- ㉒ 数字を入力
- ㉓ サーチモードの切り替え
- ㉔ 画面内の項目を選択／実行
- ㉕ 続きメモリー機能を解除
- ㉖ 再生開始
- ㉗ 操作ボタン2画面へ
- ㉘ カーソル表示位置の変更(画面左／右)

DVDプレーヤーを使う

視聴制限ディスクを挿入したとき

視聴制限のデータが収録されたDVDビデオを挿入すると、再生するかどうかの確認画面が表示されます。**はい**を選ぶとパスワード入力画面が表示され、入力したパスワードが正しいと、DVDビデオが再生されます。

☞ 「DVDの初期設定について」P-18

メニュー画面が表示されたときの操作方法について

DVDメニューまたはタイトルメニュー画面が表示された場合は、下記の2つの操作方法があります。

■ 画面のメニュー項目を直接タッチ

※ディスクによっては操作できない場合があります。

※操作ボタンが表示されている場合は項目を選べません。**ボタン消**をタッチして操作ボタンを消してください。

■ カーソルを表示させ項目を選ぶ

① **MENU**をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

② **次へ**をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル**をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



操作ボタン2表示画面



③ **▲ ▼ ◀ ▶** (カーソルキー)をタッチして項目を選び、**実行**をタッチする。

：選んだ項目が再生されます。

※操作ボタンの表示をやめるには**ボタン消**をタッチしてください。

※ディスクによっては操作できない場合があります。

再生を停止する




1 画面または **MENU** をタッチする。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 (停止) をタッチする。

: 再生を止め、停止画面が表示されます。
(続きメモリー機能が働きます。)

続きメモリー機能

- 再生中に  (停止) をタッチすると、本機は、再生を止めた位置をメモリーします。これを続きメモリー機能と呼びます。この機能が働いている間は、画面にメッセージを表示し、映像／音声を止めます。  (再生) をタッチすると、再生を止めた続きから、再生が始まります。
- 続きメモリー機能は、 **続き再生解除** をタッチするかディスクを取り出すと操作で解除されます。
 - ※ **DVD設定** を変更した場合、設定内容によっては続きメモリー機能が解除される場合があります。  P-18




3 再度再生を始めるには、 (再生) をタッチする。

停止画面



アドバイス

ディスクの最初から再生したい場合は手順 **3** (停止画面) のとき **続き再生解除** をタッチし、  (再生) をタッチしてください。

再生を一時停止(静止)する

1 画面または **MENU** をタッチする。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **⏸** (再生/一時停止) をタッチする。

: 映像を停止(静止)します。(音声も止まります。)

一時停止アイコン

操作ボタン1表示画面



⏸ ボタン(再生/一時停止)

3 再度再生を始めるには、

⏸ (再生/一時停止) をタッチする。

: 再生を止めた続きから再生します。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、

ボタン消 をタッチする。

再生中にチャプターを戻す/進める

1 **⏮** / **⏭** をタッチする。

: 前のチャプターに戻る、または次のチャプターに進みます。

■ 前のチャプターに戻る

⏮ を2回タッチする。

※ 1回タッチした場合は再生中のチャプターの初めに戻ります。チャプター再生開始からすぐにタッチした場合は、前のチャプターの初めに戻ります。

■ 次のチャプターに進む

⏭ をタッチする。



アドバイス

- チャプターとは、DVDビデオに収録されている音声や映像の小さな区切りです。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。
- **⏮** / **⏭** を長押しすると早戻し/早送りします。

DVDプレーヤーを使う

スロー戻し／スロー送りをする

1 画面または **MENU** をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **▶||** (再生／一時停止) をタッチする。

：映像を停止(静止)します。(音声も止まります。)



3 **◀◀** / **▶▶** を長押しする。

スロー戻し	◀◀ を長押し ：スロー戻しで戻ります。
スロー送り	▶▶ を長押し ：スロー送りで進みます。

※それぞれ、ボタンから手を離れたところで通常再生を始めます。

4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバイス

- スロー戻し／スロー送り中は音声は出ません。また、ディスクによってはこの操作を禁止しているものもあります。
- VRモードでは、スロー戻しに対応していません。

DVDメニューを使う

DVDビデオによっては、DVDメニューが収録されているものがあります。
この場合は、DVDメニューから好きなシーンを選んで再生することができます。

1 画面または **MENU** をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **メニュー** をタッチする。

：DVDメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はプレイリストが表示されます。
([P-16])

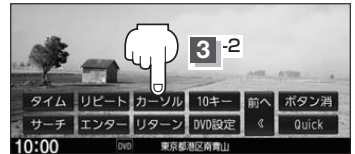
操作ボタン1表示画面



3 **次へ** をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面

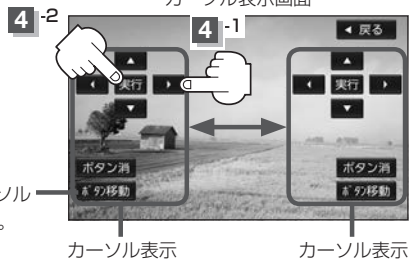


4 ▲▼◀▶ (カーソルキー) をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

：選んだ項目(シーン)の再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、
手順 **4** を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。



5 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバイス

ディスクによっては手順 **4** のカーソルを表示しなくても、画面に表示された項目をダイレクトにタッチして、操作できる場合があります。(その場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)

DVDプレーヤーを使う



アドバイス

- ディスクによっては、DVDメニューが収録されていないものもあります。
- DVDメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターの選んだり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合プレイリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「DVDメニュー」のことを「メニュー」などと表示しているものもあります。
また、P-7手順 **4** で **実行** のことを「決定ボタンを押す」/「選択ボタンを押す」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ DVDメニューからリジューム再生を行う

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は **前へ** や **戻る** をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、**MENU** をタッチしてください。

② **リジューム** をタッチする。

：DVDメニュー(またはプレイリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



タイトルメニューを使う

複数のタイトルに分かれているDVDビデオによっては、タイトルメニューが収録されているものがあります。この場合は、タイトルメニューから好きなシーンを選んで再生することができます。

※タイトルとは、DVDビデオに収録されている映像や音声の大きな区切りのことです。

1 画面または **MENU** をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **タイトル** をタッチする。

：タイトルメニュー画面が表示されます。

※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合はタイトルリストが表示されます。
(P-16)

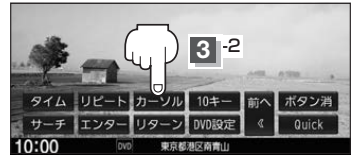
操作ボタン1表示画面



3 **次へ** をタッチし操作ボタン2表示画面を表示させ、**カーソル** をタッチする。

：カーソル表示画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面

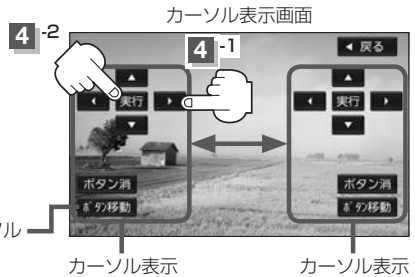


4 **▲▼◀▶** (カーソルキー) をタッチして項目を選び、**実行** をタッチする。

：選んだタイトルのメニューに収録されているシーンの再生が始まります。

※さらに選択画面が続く場合は、手順4を繰り返してください。

ボタン移動 をタッチするたびにカーソル表示が画面の右または左へ移動します。



5 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



ディスクによっては手順4のカーソルを表示しなくても、画面に表示された項目をダイレクトにタッチして、操作できる場合があります。(その場合は、**ボタン消** をタッチして操作ボタンを消してください。)

DVDプレーヤーを使う



- ディスクによっては、タイトルメニューが収録されていないものもあります。
- タイトルメニューはディスクに収録されているため、内容はディスクによって異なりますが、例えば、音声言語／字幕言語／チャプターを選んだり、映画解説を再生するなどの操作ができます。
※VRモード(ビデオレコーディングモードディスク)の場合タイトルリストから字幕や音声を変えることはできません。
- ディスクによっては、「タイトルメニュー」のことを「メニュー」、「タイトル」などと表示しているものもあります。また、P-9手順 **4** で **実行** のことを「決定ボタンを押す」/「選択ボタンを押す」と表示しているものもあります。
- 再生するDVDビデオに付属されている説明書も、あわせてお読みください。

■ タイトルメニューからリジューム再生を行う

① 操作ボタン1を表示させる。

※操作ボタン2やカーソルが表示されている場合は **前へ** や **戻る** をタッチしてください。

※操作ボタンの表示が消えているときは、画面をタッチするか、**MENU** をタッチしてください。

② **リジューム** をタッチする。

：タイトルメニュー(またはタイトルリスト)が表示される前の場面の続きから、再生を始めます。

※画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチしてください。

※ディスクによっては、続きから再生できないものもあります。詳しくは、再生するディスクに付属されている説明書をお読みください。



好きな所から再生する(サーチ選択)

タイトル、チャプターを入力すると、そこから再生を始めます。

1

 画面または **MENU** をタッチする。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2

次へ をタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3

サーチ をタッチする。

: サーチ選択画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



4

 サーチ選択画面で **0** ~ **9** (10キー) をタッチして、再生したいチャプター／タイトルを入力する。

- タイトル、チャプターは **切替** をタッチし切り替えて入力します。

チャプターサーチ → タイトルサーチ
 ← 非表示 ←

サーチ選択画面



モード表示 **0** ~ **9** ボタン(10キー)

例

 チャプター番号“04”を入力する場合

- ① 10キーを **0**、**4** とタッチする。

: 表示が“04”となります。



5

実行 をタッチする。

: 入力したチャプター番号／タイトル番号から再生を始めます。



6

画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバース

- しばらく何も操作をしなかった場合、モード表示は消えます。その場合は、**切替** をタッチし、再度手順 **4** ([**⏪** P-11]) からやりなおしてください。
- 数字の入力はモード表示が表示されている時のみ有効です。
- 間違った数字を入力した場合は、**切替** をタッチし、再度手順 **4** ([**⏪** P-11]) からやりなおしてください。
- ディスクに収録されていないチャプター／タイトルを入力すると、この操作は解除となります。
- ディスクによっては、この機能を禁止しているものもあります。

音声言語／字幕言語を切り替える

ディスクによっては複数の音声言語／字幕言語が収録されているものがあります。

1 画面または **MENU** をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **音声** または **字幕** をタッチする。

：タッチすることにより、ディスクに収録されている音声言語リストまたは字幕言語リストの中で、音声言語／字幕言語が切り替わります。

操作ボタン1表示画面



音声言語リスト



字幕言語リスト



3 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバース

- 収録されている音声によっては再生できない音声があります。その場合は他の音声に切り替えてください。
- ディスクによっては、字幕を変更したり消したりすることを禁止しているものもあります。
- 音声言語／字幕言語は、DVDメニューや言語設定(【**設定**】P-20)でも切り替えられます。
- ディスクによっては、上記(手順 **1**、**2**)の操作では、音声言語／字幕言語の切り替えができないものもあります。この場合は、DVDメニューまたは言語設定で切り替えてください。

映像

D
V
D

TITLE / CHAPTER / TIMEの表示を替える

- TITLE.....タイトル番号を表示
- CHAPTER.....チャプター番号を表示
- TIME.....再生時間を表示

1 画面または **MENU** をタッチする。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **次へ** をタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 **タイム** をタッチする。

: タッチすることに表示が切り替わります。

操作ボタン2表示画面



4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、

ボタン消 をタッチする。

■ 表示をやめる

上記手順 **1** ~ **3** に従って操作し、表示をやめてください。

リピート(繰り返し)再生する

再生中のチャプター／タイトルを繰り返すことができます。

- CHAPTER REPEAT……………再生中のチャプターを繰り返す
- TITLE REPEAT……………再生中のタイトルを繰り返す
- REPEAT OFF……………リピート再生しない

※ディスクによっては、リピートの種類を選んでも、リピート再生ができないものもあります。

1 画面または **MENU** をタッチする。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **次へ** をタッチする。

: 操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 **リピート** をタッチする。

: タッチすることによりモードが切り替わります。

リピート
モード表示

操作ボタン2表示画面



4 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。

■ 通常の再生に戻す

上記手順 **1** ~ **3** に従って操作し、“REPEAT OFF” を選ぶ。

アングル(角度)を切り替える

ディスクによっては、複数のアングルで収録されているもの(マルチアングル収録)もあり、好きなアングルに切り替えて見ることができます。

1 画面または **MENU** をタッチする。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **アングル** をタッチする。

: タッチすることによりアングルが切り替わります。

3 画面の操作ボタンの表示をやめるには、**ボタン消** をタッチする。



アドバイス

- マルチアングル映像が収録されていないディスクでは、**アングル** を選ぶことはできません。
- 収録されている総アングル数は、ディスクによっても、場面によっても異なります。

VRモードディスク内の映像をリストより選び、再生させる

DVD-R/RW、DVR-R DL(VRモード)に登録したタイトル名を各リストより選び、再生させることができます。

1 画面または **MENU** をタッチする。

: 操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 タイトルリストまたはプレイリストを表示する。

タイトルリストより選ぶ	タイトル をタッチする。 : タイトルリストが表示されます。
プレイリストより選ぶ	メニュー をタッチする。 : プレイリストが表示されます。



アドバイス

- タイトルリストとは録画されたままの映像(情報)で編集されていないもの、プレイリストとは録画された映像(情報)をお好みの順に編集したものをあらわします。
- ※タイトル名はDVDレコーダーで編集することができます。タイトルリスト/プレイリストの詳細はDVDレコーダーの説明書を参照ください。

3

リストより再生したいタイトル名／プレイリスト名をタッチする。

: 選んだ項目が再生されます。

タイトルリスト表示



VXM-145VFNi

現在、再生しているタイトル名／プレイリスト名を表示

VXM-145VFEi VXM-145VFI

タイトル名／プレイリスト名を表示しません。

タイトルリスト画面のとき **プレイリスト** をタッチするとプレイリスト画面を表示

プレイリスト表示



VXM-145VFNi

現在、再生しているタイトル名／プレイリスト名を表示

VXM-145VFEi VXM-145VFI

タイトル名／プレイリスト名を表示しません。

プレイリスト画面のとき **タイトルリスト** をタッチするとタイトルリスト画面を表示



アドバース

- VRモードディスクにプレイリストがない場合、**メニュー** をタッチしてもプレイリストは表示されません。
- タイトルリストまたはプレイリストの操作を途中で終わる場合(リジューム再生する場合は **戻る** をタッチしてください)。
- VRモードディスク再生中に操作ボタン1の **音声** をタッチすると、音声チャンネルを切り替えることができます。

DVDの初期設定について

初期設定を変更する

再生中または再生停止中にDVDの初期設定を変更することができます。

1 画面または **MENU** をタッチする。

：操作ボタン1表示画面が表示されます。

2 **次へ** をタッチする。

：操作ボタン2表示画面が表示されます。

操作ボタン1表示画面



3 **DVD設定** をタッチする。

：DVD設定画面が表示されます。

操作ボタン2表示画面



アドバース

■ (停止) → **DVD設定** をタッチしてDVDの初期設定を変更することもできます。

操作ボタン1表示画面



停止画面



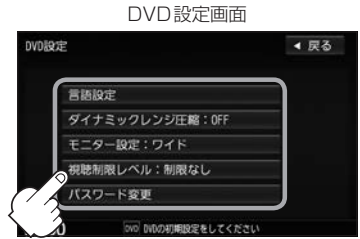
DVD設定 ボタン

※ **DVD設定** を変更した場合、設定内容によっては、続き再生メモリー機能が解除される場合があります。この場合、続きメモリー機能は解除され、ディスクの先頭からの再生となります。

4

画面の設定したい項目をタッチする。

：選んだ項目の設定画面が表示されます。



選んだ項目	設定できる内容	操作手順
言語設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声言語 ：DVDビデオ再生時の音声言語の切り替え ● 字幕言語 ：DVDビデオ再生時の字幕言語の切り替え ● メニュー言語 ：DVDメニューの表示言語の切り替え 	☞ P-20
ダイナミックレンジ圧縮	<ul style="list-style-type: none"> ● DVDビデオ再生時、小さい音量でも迫力のある音にすることができます。(ドルビーデジタルの音声のみ) 	☞ P-23
モニター設定	<ul style="list-style-type: none"> ● TVアスペクト ：DVDビデオ再生時の画像のアスペクト比の切り替え 	☞ P-23
視聴制限レベル	<ul style="list-style-type: none"> ● レベル ：視聴制限レベルの設定 	☞ P-24
パスワード変更	<ul style="list-style-type: none"> ● パスワード ：視聴制限レベルの設定を他の人が変えられないようにするためのパスワードの変更 	☞ P-25



アドバイス

- 設定した内容は変更しない限り保持されます。(電源を切っても保持されます。)
- ディスクによっては初期設定を変更しても切り替えができないものもあります。この場合はDVDメニューで切り替えてください。
- 各設定画面のとき1つ前の選択画面に戻る場合や、設定を終わったり途中でやめる場合は **戻る** をタッチしてください。
※停止画面のとき再度再生させる場合は **▶||** (再生) をタッチしてください。



映像

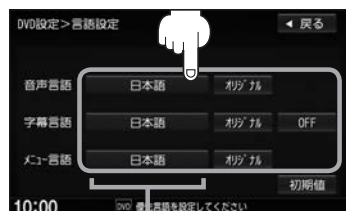
D
V
D

DVDの初期設定について

■ 手順 4 で“言語設定”を選んだとき

5 音声言語／字幕言語／メニュー言語の変更 したい項目をタッチする。

音声言語	DVDビデオ再生時に優先したい音声言語を切り替え
字幕言語	DVDビデオ再生時に優先したい字幕言語を切り替え
メニュー言語	DVDビデオ再生時に優先したいメニュー言語を切り替え



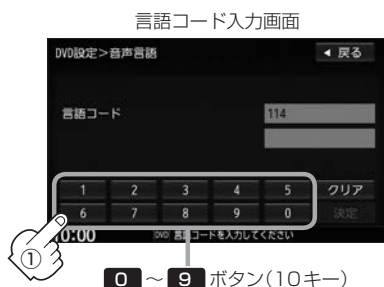
設定されている言語を表示
(タッチすると言語コード入力画面
を表示)
言語が **オリジナル** または **OFF** に
設定されている場合は **言語を選択**
と表示

□ 言語を変更するには

: 選んだ言語の言語コード入力画面が表示
されます。

- ① 言語コードの数字を **0** ~ **9**
(10キー)をタッチして入力する。

言語コード表 P-22



- ② 入力が終わったら **決定** をタッチする。



■ 言語設定を初期値に戻す

言語設定画面で **初期値** をタッチする。

：変更した言語設定がお買い上げ時に戻ります。



アドバイス

- DVD設定を変更すると、設定内容によっては続きメモリー機能が解除される場合があります。この場合、ディスクの先頭からの再生となります。
- 間違った言語コードを入力するとエラーメッセージが表示されます。再度正しいコードを入力してください。
- 入力した数字を訂正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- お買い上げ時の言語は“JA(日本語)”に設定されています。
- **オリジナル** を選んだ場合は、再生するディスクで優先されている言語で再生されます。
- “字幕言語”のとき、優先する字幕言語を **OFF** にした場合は字幕が表示されません。
- 前画面へ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- ディスクによっては設定された通りに再生しないものもあります。

DVDの初期設定について

言語コード表

コード	言語	コード	言語	コード	言語	
1027	AA	アフガル語	1239	IE	国際語	
1028	AB	アブバジア語	1245	IK	Inupiak 語	
1032	AF	アフリカーンス語	1248	IN	インドネシア語	
1039	AM	アムハラ語	1253	IS	アイスランド語	
1044	AR	アラビア語	1254	IT	イタリア語	
1045	AS	アッサム語	1257	IW	ヘブライ語	
1051	AY	アイマラ語	1261	JA	日本語	
1052	AZ	アゼルバイジャン語	1269	JI	イディッシュ語	
1053	BA	バシキール語	1283	JW	ジャワ語	
1057	BE	ベラルーシ語	1287	KA	グルジア語	
1059	BG	ブルガリア語	1297	KK	カザフ語	
1060	BH	ビハーリー語	1298	KL	グリーンランド語	
1061	BI	ビスラマ語	1299	KM	カンボジア語	
1066	BN	ベンガル、バングラ語	1300	KN	カンナダ語	
1067	BO	チベット語	1301	KO	韓国語	
1070	BR	ブルトン語	1305	KS	カシミール語	
1079	CA	カタロニア語	1307	KU	クルド語	
1093	CO	コルシカ語	1311	KY	キルギス語	
1097	CS	チェコ語	1313	LA	ラテン語	
1103	CY	ウェールズ語	1326	LN	リンガラ語	
1105	DA	デンマーク語	1327	LO	ラオス語	
1109	DE	ドイツ語	1332	LT	リトアニア語	
1130	DZ	ブータン語	1334	LV	ラトビア、レット語	
1142	EL	ギリシャ語	1345	MG	マダガスカル語	
1144	EN	英語	1347	MI	マオリ語	
1145	EO	エスペラント語	1349	MK	マケドニア語	
1149	ES	スペイン語	1350	ML	マラヤーラム語	
1150	ET	エストニア語	1352	MN	モンゴル語	
1151	EU	バスク語	1353	MO	モルダビア語	
1157	FA	ペルシャ語	1356	MR	マラータ語	
1165	FI	フィンランド語	1357	MS	マレー語	
1166	FJ	フィジー語	1358	MT	マルタ語	
1171	FO	フェロー語	1363	MY	ミャンマ語	
1174	FR	フランス語	1365	NA	ナウル語	
1181	FY	フリジア語	1369	NE	ネパール語	
1183	GA	アイルランド語	1376	NL	オランダ語	
1186	GD	スコットランドゲール語	1379	NO	ノルウェー語	
1194	GL	ガルシア語	1393	OC	プロバンス語	
1196	GN	グアラニ語	1403	OM	(アフアン) オロモ語	
1203	GU	グジャラート語	1408	OR	オリヤー語	
1209	HA	ハウサ語	1417	PA	パンジャブ語	
1217	HI	ヒンディー語	1428	PL	ポーランド語	
1226	HR	クロアチア語	1435	PS	パシュトー語	
1229	HU	ハンガリー語	1436	PT	ポルトガル語	
1233	HY	アルメニア語	1463	QU	ケチュア語	
1235	IA	国際語	1481	RM	ラエティ=ロマン語	
				1482	RN	キルンディ語
				1483	RO	ルーマニア語
				1489	RU	ロシア語
				1491	RW	キニヤルワンダ語
				1495	SA	サンスクリット語
				1498	SD	シンド語
				1501	SG	サンゴ語
				1502	SH	セルビアクロアチア語
				1503	SI	シンハラ語
				1505	SK	スロバキア語
				1506	SL	スロベニア語
				1507	SM	サモア語
				1508	SN	ショナ語
				1509	SO	ソマリ語
				1511	SQ	アルバニア語
				1512	SR	セルビア語
				1513	SS	シスワティ語
				1514	ST	セストゥ語
				1515	SU	スンダ語
				1516	SV	スウェーデン語
				1517	SW	スワヒリ語
				1521	TA	タミール語
				1525	TE	テルグ語
				1527	TG	タジク語
				1528	TH	タイ語
				1529	TI	ティグリニャ語
				1531	TK	トゥルクメン語
				1532	TL	タガログ語
				1534	TN	セツワナ語
				1535	TO	トンガ語
				1538	TR	トルコ語
				1539	TS	ツォンガ語
				1540	TT	タタール語
				1543	TW	トウイ語
				1547	UK	ウクライナ語
				1564	UR	ウルドゥー語
				1572	UZ	ウズベク語
				1581	VI	ベトナム語
				1587	VO	ボラビュク語
				1613	WO	ウォロフ語
				1632	XH	コーサ語
				1664	YO	ヨルバ語
				1685	ZH	中国語
				1697	ZU	ズール語

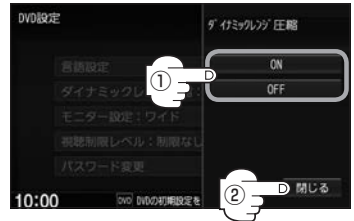
■ 手順4で“ダイナミックレンジ圧縮”を選んだとき

ドルビーデジタル方式で記録されたDVDビデオ再生時に出力する音の音域を設定できます。

5

- ① **ダイナミックレンジの圧縮をする／しないの設定をする。**

ON	小さい音量でも迫力ある音で楽しみたいとき
OFF	標準音域で聞きたいとき



- ② **閉じる** をタッチする。

: DVD設定画面に戻ります。

■ 手順4で“モニター設定”を選んだとき

DVDビデオ再生時に優先したい画像アスペクト比を切り替えることができます。

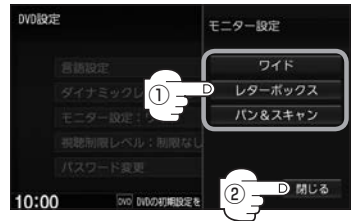
5

- ① **設定したいアスペクト比をタッチする。**

※ 16:9ワイドスクリーン／4:3レターボックス／4:3パン&スキャンとなります。

- ② **閉じる** をタッチする。

: DVD設定画面に戻ります。



アドバース

- ディスクに収録されていないアスペクト比を選んだ場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生されます。また、ディスクによっては、1つのアスペクト比しか収録していないものもあります。再生するディスクの説明書をご確認ください。
- 映像出力端子にノーマルモニターを接続してご使用のときに、**ワイド** に設定すると、画像が不自然になることがあります。ノーマルモニターをご使用の場合は、**レターボックス** または **パン&スキャン** に設定してください。(※この場合は、本機のディスプレイ選択を **ノーマル** [H-12] に設定しないと不自然な画像となります。)
- 映像出力端子にワイドモニターを接続してご使用のときに、ワイドモニターを“フル”またはこれに相当するモードにして、本機を **レターボックス** または **パン&スキャン** に設定すると、画像が不自然になります。ワイドモニターで、**レターボックス** や **パン&スキャン** の映像を見る場合は、ワイドモニターを、画面の縦横の比率が4:3になるモード(メーカーによって名称が異なりますが、例えば“ノーマルモード”など)に設定してください。

お客様が個人的に視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

映像

D
V
D

DVDの初期設定について

■ 手順 4 で“視聴制限レベル”を選んだとき

視聴制限が収録されているDVDビデオの視聴制限レベルの設定ができます。

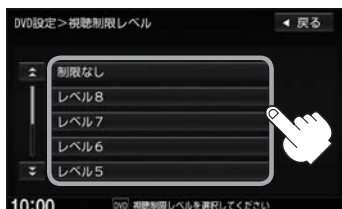
5

① 下記の視聴制限レベルを参照して設定したいレベルをタッチする。

：レベルを変更すると、パスワード確認画面が表示されます。

視聴制限レベル	“制限なし”	視聴制限を無効
	“8”	全てのDVDビデオの再生可
	“7”	子供向／一般向のみ再生可
	“6”	
	“5”	
	“4”	
	“3”	子供向のみ再生可(一般向／成人向再生は禁止)
	“2”	
“1”		

下にいくほど制限が厳しくなります。



※視聴制限を解除してディスクを再生する場合は、“**制限なし**”を選んでください。

② 現在のパスワードを **0** ~ **9** (10キー) をタッチして入力する。



0 ~ **9** ボタン(10キー)

③ 入力が終わったら **決定** をタッチする。



デトバイス

- 間違ったパスワードを入力するとエラーメッセージが表示されます。再度正しいパスワードを入力してください。
- パスワードを入力しないかぎり、レベルを変更することはできません。
※お買い上げ時のパスワードは“0000”となっています。
(パスワードは変更することができます。[P-25])
- ディスクに視聴制限用のデータが入っていない場合は制限が効きません。
- お買い上げ時の視聴制限レベルは“制限なし”となっています。
- 上記の設定後に、視聴制限のデータが入ったDVDビデオを挿入すると、確認画面が表示されます。
はい を選ぶと上記のパスワード入力画面が表示されます。入力したパスワードが正しいと、DVDビデオが再生されます。

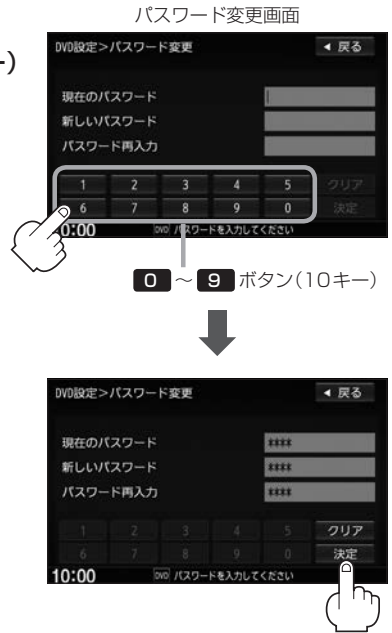
■ 手順 4 で“パスワード変更”を選んだとき

5

① 現在のパスワード／新しいパスワード／パスワード再入力を **0** ~ **9** (10キー) をタッチして入力する。

② **決定** をタッチする。

: DVD 設定画面に戻ります。



アトハイス

- 入力した数字を訂正するときは **クリア** をタッチして数字を再入力してください。
- 正しいパスワードを入力しない限り、視聴制限設定ができなくなります。
変更したパスワードは、忘れないでください。
- 視聴制限が収録されていないディスクの場合は、本機で再生を制限することはできません。
- 前ページへ戻る場合は、**戻る** をタッチしてください。
- パスワードを忘れてしまったら、現在のパスワードに“0000”を入力してください。
- お買い上げ時のパスワードは“0000”に設定されています。

Q

Digital TVを見る

miniB-CASカードを入れる／取り出す	Q-2
初期設定をする	Q-4
各部のなまえとはたらき	Q-7
テレビを設定する	Q-11
情報／設定メニューについて	Q-11
システム設定する	Q-11
B-CASカードの情報を見る／テストする	Q-13
放送メールを見る	Q-13
ソフト情報を見る	Q-13
視聴予約を確認する／取り消す	Q-14
緊急放送(EWS)について	Q-14

miniB-CASカードを入れる／取り出す

👉 お願い

- 本機には、ID(識別)番号の異なるminiB-CAS(ビーキャス)カードが付属されています。地上デジタルテレビ放送を視聴するときは、miniB-CASカードを本機に挿入してご使用ください。miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送が視聴できません。
- miniB-CASカードのIC(集積回路)部に触れたり、汚したり、カードに衝撃を加えたり、折り曲げたりすると使用できなくなることがありますので、大切に取り扱いってください。

📖 「miniB-CASカードについて」 T-35

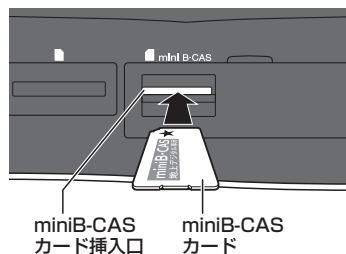
1 → OPEN をタッチする。

：ディスプレイが開きます。

2 カードを入れる／取り出す。

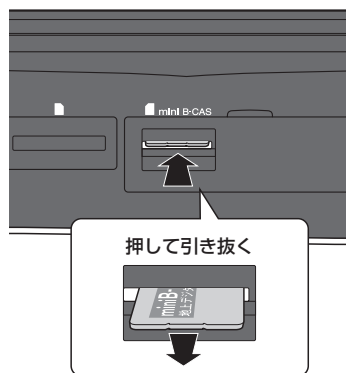
■ miniB-CASカードを入れる

- ① カード挿入口カバーを開ける。
- ② miniB-CASカード挿入口にminiB-CASカードを挿入する。
※★の付いた面を上にし、↑(右イラストの矢印)の方向に奥まで挿入してください。
- ③ カード挿入口カバーを閉じる。



■ miniB-CASカードを取り出す

- ① カード挿入口カバーを開ける。
- ② miniB-CASカードを1回押し、挿入口から少し出ている部分を持って引き抜く。
- ③ カード挿入口カバーを閉じる。



3 をタッチする。

：ディスプレイが閉じます。



お願い

- miniB-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CASカード挿入口にはminiB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違えるとminiB-CASカードは機能しません。また、故障の原因となります。
- miniB-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。

▶ 「[B-CASカードの情報を見る／テストする](#)」Q-13

初期設定をする

初めてDigital TVソースに切り替えたとき、デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。テレビ放送を見るためには初期設定が必要です。

1 AUDIOメニュー(⏮ A-14)から

Digital TV をタッチする。

: デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。

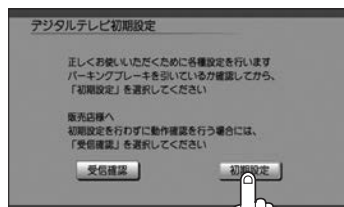


2 初期設定 をタッチする。

: 郵便番号設定画面が表示されます。

※ Honda 販売店で初期設定を行わずに動作確認をする場合は **受信確認** をタッチしてください。

受信確認中は ◀ ▶ で物理チャンネルを変更できます。



3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定** をタッチする。

: 県域設定画面が表示されます。

4 お住まいの都道府県をタッチする。

: チャンネル設定画面が表示されます。

■ 伊豆、小笠原諸島地域にお住まいのとき

① **沖縄・その他の島部** をタッチする。

② **東京都島部** をタッチする。

■ 南西諸島鹿児島県地域にお住まいのとき

① **沖縄・その他の島部** をタッチする。

② **鹿児島県島部** をタッチする。

5

次へ をタッチする。

6

表示された地域を確認して、
決定 をタッチする。

：ホームモードのチャンネルのスキャンが始まります。
スキャンが終了するとチャンネル一覧画面が表示されます。
※スキャン終了までしばらく時間がかかる場合があります。

7

各チャンネルと放送局名を確認して、
決定 をタッチする。

：B-CASカードテスト画面が表示されます。
※検索後、表示されなかった放送局があった場合、
初期設定終了後に再スキャンを行ってください。
☞ Q-10



■ チャンネルを修正するには

- ① ▲ / ▼ でチャンネル番号を選ぶ。
- ② ◀ / ▶ で放送局を選ぶ。

8

miniB-CASカードが挿入されていることを確認して、**テスト** を選ぶ。

：カードテストが始まります。
※miniB-CASカードの挿入 ☞ Q-2

初期設定をする

9

テスト結果を確認し、**次へ** → **終了** をタッチする。

：初期設定が終了し、テレビ画面が表示されます。

■ テスト結果がNG

いいえ → **終了** をタッチし、以下の手順を行ってください。

① miniB-CASカードをいったん取り出し、再度挿入する。

※miniB-CASカードの取り出し／挿入  Q-2

② B-CASカードテストを行う。





※B-CASカードテスト  Q-13

※それでもNGになる場合は、Honda販売店にお問い合わせください。



アドバイス

●初期設定は一度設定すると、本機の初期化をしない限り表示されません。引越しなどで受信地域が変更になった場合は、以下を参照して初期設定項目の変更を行ってください。

- ・郵便番号設定  Q-12
- ・県域設定  Q-12
- ・ホームモードのチャンネル設定  Q-12
- ・B-CASカードのテスト  Q-13

各部のなまえとはたらき

選局パネル



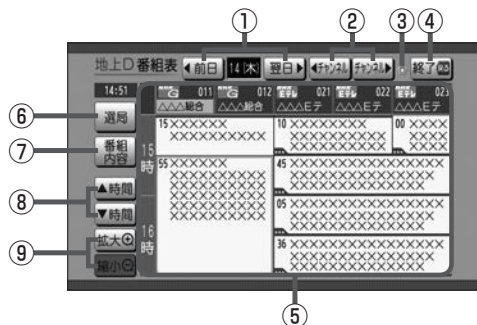
- ① 番組表を表示
- ② 視聴中の番組内容を表示
- ③ カーソルパネルを表示 [Q-9]
- ④ デジタルTVメニューを表示 [Q-10]
- ⑤ 現在放送中の番組リスト (タッチして選局)
- ⑥ 選局パネルを消す



アドバイス

- 番組リストはドラッグ/フリックによるスクロール操作はできません。
- [◀▶] 操作で選局することもできます。

番組表画面



- ① 前日・翌日に切り替え
- ② チャンネルを選ぶ
- ③ ホームモード/おでかけモードマーク [Q-10]
- ④ 番組表画面を消す
- ⑤ 番組表 (タッチで番組選択)
- ⑥ 選局パネルを表示
- ⑦ 選んだ番組の詳細内容を表示
- ⑧ 時間帯の変更
- ⑨ 番組表の拡大/縮小



アドバイス

- 番組表で黄色で表示されているのが選択中の番組です。
- 選んだ番組 (チャンネル) に複数の番組がある場合、番組選択画面が表示されます。希望の番組を選んでください。
- 番組と番組の間にある緑線は放送時間の短い番組があるという印です。タッチして選ぶと番組が表示されます。
- 電源を入れた直後は番組表が表示されるまでしばらくかかる場合があります。
- 地上デジタル放送は最大8日分、ワンセグ放送は10番組表示されます。

映像
TV

カーソルパネル

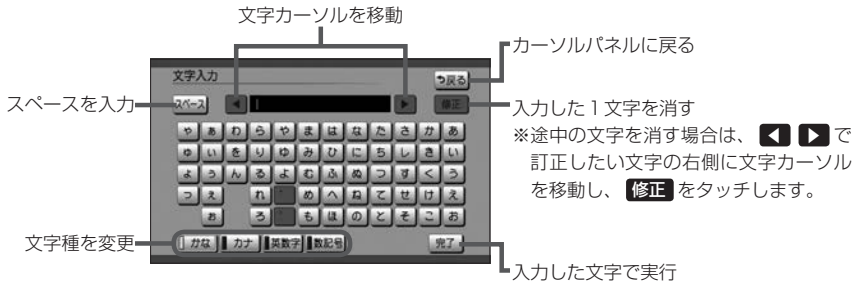


- ① 色ボタン
- ② データ放送を表示
(データ放送表示時に再度タッチで、通常放送画面に戻る)
- ③ 画面内の項目を選択/実行
- ④ データ放送表示時にひとつ前の画面に戻る
- ⑤ カーソルパネル表示位置の変更(画面左/右)
- ⑥ 数字パネルに切り替え(☞下記)
- ⑦ カーソルパネルを消す

⑤ ⑥ ⑦



●文字入力画面が表示されたら、文字をタッチして入力してください。



●本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

数字パネル



- ① 数字ボタン
- ② 入力した数字を決定/実行
- ③ 数字パネル表示位置の変更(画面左/右)
- ④ カーソルパネルに戻る
- ⑤ 数字パネルを消す
- ⑥ データ放送表示時にひとつ前の画面に戻る

② ③ ④ ⑤ ⑥

各部のなまえとはたらき

デジタルTVメニュー



- ① デジタルTVメニューの説明を表示
- ② TV画面に戻る
- ③ **自動切替**：電波状況により、12セグ/ワンセグを自動で切り替え
- ワンセグ**：ワンセグのみで受信
- 地上D**：12セグのみで受信
- ④ ホームモード/おでかけモードの切り替え
- ⑤ おでかけモードで使用するチャンネルを設定
- ⑥ 受信可能な放送局一覧の表示(☞P.11 下記)
- ⑦ 音声/映像信号の切り替え
- ⑧ 情報/設定メニューを表示(☞P.11 Q-11)



アドバイス

ホームモード/おでかけモードについて

自宅周辺で受信できるチャンネル(ホームモード)と、お出かけ先で受信できるチャンネル(おでかけモード)を登録し、それぞれ切り替えてテレビを視聴することができます。

おでかけモードプリセットについて

エリア ……現在地に依りて受信できる放送局を自動で切り替えます。

初期スキャン ……現在地で受信できる放送局をスキャンし、リストを上書きします。

再スキャン ……現在のおでかけモードに登録されているチャンネルの他に、新たに受信できる放送局を追加します。以前おでかけモードに登録されていたチャンネルは残ります。(消去・上書きなどはされません。)

信号切替について

信号切替をタッチすると、放送によって映像や音声などを切り替えることができます。

・マルチビュー ……同じチャンネルで主番組と副番組の複数映像があるときに切り替えて視聴することができます。

- ・映像 ……複数の映像があるときに選べます。
- ・音声 ……複数の音声があるときに選べます。
- ・二重音声 ……音声多重放送のときに選べます。
- ・字幕 ……字幕言語を選びます。
- ・文字スーパー ……文字スーパーの言語を選びます。

放送局一覧表示

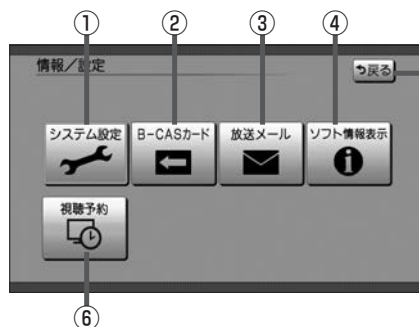


- ① ホームモード/おでかけモードマーク
- ② デジタルTVメニューに戻る

テレビを設定する

情報／設定メニューについて

地上デジタルテレビ放送の各機能や設定はこの情報／設定メニューを使って行います。



- ① システム設定画面を表示([設定] 下記)
- ② B-CASカードの情報を表示([設定] Q-13)
- ③ 放送メールを表示([設定] Q-13)
- ④ ソフト情報を表示([設定] Q-13)
- ⑤ デジタルTVメニューへ戻る
- ⑥ 視聴予約画面を表示([設定] Q-14)

システム設定する

地上デジタル放送に関する設定や、引っ越した場合に地域や郵便番号の再設定をします。

1 システム設定 をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

システム設定画面 1

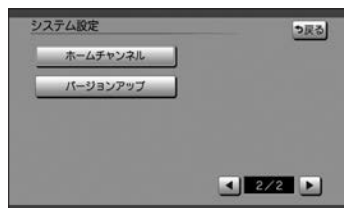


▶ をタッチ



◀ をタッチ

システム設定画面 2



■ オート放送局サーチの設定

受信状況が悪くなったときに、自動で受信状態のよい中継局、または同系列の放送局に切り替えます。

- ① **オート放送局サーチ** をタッチする。
- ② **する** / **しない** を選び、タッチする。

する	オート放送局サーチする。
しない	オート放送局サーチしない。



オート放送局サーチを **はい** に設定していても、放送局を切り替えられない場合があります(県境を越えて移動中など)。その場合は、選局パネルから放送局を選んでください。

テレビを設定する

■ データサービスの設定

テレビのみを選局するか、テレビと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。

- ① **地上D選局対象** をタッチする。
- ② **テレビ** / **テレビ/データ** を選び、タッチする

テレビ	テレビサービスのみ選局
テレビ/データ	テレビサービスと独立データサービスを選局



アドバイス

- **テレビ** に設定したときは、番組表もテレビのみ表示されます。
- **地上D選局対象** を設定できるのは地上デジタル放送のみです。ワンセグの場合、設定しても有効になりません。

■ 郵便番号の設定

引っ越しなどで郵便番号が変わった場合などに設定しなおします。

- ① **郵便番号** をタッチする。
- ② お住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定** をタッチする。

■ 県域の設定

引っ越しなどで県域が変わった場合などに設定しなおします。

- ① **県域** をタッチする。
- ② Q-4手順 **4** に従って操作する。

■ ホームモードのチャンネル設定

引っ越しなどで受信地域が変わった場合などに設定しなおします。
下記手順を行う前に、ホームモードに切り替えておいてください。

- ① **ホームチャンネル** をタッチする。
- ② **初期スキャン** / **再スキャン** / **マニュアル** を選び、タッチする。

初期スキャン	現在受信できるチャンネルを検索し、以前のリストに上書きされます。
再スキャン	現在のホームモードに登録されているチャンネルの他に、新たに受信できる放送局を追加します。 ※以前のリストに上書きされません。
マニュアル	設定したチャンネルを修正します。 Q-5手順 7

B-CASカードの情報を見る／テストする

B-CASカード番号を確認したり、B-CASカードテストを行います。

1

B-CASカード をタッチする。

：B-CASカード画面が表示されます。



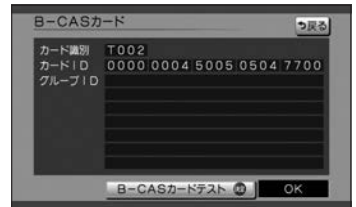
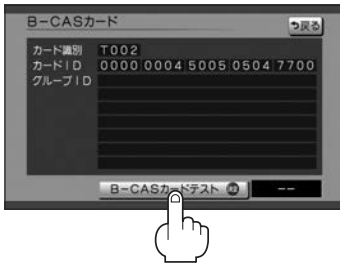
カードID(B-CASカード番号)はお問い合わせの際に必要な場合があります。メモを取るなどお忘れないようにしておいてください。

2

B-CASカードテストをするときは **B-CASカードテスト** をタッチする。

※テストがOKの場合は **OK** と表示されます。

NGの場合、再度テストしてください。それでもNGになる場合は、Honda販売店にお問い合わせください。



放送メールを見る

放送メールを確認します。最大31件受信し、新しく受信したときに古いメールから削除されます。確認したいメールを選んでタッチすると、内容が表示されます。

1

放送メール をタッチする。

ソフト情報を見る

ソフト情報を確認することができます。

1

ソフト情報表示 をタッチする。



文書1 **文書2** **文書3** をタッチすると、それぞれの情報画面に切り替わります。

テレビを設定する

視聴予約を確認する／取り消す

番組表画面で視聴予約した番組の確認と取り消しをすることができます。



- ① 視聴予約番組リスト
取り消したい場合を選ぶと、チェックマーク(✓)が付きます。
- ② 取り消したい視聴予約番組を選んだ後、**取消** → **はい** をタッチで取り消し

緊急放送(EWS)について

■緊急警報放送(EWS)とは

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

■緊急警報放送(EWS)を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り替わります。

- ・緊急警報放送が終了しても、TV画面のままになります。(もとのオーディオには戻りません。)もとに戻すには、手で切り換えてください。
- ・視聴中のTVの放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り替わりません。
- ・走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
- ・Digital TVソース以外のソースを選んでいても緊急警報放送が開始された場合、自動的に緊急警報放送に切り替わることがあります。
- ・緊急放送視聴中は視聴予約を実行しません。

R

VTR / AUX / HDMI を使う

各部のなまえとはたらき	R-2
接続する	R-3

各部のなまえとはたらき

AUDIOメニュー(☞ A-14)から **VTR** / **HDMI** をタッチすると、再生画面が表示されます。
画面をタッチすると操作ボタンが表示されます。

VTR / AUXソース画面



- ① 操作ボタンを非表示
- ② Quick MENUを表示

HDMIソース画面



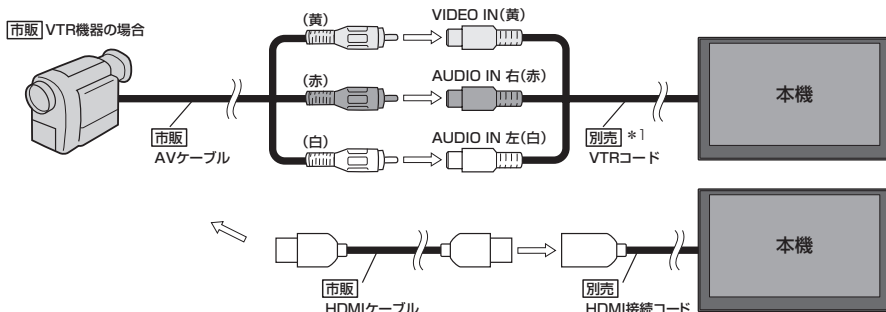
- ※ HDMIソースを見るときは、あらかじめHDMI接続を **する** に設定しておく必要があります。
☞ G-20

接続する

市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの映像や音声を本機で視聴できます。
 ※接続の前に車のエンジンスイッチを0(ロック)にし、接続する機器の電源を切ってください。

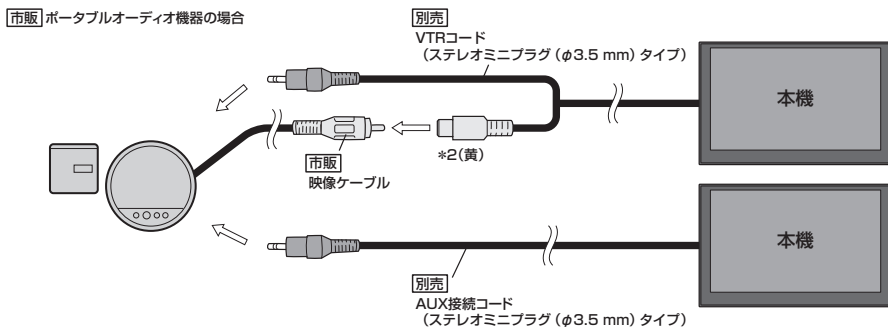
1 機器を接続する。

VTR機能	別売のVTRコードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続
AUX機能	別売のAUX接続コードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器を接続
HDMI機能	別売のHDMI接続コードを使用して本機と市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続



※車両によってはHDMI接続コードの代わりにHDMI接続ジャックを使って接続する場合があります。

* 1…VTRコードにiPod接続コード(別売)が接続されている場合は外してください。P-N-13イラスト



* 2…DVDプレーヤーなどの場合に使用します。

2

本機と使用する機器の電源を入れ、本機をVTRまたはHDMIソースに切り替える。

3

VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。



アドバイス

- 接続される機器の電源をOFFにしてから、本機の電源をOFF(エンジンスイッチを0(ロック))にしてください。
- VTR/AUX端子から入力された映像や音声はVTRソースで視聴できます。
- HDMI端子から入力された映像や音楽はHDMIソースで視聴できます。
- VTR/AUX/HDMIの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。
- 接続した機器によっては映像や音が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。(調整してください。)
- HDMIソースは、リア席モニターに表示されません。
- 対応している映像信号は720p、1080i、480p(16:9、4:3)です。
- HDMIで接続した機器の音声がBLUETOOTHで接続されている場合、HDMIで音が出ないことがあります。そのような場合は機器側のBLUETOOTHの接続をOFFしてからHDMIを使用してください。
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

VTR入力端子

映像入力レベル	1 Vpp(入カインピーダンス 75 Ω)
音声最大入力レベル	2.0 V(入カインピーダンス 47 kΩ)

ハンズフリーを使う

初期登録設定	S-2		
携帯電話を登録する	S-2		
登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する	S-5		
携帯電話の割り当てを切り替える	S-6		
登録した携帯電話の自動接続を設定する	S-7		
登録した携帯電話の優先接続の設定をする	S-8		
車載機(本機)のBLUETOOTH情報を 確認／変更する	S-8		
ハンズフリーの通話設定をする	S-10		
携帯電話のメモリを本機に登録する	S-11		
電話を受ける	S-13		
着信音量を調整する	S-13		
電話に出る	S-13		
保留にする	S-14		
通話を拒否(終了)する	S-15		
通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする (ミュート)	S-15		
通話を携帯電話に切り替える	S-16		
トーン入力する	S-17		
		電話をかける	S-18
		S-18	
		S-19	
		S-20	
		S-21	
		S-23	
		S-23	
		S-24	
		S-24	
		S-24	
		S-24	
		S-26	
		S-26	
		S-26	

初期登録設定

BLUETOOTH対応携帯電話を使用するには、はじめに初期登録(携帯電話の登録)をする必要があります。また、音量調整/登録削除/電話の切り替えなどの各設定をすることができます。

ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。

携帯電話を登録する

使用する携帯電話を本機に登録します。

1

MENU → 携帯電話 → 設定 →
携帯電話機器登録 をタッチする。

※ **携帯電話機器登録** は端末が追加登録可能な場合に選べます。



2

ハンズフリー をタッチする。

: 携帯電話会社設定画面が表示されます。

※ **ハンズフリー** は端末が追加登録可能な場合に選べます。

3

登録する携帯の会社名(種類)をタッチする。

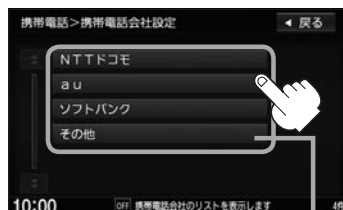
※携帯電話の会社名を選ぶことで、その会社に応じた通話品質向上のための設定が自動で行われます。

: 接続待機中画面が表示されます。

※すでに登録済み(BLUETOOTH接続済み)の携帯電話(番号)がある場合、メッセージが表示されるので「はい」を選んでください。

“はい”を選ぶと現在接続中の携帯電話との通信を切断し、接続待機中画面が表示されます。“いいえ”を選んだ場合は登録作業を中断し、携帯電話会社設定画面に戻ります。(登録できる携帯電話は2台までですが、BLUETOOTHに接続できる携帯電話は1台のみとなります。そのため切断するかどうかの操作が必要となります。)

携帯電話会社設定画面



ご使用の携帯電話がドコモ/au/ソフトバンク以外の場合、**その他**を選んでください。本機にて接続を確認している携帯電話は、下記ホームページをご確認ください。
<http://www.honda.co.jp/navi/support/>

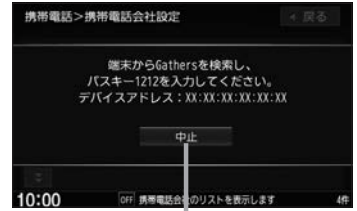
4

携帯電話側を操作してハンズフリーとして登録を行う。

※登録方法は、お手持ちの携帯電話の説明書をご覧ください。

※登録する携帯電話の仕様によってはパスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング機能)の場合があります。携帯電話および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい** をタッチすると登録が完了します。

接続待機中画面



※接続待機中に **中止** をタッチすると接続待機を中止し、携帯電話会社設定画面に戻ります。



- ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。
 - セキュリティ確保のため、パスキー入力の際には約30秒の制限時間が設けられています。パスキーの入力はこの制限時間内に行ってください。
 - パスキーとは、BLUETOOTH対応機器を本機に登録するためのパスワードです。
 - 携帯電話で複数の機器を検索した場合は、本機の機器名称などで判断してください。
- 「**車載機(本機)のBLUETOOTH情報を確認/変更する**」S-8

5

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。

初期登録設定



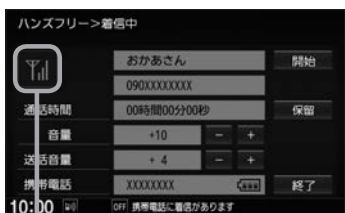
- 携帯電話の登録は安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ行うことができます。
- 携帯電話は2台までハンズフリー登録可能です。
- 携帯電話が接続されているときには、携帯電話のアイコンが情報バーに表示されます。



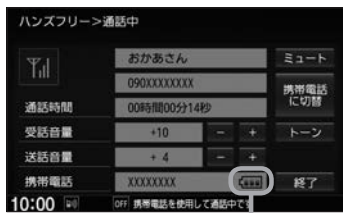
情報バー

携帯電話のアイコン
アンテナ3本：電波状態良好

携帯電話のアイコン	意味
	割り当てられている携帯電話 (1 / 2) と電波状態 (アンテナ本数多い程良好)
	圏外 (電波は届いていません。)



着信／発信／通話中のとき電波状態を表示



電池残量

※電波状態(アンテナの本数)は携帯電話の電波状態を表しますが、携帯電話によっては携帯電話で表示するアンテナ本数と異なる場合があります。(良好でも圏外となることがあります。)
また、着信中や通話中などに表示される接続機器の電池残量も携帯電話に表示される残量と異なる場合があります。

登録した携帯電話の詳細情報を見る／削除する

本機に登録している携帯電話の詳細情報を確認したり、登録している携帯電話を削除することができます。

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **ハンズフリー** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、**登録機器一覧** は選べません。

2

詳細情報を見る、または削除する。

■ 詳細情報を見る

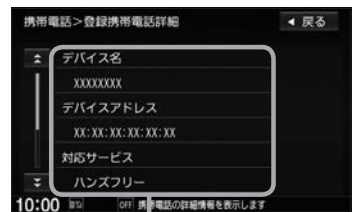
① 詳細情報を見たい携帯電話の **詳細** をタッチする。

：詳細情報画面が表示されます。

携帯電話登録一覧画面



詳細情報画面



登録している携帯電話の詳細情報を確認することができます。

(デバイス名^{*1} / デバイスアドレス / 対応サービス^{*2} / 携帯電話会社 / 自局番号を表示)

* 1…携帯電話に設定されている名称を表示します。

* 2…登録した端末が、どのサービスに対応しているかを表示します。

※お手持ちの携帯電話の自局情報(プロフィール)に絵文字を使用している場合、本機では“_”(アンダーバー)で表示されます。

※本機に表示される名称(デバイス名)は登録時のものとなります。携帯電話側で名称(自局情報)を変更しても本機では一度登録した名称が表示されます。

※自局番号(携帯電話の電話番号)が取得できた場合には、その番号も表示します。(取得できなかった場合には“_”(ハイフン)で表示されます。)

■ 削除する

① 削除したい携帯電話の **削除** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると携帯電話を削除し、携帯電話画面に戻ります。



2台の登録があり、現在使用中の携帯電話を削除した場合は、残り1台を接続可能な携帯電話として自動で切り替えます。

登録携帯電話一覧画面



3 設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

：**戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

携帯電話の割り当てを切り替える

接続可能な携帯電話の割り当てを切り替えます。

※携帯電話は2台まで登録が可能です。常時接続できる携帯電話機は1台です。

1 **MENU** → **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **ハンズフリー** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、**登録機器一覧** は選べません。

2 割り当てたい携帯電話の **接続する** をタッチする。

：メッセージを表示しBLUETOOTH接続する携帯電話の割り当てが切り替わります。

※変更前の端末が接続されている場合は、BLUETOOTH切断を行ったあとに割り当てを変更します。

登録携帯電話一覧画面



3 設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

：**戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の自動接続を設定する

携帯電話を登録している場合、ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続するかどうかの設定をすることができます。

※初期設定は“する”に設定されています。

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **ハンズフリー** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、**登録機器一覧** は選べません。

2

自動接続の設定をする。

する	ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動で接続
しない	ナビゲーション起動時に本機と携帯電話を自動接続しない ※自動接続しない設定にしても携帯電話から接続が行われた場合は接続を行います。

登録携帯電話一覧画面



3

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

： **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、 **現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



アドドライブ

- 自動接続をする設定にしても携帯電話が接続できない状況(端末の電源が入っていない、端末のBLUETOOTH接続をOFFにしているなど)の場合は接続できません。
- 携帯電話を切り替えた際、接続されるまでに時間がかかる場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

登録した携帯電話の優先接続の設定をする

登録機器が2台ある場合、ナビゲーション起動時にどちらの機器を優先的に接続するか設定することができます。

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **登録機器一覧** → **ハンズフリー** をタッチする。

：登録されている携帯電話の一覧が表示されます。

※登録されているBLUETOOTH対応機器がない場合は、**登録機器一覧** は選べません。

2

優先したい携帯電話の**優先する** をタッチする。

：次回、車のエンジンスイッチをI（アクセサリ）またはII（ON）にしたときより設定が有効となります。

※自動接続をしない設定にすると**優先する** は選べません。

登録携帯電話一覧画面(例)



3

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

：**戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



- 登録機器が1台の場合は登録されている機器との接続となります。
- 優先設定は新規登録した端末に自動的に設定されます。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

車載機(本機)のBLUETOOTH情報を確認/変更する

1

MENU → **携帯電話** → **設定** → **Bluetooth本体情報** をタッチする。

：BLUETOOTH本体情報画面が表示されます。

BLUETOOTH本体情報画面(例)



2 デバイス名/パスキーの変更をする。

■ デバイス名を変更する

- ① **デバイス名変更** をタッチする。



- ② 英数パレットよりデバイス名を入力し、**決定** をタッチする。



: デバイス名は変更され、BLUETOOTH本体情報画面に戻ります。

■ パスキーを変更する

- ① **パスキー変更** をタッチする。



- ② **ハンズフリー** をタッチする。



- ③ 10キーボタンをタッチしてパスキー(4~6桁)を入力し、**決定** をタッチする。



: パスキーは変更されBLUETOOTH本体情報画面に戻ります。

3 設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

：**戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- **決定** をタッチしないと変更した内容は保存されません。
- 入力した文字を訂正するときは **訂正** をタッチして、再入力してください。
- 安全上の配慮から、車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

ハンズフリーの通話設定をする

発信音量と着信音量／受話音量／送話音量の設定をすることができます。

- 発信音量 … 発信音の大きさ(+1～+15)
- 受話音量 … 通話先相手の声の大きさ(+1～+15)
- 送話音量 … 相手に聞こえる自分の声の大きさ(+1～+7)

1

MENU → **携帯電話** → **設定** →
携帯電話通話設定 をタッチする。

：携帯電話通話設定画面が表示されます。



2

調整したい音量の **-** / **+** をタッチする。

-	発信音／受話音／送話音量が小さくなります。
+	発信音／受話音／送話音量が大きくなります。

携帯電話通話設定画面



3

設定を終えるには、**戻る** または **現在地** をタッチする。

：**戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻り、**現在地** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。



アドバイス

- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。また、音声はマイクに向かって大きくはっきりとお話してください。
 - 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
 - 着信中／発信中／通話中に調整することもできます。
- 着信音量は S-13、発信音量は S-18、受話音量／送話音量は S-19

携帯電話のメモリを本機に登録する

携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に登録します。

1

MENU → **携帯電話** → **電話** → **携帯メモリ読み出し** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると携帯電話接続待ち中画面が表示されます。



アドバイス

- お使いの携帯電話やスマートフォンの機種によっては、**携帯メモリ読み出し** をタッチすると、自動で転送が開始されるものがあります(この場合の転送は全件転送のみとなります)。手順 **3** (S-12)に進み、**終了** をタッチしてください。
- 自動で転送させたくないときは、携帯電話やスマートフォン側で操作してください。詳しくはお使いの携帯電話やスマートフォンの説明書でご確認ください。

2

携帯電話を操作する。

※読み出したいアドレス帳を選び、データ送信を開始します。

携帯電話接続待ち中画面



：本機に携帯電話のアドレス帳の転送が開始されます。

※選んだアドレスの数によって表示される画面が異なります。(1件転送/全件転送)



アドバイス

- データ転送は本機が携帯電話接続待ち中画面を表示している間に行ってください。
- アドレス帳のデータ送信やBLUETOOTHの接続/再接続などの操作方法は、お使いの携帯電話によって異なります。お使いの携帯電話の説明書をご覧ください。
- メモリの読み出しは、本機にハンズフリーとして登録、接続されている携帯電話のみ可能となります。

■ 1件転送



■ 全件転送



追加保存するか上書き保存するか選んでください。



本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のメモリを更新した際は、再度メモリ(アドレス)を登録してください。

3

読み出し(アドレス帳転送)が完了したら、**終了**をタッチする。

：携帯電話画面に戻ります。

アドレス帳転送終了画面(全件転送例)



- **中止** をタッチするとメモリの読み出しは中止されます。
- 本機のメモリがいっぱいになったり(1台あたり最大1500件)、不正なデータがある場合は転送は終了されます。
※すでに本機に転送されたメモリ(アドレス)は本機に保存されます。
- メモリ読み出し中に車のエンジンスイッチを変更した場合、メモリ読み出しは中止されます。その場合は、再度メモリ読み出しをやりなおしてください。(故障のおそれがありますので、メモリ読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。)
- 携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。
- メモリ読み出し中に着信があった場合、BLUETOOTH接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種により読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数・桁数は、名前:全角9文字まで/よみ:半角18文字まで/電話番号:36桁までです。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 手順 **2** (S-11)で全件転送(一括送信)をすると携帯電話の機種によってオーナー番号(お客様自身の番号)も登録される場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。

電話を受ける

なるべく安全な場所に停車してください。

周りの安全を十分に確認して、通話は手短かに終了するようにしてください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。

(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

電話がかかってくると呼び出し音が鳴り、自動的に着信通知画面が表示されます。

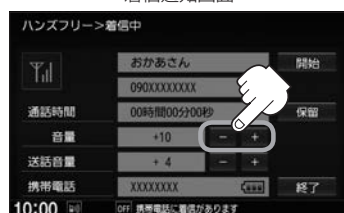
着信音量を調整する

電話がかかってきたときの着信音量を調整することができます。

1 着信音が鳴っているときに、**−** / **+** をタッチして音量を調整する。

−	着信音量が小さくなります。
+	着信音量が大きくなります。

着信通知画面



携帯電話通話設定画面からも電話の着信音を調整できます。

アドバイス

☞ 「[ハンズフリーの通話設定をする](#)」S-10

電話に出る

1 **開始** をタッチする。

：通話可能となります。

着信中のアドレス情報を表示

(アドレス帳に名前登録がある場合は上段に名前／下段に番号を表示、名前登録がない場合は上段に番号のみ表示)



アドバイス

●携帯電話にドライブモード、マナーモードが設定されている場合、着信音が出ない場合があります。

●携帯電話通話設定画面からも受話音量を調整できます。

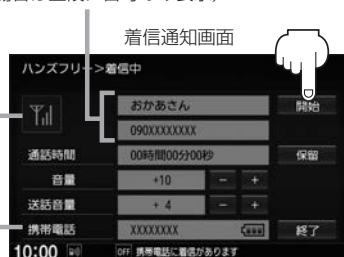
☞ 「[ハンズフリーの通話設定をする](#)」S-10

●着信設定の効果音やメロディーにより音が聞こえにくい場合があります。

着信通知画面

電波状態を表示

接続機器(携帯電話)の名称と電池残量を表示



電話を受ける

保留にする

走行中などで、すぐに電話に出られないときは保留にすることができます。

1 電話がかかってきたら、**保留**をタッチする。

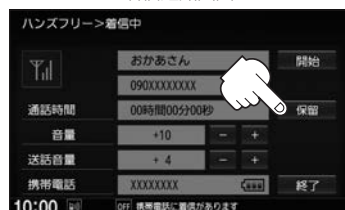
：着信保留画面になるとともに電話がつながり、かけた人に電話に出られないことを音声で案内します。



アドバイス

- 音声で案内しているときも、相手には通話料金がかかります。
- 保留中に**終了**をタッチすると電話が切れます。
- 着信保留を行うためには、携帯電話側が着信保留に対応している必要があります。
※対応していない端末は保留をタッチすると切断されます。

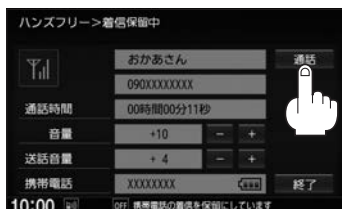
着信通知画面



■ 通話できる状態になったとき

① **通話**をタッチする。

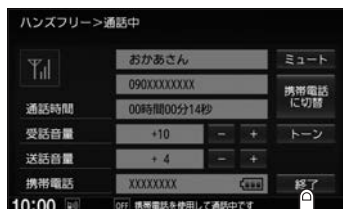
着信保留画面



：通話可能となります。

② 通話が終わったら**終了**をタッチする。

通話中画面



：電話が切れます。



アドバイス

通話中にエンジンスイッチを変更した場合、通話は終了(切断)されます。

通話を拒否(終了)する

かかってきた電話に応答しないで切る(拒否する)ことができます。

1 着信通知画面で **終了** をタッチする。

：かかってきた相手と電話を接続することなく電話が切れます。

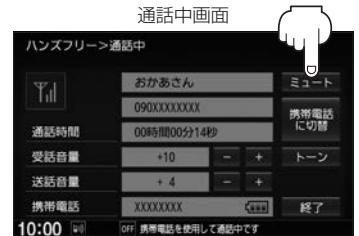
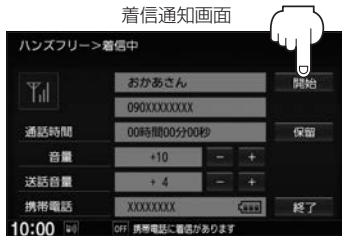


通話中に自分の声を相手に聞こえないようにする(ミュート)

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにすることができます。
※相手の声は聞こえます。

1 着信通知画面で **開始** をタッチして通話しているときに、**ミュート** をタッチする。

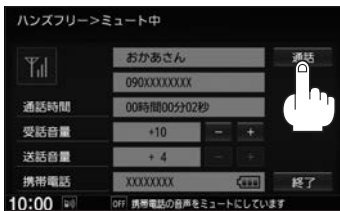
：ミュート中画面になり、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。
(※電話回線はつながったままの状態です。)



■ 再度こちらの音声を出す

① **通話** をタッチする。

ミュート中画面



：自分の声が相手に聞こえます。

電話を受ける

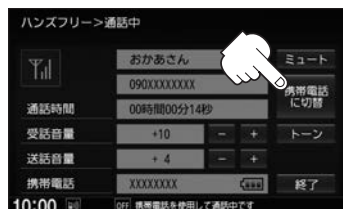
通話を携帯電話に切り替える

通話をマイクから携帯電話に切り替えます。

1 通話中画面で **携帯電話に切替** をタッチする。

:メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、通話を携帯電話に切り替えます。

通話中画面

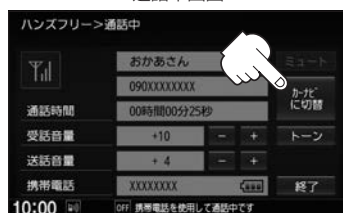


■ 通話を本機に戻す

① 通話中画面で **カーナビに切替** をタッチする。

:メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると、通話をハンズフリー通話(本機)に切り替えます。

通話中画面

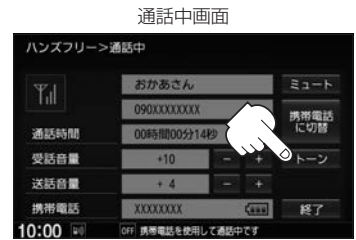


トーン入力する

トーンを使って、留守番電話の遠隔操作やチケット予約などのサービスを利用することができます。

1 通話中画面で **トーン** をタッチする。

：トーン入力画面が表示されます。



2 入力したい番号を 10 キーボタンをタッチして入力する。

：タッチすることによりトーン信号情報を携帯電話に送信します。



アドハイブ

- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。
- 通話先の相手によっては、トーンを使っての操作ができない場合があります。
- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみトーン入力することができます。

電話をかける

なるべく安全な場所に停車してください。

通話中に表示される本機の通話時間表示は、携帯電話側で表示される時間と同じになりません。
(通話時間は目安としてお考えください。)

※通話時間の最大表示は99時間59分59秒です。(99時間59分59秒を超えても99時間59分59秒のままとなります。)

いろいろな方法で電話をかけることができます。

電話番号から

電話番号を入力して電話をかけます。

1

MENU → **携帯電話** → **電話** → **電話から** をタッチする。

：電話番号入力画面が表示されます。

2

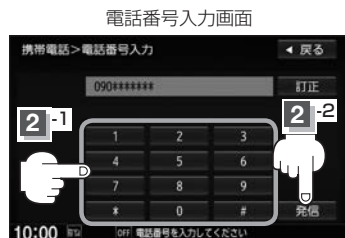
相手の電話番号を入力し、
発信 をタッチする。

：入力先(相手先)に電話をかけます。

※36桁まで入力でき、24桁まで表示します。

入力した番号が25桁以上の場合、メッセージが表示されるので **はい** または **いいえ** を選んでください。

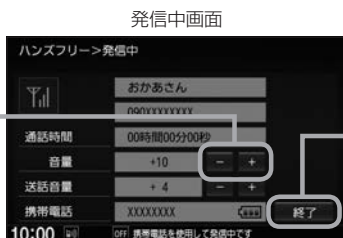
※携帯電話によっては、入力した桁数が多い場合、発信できないことがあります。この場合、携帯電話側の仕様をご確認ください。



発信中画面で

アドバイス

- / **+** タッチで発信中の音(呼び出し音)の大きさを調整することができます。



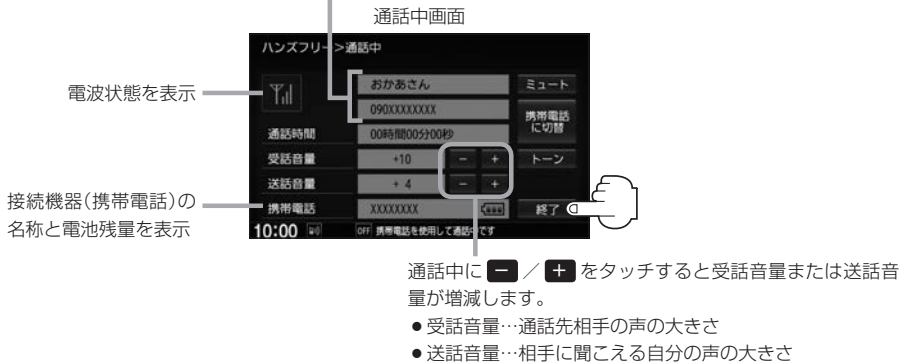
終了 をタッチすると発信を中止することができます。

3 通話が終わったら、**終了** をタッチする。

：電話が切れます。

通話中のアドレス情報を表示

(アドレス帳に名前登録がある場合は上段に名前／下段に番号を表示、
名前登録がない場合は上段に番号のみ表示)



アドバイス

- 接続中の携帯電話の種類によっては、発信中と通話中の状態が携帯電話側と同じにならない場合があります。
〔例：本機は発信中で相手はまだ応答していない(電話に出てない)が、本機の画面では通話中となります〕
- 接続する携帯によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 車を完全に停止した場合のみ **電話から** を選択(**電話** S-18手順 1) することができます。
- 通話を携帯電話に切り替えたり、本機に切り替えたりする操作方法は **電話** S-16

リダイヤルから

最後にかけた電話番号に電話をかけなおすときは数字を入力しなくても簡単にかけることができます。

1 **MENU** → **携帯電話** → **電話** → **リダイヤル** をタッチする。

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチしてください。



アドバイス

発信履歴がない(どこにもかけてない)場合 **リダイヤル** は選べません。

履歴から

発信や着信の履歴を利用して電話をかけることができます。

1

MENU → **携帯電話** → **電話** → **発信履歴** / **着信履歴** をタッチする。

：履歴リスト画面が表示されます。



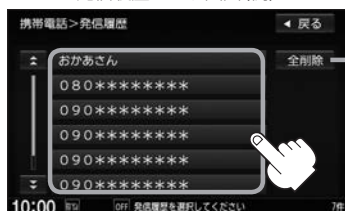
発信／着信履歴がない場合 **発信履歴** / **着信履歴** は選べません。

2

発信履歴リスト／着信履歴リストから電話をかけたい相手の番号を選ぶ。

※アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前が表示されます。

発信履歴リスト画面(例)



全削除 をタッチし、**はい** を選ぶと
発信履歴／着信履歴を一括で削除



- リストに表示される履歴は最新の10件です。
- 施設の詳細、登録地点詳細画面から電話をかけた場合も履歴番号がリストに表示されます。(施設名／地点名は表示されません)
- 携帯電話本体を操作して発信を行った場合には、本機の発信履歴には保存されません。
- 着信履歴リスト画面で、非通知または公衆電話からかかってきた着信は非通知表示されます。また、非通知の場合選ぶ(電話をかける)ことはできません。
- 非通知の着信履歴は最新の履歴のみが表示されます。

② **発信** をタッチする。

発信履歴詳細画面



* 1

削除 をタッチし、**はい** を選ぶと
選択中の発信履歴／着信履歴を削除

：メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると選んだ発信履歴／着信履歴(相手先)の番号に電話をかけます。

※発信中画面(☎ S-18 アドバイス)を表示し、相手につながると通話中画面(☎ S-19の手順 3)になります。

* 1… アドレス帳に名前の登録がある場合は、名前も表示されます。

3

通話が終わったら、**終了** をタッチする。

：電話が切れます。

アドレス帳に名前登録がない場合は、
上段に番号のみ表示



アドバイス

- 同じ相手への発信履歴や、同じ相手からの着信履歴は、それぞれ最新の履歴のみが表示されます。
- 非通知と表示されている履歴に電話をかけることはできません。
- **戻る** をタッチすると1つ前の画面に戻ります。

アドレス帳から

本機に登録したアドレス帳を使って電話をかけることができます。



アドバイス

あらかじめ携帯電話のメモリ(アドレス帳)を本機に転送しておく必要があります。

1

MENU → **携帯電話** → **電話** → **アドレス帳から** をタッチする。

：名前検索画面が表示されます。

※アドレスのデータがない場合 **アドレス帳から** は選べません。

2

名前またはメモリ番号から電話をかける。

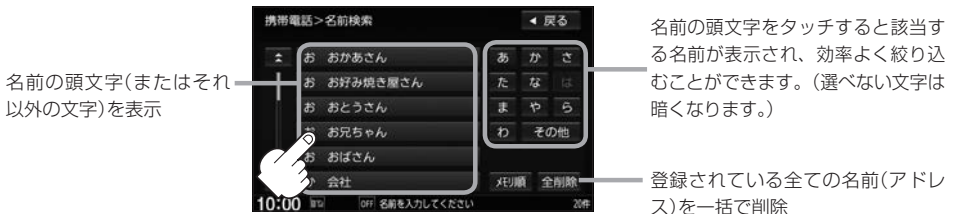
■ 名前からかける

本機に転送したアドレス帳を使って50音から検索して電話をかけることができます。

① リストの中からかけたい相手の名前を選ぶ。

：アドレス帳詳細情報画面が表示されます。

名前入力画面



名前の頭文字(またはそれ以外の文字)を表示

名前の頭文字をタッチすると該当する名前が表示され、効率よく絞り込むことができます。(選べない文字は暗くなります。)

登録されている全ての名前(アドレス)を一括で削除



アドバイス

携帯電話によっては、本機に転送したアドレス帳が正しく50音割り当てされない場合があります。

電話をかける

■ メモリ番号からかける

本機に登録したアドレス帳を使って登録番号から検索して電話をかけることができます。

① **メモリ順** をタッチする。

: メモリ番号検索画面が表示されます。

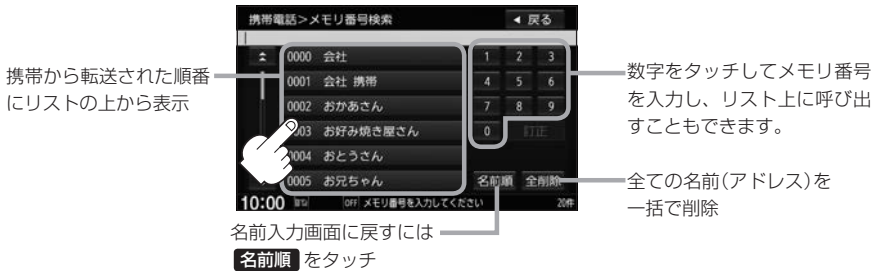
名前入力画面



② リストの中からかけたい相手のメモリ番号を選ぶ。

: アドレス帳詳細情報画面が表示されます。

メモリ番号検索画面



3

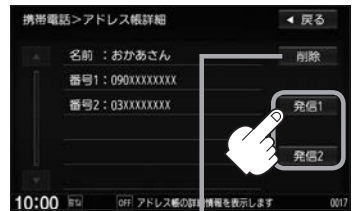
詳細画面でアドレス帳の内容を確認し、

発信1 または **発信2** をタッチする。

: メッセージが表示されるので **はい** をタッチすると電話をかけます。

※発信中画面(☎ S-18 アドバイス)を表示し、相手につながると通話中画面(☎ S-19 手順 **3**)になります。

アドレス帳詳細情報画面



選択中の名前(アドレス)を削除

発着履歴を削除する

発信履歴、着信履歴を一括で削除することができます。

1

MENU → **携帯電話** → **電話** → **発信履歴** / **着信履歴** をタッチする。

: 履歴リスト画面が表示されます。

2

全削除 をタッチする。

: メッセージが表示されるので **はい** を選ぶと、
発信または着信履歴を一括で削除し、携帯電話画面に戻ります。



通話中に地図画面を表示する

BLUETOOTH対応携帯電話を使用して通話しているときでも地図画面を見たり、目的地設定などができます。

1

通話中に **現在地** をタッチする。

: ナビゲーション(地図)画面が表示されます。

■ 再度通話中画面にする

① **MENU** → **携帯電話** をタッチする。

: 通話中画面に戻ります。



アドバース

- ハンズフリー音声出力中は、右(前)スピーカーよりナビゲーションの音声案内、左(前)スピーカーより通話の音声出力となります。
- 通話中は、オーディオの音量調整は無効となります。

QQコールを利用する

QQコールとは

「QQコール」とは、QQコール対応ナビゲーションシステムをご利用のお客様に提供される有料オプションサービスの一つで、全国のHonda販売店やサービス工場など、Hondaネットワークでお客様をサポートするシステムです。

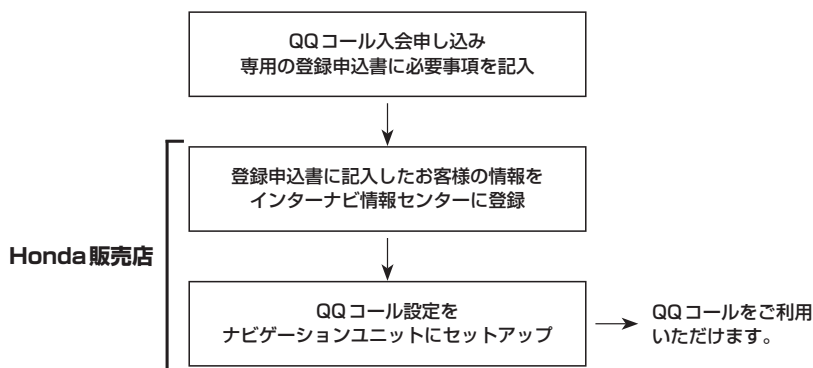
お車の応急処置はもちろん、レンタカーや飛行機などの代替交通手段、宿泊先までを専門のスタッフがコーディネート、手配します。

「QQコール」は、Honda販売店ででの入会手続きが必要です。詳しくは、QQコールの紹介ページをご覧ください。

<http://www.honda.co.jp/qqcall/>

QQコールを利用するまでの流れ

QQコールを利用するには、Honda販売店での入会登録手続きが必要です。



QQコールを表示する

QQコールセンターの電話番号や現在地のマップコードを表示することができます。

QQコール はHonda販売店にて入会手続きとセットアップが完了した場合に表示されます。

1

MENU → **携帯電話** → **電話** → **QQコール** を
タッチする。

: QQコールセンターの電話番号と現在地のマップ
コードが表示されます。



2 QQコールセンターへ電話をかける。

：オペレータが対応しますので、表示されている現在地のマップコードを伝えてから用件をお伝えください。

■ 携帯電話が本機に BLUETOOTH 接続されている

① 発信 をタッチする。

※走行中、**発信** はタッチできません。



※バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。

② 会話終了後は、**通話終了** をタッチする。

■ 携帯電話が本機に BLUETOOTH 接続されていない

① お手持ちの携帯電話を使用して表示されている番号に電話をかける。



現在地のマップコード

② 会話終了後は、お手持ちの携帯電話を切る。



アドバイス

- QQ コールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話通話可能区域内です。
- QQ コールセンターの電話番号と現在地のマップコードを表示中は以下の機能などの操作が可能です。
 - ・ 地図表示(方位)の切り替え
 - ・ 地図の拡大/縮小
 - ・ 地図スクロール
 - ・ オーディオモードの音量調整
 - ・ オーディオモード(AV電源)のON/OFF
- 走行中はQQ コールのマップコードは、表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行ってください。
- **戻る** をタッチすると現在地の地図画面に戻ります。
- QQ コール画面から地図スクロール画面を表示させた場合、情報バーの住所表示は現在地の住所が表示されます。

BLUETOOTH 接続時の QQ コール画面について

- 電話発信中は、発信音量を調整できます。
- 相手先と通話中は、受話音量/送話音量を調整できます。

Siri Eyes Free 機能を使う

Siri Eyes Free は、iPhone を本機と BLUETOOTH 接続し付属のマイクに話しかけることにより、手で操作することなく iPhone が利用できる機能です。

※利用できる機能に制限がかかる場合があります。利用できる操作はお使いの iPhone によります。

準備する

Siri Eyes Free 機能は iPhone 5、iPhone 4S でご利用になれます。iOS 6.1.3 以降をご利用ください。あらかじめ iPhone を本機と BLUETOOTH 登録・接続する必要があります。

使用する

1 iPhone の Siri 機能をオンにする。

※詳しくは iPhone のユーザガイドなどをご覧ください。

2 **AUDIO** またはオーディオリモコンスイッチの **MODE** (車両によっては **SOURCE**) を長押しする。

: Smartphone VR 画面が表示されます。

3 ピピッと音が鳴るのでマイクに発話する。

※再度ピピッと鳴り、Siri Eyes Free 機能が動作します。

※再度発話する場合は、以下いずれかの操作をして発話してください。

- ・ **AUDIO** をタッチ
- ・  をタッチ
- ・ オーディオリモコンスイッチの **MODE** (車両によっては **SOURCE**) を押す

VXM-145VFEi(例)

再度発話する場合にタッチ



受話音量を調整

Siri Eyes Free 機能を終了

4 Siri Eyes Free 機能を終了するには、

AUDIO またはオーディオリモコンスイッチの **MODE** (車両によっては **SOURCE**) を長押しする。



アドバイス

- Siri Eyes Free 起動中でも **現在地** や **MENU** をタッチすると、地図画面やトップメニューに切り替えることができます。地図画面などでも Siri Eyes Free 機能をご利用になれます。Smartphone VR 画面に戻るにはトップメニューの **Smartphone VR** をタッチします。

VXM-145VFEi(例)



- 走行中などの使用状況によっては、iPhone が音声認識できない場合があります。
例：高速走行時や窓があいている場合、エアコンの風量設定が大きい場合など、周囲の騒音が大きい環境
- iPhone の電波が届きにくいところでは、Siri が適切に機能しなかったり、応答に時間がかかることがあります。
- エンジンスイッチが 0 (ロック) のときに iPhone で Siri 機能を起動し、その後エンジンスイッチを I (アクセサリー)、または II (ON) にすると、本機の Smartphone VR 画面が表示されない場合があります。その場合は Siri 機能をいったん終了し、再度起動させてください。
- Siri 起動中であっても、iPhone 側の動作状態によっては、Siri が適切に機能しなかったり、Siri が終了してしまうことがあります。
- BLUETOOTH Audio 接続中の iPhone に対し、楽曲再生指示を行い、BLUETOOTH より再生が開始された場合は、自動的に Siri 機能を終了して、本機の BLUETOOTH Audio ソースに切り替わります。
- オーディオ再生中に Siri を起動した場合、楽曲再生指示を行わなくても、本機が BLUETOOTH Audio ソースに切り替わる場合があります。
- iPhone が USB 接続中の場合、Siri が適切に機能しなかったり、Siri が終了してしまうことがあります。
- BLUETOOTH Audio 再生開始時、iPhone が読み上げた楽曲名と再生される楽曲が一致しない場合があります。
- iOS のバージョンによっては、Siri Eyes Free の終了に時間がかかる場合があります。
- 電話発信指示が行われたことによるハンズフリー通話は、発信履歴には保存されません。
- BLUETOOTH Audio ソースから再生が開始されない場合は、iPhone 出力先から音楽が再生されます。
- 本機と iPhone を接続中に、iPhone 側から Siri を起動しないでください。Siri が適切に機能しなかったり、Siri が終了してしまうことがあります。
- オーディオ リモコン スイッチの操作は車両によって異なる場合があります。
- Siri Eyes Free 起動中は、オーディオの音声はできません。
- Siri Eyes Free が起動しないときは以下を確認してください。
 - ・ Siri Eyes Free に対応している iPhone がハンズフリー登録されていること。
 - ・ iPhone の Siri 機能がオンになっていること。
 - ・ 本機と iPhone の BLUETOOTH 接続を一度 OFF にし、再度接続を行う。

T

必要なとき

必要なとき

初期設定一覧	T-2	音楽ファイル(MP3/WMA/AAC)について	T-26
個人情報の取り扱いについて	T-5	画像ファイル(JPEG)について	T-30
リア席モニターについて	T-6	動画ファイル(MPEG4/H.264)について	T-31
オーディオ/テレビ/ラジオの設定について	T-7	テレビについて	T-33
GPS衛星の電波受信と測位	T-8	地上デジタルテレビ放送について	T-33
GPS(Global Positioning System)について	T-8	地上デジタルテレビ放送の番組受信について	T-34
受信しにくい場所について	T-8	miniB-CASカードについて	T-35
受信するまでの時間について	T-8	miniB-CASカードに関するお問い合わせ先に ついて	T-35
自律航法とマップマッチング	T-9	Gracenote データベースについて	T-36
現在地の誤差について	T-9	オーディオ リモコン スイッチ	T-38
自律航法&マップマッチング	T-9	地図ソフトについて	T-40
学習度と現在地	T-9	出発地・経由地・目的地の設定について	T-44
交通情報(VICS情報)について	T-10	経由地、目的地の設定の注意点	T-44
VICS情報の更新に伴う表示変更について	T-10	ルート案内時の注意点	T-46
交通情報(VICS情報)/一般情報の受信に ついて	T-11	地図に表示される記号	T-50
音声案内について	T-12	市街地図(10 m/25 m/50 mスケール) の収録エリア	T-52
ETCについて	T-13	細街路(日本全国)探索エリア	T-55
ディスクの取り扱いかた	T-14	VICSについてのお問い合わせ	T-56
本機で再生できるディスクについて	T-15	故障かな?と思ったら	T-60
SDカードの取り扱いについて	T-17	メッセージ表示について	T-79
SDカードについて	T-18	用語説明	T-84
USB機器について	T-19	構成内容	T-89
ウォークマン®について	T-20	主な仕様	T-90
対応可能なウォークマン®	T-20	別売品(システムアップ)について	T-91
iPod/iPhoneについて	T-22	保証/アフターサービスについて	T-93
対応可能なiPod/iPhone	T-22	商標など	T-94
使用上のお願い	T-22	さくいん	T-96
BLUETOOTH Audioについて	T-23		
使用上のお願い	T-23		
ハンズフリーについて	T-24		
使用上のご注意	T-24		

初期設定一覧

各種設定初期状態は下記の通りです。

● ナビゲーション

画面表示	メイン画面	北方向を上 スケール=100 m	
	右画面	北方向を上 スケール=400 m	
CZMZK0000			
自宅へ帰る、案内スタート/ストップ、 渋滞地点、再探索、地点を登録、周辺施設、 右画面表示、昼夜切替、道路切替			
情報	FM多重	受信番組設定	交通情報番組(VICS)
		周波数設定	自動選局=ON プリセット選局=未設定
報	eCOドライブ設定	急加減速のお知らせ=する eco速度超過のお知らせ=する アイドリングのお知らせ=しない 評価履歴=残す 評価レベル=初級 ecoドライブ表示=しない	
設定	地図表示	<u>メイン画面の設定</u> 名称の文字サイズ=小 吹き出しを表示=する 標高地図を表示=する 地図モード=北向き 3D視角調整=10目盛中左から1目盛目	
		<u>右画面の設定</u> 右画面に地図表示=しない 名称の文字サイズ=小 吹き出しを表示=する 標高地図を表示=する 地図モード=北向き 3D視角調整=10目盛中左から1目盛目	
		<u>地図色設定</u> 昼夜切り替え=スモール連動 地図切り替え=ノーマル 標高地図色=季節連動	
		<u>情報バー表示設定</u> MAPCODEを表示=する 地図情報を表示=住所名 AUDIO情報を表示=しない	
		<u>その他設定</u> 緯度・経度を表示=しない 登録地点を表示=する 右画面AVを表示=しない	

設定	ルート案内	全ルートの表示=する 交差点情報の表示=する ルート色の表示=ピンク ETCレーンの表示=する ルート情報の表示=しない ハイウェイモードの表示=する JCTビューの表示=する 交差点拡大図の表示=する リアル3D表示=する 方面看板の表示=する AV画面中の案内割込み=する 右画面AV中の案内割込み=する 盗難多発地点案内=しない 目的地方向を表示=しない EWS(緊急情報)の割込み=する		
		ランドマーク	カーディーラー=Honda Cars店、オートテラス	
		現在地(カーマーク)	矢印	
		音声案内	合流案内=案内中 踏み切り案内=案内中 専用レーン案内=ON 高速走行時の音声切替=ON VICS案内=ON 案内音量=15目盛中左から7目盛目	
		探索条件	探索条件=推奨 料金表示=普通車 自動再探索=する フェリーを優先=しない 季節規制考慮=する 時間規制道路を考慮=する スマートICを利用=しない ルート学習結果を利用=する VICS自動再探索=する internavi交通情報を考慮=する	
VICS	一般道=ON 有料道=ON 駐車場=ON 規制=ON 渋滞無し=OFF 渋滞混雑=ON 点滅=ON			
到着予想	自動 ※自動をOFFにすると、一般道路/国道/有料道路 が設定可能となります。 一般道路=30 km/h 国道=40 km/h 有料道路=80 km/h			
走行軌跡	軌跡の記録スタート/ストップ=ストップ 軌跡保存データ=なし			

設 定	オンラインボイス	自宅
	ETC	カード挿入アイコン表示=する 本体ブザー音=する 音声案内=する カード入れ忘れ警告=する カード有効期限案内=する 表示割込み時間=5秒
	セキュリティ	セキュリティ設定=する セキュリティインジケータ=する
	フロント/コーナーカメラ設定	フロント/コーナーカメラ自動表示=いいえ 登録地点検知=はい カメラインジケータ表示=はい ※別売のフロント/コーナーカメラ接続時のみ
	リアカメラ設定	リアカメラ設定次回表示ビュー =前回表示ビューと同じ ※車両標準装備または別売のリアワイドカメラ接続時
	その他	キー操作音=キー操作音 1 HDMI接続設定 HDMIを使用=しない 映像中の時計表示=する

初期設定一覧

● 音量調整

音量 = 3

● 画質調整

[VXM-145VFNI]

明るさ

- ・イルミ*¹ OFF時 = 25(ナビ、カメラ映像*²共通)
- ・イルミ*¹ ON時 = 8(ナビ)
16(フロント/コーナーカメラ)
12(リアカメラ)

コントラスト

- ・イルミ*¹ OFF時 = 16(ナビ)
17(カメラ映像*²共通)
- ・イルミ*¹ ON時 = 16(ナビ、カメラ映像*²共通)

色の濃さ

- ・イルミ*¹ OFF時 = 16(ナビ)
25(カメラ映像*²共通)
- ・イルミ*¹ ON時 = 16(ナビ、カメラ映像*²共通)

色合い

- ・イルミ*¹ OFF時 = 16(ナビ)
18(カメラ映像*²共通)
- ・イルミ*¹ ON時 = 16(ナビ、カメラ映像*²共通)

[VXM-145VFEI] [VXM-145VFI]

明るさ

- ・イルミ*¹ OFF時 = 25(ナビ、カメラ映像*²共通)
- ・イルミ*¹ ON時 = 8(ナビ)
16(フロント/コーナーカメラ)
12(リアカメラ)

コントラスト = 16(ナビ、カメラ映像*²共通)

18(Digital TV)

色の濃さ = 16(ナビ、カメラ映像*²共通)

色合い = 16(ナビ、カメラ映像*²共通)

※ナビゲーション画面時は、色の濃さ/色合い/ディスプレイ選択は表示されません。

※1…イルミ=イルミネーション

※2…カメラ映像=リア/フロント/コーナーカメラ

● USB / SD

選曲モード=全曲

再生モード=未選択

モード切替=音楽ファイル

● サラウンド設定

OFF

※ DSP 選択時 = HALL

SRS CS AUTO FOCUS = 4

TruBass = 4

MixToRear = 4

● イコライザー設定

OFF

● スピーカー設定

フロント = LARGE

リア = LARGE

● フェード・バランス調整

各項目の調整値 = 0

● 車速連動音量

設定 = MIDDLE

● 録音管理

録音管理 = 自動録音

録音音質 = 高音質モード

● FM / AM(ラジオ)

FM / AM = FMモード

FM周波数 = 76.0 MHz

AM周波数 = 522 kHz

交通情報 = 1620 kHz

● Music Rack

選曲モード = 全曲

再生モード = 未選択

● iPod

モード = ミュージック

● BLUETOOTH Audio

パスキー = 0000

● DVD

音声言語 = 日本語

メニュー言語 = 日本語

字幕言語 = 日本語

ダイナミックレンジ圧縮 = OFF

モニター設定 = ワイド

視聴制限レベル = 制限なし

● Digital TV

受信モード = 自動切換

プリセットモード = おでかけ

字幕 = 表示しない

文字スーパー = 表示しない

システム設定

オート放送局サーチ = する

地上D選局対象 = テレビ

● ハンズフリー

パスキー = 1212

発着信音量 = +10

受話音量 = +10

送話音量 = +4

自動接続 = する

デバイス名 = Gathers

個人情報取り扱いについて

本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。

■ 個人情報に関わる設定を初期化する

☞ 「データを初期化(消去)する」 G-21

■ それぞれの設定箇所で消去する

- 本機の Music Rack に録音した音楽データの削除

☞ 「録音データを初期化する」 I-6 の手順 **3** で **音楽データ初期化** をタッチする

- 本機にアップデートした Gracenote データベースのデータの削除

☞ 「Gracenote データベースのデータを初期化する」 I-17

- 本機から発信または本機に着信した電話の履歴情報を削除

☞ 「発着履歴を削除する」 S-23

- 本機に転送したアドレス帳の情報の削除

☞ 「**アドレス帳から**」 S-21 の手順 **2** で **全削除** をタッチする

必要なとき

リア席モニターについて

別売

別売のリア席モニターを接続することにより“前席でナビ／後席でDVD”^{*1}などの使い方ができます。

* 1…DVDの音声为本機から出力され、合間にルートの音声案内が聞こえます。



※コピーガードがかかっている番組やDVDは録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とモニターを接続してください。

ナビゲーション画面とオーディオモードを本機で同時起動した場合のリア席モニターとの表示関係について

本機のモード		本機に表示される画面	リア席モニターに表示される画面
ナビ	—	ナビ	表示されません
ナビ	DVD	ナビ	DVD
ナビ	Digital TV (SD／USBの動画ファイル ／iPodビデオ／VTR)	ナビ	Digital TV (SD／USBの動画ファイル ／iPodビデオ／VTR)
Digital TV (SD／USBの動画ファイル ／iPodビデオ／VTR)	—	Digital TV (SD／USBの動画ファイル ／iPodビデオ／VTR)	Digital TV (SD／USBの動画ファイル ／iPodビデオ／VTR)
DVD	—	DVD	DVD
ナビ	FM／AM／CD／MP3 ／WMA／Music Rack ／SD／iPod／USB ／BLUETOOTH Audio ／AUX	ナビ	表示されません
FM／AM／CD／MP3 ／WMA／Music Rack ／SD／iPod／USB ／BLUETOOTH Audio ／AUX	—	FM／AM／CD／MP3 ／WMA／Music Rack ／SD／iPod／USB ／BLUETOOTH Audio ／AUX	表示されません

※ Digital TVを受信している場合、本機からリア席モニターへ出力される信号はアナログ出力となります。放送によってはアナログ出力を禁止している場合があるためモニター出力できないときもあります。



アドバイス

- オーディオモードを終了(OFF状態)にするとリア席モニター側の表示も消えます。
- リア席モニターでは映像出力のみを行います。モード選択や画面の操作を行うことはできません。操作は本機で行ってください。
- リア席モニターでは走行中／停車中にかかわらず映像が表示されます。
- HDMIソースは、リア席モニターに表示されません。

オーディオ／テレビ／ラジオの設定について

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、メモリーしたチャンネルなどの設定も全て消去されます。

- ラジオやテレビの受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。

- ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くやラジオ放送、アマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。

- ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。

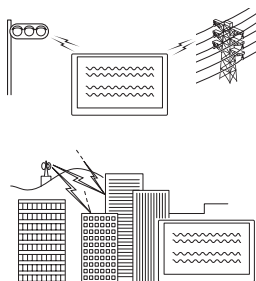
- ・ トンネル内に入ったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。

- ・ 一部の地域において、ラジオ、テレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、映像・音声に乱れが生じる場合があります。

- ・ 本機で受信する場合は、家庭で受信する場合に比べると受信可能なエリアが狭くなります。

- ・ 携帯受信(ワンセグ)などの放送方式、放送局により、受信状態やエリアが変化します。

- ・ ワイパー、電動ミラー、エアコンのFANなどを動作させると受信感度が悪化する場合があります。



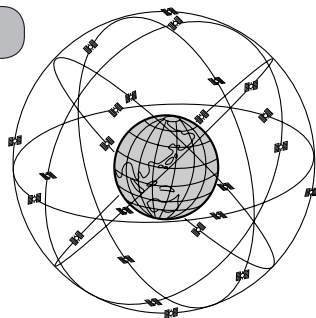
必要なとき

GPS衛星の電波受信と測位

グローバル ポジショニング システム GPS(Global Positioning System)について

地球の周り高度約21,000 kmにGPS衛星が米国国防総省によって打ち上げられています。これは主として軍事利用のためですが、民間にもその利用が開放されており、このGPS衛星から送信された電波を利用して、現在地(緯度、経度、高度)を知ることができるシステムです。

※本機では高度は表示しません。



アドバイス

GPS衛星は、米国の追跡管理センターによって信号をコントロールされているため、意図的に精度が落ちたり、電波が止まってしまうことがあります。

受信しにくい場所について

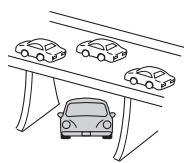
GPS衛星の電波は、付属のGPSアンテナで受信します。

GPSアンテナとGPS衛星との間に障害物があると、電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

受信に適した場所は、屋外の、電波をさえぎる障害物のない、見晴らしの良い場所です。受信しにくい場所は、以下のようなところです。



- トンネルの中
- 高層ビルに囲まれたところ
- 樹木の密集したところ
- 高速道路の下など



※ 同じ場所でも、次のような理由で受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の電子機器(アマチュア無線機、レーダー探知機、ドライブレコーダー、ETC、本機以外のナビゲーションシステムなど)の妨害、また、一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ、受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

受信するまでの時間について

必ず見晴らしのよい場所で行ってください。

GPS衛星から測位に使用できる電波を受信すると、画面左上のGPS文字の色と方位表示の背景色が青色になり、測位した現在地を表示します。

本機を取り付け後または車のバッテリーなど交換後、初めてお使いのときや、長時間で使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15~20分程度かかることがあります。(これはGPS衛星から送られる衛星の軌道データが12分30秒に1回送られているため、このデータの取り込みに時間がかかるためです。現在地を表示するまでは移動しないでください。) 通常は電源を入れてから数分で表示します。

自律航法とマップマッチング

現在地の誤差について

GPSを使った測位では、約30 m～200 m程度の誤差があるため、実際の位置と地図に表示されている現在地の位置が一致しないことがあります。また、GPS衛星は米国国防総省によって管理されていますので、意図的に測定用電波のデータが変更されることがあり、このときは現在地表示の誤差も大きくなります。こうした誤差を補正するために、本機では、車速パルスとジャイロセンサーを利用した自律航法と、マップマッチング機能を備えています。

必要なとき

自律航法*¹ & マップマッチング*²

自律航法とマップマッチングで、GPS衛星電波の誤差によって起こる実際の現在地と地図上の現在地とのずれを少なくします。また、GPS衛星電波が受信できなくなったときも、自律航法とマップマッチングで、自転車マークの位置を補正します。

- * 1…本機に内蔵のジャイロセンサーで車の移動方向を判断し、車から得た車速パルスから車の走った距離を算出することにより、現在地を割り出します。
- * 2…測位した現在地が道路にない場合に、地図ソフトに収録されている情報を利用して、自転車マークを近くの通路に表示させる機能です。

学習度と現在地

前述のように、本機はGPS衛星電波による測位のほか、ジャイロセンサーと車速パルスで正確な現在地を割り出すしくみになっています。

ナビゲーションは車に取り付けてから、実際の走行を重ねることでデータを蓄積し、次第に各種センサーの精度が向上していきます。

これを一般的に「学習度」と「学習度の向上」といいます。

「距離」「方位(左右方向の回転)」「傾斜」について学習度を上げるには、実際の走行が必要ですので、取り付けてしばらくの間は「学習度」の不足から現在地にずれが発生する場合がありますをご承知おきください。

交通情報(VICS情報)について

VICS(Vehicle Information and Communication System)とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。

渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新され、更新された情報が本機に表示されます。

本機は、内蔵のFM多重受信機でNHK-FMなどのFM文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。



アドバイス

表示されるFM VICS情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

VICS情報の更新に伴う表示変更について

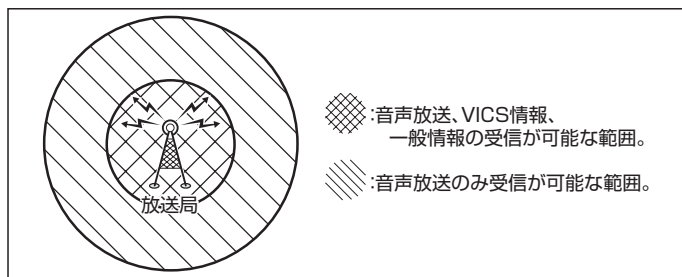
ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して3年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル3の地図情報のみで、レベル1の文字情報・レベル2の図形情報では従来どおり表示されます。

この現象の原因は、VICSセンターの採用するVICSリンク(主要交差点ごとに道路を区切った単位)というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜VICSリンクの追加や変更が行われます。そのため、新しいVICSリンクによって提供された情報は、変更前のVICSリンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の3年間は、旧VICSリンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。

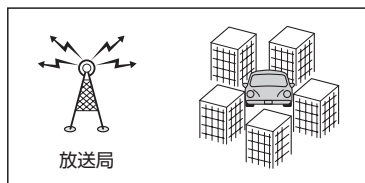
VICSリンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。現在お使いのナビゲーションまたは地図ソフトの対応などについては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。[P]「[VICSの概要](#)」T-56

交通情報(VICS情報)／一般情報の受信について

- VICS情報、一般情報は、デジタルデータにされ、FMラジオ放送局の電波の一部を使って送られてきます。(すべてのFMラジオ放送局でVICS情報、一般情報を放送しているわけではありません。) デジタルデータは、正確に受信する必要があるため、電波が強い場所でなければ、受信できません。従って、お手持ちのラジオで、FMラジオ放送局から送られてくる音声放送が聞けたとしても、その放送局から送られてくるVICS情報、一般情報は受信できない場合があります。

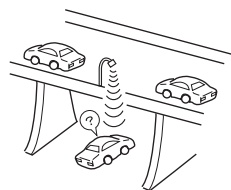


- 放送局からの距離は、受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合があります。



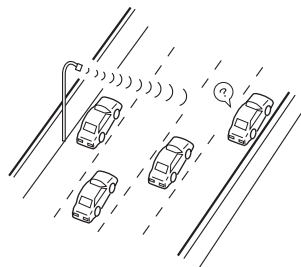
<一般道路走行中には>

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路のVICS情報を受信することがあります。



<高速道路走行中には>

- トンネル内や幅員の広い道路では、VICS情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時には、VICS情報を受信しにくいことがあります。



音声案内について

音声案内時の注意点

- 本システムの音声案内は、あくまでも補助的な機能ですので、実際に運転する際には、地図上のルート表示を確認の上、実際の交通規制に従って走行してください。
- 音声案内は、ルート上では方向が変わっていても、音声案内を行わない場合があります。
- 音声の内容は、曲がる方向や他の道路との接続形態などにより、異なった内容になることがあります。
- 音声案内のタイミングは、遅れたり早くなったりすることがあります。
- 音声案内は、設定されたルート上を走行し始めてから行われますので、案内が開始されるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 細街路に進入すると「実際の交通規制に従って走行してください。」と音声案内します。
- 経路地に近づくとき「まもなく経路地 1 付近です」と音声案内が行われ、次のルート区間の案内に移ります。このときも案内開始時と同様に、次の音声案内が行われるまでは、地図上のルート表示を参考に走行してください。
- 目的地に近づくとき「目的地に到着しました。ルートガイドを終了します」と音声案内が行われ、音声案内(ルート案内)は終了します。そこから先は、地図を参考に目的地へ向かって走行してください。



アドバイス

- 音声案内の音量を調整する場合は、 「音声案内の音量調整／詳細設定をする」F-19をご覧ください。
- 音声案内は、実際の道路と地図ソフトの道路データの違いにより、異なった案内になることがあります。
- 音声案内の内容が現場の交通規則と違う場合は、現場の交通規制標識、表示などに従ってください。
- 音声案内を再度聞きたい場合や、次の分岐点の情報を聞きたい場合 **【現在地】** をタッチすると、再度音声案内を聞くことができます。
 「**■ 音声案内をやめる**」F-19で **消音** を選んでいる場合は、**【現在地】** をタッチしても音声案内を聞くことはできません。

ETCについて

<ETCとは>

インターチェンジランプなどの料金所では、一旦、停車して通行料金を支払います。これは、現在の有料道路利用において、一般的な通行料金の支払い方法となっています。

しかし、このような料金所通過時における一時停止は、交通の流れを妨げ、渋滞発生の一因ともなっています。実際、料金所を通過する際に、渋滞で待たされることは少なくありません。

ETC(ノンストップ自動料金支払いシステム)は、ETC対応車線に設置されたアンテナとETC車載器間の無線通信により、現金、クレジットカードなどの受け渡しを行わずに、自動的に料金支払いができるシステムです。

ETCによって、料金支払いにかかる時間が短縮されるため、料金所通過時における渋滞の軽減が期待されています。

通行料金は、有料道路利用時の記録をもとに請求され、後日、金融機関などから引き落とされます。

※ETCに対応した料金所は、今後、順次拡大していく予定です。

<ETCを利用するには>

ETCをご利用になるには、ETC車載器のほかに、クレジット会社が発行するETC専用のカードが必要になります。

カードの発行は、カード会社の審査・条件を満たしている必要があります。詳しくは、各カード会社へお問い合わせください。

また、ETCをご利用になるときの事前準備、ご利用時の諸注意、および取扱い方法については、ETC車載器に添付の説明書をご覧ください。

必ず、ETCシステム利用規定等をお読みください

ETCシステム利用規程、ETCカードの利用約款などに、ご利用上の注意事項が記載されています。ETCのご利用前に、必ずお読みください。

※利用規定等は、道路事業者の「供用約款」と合わせて「約款」となりますので、遵守事項については必ずお守りください。



アドバイス

- ETCゲートでは、何らかの理由で先行車両が停車することがあります。ゲート通過時は速度を落として、開閉バーが開いたことを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- ご利用時はETCカードが挿入されているかどうか確認してください。
- 車を離れるときは、ETCカードを車内に放置しないでください。故障、変形、盗難のおそれがあります。
- ETCカードをETC車載器に入れたまま、バッテリーを外さないでください。
- システム作動中はETC車載器内の温度が上昇します。そのため、ETCカードの表面も温かくなりますが、故障ではありません。
- ETCレーン表示(ETC F-8)を「しない」に設定している場合は、ETCレーンは表示されません。また、ETCレーンは何らかの理由で変更されることがあります。ETCレーンを確認し、周囲の状況を確認しながら安全に走行してください。
- 右画面AV表示で映像を表示させているとき、ETCゲート通過時のETC利用可能メッセージ表示中は、映像が表示されません。

予告案内について

- ETC車載器からの予告案内を受信すると、予告案内が表示、一部音声でのお知らせをします。内容は以下の通りです。

“ETCが利用できません”

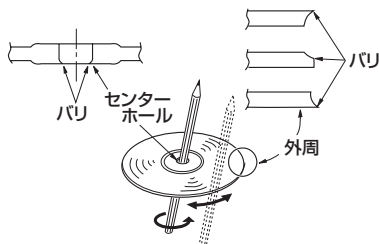
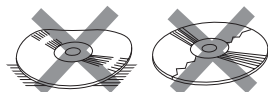
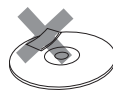
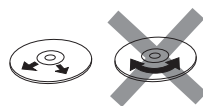
“ETCが利用可能です”

- 予告案内は料金所に予告アンテナ／ETC予告アンテナが設置されている場合のみ表示されます。

必要
な
と
き

ディスクの取り扱いかた

- 定期的に、記録面についたホコリやゴミ、指紋などを柔らかい布でディスクの内周から外周方向へ軽く拭いてください。
- ディスクを持つときは記録面をできるだけさわらないようにしてください。
- 印刷面や記録面にキズをつけないようにしてください。
- 車のエンジンスイッチを0(ロック)時にディスクを挿入しないでください。無理やり押し込むとディスクが傷ついたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
- セロハンテープやラベルなどののりがはみ出したり、はがしたあとがあるディスク、また、はがれかけのラベル類、付箋などの紙類が貼られたディスクはご使用にならないでください。ディスクが取り出せなくなったり、はがれた紙類が製品内部に残ってしまい、本機が故障する原因となります。
- ディスクは使用中、高速回転しますのでヒビの入ったディスクや大きく反ったディスクは使用しないでください。
- 反らないように必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所には保管しないでください。特に夏期、直射日光下で閉めきった車のシート、ダッシュボードの上などはかなり高温になりますので放置しないでください。
- レコードスプレー、帯電防止剤などは使用しないでください。また、ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品をかけるとディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- 新しいディスクをご使用になるとき、ディスクを入れても再生しない場合があります。これはディスクのセンターホールまたは外周にバリがあり、ディスクが正しくセットされないために発生するものです。この場合には右図のように、あらかじめボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。
- 取り出した直後は、ディスクが熱くなっていることがあります。取り扱いには十分お気をつけください。
※本機の読み取り性能およびディスクへの影響はありません。
- すでにディスクが挿入されている状態で、2枚目のディスクを挿入しないでください。



本機で再生できるディスクについて



DVD-R / -RW / -R DL



CD-R / -RW

必要なとき

※ディスクの傷や汚れ指紋等または車内や本機に長時間放置、データ書き込み状態が不安定、データ書き込みに失敗し再度録音した場合などは、再生できない場合があります。

■下記のディスクには対応していません。(再生できても正常に再生されないことがあります。)

- CD-G
- フォトCD
- CD-ROM
- Blu-ray
- CD-EXTRA
- VIDEO CD
- SACD
- HD DVD
- DVD-ROM
- DVD-RAM
- DVD オーディオ
- SVCD
- DVD+R / +RW / +R DL

■DVDビデオでも、次のようなディスクは再生できないことがあります。

- リージョン番号「2」が含まれていないディスク
- 無許諾のディスク(海賊版のディスク)
- NTSC以外のカラーテレビ方式(PAL、SECAM)で収録されたディスク

■DVDレコーダで作成したディスクについて

- DVD-R / -RW / -R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたディスクを再生できます。
- デジタル放送を記録したディスクの再生は、CPRM対応のDVD-R / -RW / -R DLにビデオレコーディングモード(VRモード)で記録されたものに限り可能です。(☞P. 下記表)

※DVD-R / -R DLに記録する場合ファイナライズ処理が必要です。

DVD-RWに記録する場合でもファイナライズ処理が必要な場合があります。

※タイトル(映像)の一部を編集したり消去されたディスクの場合、操作によっては正常に再生できない場合があります。

※録画方式など詳しくはDVDレコーダの説明書をよくお読みください。

ビデオ再生のディスク対応一覧表

メディアの種類 (記録方式)	DVD-RW (VRモード) CPRM対応	DVD-RW (VRモード) CPRM非対応	DVD-R(Videoモード) DVD-RW(Videoモード)	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM対応	DVD-R DVD-R DL (VRモード) CPRM非対応	DVD-RAM	CD-R CD-RW
録画制限なし	○	○	○	○	○	×	×
録画制限あり	○	—	—	○	—	×	×
録画禁止	×*	×*	×*	×*	×*	×	×

—：記録できないディスク

×：再生できないディスク

*…ディスクの作成方法によっては再生できることがあります。(映像が乱れるなどの可能性があります。)

本機で再生できるディスクについて

■Dual Discについて

Dual Discとは、DVD規格に準拠した面(DVD面)と音楽専用面(CD面)とを組み合わせたディスクです。本機ではDual Discは使用しないでください。ディスクに傷がついたり、ディスクが取り出せないなどの不具合が発生する場合があります。

■CD-R、CD-RWについて

拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2フォーマットに対応しています。

■CD-R／CD-RW／DVD-R／DVD-RW／DVD-R DLでも、次のような場合は再生できないことがあります。


- データが記録されていないディスク
- ディスクの記録状態／ディスク自体の状態が悪い場合
- ディスクと本機の相性が悪い場合
- 記録に使用したレコーダの種類
- CD-R／CD-RWの場合、「CDDA」または「オーディオCD」フォーマット以外のディスクは再生できません。(ただしMP3／WMAは再生できます。)
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※これらの書き込み対応のディスクを使用される場合には、書き込みを行う機器の説明書や注意事項をよくお読みください。

■8 cmディスクについて

本機では、8 cmディスクは再生できません。アダプターを使用しても再生できません。

■コピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)について

ディスクレーベル面(印刷面)に  マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。

パソコンなどで複製防止を目的としたコピー防止機能付CD(コピーコントロールCD)を再生させると、正常に再生できないことがあります。これはコピー防止機能付CDがCD規格に合致していないための現象であり、本機の異常ではありません。コピー防止機能付CDの再生で問題がある場合は、コピー防止機能付CDの発売元にお問い合わせください。

■特殊形状のディスクについて

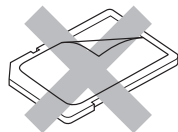
ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。本機が故障する原因となります。

SDカードの取り扱いかた

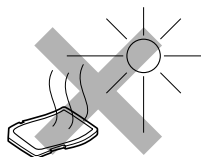
- 定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



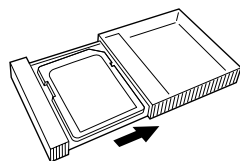
- 変形したSDカードやラベルがはがれていたり、ネームテープ(ラベル)が貼ってあるSDカードは使用しないでください。



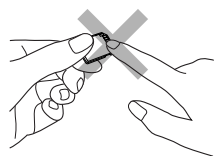
- 直射日光や湿気の多いところを避けて保管してください。SDカードが使用できなくなる場合があります。



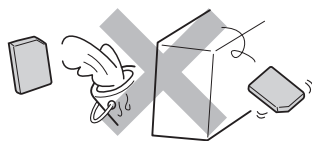
- 持ち運びや保管の際は、必ず収納ケースに入れてください。
※収納ケースは一例です。



- 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。



必要なとき

SDカードについて

- 本書ではSDメモリーカード／SDHCメモリーカードのことをSDカードと記載しています。
- 本機はSD規格に準拠した下記のSDカードに対応しています。

使用できるSDカードの種類(下記以外のSDカードは使用できません)	
・SDカード(2 GB以下、256 MB以上を推奨) ・SDHCカード(4 GB～32 GB)(Class2～10)	※SDロゴ、SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用可 ※対応した機器でのみ使用可 ※SDXCカードには対応していません。

- SDカードの性能によっては、動作が不安定になったり認識しない可能性があります。弊社では、スピードクラス10以上のパナソニック製・東芝製・サンディスク製カードの使用を推奨しております。
- miniSDカード／microSDカードを使用する場合は、必ず専用アダプターに装着してご使用ください。ただしアダプターご使用の際は、正常に動作しない場合があります。
- SDカードの初期化は本機で行ってください。
- SDカード挿入口に異物を入れないでください。SDカードを破損する原因になります。
- SDカードへのデータ書き込み中／読み込み中(再生中／CD録音中など)にSDカードを抜かないでください。また、車のエンジンスイッチを変更しないでください。データが壊れたり、SDカードが破損するおそれがあります。破損した場合、補償できません。
- SDカードには寿命があるため、長時間使用すると、書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。取り出した後は、ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 静電気や電氣的ノイズを受けるおそれのある場所に、SDカードを放置しないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。また、強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、分解したり、改造したり、水に濡らしたりしないでください。
- 使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近く、湿気の多い場所や腐食性のものがある場所など)でのご使用や保存はしないでください。
- SDカードが不良の場合、正常に動作しません。
- 本機内部を保護するため、異常が生じたときは自動的に本機の機能が止まります。画面に表示されたメッセージに従って操作しても動かないときは、故障のおそれがありますのでお買い上げの販売会社にご相談ください。
- 操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりです。

機 能	SDカード (2 GB以下)	SDHCカード (4 GB以上)	miniSDカード (アダプター必要)	microSDカード (アダプター必要)
地点登録*1	○	○	○	○
音楽ファイル再生(MP3／WMA／AAC)	○	○	○	○
画像ファイル再生(JPEG)	○	○	○	○
動画ファイル再生(MPEG4／H.264)	○	○	○	○
Gracenoteデータベースアップデート	○	○	○	○

* 1…SDカードに保存した地点を本機に登録することができます。

- 長時間ご使用になったあと、SDカードが温かくなっている場合がありますが故障ではありません。
- SDカードの誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると、記録・消去・初期化ができなくなります。

USB機器について

USB機器にMP3／WMA／AAC／JPEG／MPEG4／H.264形式で作成された音楽／画像／動画データを本機で再生することができます。

- 本機にはUSB機器は付属していません。
- 本機に接続されている別売のUSB接続ジャックにUSB機器を接続してご使用ください。
- USB機器に記憶されているデータを本機で編集することはできません。
- USB機器の再生中にUSB機器を外さないでください。
- 32 GBまでの容量のUSBフラッシュメモリに対応しています。(256 MB以上を推奨)
- マスストレージクラスのUSBフラッシュメモリに対応しています。
- FAT16／FAT32のファイルシステムに対応しています。
- 下記のUSB機器、接続には対応していません。
 - ・パーティションが複数あるUSB機器
 - ・電流が500 mAを超えるUSB機器
 - ・パソコンに接続した際、ドライバを要求されるUSB機器
 - ・セキュリティ機能など特殊な機能が付いているUSB機器
 - ・USBハブ、USB延長ケーブルを介した接続
- 全てのUSB機器の動作を保証するものではありません。

ウォークマン® について

本機はソニー社製ATRAC AD対応のウォークマン®を接続し、再生することができます。

※2013年2月現在に発表されているものに限ります。

※Windows Media Video(WMV)には対応していません。

※Walkman Phoneには対応していません。

※対応可能なウォークマン®については「[対応可能なウォークマン®](#)」下記

- ウォークマン®の種類によりウォークマン®の対応している音楽フォーマットが異なります。ウォークマン®に転送できる音楽フォーマットはウォークマン®に依存しますのでウォークマン®の説明書を参照してください。
- ウォークマン®に転送されたATRAC Advanced Lossless/WAV(PCM)形式の曲には対応していません。
- 本機に接続すると、起動中はウォークマン®へ充電を行います。
- ウォークマン®(ATRAC AD)と認識し再生するファイルはOMAの拡張子“oma”が付いたものだけです。
 - ※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。
 - ※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
 - ※表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。
- ドラッグ&ドロップ転送した音楽ファイル、Content Transferで転送した音楽ファイルは選曲モードのフォルダからのみ再生できます。
- Media Goから転送した音楽ファイルは再生できません。
- x-アプリ、SonicStageから転送した音楽ファイルに対応しています。
 - x-アプリ、SonicStageから転送した音楽ファイルはATRAC AD形式で保存されます。
- ウォークマン®で表示されるリストと本機で表示されるリストは内容が異なる場合があります。
- ウォークマン®で再生できるファイルでも、本機で再生できない場合があります。
- 本機で認識できるフォルダ階層はルートから8階層です。(ウォークマン®が対応している階層とは異なります。)
- 「歌詞ピタ」サービス/「ちょい聴きmora」サービス/おまかせチャンネル/おでかけ転送/ポッドキャスト/カラオケ・語学学習モードには対応していません。

対応可能なウォークマン®

2013年2月現在

モデル名	ミュージック(音楽)	フォト(画像)	ビデオ(動画)
NW-E305/E307	○	×	×
NW-E405/E407	○	×	×
NW-E505/E507	○	×	×
NW-E002/E003/E005	○	×	×
NW-E013/E015/E016	○	×	×
NW-E023F/E025F/E026F	○	×	×
NW-E042/E043/E044	○	×	×

モデル名	ミュージック(音楽)	フォト(画像)	ビデオ(動画)
NW-E052/E053	○	×	×
NW-E052K/E053K	○	×	×
NW-E062/E063	○	×	×
NW-E062K/E063K	○	×	×
NW-A605/A607/A608	○	×	×
NW-A805/A806/A808	○	○	○
NW-A916/A918/A919	○	○	○
NW-A828/A829	○	○	○
NW-A845/A846/A847	○	○	○
NW-A855/A856/A857	○	○	○
NW-A865/A866/A867	○	○	○
NW-S203F/S205F	○	×	×
NW-S603/S605	○	×	×
NW-S703F/S705F/S706F	○	×	×
NW-S615F/S616F	○	○	○
NW-S636F/S638F/S639F	○	○	○
NW-S715F/S716F/S718F	○	○	○
NW-S736F/S738F/S739F	○	○	○
NW-S644/S645	○	○	○
NW-S744/S745/S746	○	○	○
NW-S754/S755/S756	○	○	○
NW-S764/S765/S766	○	○	○
NW-S774/S775	○	○	○
NW-S636FK/S638FK	○	○	○
NW-S736FK/S738FK	○	○	○
NW-S644K/S645K	○	○	○
NW-S744K/S745K	○	○	○
NW-S754K/S755K	○	○	○
NW-S764K/S765K	○	○	○
NW-S774K/S775K	○	○	○
NW-S764BT	○	○	○
NW-S774BT	○	○	○
NW-F805/F806/F807	○	○	○
NW-F805K/F806K	○	○	○
NW-F805BT	○	○	○
NW-X1050/X1060	○	○	○
NW-Z1050/Z1060/Z1070	○	○	○
NW-HD1	×	×	×
NW-HD2	×	×	×
NW-HD3	×	×	×
NW-HD5/HD5H	×	×	×
NW-A1000/A1200	×	×	×
NW-A3000	×	×	×
NW-E103/E105/E107	×	×	×
NWD-W202	×	×	×
NWD-W253	×	×	×
NWD-W263	×	×	×
NWD-W273	×	×	×

iPod / iPhone について

対応可能な iPod / iPhone

2013年2月現在

iPod / iPhone モデル名	ソフトウェア バージョン(iOS)	iPod接続コード(別売)で接続		LIGHTNINGケーブルで接続	
		音楽再生	ビデオ再生	音楽再生	ビデオ再生
iPhone 5	6.1.2以上	×	×	○	×
iPhone 4S	6.1.2以上	○	○	×	×
iPhone 4	6.1.2以上	○	○	×	×
iPhone 3GS	6.1.2以上	○	○	×	×
iPhone 3G	4.2.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第5世代)	6.1.2以上	×	×	○	×
iPod touch(第4世代)	6.1.2以上	○	○	×	×
iPod touch(第3世代)	5.1.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第2世代)	4.2.1以上	○	○	×	×
iPod touch(第1世代)	3.1.3以上	○	○	×	×
iPod Classic	1.1.2以上	○	○	×	×
iPod Video	1.3以上	○	○	×	×
iPod nano(第7世代)	1.0.2以上	×	×	○	×
iPod nano(第6世代)	1.2以上	○	×	×	×
iPod nano(第5世代)	1.0.2以上	○	○	×	×
iPod nano(第4世代)	1.0.4以上	○	○	×	×
iPod nano(第3世代)	1.1.3以上	○	○	×	×
iPod nano(第2世代)	1.1.3以上	○	×	×	×
iPod nano(第1世代)	1.3.1以上	○	×	×	×

○：可能 ×：不可

※第4世代以前のiPod、iPod miniおよびiPod photoには対応しておりません。



アドバイス

● iPod / iPhoneは最新のソフトウェアバージョンをアップル社のホームページよりインストールしてご使用ください。

※最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。

- ソフトウェアのバージョンにより、本機接続中でもiPod / iPhone側の操作ができる場合がありますが、正しく動作しない場合がありますのでiPod / iPhone側で操作しないでください。
- iPod / iPhoneの機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- ソフトウェアのバージョンはiPod / iPhone本体の“情報”よりご確認ください。
- 各iPod / iPhoneの仕様はiPod / iPhoneをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

使用上のお願い

- iPod / iPhoneを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPod / iPhoneの故障の原因となります。
- iPod / iPhoneのユーザガイドもあわせてご確認ください。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPod / iPhoneのリピートやシャッフルなどの設定が変わる場合があります。
- iPod touch / iPhoneを接続して使用する際は、iPod touch / iPhone本体側のアプリケーションを終了させてから使用してください。音飛びや誤動作の原因になる場合があります。

BLUETOOTH Audioについて

BLUETOOTH Audio対応機器をお持ちの場合に、BLUETOOTH無線技術を利用して本機のBLUETOOTH Audio機能を使用することができます。

使用上のお願い

必要
な
と
き

- 本機は全てのBLUETOOTH機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
接続するBLUETOOTH Audio対応機器はBluetooth SIG, Inc.の定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBLUETOOTH Audio対応機器が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示／動作が異なる、音が飛ぶなどの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio再生中にBLUETOOTH接続された携帯電話を操作すると、BLUETOOTH Audioの音楽が出なくなることがあります。BLUETOOTH Audio再生中は、BLUETOOTH接続された携帯電話の操作はお控えください。
- BLUETOOTH接続された携帯電話で通話している間は、自動的にBLUETOOTH Audioの出力が停止される場合があります。また、通話後はBLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、BLUETOOTH Audioの再生が自動で再開されない場合があります。その場合は手動にて再生を行ってください。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器をご使用になる場合は、BLUETOOTH Audio対応機器の説明書をよくご覧になり、本機での使用に問題がないことを確認のうえご使用ください。
- BLUETOOTH Audio対応機器によっては、初期登録設定後すぐに音楽の再生が始まる場合があります。音量設定に注意してください。
- デジタル方式のため、音楽が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- 本機でBLUETOOTH Audio対応機器を充電することはできません。
- BLUETOOTH Audio対応機器にイコライザー機能がある場合にはイコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応の携帯電話を登録し使用した場合、その携帯電話の仕様によってはBLUETOOTH操作を行えない場合があります。その場合はBLUETOOTH Audioの登録を削除してください。
- BLUETOOTH Audio対応機器と接続した場合は、本機との間に障害物がない場所にBLUETOOTH Audio対応機器を置いてください。本機とBLUETOOTH Audio対応機器との間に障害物があると、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。また、障害物がない場合でも、周囲の環境によっては、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります。また、機器が誤動作する場合があります。
- BLUETOOTH Audio再生中にデータ通信、通話などを行った場合、音が飛ぶ、再生、停止などの動作が遅くなる、再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる、接続がされにくくなるなどの現象が発生する場合があります。
- BLUETOOTH Audio対応機器と本機以外が接続されている場合、本機とBLUETOOTH接続できない場合があります。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。
- BLUETOOTH対応機器のアプリによってはBLUETOOTH Audioが正しく動作しない場合があります。

ハンズフリーについて

使用上のご注意

- ハンズフリーを使用するときの通話料は、お客様のご負担になります。
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります。(故障ではありません)
- 車のエンジンスイッチを入れた直後やディスクを入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
 - ・悪路走行時　・高速走行時　・窓を開けているとき　・エアコンのファンの音が大きいとき
- 本機は全てのBLUETOOTH機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 接続するBLUETOOTH対応携帯電話はBluetooth SIG, Incの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBLUETOOTH対応携帯電話が上記BLUETOOTH標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示/動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にアップデートしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリー発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 以下の場合は、ハンズフリーは使用できません。
 - ・通話エリア外に車が移動したとき
 - ・トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- BLUETOOTH通信用の車両側アンテナはナビゲーションに内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所やナビ本体から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できない場合があります。
- ハンズフリーは付属のマイクを使用して通話します。
マイクに近づいたり、意識的にマイクの方向に向いたりせずに、安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話してください。
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリー通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- オーディオ再生中に発信および着信された場合、再生中の音声はMUTE(消音)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れる(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBLUETOOTH接続してください。

- ハンズフリー状態で、携帯電話側での発着信操作(着信拒否、転送、保留も含む)はしないでください。誤作動をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機は2.4 GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
 - ・本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。
 - 1 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 2 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
 - 3 その他、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い上げのHonda販売店へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・分解や改造をする
 - ・ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす
- 携帯電話と本機以外の機器がBLUETOOTH接続されている場合、本機とBLUETOOTH接続を行うことはできません。その場合は、携帯電話と本機以外の機器とのBLUETOOTH接続を切断してください。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。
- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、BLUETOOTHの接続性が低下する場合(発信ができないなど)があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリー操作を行ってください。
- 携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 本機では、通話アプリによるハンズフリーは対応していません。



アドバイス

携帯電話にはご利用になれない機種があります。適合携帯電話機種については、下記ホームページをご確認ください。

<http://www.honda.co.jp/navi/support/>

音楽ファイル(MP3 / WMA / AAC)について

●MP3とは？

MP3(MPEG Audio Layer 3)は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

●WMAとは？

WMA(Windows Media™ Audio)は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率(約2倍)で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。WMAデータは、Windows Media Player ver.7以降を使用してエンコードすることができます。**DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。**

Windows Media Audio Standard フォーマット以外のフォーマットには対応していません。

●AACとは？

Advanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

●音楽データの規格について

	MP3	WMA	AAC
使用可能なメディア	CD-R / -RW、 DVD-R / -RW / -R DL、 SD、USB	CD-R / -RW、 DVD-R / -RW / -R DL、 SD、USB	SD、USB
データの規格、プロファイル	MPEG Audio Layer 3	Windows Media Audio	Low Complexity
ファイル拡張子	MP3、mp3	WMA、wma	M4A、m4a
最大フォルダ名/ ファイル名文字数	全角32文字 半角32文字(CD、DVD)、半角64文字(SD、USB)		
フォルダ名/ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角/半角)、0～9(全角/半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角/半角)		
最大フォルダ階層	8階層		
1フォルダ内の 最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数: ルートフォルダ含む)		
1メディア内の 最大ファイル数	CD、DVD: 512 SD、USB: 10,000		
1メディア内の 最大フォルダ数	CD、DVD: 255 SD、USB: 400		
表示可能なタグ	CD、DVD: トラック名/アーティスト名/アルバム名 SD、USB: トラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名		
タグ表示可能文字数	ID3タグ Ver1.0/1.1: 全角15/半角30文字 ID3タグ Ver 2.2/2.3: CD: 全角30/半角60文字 SD、USB: 全角32/半角64文字	CD、DVD: 全角30/半角30文字 SD、USB: 全角32/半角64文字	全角32/半角64文字
ジャケット写真	CD、DVD: 非対応	SD、USB: 対応	

※ m3u / MP3i フォーマット / MP3 PRO フォーマット / ディエンファシスは非対応。

※ WMA9 Professional / WMA9 Losslessは非対応。

※ 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。

※ チャンネル数が2を超える音楽データは再生できません。

※ ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先。

● 音楽ファイルの再生について

- ・ 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- ・ 選曲モードのフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
- ※正しい順番で表示させるには、ファイルの先頭に“01～99”など番号をつけてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示される順番は変わりません。

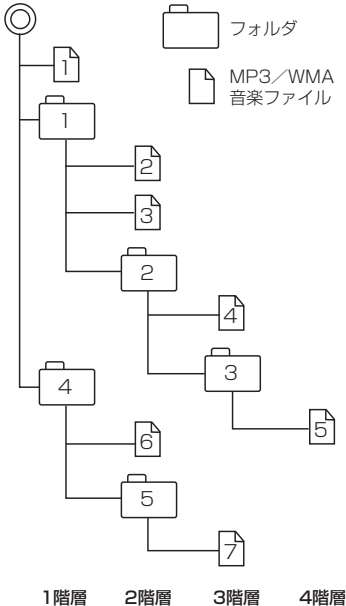
● 音楽ファイルのファイル名について

フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。

● ジャケット写真について

- ・ パソコンのアプリケーションを使用することで、音楽ファイルにジャケット写真を付与することができます。
- ※ Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用してください。
- ・ MP3 / WMA / AACファイルで対応しているジャケット写真の画像はJPEG形式のみです。他の画像形式の場合、正常に表示できないことがあります。
- ・ 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となる場合があります。
- ・ 176×176ピクセル以下の画像は表示エリアより小さく表示される場合があります。
- ・ 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真をファイルに登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

● 階層と再生順序について



(以下はCDのMP3 / WMAのみ)

- ・ ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- ・ 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選んだ場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
- ・ ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- ・ 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器(プレーヤー)によって異なる場合があります。
- ・ 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- ・ 通常は、① → ② → ③ → ④ → ⑤ → ⑥ → ⑦ の順に再生します。
- ・ 同じ階層に複数のMP3 / WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
- ・ 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

音楽ファイル(MP3 / WMA / AAC)について

●再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

		MP3		WMA		AAC
		MPEG1	MPEG2	WMA7	WMA9 standard	
サンプリング周波数 (kHz)	16.000	—	○	—	—	○
	22.050	—	○	—	—	○
	24.000	—	○	—	—	○
	32.000	○	—	○	○	○
	44.100	○	—	○	○	○
	48.000	○	—	—	○	○
ビットレート (kbps)	8	—	○	—	—	○
	16	—	○	—	—	○
	24	—	○	—	—	○
	32	○	○	—	—	○
	40	○	○	—	—	○
	48	○	○	○	○	○
	56	○	○	—	—	○
	64	○	○	○	○	○
	80	○	○	○	○	○
	96	○	○	○	○	○
	112	○	○	—	—	○
	128	○	○	○	○	○
	144	—	○	—	—	○
	160	○	○	○	○	○
	192	○	—	○	○	○
	224	○	—	—	—	○
256	○	—	—	○	○	
320	○	—	—	○	○	
VBR (可変ビットレート)	○	○	—	○	○	

- ・32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3 / WMA / AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- ・64 kbps以下のビットレートで再生されたMP3 / WMA / AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- ・一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- ・フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

●MP3 / WMA / AACファイルの作り方について

MP3 / WMA / AACファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

・インターネットの配信サイトより入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

● 音楽CDをMP3 / WMA / AACファイルに変換する場合

パソコンと市販のエンコーダソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3 / WMA / AAC形式のファイルに変換することで12 cmの音楽CD 1枚(最大74分収録 / データ容量650 MB)が約65 MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフトなどの説明をご参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります)”の項目にチェックを付けないでください。

● ディスクに書き込む場合

MP3 / WMA ファイルをパソコンに接続されているドライブを介してディスクに書き込みます。このとき、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

- MP3 / WMA ファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。

● マルチセッションについて

マルチセッションに対応しており、MP3 / WMA ファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

※MP3 / WMA ファイルをDVDに書き込みしたディスクの動作保証はしていません。



アドバイス

- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3 / WMA / AAC ファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- MP3は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- MP3 / WMA / AAC ファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
- MP3 / WMA / AAC ファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行っていないディスクは再生できません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子、WMA以外のファイルに“WMA”の拡張子またはAAC以外のファイルに“m4a”の拡張子を付けると、MP3ファイル / WMAファイル / AACファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3 / WMA / AAC ファイル以外に、“MP3” / “WMA” / “m4a”の拡張子を付けないでください。
MP3 / WMA / AAC以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

画像ファイル(JPEG)について

- SD / USB ソースのとき、画像ファイル(JPEG)を再生させることができます。
[戻る]「動作モード(音楽 / 画像 / 動画)を切り替える」H-9
- 再生可能な JPEG ファイルについて

対応形式	Baseline JPEG方式
再生可能な拡張子	JPG / jpg(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ名 / ファイル名	全角32文字 / 半角64文字
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル数+フォルダ数:ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名 / ファイル名 使用可能文字	A~Z(全角 / 半角)、0~9(全角 / 半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角 / 半角)
ファイルサイズ	10 MB以下
画像サイズ	16×16ピクセル~4092×4092ピクセル

- Progressive JPEG、カラーフォーマットがGray scale、RGB、CMYKのJPEGファイルは対応していません。
- 大きい画像は画面にあわせて表示されます。
- 液晶の縦横のドットピッチが違うため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

動画ファイル(MPEG4 / H.264)について

- SD / USBソースのとき、動画ファイル(MPEG4 / H.264)を再生させることができます。

▶ M-12

- 再生可能な動画ファイルについて

ビデオコーデック	ビットレート	フレームレート	最大解像度
MPEG4	216 kbps～4 Mbps	15 fps, 30 fps	720×480
H.264	216 kbps～4 Mbps	15 fps, 30 fps	720×480

※ MPEG4(ビデオコーデック)の対応プロファイルはSimple Profileレベル3までです。

※ ビットレートが低いと十分な画質を得られない場合があります。

※ H.264(ビデオコーデック)の対応プロファイルは、Baseline Profileレベル2.1までです。

※ 可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。

※ Windows Media Videoには対応していません。

オーディオコーデック	ビットレート	サンプリングレート
AAC-LC	8 kbps～320 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz
AAC-Plus	×	×

※ ビットレートが低いと十分な音質を得られない場合があります。

※ 上記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなかつたり音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。

※ 動画ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの説明書を参照ください。

※ 動画ファイル(MPEG4 / H.264)の作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかつたり、音声、映像が乱れる場合があります。

再生可能な拡張子	MP4 / M4V / mp4 / m4v(大文字、小文字どちらでも使用可能)
最大フォルダ階層	8階層
表示可能文字数	全角32文字、半角64文字
1フォルダ内の最大ファイル数	100(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	10,000
最大フォルダ数	100
フォルダ名 / ファイル名 使用可能文字	A～Z(全角 / 半角)、0～9(全角 / 半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角 / 半角)
ファイルサイズ	1 GB以下

※ WMVは再生できません。

※ 著作権保護された動画ファイル(SD-Video規格など)の映像は再生できません。

動画ファイル(MPEG4 / H.264)について

● 動画ファイルの再生について

- ・ 極端にサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できなかつたり、再生までに時間がかかることがあります。
- ・ 極端に再生時間の長いファイル、短いファイルは正常に再生できなかつたり、再生までに時間がかかることがあります。
- ・ 同一ファイル内に音声 / 映像以外の情報(画像など)が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
- ・ チャンネル数が2を超える音楽データを含む動画ファイルは再生できません。
- ・ フォルダやファイルリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※ファイルの先頭に番号を付け(例: 001 ~ 100など)、一度にメディアに書き込むことをおすすめます。
- ・ 対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子(MP4 / M4V / mp4 / m4v)を付けると、ファイルを誤認識して本機の故障の原因となる場合があります。
- ・ 動画ファイルの作り方によっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
- ・ SDカード / USBメモリデバイスの種類によっては、転送速度の関係でデータ転送が間に合わずコマ落ち / 音飛びの原因になる場合があります。

● 著作権について

テレビ放送や、ビデオ、DVDなど、個人で作成したものでない映像、音声を個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。

テレビについて

地上デジタルテレビ放送について



必要なとき

- お車の走行地域(ご利用の地域)によって受信できる放送局が変わります。県域(都道府県)を選んで現在の地の設定をしてください。[Ⓔ]「**システム設定する**」Q-11
- 地上デジタルテレビ放送は大きく分けて2種類のサービスがあります。
 - ・ テレビ放送……従来からのテレビ放送
 - ・ データ放送……現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの放送※本機ではテレビ放送とデータ放送のサービスを受けることができます。
- 一般的にデジタルテレビ放送はアナログテレビ放送に比べて数秒程度音声・映像が遅れます。(時報なども同様に遅れます。)
- 受信モードをお車の状況にあわせて切り替えることで受信状態を安定させることができます。[Ⓔ] Q-10(デジタルTVメニューの**受信モード**をタッチして切り替えます。)
- miniB-CASカードを挿入しないと地上デジタルテレビ放送は映りません。[Ⓔ]「miniB-CASカードについて」T-35/「miniB-CASカードを入れる/取り出す」Q-2
- 地上デジタルテレビ放送のサービスのひとつとして、「ワンセグ」があります。



・日本の地上デジタルテレビ放送は、約6 MHzの帯域を13個のセグメントに分けて放送する仕組みですが、そのうち12セグメントを使って高画質・高音質の放送を行っています。ワンセグ放送は、残り1セグメントを使って携帯や移動体向けに放送するサービスです。

※地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、地上アナログテレビ放送と同様のUHF帯の電波を使用して放送されています。12セグに比べると画質や音質は劣りますが、受信エリアは12セグよりも広く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる可能性が高くなります。

・地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」は、2006年4月1日より東名阪およびその他一部地域より順次開始されている放送サービスです。「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
一般社団法人 デジタル放送推進協会 <http://www.dpa.or.jp/>

地上デジタルテレビ放送の番組受信について

- 地上デジタルテレビ放送では受信状態が悪くなると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。
- 車で移動して受信するため、家庭用デジタルチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、車の周辺環境などにより受信状態が変化します。
- 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、本機や地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけると、映像にブロックノイズが出たり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなる場合があります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。
- 電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、映像・音声が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。
- 車の走行速度によっては映像・音声が乱れたり、受信できなくなる場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなり、映像・音声が乱れる場合があります。
- 受信状態が弱い場合、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコン、ファンなどの車両電装品を作動させると映像にブロックノイズがでたり、音が途切れたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

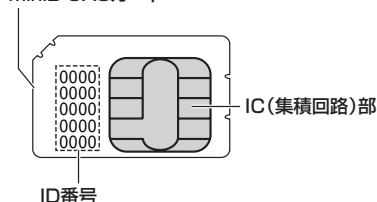
miniB-CASカードについて

miniB-CASカードは地上デジタルテレビ放送(12セグ)を受信するうえで必ず必要なカードです。

※本機に付属のminiB-CASカードには1枚ごとに異なる番号(ID番号)が付与されています。

ID番号は大切な番号です。(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターへの問い合わせの際にも必要となりますので、ご確認のうえ控えておいてください。


miniB-CASカード



ID番号

契約内容などを管理するための大切な番号です。お問い合わせの際にも必要です。

必要
な
と
き

- 地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにminiB-CASカードが必要です。
- miniB-CASカード取り扱い上の留意点
 - ・ 折り曲げたり、変形させない。
 - ・ 上に重いものを置いたり踏みつけたりしない。
 - ・ 水をかけたり、濡れた手でさわらない。
 - ・ IC(集積回路)部には手をふれない。
 - ・ 分解加工は行わない。
 - ・ カード挿入口に正しく挿入する。 「 miniB-CASカードを入れる/取り出す」Q-2
 - ・ ご使用中にminiB-CASカードの抜き差しはしない。
※地上デジタルテレビ放送が視聴できなくなる場合があります。
 - ・ 付属のminiB-CASカードの所有権は、(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあり、無断で譲渡できない。
 - ・ 付属のminiB-CASカードを使用して、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送などの有料放送の視聴契約をすることはできない。
- miniB-CASカードの取り扱いの詳細は、B-CASカードの台紙に記載されている説明をご覧ください。
- 破損・紛失などされた場合は、お客様より(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターへお問い合わせください。カードの再発行には手数料がかかります。
- 本機の修理を依頼されるときは、本機よりminiB-CASカードを抜いてお客様が保管してください。

miniB-CASカードに関するお問い合わせ先について

付属のminiB-CASカードについてご不明な点は、下記のB-CASカスタマーセンターへお問い合わせください。

(株)ピーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター

電話番号 0570-000-250 受付時間 10:00~20:00(年中無休)

※電話番号はお間違えないようお願いいたします。

※携帯電話、PHSなどの移動体通信機器および各種LCRや交換機の設定によってはかからない場合があります。

- miniB-CASカードの台紙に記載されている「B-CASカード使用許諾契約約款」は、よくお読みになった上、「説明書」「取付要領書」「保証書」とともに大切に保管してください。
- 放送局などへのお問い合わせで、miniB-CASカードのID(識別)番号の告知が必要になる場合があります。お客様のminiB-CASカードのID番号は控えておいてください。

住所・電話番号は都合により、予告なく変更する場合があります。
ご了承ください。

Gracenote データベースについて

CDアルバムをMusic Rackに録音した場合、本機に収録されているGracenoteデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、タイトル名を検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteデータベース情報を使用しています。

● Gracenote データベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote[®]社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote[®]社のホームページwww.gracenote.comをご覧ください。

Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ：copyright©2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright©2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenoteが所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote特許の一覧については、Gracenoteのホームページをご覧ください。

Gracenote, CDDB, Music ID, Media VOCS, Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および“Powered by Gracenote”ロゴは、米国および/またはその他の国におけるGracenote, Inc.の登録商標または商標です。



「Gracenote 音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

● Gracenote データベースのご利用について

Gracenote[®] エンドユーザー使用許諾契約書

この製品を使用する際には、以下の条項に同意しなければなりません。

本ソフトウェア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc. (以下「Gracenote」とする)から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウェア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア(以下「Gracenoteソフトウェア」とする)を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報(以下「Gracenoteデータ」とする)などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース(以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする)から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウェア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外に、Gracenoteデータを使用することはできません。

お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。お客様は、いかなる第三者に対しても、GracenoteソフトウェアやGracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。

Gracenoteのサービスは、統計処理を行うために、クエリを調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Webページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenote プライバシーポリシーを参照してください。

GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のまま提供され、使用許諾されるものとします。Gracenoteは、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデータの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。GracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー障害のないことや、或いはGracenoteソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenoteは、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenoteは、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

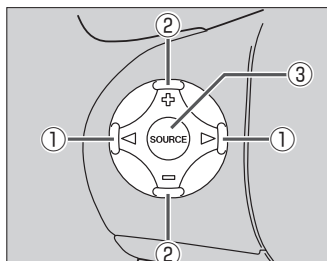
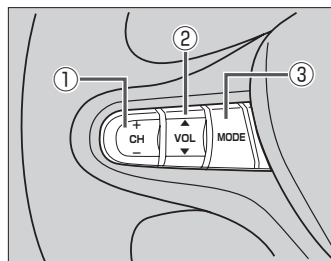
copyright © 2000 to present Gracenote

オーディオ リモコン スイッチ

車両標準装備
別売

運転中にオーディオの操作するためのスイッチです。

イラストはイメージ図です。



車種によってオーディオ リモコン スイッチが装備できない場合があります。

※車両によってオーディオ リモコン スイッチが標準装備されている場合があります。

① CH- / CH+ スイッチ、◀ / ▶ スイッチ

- ラジオを聞いているとき

CH+ / ▶ を押す。：プリセットされている次の放送局を選局します。

CH- / ◀ を押す。：プリセットされている前の放送局を選局します。

CH+ / ▶ / CH- / ◀ を長く押す。：自動選局になり放送局を受信すると止まります。

- Digital TV を見ているとき

CH+ / ▶、CH- / ◀ を押す。：選局します。

- MP3 / WMA / AAC ファイル (CD · DVD *1 / SD / USB) を聞いているとき

CH+ / ▶ を押す。：スキップ (次の曲の頭出し) します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ (再生中や前の曲の頭出し) します。

CH+ / ▶ を長く押す。：フォルダアップします。

CH- / ◀ を長く押す。：フォルダダウンします。

- CD / Music Rack / iPod / BLUETOOTH Audio を聞いているとき

CH+ / ▶ を押す。：スキップ (次の曲の頭出し) します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ (再生中や前の曲の頭出し) します。

※ CH+ / ▶、CH- / ◀ の長押しは無効です。

- DVD を見ているとき

CH+ / ▶ を押す。：スキップ (次のチャプターの頭出し) します。

CH- / ◀ を押す。：リプレイ (再生中や前のチャプターの頭出し) します。

※ CH+ / ▶、CH- / ◀ の長押しは無効です。

② VOL▲ / VOL▼ スイッチ、⊕ / ⊖ スイッチ

VOL▲ / ⊕ を押す。：オーディオ音量が大きくなります。

VOL▼ / ⊖ を押す。：オーディオ音量が小さくなります。

VOL▲ / ⊕ を長く押す。：連続してオーディオ音量が大きくなります。

VOL▼ / ⊖ を長く押す。：連続してオーディオ音量が小さくなります。

* 1…CD · DVD での AAC 再生はできません。

③ **MODE**、**SOURCE** スイッチ

MODE / **SOURCE** を押す。: スイッチを押すたびに、



と切り替わります。

MODE / **SOURCE** を長く押す。: Siri Eyes Free機能が起動します。

※ USBとiPodは同時に接続できません。

※ iPod(映像あり)とVTRは同時に接続できません。



アドバイス

- オーディオモード ↔ ナビゲーションモードの切り替えはナビ本体の **AUDIO** ↔ **現在地** をタッチして切り替えてください。
- オーディオ リモコン スイッチはオーディオモード終了(OFF状態)のときは操作できません。
- 以下の場合はそのモードを飛ばします。
 - ・ ディスク、SDカード未挿入
 - ・ USB / iPod / VTR / AUX / BLUETOOTH Audio 機器未接続
 - ・ HDMI接続設定でHDMIを使用しないに設定

地図ソフトについて

重要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「弊社」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. 弊社は、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器で使用する権利を許諾します。
2. 弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
 - (3) 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
 - (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

安全上のご注意(交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください)

運転者は、走行中に操作をしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。

安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。



運転中は、画面を注視しないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。



常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります。交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。



一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平23情使、第192-950号)
- この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50 mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平23情使、第768-001号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認11-080)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2012年11月のものを使用しています。

地図ソフトについて

- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2012年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2012年9月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
 - ◆3D交差点…………… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
(1,790交差点、5,770画像)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
 - ◆ジャンクションビュー…… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
(4,120ヶ所、8,260方面)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
 - ◆方面看板…………… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。
(全国の主要交差点)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2012年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ(2012年11月発行)をもとに作成しています。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
(予測データ提供元：NTTデータ 予測の基となる情報：JARTIC/VICSセンター)
なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。
- VICSリンクデータベースの著作権は、(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
※本ソフトの収録エリアには2013年9月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(一財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICIS に関するお問い合わせ

(一財) 道路交通情報通信システムセンター サービスサポートセンター

電話番号：0570-00-8831

電話受付時間：9：30～17：45(土曜、日曜、祝日を除く)

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX：03-3562-1719

必要なとき

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2012年12月(高速・有料道路)／2012年9月(国道・都道府県道)

■交通規制^{*1}：2012年11月

■住所検索

：2012年11月

■電話番号検索：2012年11月

■個人宅電話番号検索：2012年8月

■郵便番号検索：2012年11月

■ジャンル検索：2012年10月

■高速・有料道路料金^{*2}：2012年11月

■市街地図

：2012年7月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。

【VICISレベル3対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2013年9月時点でVICISサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICISサービスの開始時期については(一財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2013年9月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2011 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2012 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2012 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2013 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

地図に関するお問い合わせ先

株式会社 ゼンリン カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-210-616

受付時間 9:30～17:30 月～土(祝日・弊社指定休日は除く)

※携帯・PHSからもご利用いただけます。

※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

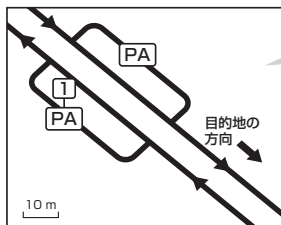
出発地・経由地・目的地の設定について

経由地、目的地の設定の注意点

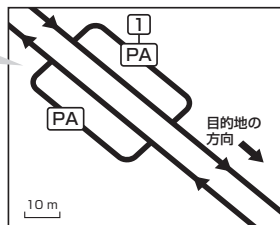
通常周辺検索やジャンル検索などで経由地や目的地を設定しますが、地図で設定する場合は必ず最詳細地図で設定してください。

最詳細地図で設定しなかった場合、次のように設定したい場所とはちがう位置に設定してしまう場合があります。

例) 高速道路のPAに経由地を設定した場合



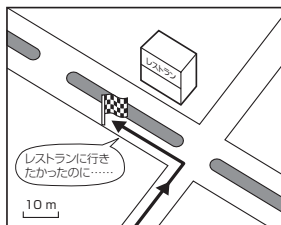
最詳細地図で
見てみると…



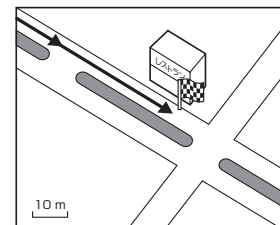
目的地方向と逆のPAに設定され、正しいルートが作れないことがあります。

詳細地図で、目的地方向のPA内にある道路に設定してください。

例) 中央分離帯のある一般道路に目的地を設定した場合

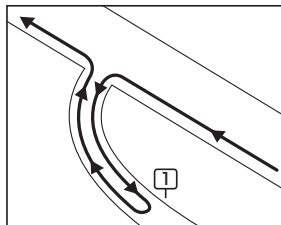


目的地と逆の車線に設定されたり、遠回りのルートを設定することがあります。

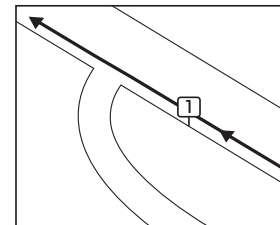


詳細地図で、レストランと道路の境界付近に設定してください。

例) 設定したい経由地付近に細街路がある場合

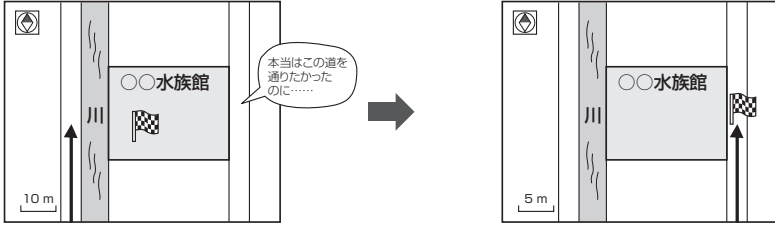


立ち寄りたい地点とは別の道路に設定され、正しいルートが作れないことがあります。



詳細地図で、通行したい道路により近い場所に設定してください。

例)「施設の名称で地点を探す」で“〇〇水族館”の地図を表示し、目的地を設定した場合
(駐車場情報がない場合、もしくは駐車場情報を選ばなかった場合)



必要なとき

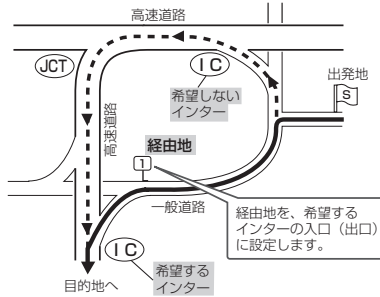
目的地マークに一番近い道路であるため、川向こうのこの道路上の地点が、ルート探索の実際の目的地になります。

詳細地図で、水族館に面した道路上に設定してください。



出発地／経由地／目的地を設定した地点から直線距離で一番近い道路がルート探索の実際の出発地／経由地／目的地になります。

例)希望する高速道路インターから乗りたい(降りたい)場合



希望するICの入口(出口)に経由地を設定します。

経由地を設定しない場合は、希望しないインターを選ぶことがあり、遠回りのルート(-----▶)を選ぶことがあります。

ルート案内時の注意点

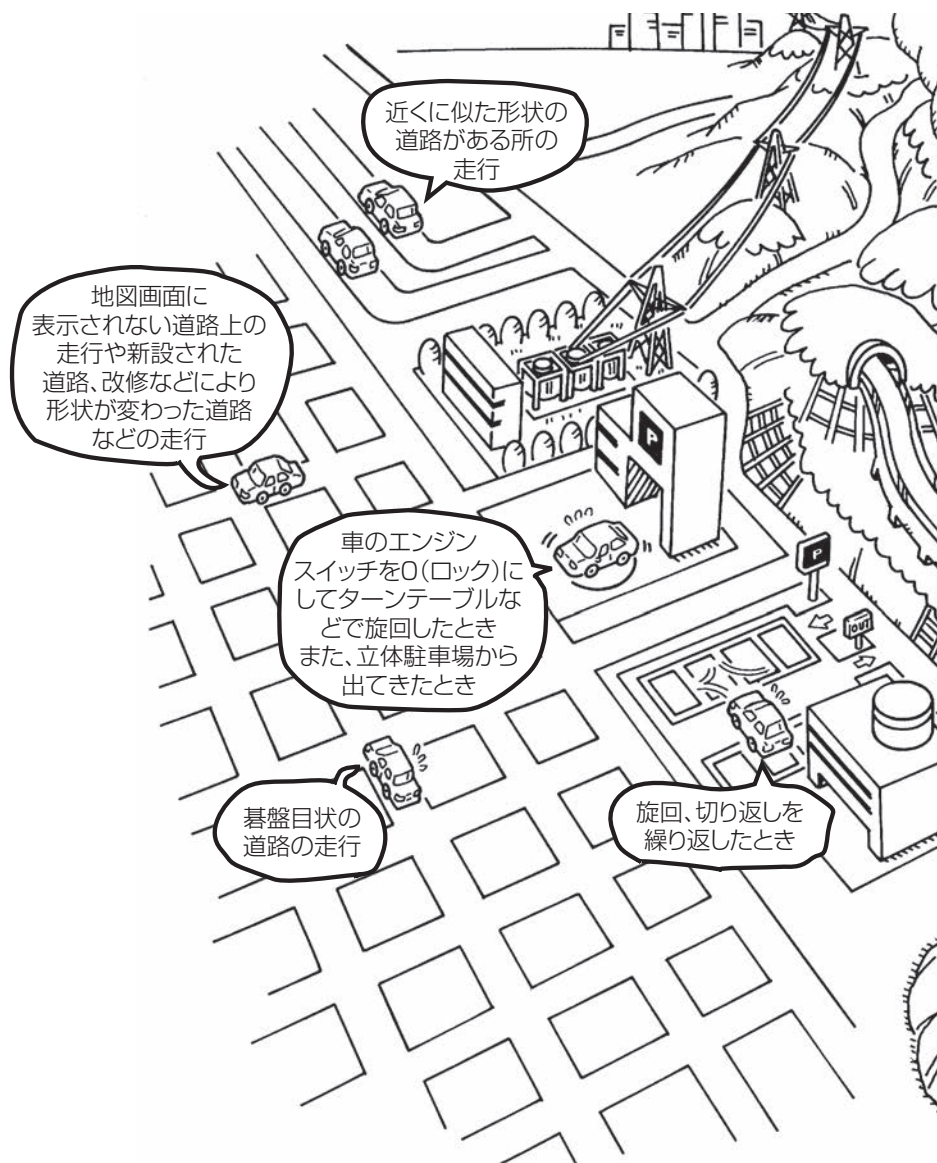
- 表示されるルートは参考ルートです。最短ルートをとらない場合があります。
- 道路は日々変化しており、地図ソフト作成時期の関係から、形状、交通規制などが実際と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- ルート探索中は、車両走行にともなう地図の移動が遅れることがあります。
- ルート探索終了後、探索されたルートが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- 目的地および経由地に到着してもルートが消えない場合があります。新しいルートを探索するか、ルート削除したときにルートは消えます。
- 再探索をしたとき、通過したと判断した経由地に戻るルートは探索しません。
- ルート表示時に地図を移動させると、ルートの再表示に時間がかかることがあります。
- 距離優先でルート探索をした場合、細い道路の通過や有料道路の乗り降りを繰り返すことがあります。
- 距離優先でルート探索をした場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので、距離優先とならない場合があります。
- 道路が近接している所では、正確に位置を設定してください。特に、上り、下りで道路が別々に表示されているような場所では、進行方向に注意して道路上に目的地や経由地を設定してください。
- 経由地が設定されている場合は、各経由地間のルートをそれぞれ別々に探索していますので、以下になることがあります。
 - どれか1カ所でもルートが探索できなかったときは、全ルートが表示されません。
 - 経由地付近でルートが繋がらないことがあります。
 - 経由地付近でUターンするルートが表示されることがあります。
 - 距離優先での探索でも、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。
 - 現在地および目的地(経由地)付近における細街路を使用したルートについては、音声での案内は行いません。地図上のルート表示を確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
 - 細街路から、それ以外の道路に出るルートおよび細街路に入るルートでは交通規制を考慮していないので、現地では十分確認のうえ、実際の交通規制に従って走行してください。
- 以下のような場合、ルートが探索できないことがあります。
 - 現在地と目的地が遠すぎる場合。
この場合は目的地をもう少し近づけてから再度ルート探索してください。
 - 交通規制で目的地や経由地まで到達できない場合。
 - 極度に迂回したルートしかない場合。
 - その他、条件によってはルート探索できない場合があります。

●以下のようなルートが表示されることがあります。

- ルート探索しても、自転車マークの前または後からルートが表示されることがあります。
- 目的地を設定しても、目的地の前または後にルートが表示されることがあります。
- ルート探索しても、他の道路からのルートを表示されることがあります。
この場合は自転車マークが現在地とずれている可能性がありますので、自転車マークが正しい道路に戻ってから、再度ルート探索を行ってください。
- 登録地点、案内情報から呼び出した地点をそのまま目的地や経由地に設定すると、遠回りなルートを表示されることがあります。修正する場合は、進行方向などに注意して設定してください。インターチェンジ(IC)やサービスエリア(SA)などのように上りと下りの道路が別々になっている場所では、特にご注意ください。
- 一般優先** に表示をしてルート探索させても、有料道路を通るルートが設定される場合があります。
ルートを修正したいときは、一般道路上に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- 陸路のみで目的地に到着できるときや**探索条件** の設定でフェリーを優先 **しない** に設定しても、フェリー航路でのルートが設定される場合があります。ルートを修正したいときは、陸路に経由地を設定して再度ルート探索を行ってください。
- フェリー航路は、旅客のみ、二輪車のみ航路を除いた主なものがルート設定可能ですが、目安としてお考えいただき、実際の所要時間、運行状況などをご確認の上、利用してください。

自車マークの表示誤差について

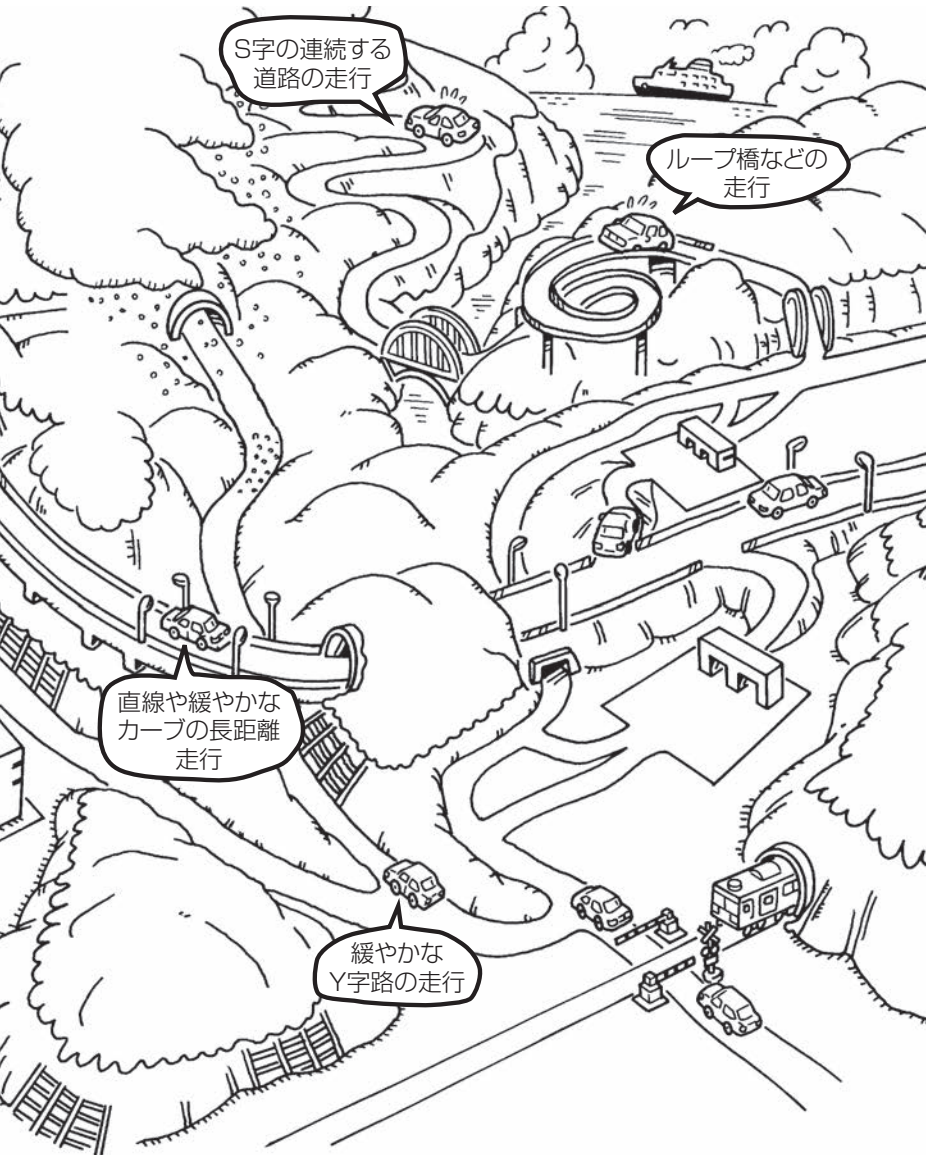
自車マークの現在地や進行方向は、以下のような走行条件などによってずれることがあります。故障ではありませんので、しばらく走行を続けると正常な表示に戻ります。





エンジンを始動してすぐ車を動かしたときも、自車マークの向きがずれることがあります。

必要なとき



地図に表示される記号

地図表示記号(例)

道路の表示色

青色 : 高速道路、有料道路

赤色 : 国道

緑色 : 主要地方道、県道

灰色 : 一般道、細街路

青色(破線) : フェリー航路

※灰色(破線)はルート探索できません。

計画道路について

- 建設中などで、地図ソフト作成時点で未開通の道路は計画道路として表示されます。
- 市街地図では計画道路も実線表示している箇所がありますが、ルート探索の対象となりません。



道路色は“地図切り替え”で選んだボタンによって変わります。上記の色は“ノーマル”を選んだときの色を記載しています。

「地図の色を設定する」F-4

立体アイコン(例)



東京タワー



新宿センタービル



神宮球場



松江城



日本武道館



横浜ランド
マークタワー



東京都庁
(第一庁舎)



通天閣



原爆ドーム



JR 東京駅

必要なとき

市街地図(10 m / 25 m / 50 mスケール)の収録エリア

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → □、50%未満収録地域 → ■

北海道	札幌市、函館市、 小樽市 、旭川市、室蘭市、釧路市、 帯広市 、北見市、夕張市、 苫小牧市 、稚内市、美唄市、 芦別市 、江別市、 赤平市 、紋別市、士別市、 名寄市 、三笠市、 根室市 、千歳市、 恵庭市 、 北広島市 、石狩市、 当別町 、釧路町、 岩見沢市 、 網走市 、 留萌市 、 滝川市 、 砂川市 、 歌志内市 、 深川市 、 富良野市 、 登別市 、 江差町 、 斜里町 、 伊達市 、 白老町 、 音更町 、 北斗市 、 池田町 、 洞爺湖町 、 新ひだか町 、 清水町 、 芽室町 、 幕別町 、 七飯町 、 八雲町 、 岩内町 、 余市町 、 奈井江町 、 鷹栖町 、 東神楽町 、 美瑛町	茨城県 水戸市、日立市、土浦市、取手市、ひたちなか市、五霞町、境町、守谷市、利根町、古河市、 石岡市 、結城市、龍ヶ崎市、下妻市、 常陸太田市 、高萩市、北茨城市、笠間市、 牛久市 、つくば市、鹿嶋市、潮来市、茨城町、大洗町、東海村、鉾田市、神栖市、阿見町、 常陸大宮市 、那珂市、筑西市、坂東市、 稲敷市 、 かずみがうら市 、 桜川市 、 行方市 、 常総市 、 つくばみらい市 、 小美玉市 、 河内町 、 城里町 、 大子町 、 美浦村 、 八千代町
青森県	三沢市、青森市、 弘前市 、 八戸市 、 黒石市 、五所川原市、十和田市、むつ市、 藤崎町 、 大鰐町 、 東北町 、 つがる市 、 平川市 、 野辺地町 、 田舎館村	栃木県 宇都宮市、 小山市 、 足利市 、 栃木市 、 佐野市 、 鹿沼市 、 日光市 、 真岡市 、 大田原市 、 矢板市 、 上三川町 、 益子町 、 市貝町 、 芳賀町 、 壬生町 、 野木町 、 那須町 、 那須塩原市 、 さくら市 、 那須烏山市 、 下野市 、 茂木町 、 岩舟町
岩手県	盛岡市 、 宮古市 、 大船渡市 、 花巻市 、 北上市 、 久慈市 、 遠野市 、 陸前高田市 、 釜石市 、 二戸市 、 雫石町 、 岩手町 、 滝沢村 、 一関市 、 紫波町 、 矢巾町 、 大槌町 、 山田町 、 岩泉町 、 八幡平市 、 奥州市 、 金ヶ崎町 、 平泉町	群馬県 前橋市、 高崎市 、伊勢崎市、 太田市 、 桐生市 、 榛東村 、 吉岡町 、 甘楽町 、 中之条町 、 東吾妻町 、 嬭恋村 、 草津町 、 みなかみ町 、 玉村町 、 板倉町 、 明和町 、 千代田町 、 大泉町 、 邑楽町 、 沼田町 、 館林市 、 渋川市 、 藤岡市 、 富岡市 、 安中市 、 みどり市 、 下仁田町 、 昭和村
宮城県	多賀城市、 仙台市 、 石巻市 、 塩竈市 、 気仙沼市 、 白石市 、 角田市 、 名取市 、 岩沼市 、 大河原町 、 山元町 、 松島町 、 七ヶ浜町 、 利府町 、 富谷町 、 色麻町 、 加美町 、 登米市 、 栗原市 、 東松島市 、 美里町 、 大崎市 、 蔵王町 、 村田町 、 柴田町 、 亘理町 、 大和町 、 大衡村 、 涌谷町	埼玉県 川越市、熊谷市、川口市、さいたま市、所沢市、飯能市、加須市、本庄市、春日部市、狭山市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、本本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、鶴ヶ島市、吉川市、三芳町、毛呂山町、松伏町、行田市、秩父市、東松山市、羽生市、鴻巣市、坂戸市、幸手市、日高市、伊奈町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町、東秩父村、美里町、神川町、上里町、寄居町、宮代町、白岡市、杉戸町、ふじみ野市、ときがわ町
秋田県	秋田市 、 能代市 、 横手市 、 大館市 、 男鹿市 、 湯沢市 、 鹿角市 、 五城目町 、 井川町 、 由利本荘市 、 潟上市 、 大仙市 、 北秋田市 、 にかほ市 、 仙北市 、 八郎潟町	
山形県	山形市 、 米沢市 、 鶴岡市 、 酒田市 、 新庄市 、 寒河江市 、 上山市 、 村山市 、 長井市 、 天童市 、 東根市 、 尾花沢市 、 南陽市 、 山辺町 、 中山町 、 河北町 、 高畠町 、 川西町 、 庄内町	
福島県	福島市 、 会津若松市 、 郡山市 、 いわき市 、 白河市 、 須賀川市 、 喜多方市 、 相馬市 、 二本松市 、 桑折町 、 国見町 、 本宮市 、 鏡石町 、 西郷村 、 矢吹町 、 小野町 、 田村市 、 南相馬市 、 伊達市 、 川俣町 、 会津美里町 、 石川町 、 玉川村 、 三春町 、 広野町 、 楡葉町 、 富岡町 、 大熊町 、 双葉町 、 浪江町	

市街地図(10 m / 25 m / 50 mスケール)の収録エリア

必要なき

千葉県	千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、旭市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市、四街道市、袖ヶ浦市、八街市、印西市、白井市、銚子市、館山市、成田市、東金市、鴨川市、君津市、富津市、酒々井町、富里市、栄町、神崎町、多古町、東庄町、大網白里町、九十九里町、山武市、横芝光町、芝山町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、南房総市、匝瑳市、香取市、長柄町、長南町、大多喜町、御宿町、鋸南町、いすみ市	山梨県	甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笹吹市、昭和町、富士河口湖町、上野原市、甲州市、市川三郷町、中央市、身延町、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士川町
東京都	千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、西東京市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、瑞穂町、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町	長野県	松本市、長野市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、松川町、高森町、阿智村、白馬村、坂城町、小布施町、山ノ内町、筑北村、安曇野市、原村、飯島町、中川村、宮田村、喬木村、豊丘村、山形村、池田町、松川村、高山村
神奈川県	横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、開成町、愛川町、秦野市、座間市、松田町、山北町、箱根町、真鶴町、湯河原町、清川村	岐阜県	岐阜市、多治見市、岐南町、関ヶ原町、神戸町、大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、下呂市、羽島市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、各務原市、可児市、山県市、瑞穂市、笠松町、坂祝町、富加町、飛騨市、本巣市、郡上市、海津市、北方町、輪之内町、安八町、養老町、垂井町、揖斐川町、大野町、池田町、川辺町、八百津町、御嵩町
新潟県	新潟市、三条市、長岡市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、燕市、糸魚川市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、聖籠町、見附市、村上市、田上町、湯沢町、妙高市、南魚沼市、胎内市、弥彦村	静岡県	浜松市、沼津市、富士市、静岡市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、湖西市、伊豆市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、清水町、長泉町、小山町、御前崎市、吉田町、菊川市、森町、伊豆の国市、牧之原市
富山県	富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、南砺市、射水市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町	愛知県	名古屋市、岡崎市、一宮市、瀬戸市、春日井市、津島市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、東郷町、長久手市、豊山町、清須市、大口町、扶桑町、大治町、豊江町、飛島村、弥富市、阿久比町、東浦町、南知多町、武豊町、幸田町、豊橋市、半田市、豊川市、常滑市、新城市、美浜町、愛西市、北名古屋市、みよし市、あま市
石川県	内灘町、金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、津幡町、かほく市、白山市、能美市、野々市市、志賀町、川北町、宝達志水町、中能登町、能登町		
福井県	福井市、鯖江市、坂井市、美浜町、高浜町、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、あわら市、越前市、永平寺町、越前町、おおい町		

市街地図(10 m / 25 m / 50 mスケール)の収録エリア

90%以上収録地域 → 無印、50%以上収録地域 → □、50%未満収録地域 → ■

三重県	津市、 松阪市 、いなべ市、東員町、菟野町、四日市市、伊勢市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、 亀山市 、鳥羽市、 熊野市 、玉城町、度会町、志摩市、伊賀市、木曾岬町、朝日町、川越町、 多気町 、 明和町 、南伊勢町、 紀北町 、 御浜町 、 紀宝町	和歌山市、海南市、岩出市、 かつらぎ町 、 湯浅町 、橋本市、有田市、御坊市、 田辺市 、新宮市、白浜町、那智勝浦町、紀の川市、 有田川町 、 高野町 、 紀美野町 、 九度山町 、 広川町 、 美浜町 、 日高町 、 由良町 、 印南町 、 みなべ町 、 日高川町 、 上富田町 、 太地町 、 串本町
滋賀県	近江八幡市、草津市、 大津市 、 彦根市 、 長浜市 、守山市、栗東市、 野洲市 、湖南市、甲賀市、日野町、竜王町、 米原市 、 高島市 、東近江市、 愛荘町 、 豊郷町 、 甲良町 、 多賀町	鳥取県 鳥取市 、米子市、倉吉市、境港市、 岩美町 、三朝町、 日吉津村 、 八頭町 、 湯梨浜町 、 琴浦町 、 北栄町 、 伯耆町
京都府	城陽市、向日市、八幡市、京田辺市、久御山町、井手町、木津川市、精華町、京都市、 福知山市 、 舞鶴市 、 綾部市 、宇治市、 宮津市 、 亀岡市 、 長岡京市 、 宇治田原町 、 笠置町 、 和束町 、 南山城村 、 京丹後市 、 南丹市 、 大山崎町 、 伊根町 、 与謝野町	島根県 松江市 、 浜田市 、 出雲市 、 益田市 、 大田市 、 安来市 、 江津市 、 雲南市
大阪府	大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、泉佐野市、富田林市、寝屋川市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、忠岡町、田尻町、高槻市、河内長野市、泉南市、島本町、豊能町、能勢町、熊取町、岬町、太子町、河内町、千早赤阪村	岡山県 岡山市、倉敷市、玉野市、備前市、早島町、勝央町、久米南町、 津山市 、笠岡市、井原市、総社市、 高梁市 、 新見市 、和気町、里庄町、矢掛町、鏡野町、奈義町、西粟倉村、美作市、吉備中央町、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美咲町、浅口市
兵庫県	尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、三木市、播磨町、 福崎町 、太子町、 上郡町 、神戸市、 姫路市 、洲本市、相生市、 豊岡市 、加古川市、赤穂市、西脇市、高砂市、川西市、小野市、三田市、加西市、 篠山市 、猪名川町、稲美町、淡路市、南あわじ市、 養父市 、 丹波市 、 宍粟市 、 朝来市 、 たつの市 、 多可町 、 香美町 、 新温泉町 、 加東市 、 市川町 、 神河町	広島県 呉市 、尾道市、 福山市 、 府中市 、府中町、坂町、江田島市、 広島市 、竹原市、三原市、 三次市 、 庄原市 、 大竹市 、 東広島市 、 廿日市市 、 海田町 、 熊野町 、 安芸高田市
奈良県	奈良市、橿原市、 桜井市 、生駒市、平群町、三郷町、斑鳩町、 田原本町 、 明日香村 、大和高田市、大和郡山市、天理市、五條市、御所市、香芝市、葛城市、上牧町、王寺町、 広陵町 、 河合町 、 安堵町 、 川西町 、 宇陀市 、 三宅町 、 高取町 、 吉野町 、 大淀町 、 下市町 、 黒滝村	山口県 下関市 、宇部市、 山口市 、 萩市 、防府市、下松市、 岩国市 、 山陽小野田市 、 光市 、 長門市 、 柳井市 、 美祢市 、 周南市 、 和木町 、 平生町 、 周防大島町 、 田布施町
		徳島県 徳島市、鳴門市、小松島市、 阿南市 、 吉野川市 、 石井町 、 松茂町 、 北島町 、 藍住町 、 板野町 、 上板町 、 阿波市 、 美馬市 、 三好市 、 つるぎ町 、 東みよし町
		香川県 高松市 、 丸亀市 、 坂出市 、 善通寺市 、 観音寺市 、 さぬき市 、 東かがわ市 、 土庄町 、 綾川町 、 宇多津町 、 まんのう町 、 琴平町 、 多度津町 、 三豊市 、 小豆島町 、 三木町
		愛媛県 松山市 、 今治市 、 宇和島市 、 八幡浜市 、 新居浜市 、 西条市 、 大洲市 、 伊予市 、 四国中央市 、 松前町 、 砥部町 、 伊方町 、 久万高原町 、 西予市 、 東温市 、 内子町

高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、 須崎市、宿毛市、土佐清水市、佐川町、 梶原町、四万十市、香南市、香美市、 四万十町、黒潮町、いの町、越知町
福岡県	糸島市、北九州市、福岡市、大牟田市、 久留米市、中間市、小郡市、春日市、宗像市、 志免町、粕屋町、水巻町、直方市、飯塚市、 田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、 行橋市、豊前市、筑紫野市、大野城市、 太宰府市、古賀市、那珂川町、宇美町、 篠栗町、須恵町、新宮町、久山町、芦屋町、 岡垣町、遠賀町、うきは市、大刀洗町、 刈田町、吉富町、福津市、宮若市、嘉麻市、 朝倉市、鞍手町、大木町、築上町、みやま市、 小竹町、桂川町、筑前町、広川町、香春町、 添田町、糸田町、川崎町、大任町、赤村、 福智町、みやこ町
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、 武雄市、鹿島市、小城市、白石町、嬉野市、 神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、 みやき町
長崎県	佐世保市、時津町、長崎市、島原市、諫早市、 大村市、平戸市、松浦市、五島市、波佐見町、 対馬市、杵岐市、西海市、雲仙市、長与町、 南島原市、東彼杵町、川棚町、佐々町
熊本県	熊本市*、玉名市、八代市、人吉市、荒尾市、 水俣市、山鹿市、菊池市、宇土市、大津町、 菊陽町、合志市、益城町、阿蘇市、南小国町、 小国町、上天草市、宇城市、高森町、天草市、 玉東町、長洲町、御船町、嘉島町、甲佐町、 氷川町、芦北町、津奈木町 *印…熊本市南区は50%以上収録地域になります。
大分県	大分市、別府市、中津市、日田市、佐伯市、 臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、 杵築市、宇佐市、豊後大野市、由布市、 九重町、玖珠町、国東市、日出町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、 日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、 高原町、国富町、高鍋町、新富町、木城町、 川南町、都農町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、姶良市、枕崎市、 いちき串木野市、阿久根市、出水市、伊佐市、 指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、 日置市、曾於市、霧島市、南さつま市、 志布志市、奄美市、南九州市、さつま町

沖縄県

那覇市、宜野湾市、浦添市、名護市、糸満市、
沖縄市、本部町、読谷村、嘉手納町、北谷町、
北中城村、中城村、西原町、豊見城市、
与那原町、南風原町、石垣市、うるま市、
宮古島市、南城市、八重瀬町



- 地図ソフトの更新により収録エリアは変わります。
- 収録されている市街地図データの調査終了時期は一部を除き、2012年7月です。

細街路(日本全国)探索エリア

細街路(日本全国)を含めたルートの探索を行うことができます。

探索されたルートは細街路中ではピンクで表示されます。



狭すぎて、自動車が通行できない細街路を案内することがあります。
運転の際は現地の状況に従ってください。

VICS についてのお問い合わせ

VICSの概要

VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

〈概念〉

道路交通にかかわる様々な情報を、直接車載機にリアルタイムに提供することにより、ドライバーが適切なルートを選ぶことができ、その結果として、車の流れの分散、渋滞の緩和が促され、道路交通の安全性、円滑性が向上することを目的としています。

〈システム概要〉

このシステムは、(一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)*¹から、FM多重放送*²を使ってリアルタイム*³に送られてくる道路交通情報(渋滞、事故、工事、所要時間、駐車場など)を、車載機で受信、表示するというものです。表示形態は文字情報表示(レベル1)、簡易図形表示(レベル2)、地図表示(レベル3)の3段階あります。

- * 1 (一財)道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)は、警察庁、総務省、国土交通省を主務官庁とする公益の財団法人です。
- * 2 FM多重放送では広域情報を提供します。
- * 3 通信処理のため、5分程度の遅れはあります。

〈サービスエリア〉

東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、大阪府、愛知県、京都府、兵庫県、長野県、広島県、福岡県、宮城県、北海道(札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区)、静岡県、群馬県、岡山県、福島県、沖縄県、宮崎県、岐阜県、三重県、山口県、茨城県、和歌山県、滋賀県、奈良県、栃木県、山梨県、新潟県、石川県、熊本県、大分県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、佐賀県、長崎県、鹿児島県、福井県、富山県、山形県、秋田県、青森県、島根県、鳥取県、岩手県で展開されています。(平成24年3月1日現在)

〈情報提供時間〉

FM多重放送は第1、第3日曜日の翌日の月曜日、午前1時～午前5時まで放送を休止する場合があります。
FM多重放送他、VICS情報の提供時間についてはVICSセンターにお問い合わせください。
※ VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

〈情報の更新について〉

おおむね、5分間隔で更新されます。

〈FM文字多重放送の一般情報(番組)の道路交通情報とのちがいについて〉

一般情報の道路交通情報が30分ごとに手入力されるのに対して、VICSではリアルタイムに情報を提供しています。

〈VICSリンクデータベースの著作権について〉

VICS リンクデータベースの著作権は(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会が有しています。

- VICS リンク：各メディアを介して車両へ道路交通情報を提供する際、道路の統一的な表現手段として「VICSリンク」を定義しています。リンクは道路ネットワークを交差点、インターチェンジ、ジャンクション、分岐点、合流点等の適切な分割点(ノード)で分割し、その分割単位に付番したものであり、道路ネットワーク上の道路交通情報の表現が的確かつ効率的に行えます。
- VICS リンクデータベース：VICS リンクと(一財)日本デジタル道路地図協会が製作しているデジタル地図との対応テーブル。

〈VICSに関する問い合わせ先について〉

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

問い合わせ項目	問い合わせ先	お買い上げのHonda販売店	VICSセンター
VICSの概念、計画			○
レベル1の表示内容			○
レベル2の表示内容			○
レベル3の表示内容		○	
サービスエリア		○	
受信可否		○	
車載機の調子、機能、使い方		○	

※ VICS 関連商品、VICS 情報の受信エリアや内容の概略、レベル3(地図)表示の内容に関することは弊社「お客様相談室」(連絡先は裏表紙をご覧ください)へお問い合わせください。

※ VICS の概念、計画、または表示された情報内容に関することは VICS センターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)

VICSセンター

お問い合わせ窓口 サービス・サポート・センター

電話番号 0570-00-8831

※PHS、IP電話等からはご利用できません。

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※お電話のお問い合わせにつきましては、内容の正確な確認のため、録音させていただいております。

電話受付時間 平日9:30~17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

FAX番号 (03)3562-1719

FAX受付時間 24時間

URL <http://www.vics.or.jp/index1.html>

※お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めのHonda販売店または、裏表紙に記載している株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」までご連絡いただくことをおすすめします。

※PHSからはご利用できません。

〈使用上のご注意〉

- 提供された情報と実際の交通規制が異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供される情報はあくまでも参考情報です。
- 提供されるデータ等は最新情報でない場合があります。

VICS 削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にとまじり、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS 情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1) VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2) VICS サービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3) 加入者

当センターとVICS サービス契約を締結した者

(4) VICS デスクランプラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

(1) 文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2) 簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3) 地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICS サービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランプラー 1台毎に1のVICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応FM受信機(VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICS サービスの種類に対応したVICS 対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める月額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICS サービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表] 視聴料金 300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。

修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

共通

症状	原因	処置	参考ページ
音が出ない。	音量が小さいまたは音の大きさが“0”になっている。	▼ / ▲ (VOL)で調整してください。	H-8
	音質・音量バランスが片方に寄っている。	フェード・バランスを正しく調整してください。 ※2スピーカーの場合はBALANCEとFADEを“0”に合わせます。	H-14
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—
	Siri Eyes Freeが起動中である。	Siri Eyes Freeを終了してください。	S-26
本機に登録されていた情報が消失している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
ディスクが出ない。	ディスクに汚れ、キズ、指紋がついている。	ディスクが出なくなった場合は、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。取り出したディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。 ※ディスク要因で読み込みできないときなど、本機を操作してから排出されるまでに時間がかかる場合があります。	T-14
ディスクを読み込まない。			
タッチパネルが操作できない。	タッチパネルに保護シートなどが貼ってある。	保護シートなどの種類によってはタッチパネルが誤動作したり反応しない場合があります。保護シート等を取り外してご使用ください。	—
音が勝手に大きくなる、または小さくなる。	車速連動音量がLOW / MIDDLE / HIGHになっている。	車速連動音量をOFFに設定してください。	H-22
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	本機を長時間使用していた。	長時間使用すると、本機内部の温度が上がってディスク自体が熱くなることがあります。本機のディスクの読み取り性能およびディスクへの影響はありませんので気をつけて取り出してください。	—
	ディスクを長時間再生していた。		

モニター

症状	原因	処置	参考ページ
映像が出ない。	走行している。	走行中は映像を見ることができません。音声のみでお楽しみください。	—
	明るさ／コントラスト調整が暗い方いっぱいになっている。	明るさ／コントラストを調整してください。	H-10
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示させてください。	H-13
	VTRモードになっている。	外部機器の電源を入れる、または他のモードに切り替えてください。(VTR未入力時は黒い画面になります。)	—
表示が暗く見づらい。	車両側のオートライトが働いている。	画面の明るさはイルミに連動します。(トンネル内など画面が急に暗くなります。)オートライトが働いていないとき、またはライトをONにしていると画面は明るくなります。	—
画面が乱れる。	液晶画面の近くに携帯電話や無線機がある。	携帯電話などの妨害により画面が乱れる場合があります。液晶画面の近くにこれらを近づけないでください。	—
画面が曇る。	雨の日または湿度が異常に高いとき、エアコンの冷風が直接本機に当たっている。	まれに画面に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと1時間程度で結露は取り除かれ、曇りはなくなります。	—
DVDやテレビなどの映像色や色合いが悪い。	調整がずれている。	明るさ、コントラスト、色の濃さ、色合いを調整してください。	H-10
映像にはん点やしま模様が出る。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
液晶パネルに黒点や光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。	—
リア席モニターにCDやiPodなど音楽関連の画面が表示されない。	音楽関連の画面は表示されません。	故障ではありません。リア席モニターに表示されるのは映像関連(DVDやDigital TV、iPodビデオなど)となります。	T-6

故障かな？と思ったら

自転車マーク関係

症状	原因	処置	参考ページ
平面地図画面と3D表示で地名表示が異なる。	画面が煩雑(複雑)にならないよう、文字情報の間引き処理を行っています。また道路や地名などを複数表示することもあります。	故障ではありません。	—
現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、表示誤差が生じた。	GPS衛星電波を受信してください。	T-8
自転車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	現在地 をタッチしてください。	—
自転車マークが表示されない。			
走行すると道路が消える。	走行中は細街路を表示しません。	故障ではありません。	A-6
地図画面上のGPS受信表示がいつまでも灰色のまま。	GPSアンテナ上に物が置いてあるため、GPS衛星からの電波が受信できない。	アンテナ取付位置上部に物を置いたり、GPSアンテナにペンキやワックスなどを塗ったりしないでください。また、積もった雪は、取り除いてください。	A-7
	GPS衛星の受信感度が悪い。	GPS衛星からの電波が安定するまでお待ちください。	T-8
自転車位置精度が悪い。	タイヤチェーンの装着、本システムの他車への載せ替えなどにより、車速パルスからの車速推定にずれ(進みや遅れ)が発生した。	しばらく(およそ30 km/h以上の速度で30分程度)走行すると自動的に調整されます。	B-8
	GPS内蔵レーダー探知機を設置している。	本機やGPSアンテナから離れた位置にGPS内蔵レーダー探知機を設置するか、使用しないでください。	—

音声案内関係

症状	原因	処置	参考ページ
音声案内しない。	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再度ルート探索を行ってください。	D-4
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	D-12
	消音 をタッチして音声を出なくしている。	消音 をタッチして解除してください。	F-19
実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールに従って走行してください。	—

目的地／経由地／メニュー項目などが選択または設定できない

症状	原因	処置	参考ページ
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再度経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。	－
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。	D-4
	ルート案内が停止になっている。	ルート案内を開始してください。	D-12
ルート探索後、有料道路出入口付近を通過しても、案内記号が表示されない。	自車マークが探索されたルート上を走行していない。(案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみを表示)	探索されたルート上を走行してください。	－
自動再探索ができない。	道幅が3 m以下の細街路を走行している。または自動ルートがない。	探索対象道路を走行してください。または手動で再度探索をやりなおしてください。ただし、このときは全ルート探索を行います。	D-17
経由地が設定できない。	すでに経由地を5カ所設定している。	経由地は6つ以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。	－

必要なとき

ルート探索関係

症状	原因	処置	参考ページ
探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。	目的地を近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。	－
	出発地と目的地が近い。	距離を離してください。	－
探索されたルートが途切れて表示される。	探索では、細街路*を使用しないエリアがあるため* ¹ 、現在地または経由地が途中から表示されたり、または途切れたりすることがあります。	故障ではありません。	－
遠回りな自動ルートを探る。	探索では、細街路*を使用しないエリアがあるため* ¹ 、遠回りなルートになることがあります。	基本道路(細街路以外の道路)に近づけて設定してください。	－

* 1…政令指定都市、および県庁所在地以外(地図ソフトの更新により変わることがあります。)

※細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことをいいます。

故障かな？と思ったら

ルート探索関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
遠回りな自動ルートを探索する。	出発地、目的地付近の道路に規制がある(一方通行など)ときに遠回りのルートを出すことがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。 または、通りたいルートに経由地を設定してください。	—
	細街路*を探索に使用するエリアでは、現在地および目的地(経由地)付近では左折を優先しているため、遠回りになることがあります。	故障ではありません。	—
	車の方向(矢印の向き)が目的地方向と逆のときは進行方向にそってルートを作成するため、遠回りのルートを作成することがあります。	故障ではありません。	—
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。	地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げのHonda販売店にご相談ください。	—
出発地、経由地、目的地から離れたポイントにルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。	近くの道路上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。	—
意図したルートとは違うルートが引かれる。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地と逆の車線に設定されたりし、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	T-44
	目的地を建物の中心に設定している。		
	中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	一方通行を考慮してルート探索するので遠回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	T-44

※細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことをいいます。

VICS 関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
VICS情報(レベル1とレベル2)が表示されない。	VICS情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示できません。	—
	交通情報番組(VICS) を選んでいない。	交通情報番組(VICS) を選んでください。	E-3

VICS 関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
VICS 情報(レベル3) が表示されない。	VICS 情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示 できません。	—
	交通情報番組(VICS) を選んでいない。	交通情報番組(VICS) を選んでください。	E-3
	地図の縮尺スケールが拡大されてい る。	地図の縮尺スケールを 1 km 以下に してください。	B-7
一般情報が表示され ない。	一般情報を受信していない。	情報を受信していないときは、表示 できません。	—
	一般情報番組 を選んでいない。	一般情報番組 を選んでください。	E-3

必要
な
と
き

カメラシステム関係

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
フロント・コーナー カメラ映像が出ない。	高速で走行している。	低速で走行してください。	—
リアカメラ映像が出 ない。	セレクトレバーがRの位置になっ ていない。	セレクトレバーがR(リバース)の位置 になっているか確認してください。	—
カメラ映像の映りが 悪い。	レンズカバーが汚れている。	水を含ませた柔らかい布などで軽く 拭いてください。	—
カメラ映像に白い光 の縦線が入る。	太陽光やヘッドランプの強い光が直 接カメラに入っている。	CCDカメラ特有の現象であり、故 障ではありません。直接周囲の状況 の安全確認をしながら、運転してく ださい。	—
	車体やその周辺部で反射した太陽光 などの強い光が直接カメラに入っ ている。		
カメラのガイド表示 が出ない。	ガイド表示が設定されていない。	Honda 販売店で車種にあわせた設 定と調整を行ってください。	—
	ガイド表示が“OFF” になっている。	コーナーカメラのガイド表示の場合 は、画面をタッチして ガイドON を タッチしてください。	G-10
		リアカメラのガイド表示の場合は、セ レクトレバーがR(リバース)の位置に なっている状態で画面をタッチし、 ガイドON をタッチしてください。	G-14
	フロントカメラはガイドを表示しません。	—	—
カメラのガイド表示 が正しく合っていない。	ガイド表示が正しく調整されていな い。	Honda 販売店での調整が必要です。	—
	乗車している人数や荷物、地形の影 響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を下ろした状態で ご確認ください。ガイド表示の調整 が必要な場合はHonda 販売店にご 相談ください。	—

故障かな？と思ったら

ラジオ

症状	原因	処置	参考ページ
自動選局ができない。	強い電波の放送局がない。	手動で選局してください。	J-3
放送局リスト選局でリストが自動で表示されない。	トンネルの中など放送局の電波が弱い。	場所を移動し、手動でリスト更新してください。	J-6
“ジージー、ザーザー”という雑音が多い。	放送局の電波が弱い。	他のチャンネルを選局してみてください。	J-3
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音が少なくなります。	—
ラジオの入りが悪い。	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品が動くとノイズが入る場合があります。電装品の動作を止めると良くなる場合があります。	—
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。	—

iPod

症状	原因	処置	参考ページ
音声流れない。	iPod/iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している。	iPod/iPhoneをBLUETOOTH Audioに登録している場合、音声をBLUETOOTHで再生することがあります。iPod/iPhone本体でBLUETOOTHを切断するか、音声出力を切り替えてください。	—
正常に動作しない。	接続不良。	USB接続ジャックに、iPod(と別売のiPod接続コード)を確実に接続してください。iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。	N-13
	再生可能なデータがない。	再生可能なデータをiPod本体に転送してください。	—
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	iPodのソフトウェアを本機で対応しているバージョンにバージョンアップしてください。	—
	iPodが正常に動作していない。	iPodを確認してください。iPodをリセットすると改善する場合があります。	—
iPodを接続しているのに画面にiPodの接続をうながすメッセージが表示される。	iPod認証中に車のエンジンスイッチを変更した。	オーディオを終了し、iPodを接続しなおして再度電源を入れてください。	H-3、N-13

iPod

症状	原因	処置	参考ページ
ビデオ再生しない。 (映像がでない。)	ケーブルを正しく接続していない。 または iPod 本体に付属のケーブル を使用している。	音声・映像を再生させる(出力させる) には、別売の iPod 接続コード に別売の USB 接続ジャックと VTR コードを全て接続する必要があります。	N-13
選択できないビデオ がある。	アーティスト名、アルバム名などの タイトルを登録していない。	本機でビデオを再生させるにはタイ トルを登録してください。	—
ビデオが途中から再 生する。	各動画コンテンツごとにリジューム 情報を iPod 本体がおぼえています。	リジューム情報をおぼえないように するには、iPod に付属の iTunes * ¹ で再生位置を記録のチェックを OFF にしてください。	—
ビデオ再生ができな い。	iPod がビデオ再生に対応していな い。	Lightning ケーブルで接続する iPod / iPhone では、ビデオ再生できません。	—
	iPod のソフトウェアバージョンが 古い。	iPod のソフトウェアを本機で対応し ているバージョンにしてください。	—
	別売の iPod 用接続ケーブルで接続 されていない。	ビデオ再生するには、別売の iPod 用 接続ケーブルで接続してください。	—
ジャンルが正しく表 示されない。	iPod / iPhone が間違っただータを 送信している。	iPod / iPhone の機種 / バージョンに よって発生することがあります。iPod / iPhone のソフトウェアを最新バー ジョンにしてください。	—
再生中のタイトルが 正しく検索されない。	iPod / iPhone が間違っただータを 送信している。	iPod / iPhone の機種 / バージョンに よって発生することがあります。iPod / iPhone のソフトウェアを最新バー ジョンにしてください。	—
	タイトル情報が入っていない曲を検 索している。	タイトル情報が入っていない曲は iPod / iPhone の機種 / バージョン によっては検索ができない場合があ ります。	—

* 1…アップル社が開発および配布している動画および音楽再生・管理ソフト

CD・MP3／WMA

症状	原因	処置	参考ページ
CD・MP3／WMAモードに切り替わらない。	ディスクが挿入されていない。	ディスクを挿入してください。	—
<ul style="list-style-type: none"> ●再生しなかったり、大きな雑音が出たり、再生が途中で止まる。 ●音が飛んだり音質が悪い。 	ディスクの不良。	他のディスクを聞いてみてください。よくなればディスクの不良の可能性があります。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクのクリーニング(やわらかい布などでディスクの汚れを拭きとるなど)をしてみてください。また、キズのあるディスクは使用しないでください。	T-14
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部につまってしまうおそれがあります。ラベルがはがれてないか確認してください。はがれているディスクは挿入しないでください。	—
	CD-Rの場合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に左右されます。書き込みの深さ、幅(面積)などの規格が合わないと音切れや音飛びをしたり、再生できない場合があります。	書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので一番遅い速度での書き込みをお試しください。	—
ディスクが入らない。	結露している。	本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	すでにディスクが入っていて2枚目を入れようとしている。	入っているディスクを取り出してから、次のディスクを挿入してください。	—
CD-RやCD-RWを再生できない。	ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。	—
ディスクを取り出したときディスクが熱い。	<ul style="list-style-type: none"> ●本体を長時間使用していた。 ●ディスクを長時間再生していた。 	長時間使用すると本体内部の温度が上がリ、ディスクを取り出すとディスク自体が熱くなっていることがあります。本体のディスク読み取り性能およびディスクへの影響はございませんので気をつけて取り出してください。	—

CD・MP3 / WMA

症状	原因	処置	参考ページ
MP3 / WMA ファイルを再生できない。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在しているディスクを再生しようとした。	CD-DAデータとMP3ファイルが混在している場合、MP3ファイルは再生できません。	—
	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
	対応していないビットレートで記録されている。	対応しているビットレートで記録されたMP3 / WMAファイルにしてください。	T-28
再生が始まるまでに時間がかかる。または止まる。	MP3 / WMAディスクを再生する場合ディスクに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3 / WMA以外のデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があっていない。	ディスクを交換してください。 (MP3形式でないファイルに「.mp3」、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けたCD-R、CD-RWを再生しないでください。)	—
聞きたいMP3 / WMAファイルが見つからない。	MP3ファイルに「.mp3」、WMAファイルに「.wma」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」、WMAファイルに拡張子「.wma」の付いたディスクに交換してください。	—
フォルダ名やファイル名が正しく表示されない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクに交換してください。	—
ファイル再生が記録した順と異なる。	MP3 / WMAファイルの再生順序は、CD-R / CD-RW書き込み時にライティングソフトがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性があります。	ライティングソフトウェアによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字(O1、O2など)を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。ライティングソフトウェアの説明書でご確認ください。	—
CDのアーティスト名(タイトル名)などが異なって表示される。	Gracenoteデータベースは全てのタイトル名の取得、正確性を保証するものではありません。(同じ条件のCDが存在する場合、誤って表示されることがあります。)	カスタムアップデート(個別更新)をしてタイトル情報を更新してください。	I-12

Music Rack

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
CDを再生しても、 自動で録音されない。	録音設定が“手動録音”に設定されている。	録音設定を“自動録音”に設定してください。	I-3
	MP3/WMAを再生している。	MP3/WMAは録音できません。 CDが挿入されているかご確認ください。	—
録音できない。	本機の容量が不足している。	使用状況を確認してください。録音済みの曲(アルバムやトラック)を削除すると新たに録音できます。	I-9、 L-18、 L-23、
録音したはずの曲 (アルバム)が 再生されない。	再生選択画面で再生させない設定にしている。(チェックマーク(✓)を消している。)	チェックマーク(✓)を付けてください。	L-15
録音したはずの曲 (アルバム)が 再生されない。 または止まる。	録音曲数が多い。	曲数が多くなるとデータのチェック時間も長くなります。しばらくお待ちください。	—
現在地 をタッチしても現在地が表示されない。	Gracenoteデータベース更新中または音楽データ初期化中である。	更新後または初期化後にタッチしてください。	—
ジャケット写真を 登録できない。	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。	—
ジャケット写真が 小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—

SD / USB

症状	原因	処置	参考ページ
SDカードを初期化できない。	誤消去防止スイッチを「LOCK」方向にしている。	SDカードに誤消去防止スイッチが付いている場合、「LOCK」にしていると初期化できません。「LOCK」を解除してください。	—
再生画面を表示しない。	SDカード未挿入 / USB機器未接続。	SDカードを挿入またはUSB機器を接続してください。	—
再生が始まらない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)していない。	SDカードを本機で初期化(フォーマット)してからファイルを入れて再生させてください。	G-21
	本機で再生できないSDカード / USB機器を挿入 / 接続している。	再生可能なSDカード / USB機器を挿入 / 接続してください。	A-16、M-9
		対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。	T-26、T-30、T-31
	動作モードが間違っている。	再生したい動作モードを選んでください。	H-9
結露している。	SDカードを取り出してエンジンを切った状態でしばらく放置してから使用してください。	A-16	
再生が始まるまでに時間がかかる。	SDカードまたはUSB機器に記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。対応していないデータや必要ないフォルダは書き込まないようにしてください。	—
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子があていない。	拡張子を確認してください。	T-26、T-30、T-31
ファイルを認識しない。	フォルダ名、ファイル名が長すぎる。	フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角256文字、全角128文字を超える場合、認識できません。フォルダ名、ファイル名を短くしてください。	—
ファイル再生が記録した順と異なる。	SD / USB機器書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並び替える可能性がある。	SD / USB機器へ書き込む際、パソコン上で期待する順番に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。	—
MP3 / WMA / AAC ファイルを再生できない。	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMP3 / WMA / AACファイルにしてください。	T-26
	「音楽ファイル」モードになっていない。	モード切替で「音楽ファイル」モードに切り替えてください。	H-9

故障かな？と思ったら

SD / USB

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
MP3 / WMA / AAC ファイルを再生でき ない。	著作権保護された音楽データで記録 されている。	著作権保護された音楽ファイル(SD- Audio規格など)は再生できません。 対応しているファイル形式で記録さ れたMP3 / WMA / AACファイル を再生してください。	—
	SD-Audioで録音された音楽を再生 しようとした。		
JPEGファイルを再 生できない。	対応していないファイル形式で記 録されている。	対応しているファイル形式で記録さ れたJPEGファイルにしてください。	T-30
	「画像ファイル」モードになってい ない。	モード切替で「画像ファイル」モード に切り替えてください。	H-9
AACファイルを再生 できない。	AACファイルに画像データ(iTunes のネットワークを除く)、映像デー タが混在しているSDカードまたは USB機器を再生しようとした。	AACファイルに画像データ(iTunes のネットワークを除く)、映像デー タ、その他音楽データでないものが含 まれる場合AACファイルは再生できま せん。	—
MP3 / WMA / AAC 再生時にエラーメッ セージが表示される。	Macで作成したファイルをSDカー ド / USBフラッシュメモリで再生 している。	Macでファイルを作成すると、作成 したファイルと一緒に隠しファイル が作成されます。そのファイルを一 緒にフォルダの中にコピーしている と、再生時にエラーが発生します。 使用するSDカード / USBフラッ シュメモリから隠しファイルを削除 してください。	—
ウォークマン [®] でMP3 / WMA / AACファ イルが再生できない。	Media Goから音楽ファイルを転送 した。	Media Goから転送した音楽ファイル は再生できません。 x-アプリまたはSonicStageから転送 してください。	—
	ドラッグ&ドロップ転送を行って いる。 ドラッグ&ドロップ転送した曲は、 全曲 / アルバム / アーティスト / ジャンル / グループ / プレイリス トの絞込み選曲を行えません。	ドラッグ&ドロップ転送した曲は、 選曲モードのフォルダから選曲する ことで再生することができます。	—
		x-アプリまたはSonicStageを使用 することで、MP3 / WMA / AACを ATRAC AD規格で転送することが できます。x-アプリまたはSonic Stageのアプリケーションを使用し て転送した曲は、全曲 / アルバム / アーティスト / ジャンル / グループ / プレイリストの絞込み選曲を行え ます。	T-20
USB機器を認識し ていない。	対応していないUSB機器の可能性 があります。	別のUSB機器で試してください。	—
		本機に対応しているウォークマン [®] か確認してください。	T-20

SD / USB

症状	原因	処置	参考ページ
USB機器を認識していない。	USB機器が正しく接続されていない。	正しく接続されているか確認してください。	M-9
	USB接続ジャックが正しく接続されていない。	Honda販売店にお問い合わせください。	—
ジャケット写真が表示できない。	MP3/WMA/AACファイルにジャケット写真が登録されていない。	iTunes、Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。	—
	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたJPEGファイルを使用してください。	—
	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3/WMA/AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	T-27
	1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。	1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。	—
音楽ファイル再生中に音飛びが発生する。	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	MP3/WMA/AACファイルに登録されているジャケット写真の画像サイズが大きいと音飛びする場合があります。小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。	—
ジャケット写真が小さく表示される。	登録に使用する画像の解像度が小さいと、ジャケット写真表示領域より小さく表示される場合があります。	176×176ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズを推奨します。	—

必要なとき

- 対応ファイル形式については [「音楽ファイル\(MP3/WMA/AAC\)について」](#) T-26 / [「画像ファイル\(JPEG\)について」](#) T-30 / [「動画ファイル\(MPEG4/H.264\)について」](#) T-31

HDMI

症状	原因	処置	参考ページ
音声が流れない。	HDMI接続する機器をBLUETOOTH Audioに登録している。	HDMI接続する機器をBLUETOOTH Audioに登録している場合、音声をBLUETOOTHで再生することがあります。iPod/iPhone本体でBLUETOOTHを切断するか、音声出力を切り替えてください。	—

DVD

症状	原因	処置	参考ページ
字幕が出ない。	再生しているDVDビデオに字幕が収録されていない。	字幕を表示することはできません。字幕が収録されているか確認してください。	—
	字幕がOFFになっている。	設定を変えてください。	P-13
音声が出ない。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送り中である。	静止画、コマ戻し／コマ送り、スロー戻し／スロー送りを止めて通常再生してください。	—
再生を始めない。	ディスクが入っていない、または、裏向きにセットされている。	印刷面を上にして、正しくセットしてください。	—
	ディスクに汚れ、キズ、指紋がある。	ディスクの汚れ、指紋を拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	T-14
	ディスクにラベルが貼ってある。	ラベルがはがれているとこすれたり、ラベルがはがれ製品内部にこまって故障の原因になりますので使用しないでください。	—
	結露している。	ディスクを取り出して、本機をしばらく放置してから使ってください。	—
	本機で再生できないディスクを入れている。	本機で再生できるディスクを入れてください。	T-15
	本機で再生できないリージョン番号のDVDビデオを入れている。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	T-15
	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	P-24
“⊙” (禁止マーク) を表示するだけで、操作ができない。	再生しているディスクがその操作を禁止している。 ディスクの構造上対応できない操作をしている。	再生しているディスクまたは場面では、その操作をすることはできません。(ディスクに付属されている説明書もあわせてご覧ください。)再生しているディスクを確認してください。	—
音声や映像が乱れる。	ディスクに汚れ、キズがある。	ディスクの汚れを拭きとってください。また、キズのついているディスクは使用しないでください。	T-14
	振動の生じる場所で使用している。	本機に振動が加わると、音飛びをしたり、映像が乱れることがあります。振動が止まると、通常の動作に戻ります。	—

DVD

症状	原因	処置	参考ページ
音声言語／字幕言語が切り替わらない。	再生しているDVDビデオに、1つの言語しか収録されていない。	故障ではありません。複数の言語が収録されていないディスクの場合は、言語を切り替えることはできません。	—
	再生しているDVDビデオが、言語の切り替えを禁止している。	故障ではありません。言語を切り替えることはできません。	—
各種設定で選んだ音声言語／字幕言語にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていない言語を選んでいる。	ディスクに収録されていない言語には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されている言語のいずれかで再生してください。	—
字幕が消せない。	再生しているDVDビデオが、字幕を消すことを禁止している。	故障ではありません。字幕を消すことはできません。	—
各種設定で選んだアスペクト比にならない。	再生しているDVDビデオに収録されていないアスペクト比を選んでいる。	ディスクに収録されていないアスペクト比には切り替えられません。この場合は、ディスクに収録されているアスペクト比のいずれかで再生してください。	—
アングルを切り替えることができない。	再生しているDVDビデオには、1つのアングルしか収録されていない、または、一部の場面にのみ、複数のアングルが収録されている。	複数のアングルが収録されていないディスク／場面では、アングルを切り替えることはできません。アングルが収録されている所で切り替えてください。	—
	再生しているDVDビデオが、アングルの切り替えを禁止している。	故障ではありません。アングルを切り替えることはできません。	—
タイトルを選んで決定(実行)しても、再生が始まらない。	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	初期設定の視聴制限レベルを確認してください。	P-24
視聴制限をしているのに、再生が制限されない。	再生しているDVDビデオには、視聴制限が収録されていない。	故障ではありません。視聴制限をすることはできません。	—
視聴制限を解除できない。	暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。	P-25
	暗証番号を忘れてしまった。	「0000」と入力してください。	P-25
DVDメニューが外国語で表示される。	“メニュー言語”が、外国語に設定されている。または外国語のみで収録されている。	“メニュー言語”を日本語に設定すると、ディスクに日本語が収録されていれば、DVDメニューが日本語で表示されます。メニュー言語を確認してください。	P-20
VRディスクを再生できない。	ファイナライズしていない。	ディスクのファイナライズ処理をしてください。	—

Digital TV

症状	原因	処置	参考ページ
映像がない。	<ul style="list-style-type: none"> ● miniB-CASカードを挿入していない。 ● miniB-CASカードが裏返しで挿入されている。 	miniB-CASカードを正しく挿入してください。	Q-2
文字スーパーが出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 文字スーパーのある番組を選局していない。 ● 文字スーパー表示設定で 表示しない にしている。 ● 受信モードがワンセグである。 	文字スーパー表示設定で言語を選んでください。また、ワンセグの場合文字スーパーは表示されません。	Q-10
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	Q-10
	字幕表示の設定がされていない。	字幕表示を設定してください。	
受信できない。	受信できる放送局がない。	再スキャンを行ってください。	Q-10
映像が止まったりモザイクがかかる。	電波が弱い場所で受信している。	自動切替に設定しておくことと受信状態が悪くなった場合でも自動的にワンセグへ切り替わるため映像が止まりにくくなります。自動切替に設定してください。 ※自動切替またはワンセグに設定しても放送局によってはワンセグ放送を行っていない場合があります。その場合12セグのみとなるため受信エリアは狭くなり映像がうつらない場合があります。	Q-10
データ放送や番組表が表示されるまでに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。	—
本機に設定した内容、プリセット登録などが消失している。	<ul style="list-style-type: none"> ● 初期化を行った ● 本機の使用を誤った ● ノイズの影響を受けた ● 修理を依頼した などにより本機に設定した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—

BLUETOOTH Audio

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
BLUETOOTH Audio 対応機器が接続でき ない。	本機との接続情報が消えてしまう。	再度登録してください。	—
	BLUETOOTH Audio対応機器の設定が、BLUETOOTH接続待ちの状態になっていない。	BLUETOOTH Audio対応機器の説明書をご確認ください。	—
	本機から接続を受けつけない。		
	特定の状態(例：携帯電話でのミュージックプレイヤーの起動中)でしか接続できない。		
音楽が流れない。	BLUETOOTH Audioの音声転送プロファイルである、A2DPが接続されていない。	BLUETOOTH Audio対応機器がA2DPに対応しているかを確認してください。 対応しているにもかかわらず音楽が流れない場合は、一度登録を削除し、再度登録してください。	—
		BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、A2DPに対応していても音楽が流れない場合があります。	—
BLUETOOTH Audio 対応機器の操作を本 機からできない。	BLUETOOTHのリモコン操作プロファイルである、AVRCPが接続されていない。	BLUETOOTH Audio対応機器がAVRCPに対応しているかを確認してください。 対応しているにもかかわらずリモコン操作ができない場合は、一度登録を削除し、再度登録してください。	—
		BLUETOOTH Audio対応機器の仕様によっては、AVRCPに対応していてもリモコン操作ができない場合があります。	—
●音が飛ぶ。 ●操作がおくれる。 ●再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる。	BLUETOOTH Audio対応機器が本機から離れすぎている。	BLUETOOTH Audio対応機器を本機に近づけてください。	—
	ハンズフリー、データ通信などを行っている。	故障ではありません。 通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。	—
リストが操作できな い。	接続機器がリスト表示機能に対応していない。	AVRCP1.4に対応した機器を使用してください。	—
		BLUETOOTH Audio対応機器によってはAVRCP1.4に対応していても、リスト表示ができない場合があります。	—

ハンズフリー

症 状	原 因	処 置	参考 ページ
ビルの谷間などで音声が乱れる。	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさえぎられている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。	—
鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る。	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。		
オーディオの音声にブーンというノイズが入る。	携帯電話からの電波が混入した。		
発信できない。	電波が届きにくい場所にいる。		
音が出ない。 ●相手の声が聞こえない。 ●着信音が聞こえない。	音量が最小になっている。	発着信音量、受話音量を調整してください。	S-10
	携帯電話が本機より離れすぎている。	携帯電話を本機に近づけてください。 携帯電話の電波状態を確認してください。	—
相手に声が伝わらない。	送話音量を下げているまたは音声を消している。(ミュート中)	送話音量を上げるか、ミュートを解除してください。	S-10、S-15
通話後、オーディオの音が聞こえない。	音量を下げているまたは音を消している。	音量を上げてください。	H-8
携帯電話と接続できない。	BLUETOOTHで携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れなおすか、携帯電話のBLUETOOTH機能をONにするか、車のエンジンスイッチをO(ロック)→II(ON)にしてください。	—
	BLUETOOTH対応携帯電話機を使用していない。	対応電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。	T-25 アドバイス
Siri Eyes Free が起動しない。	対応機器が接続されていない。	Siri Eyes Freeに対応しているiPhoneをハンズフリー登録してください。	S-2
	接続機器が利用できない状態になっている。	iPhoneのSiri機能をオンにしてください。	—
		本機とiPhoneのBluetooth接続を一度OFFにし、再度接続を行ってください。	—

メッセージ表示について

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“受信局が変化しました。情報を受信中です。”(FM多重)	FM多重のVICS情報(レベル1/レベル2)表示中に受信周波数が変わり、その後、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。	表示可能な情報が受信できるまでは、“受信局が変化しました。情報を受信中です。”が表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にある、または、エリア内にあるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。	-
“情報の受信中です。”(FM多重)	FM多重の表示しようとしている情報が受信できていない。(受信感度は良い)	受信できるまでしばらくお待ちください。	-
“サーチ中は登録できません。”(FM多重)	放送局のサーチ中に、 未設定 を1.5秒以上タッチして登録しようとした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。表示されている周波数が保存されます。	E-11
“放送局は登録されていません。”(FM多重)	放送局を1つもプリセットしていないときに、 未設定 をタッチした。	あらかじめ、放送局をプリセットしておかないと、この機能は動きません。	E-11
“情報を受信していません。”(FM多重)	受信エリア外に居る。	受信エリア外では、受信できません。	-
	受信エリア内に居るが、電波状況が悪く、受信できない。	場所を移動してみてください。	-
	放送局のサーチ中に 文字情報 ／ 図形情報 をタッチした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。	-
	VICS放送局を受信しているが、一般情報を受信する設定になっている。	交通情報を受信する場合は、交通情報を受信する設定にし、VICS放送局を受信してください。また、一般情報を受信する場合は、一般情報を受信する設定にし、一般情報放送局を受信してください。	E-3
	VICS放送局でも、一般情報放送局でもない放送局(周波数)を受信している。	全てのFM放送局が交通情報／一般情報を放送しているわけではありません。交通情報／一般情報を放送している放送局を受信してください。	E-3
“この情報は表示できません。”	走行中に文字情報または図形情報を表示しようとした。	安全な場所に車を止めてから操作をしてください。	-

必要なとき

ナビゲーション

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“SDカード内に位置情報ファイルが見つかりません。”	SDカード内に該当するデータがない。	指定のホームページからデータを書き込みしてください。	F-31
“SDカード再生中は操作できません。再生を停止しますか？”	オーディオでSDカードを使用している。	オーディオを終了してください。	H-3
“SDカードを読めませんでした。SDカードが挿入されているか確認してください。”	SDカードが差し込まれていない。	車のエンジンスイッチを0(ロック)にし、SDカードを確実に差し込み、車のエンジンスイッチをII(ON)にしてください。	A-16
	SDカードが挿入されていない。	指定のホームページから地点/ルート探索したデータが書き込まれているSDカードを挿入してください。	F-31
	SDカードは挿入されているが、認識できていない。	SDカードがこわれている可能性があります。別のSDカードを挿入してください。	—
“ETCカードを確認してください”	ETCカードが故障、またはETCカードではないカードが挿入されている。	正常な状態のETCカードを挿入してください。	—
“ETCに異常が検出されました。販売店に連絡してください”	ETC車載器(ナビ連動タイプ)の異常により、本機との接続ができない。	Honda販売店にご相談ください。	—
“ETCカードが挿入されていません”	カード入れ忘れ警告の設定を する に設定しているときに、ETCカードを挿入しないで、本体を起動させた。	ETCカードを挿入してください。	—
“ETCユニットがセットアップされていません”	ETC車載器本体がセットアップされていない。	ETC車載器本体を正しくセットアップしてください。	—
“ETCカードの有効期限が切れています ETCがご利用できません”	カード有効期限内案内の設定を する に設定しているときに、有効期限が切れているETCカードを挿入もしくは挿入した状態で車のエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にした。	有効期限の切れていないETCカードを挿入してください。	—

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“リージョンコードが違います。”	リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」以外のDVDビデオを再生しようとした。	本機のリージョン番号は「2」です。リージョン番号が「2」(2を含むもの)または「ALL」のDVDビデオを再生してください。	T-15
“視聴制限により再生できません。”	視聴制限の機能が働いて、本機がDVDビデオの再生を禁止している。	再生しようとしているDVDビデオの視聴制限レベルにあわせて、視聴制限設定のレベルを変更すると、再生することができます。視聴レベルをあわせてください。	P-24
“入力されたパスワードが間違っています。”	入力したパスワードが、登録してあるパスワードと違う。	パスワードを入力しないと、視聴制限の設定ができません。正しいパスワードを入力してください。	P-24
“走行中は映りません。”	走行中にDVD/Digital TV/VTR/iPodの映像を見ようとした。	安全のため、停車しないと、映像(動画)を見ることはできません。安全な場所に車を停車させてから、操作してください。	—
<ul style="list-style-type: none"> ● “録音可能な曲数を超えました。これ以上録音できません。” ● “録音可能な容量を超えました。これ以上録音できません。” 	本機の容量が一杯になったため。	本機内のデータを削除してから、再度、各操作をしてください。	—
“再生可能なディスクを入れてください。”	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で再生できないディスクを入れている。 ● ディスクが逆に挿入されている。 ● ディスクに汚れ/異常がある。 ● 音楽用ディスク以外のディスクがセットされている。 ● VRモードディスクでファイナライズ処理をしていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で再生できるディスクを入れてください。 ● ディスクを正しくセットしてください。 ● ディスクの汚れを拭きとってください。 ● 別のディスクを入れてみてください。表示が消えれば、まえのディスクに異常がある可能性があります。 ● 正しいディスクをセットしてください。 ● 書き込みをしたレコーダーでファイナライズ処理をしてください。 	—
“ディスクを入れてください。”	ディスクが入っていない。	本機で再生できるディスクを入れてください。	—
<ul style="list-style-type: none"> ● “録音に失敗しました。もう一度録音してください。” ● “CDを読み込めませんでした。CDの状態を確認し、もう一度録音してください。” 	CDに汚れ、傷がある。	CDを確認してください。汚れなどを拭きとり、再度録音してください。	T-14

必要なとき

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“録音中に電源が切れたため、音楽データベースの修復を行なっています。時間がかかる場合もありますが、絶対に電源(エンジンスイッチ)を切らないでください。”	音楽CD録音中に車のエンジンスイッチを変更した可能性がある。	自動でデータベースの修復を行いますので、メッセージ表示が消えるまでそのままお待ちください。	—
“再生管理データが読み取れません。一旦電源(エンジンスイッチ)を切ってください。復帰しない場合は音楽データ初期化を行ってください。”	オーディオファイル管理データが一時的に読み取りできない。	車のエンジンスイッチを一旦0(ロック)にしてください。30秒以上待ってからエンジンスイッチをI(アクセサリ)またはII(ON)にしてください。 ※復帰しない場合に、初期化(出荷状態に戻す)をすると本機に録音した全てのデータが消えます。	—
“iPodと通信できません。iPodを再度接続しなおしてください。”	iPodと通信できない、またはiPodと認証できない。	iPodを本機から一度取り外し、iPodを再接続してください。	—
“再生可能な曲がありません。”	SDカードに再生可能なMP3/WMA/AACファイルがない。	再生可能な音楽ファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	A-16、T-26
	USB機器に再生可能なMP3/WMA/AACファイルがない。	再生可能な音楽ファイルが入ったUSB機器を接続してください。	M-9、T-26
“しばらくお待ちください。”	ディスクを読み込み中です。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	ファイル数が多いSDカード/USB機器の場合、再生が開始されるまでに時間がかかります。	正常な動作ですので、そのままお待ちください。	—
	メッセージが表示されたまま再生ができない場合、読み込みエラーをおこしている可能性があります。	しばらく待ってから電源をOFFにし、SDカード/USB機器を一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をONにしてください。	H-3、A-16、M-9
“SDカードを挿入してください。”	SDカードが差し込まれていない。	再生可能なファイルが入ったSDカードを差し込んでください。	A-16、
	SDカードは差し込まれているが、認識できない。	電源をOFFにし、SDカードを一旦抜いてから再度確実に差し込み、電源をONにしてください。	H-3、T-26
“高温のためデジタルテレビチューナーが動作できません。”	デジタルTVチューナーが高温になっている。	車内温度が下がるまで待って、電源を入れてください。	—

オーディオモード

メッセージ表示	原因	本機の動作および処置	参考ページ
“放送を受信できません。” (0020)	地上デジタル/ワンセグ放送の受信レベルが低い。	受信できる場所に移動してください。	—
“放送を受信できません。” (E202)	地上デジタル/ワンセグ放送の電波を受信できていない。	受信できる場所に移動してください。	—
“放送を受信できません。” (E203)	地上デジタル放送/ワンセグ放送の受信レベルが非常に低い。	受信できる場所に移動してください。	—
	放送休止のチャンネルを見ている。	視聴できるチャンネルを選んでください。	—
“B-CASカードが正しく挿入されていません 表裏または挿入方向を確認してください。”	miniB-CASカードの挿入方向を間違えている。または使用できないカードが挿入されている。	付属のminiB-CASカードを正しく挿入してください。	Q-2
“パスキーが一致していません。再度登録操作を行なってください。”	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	S-3、 S-8、 S-9
“使用できないSDカードが挿入されています。”	対応していないSDカードが挿入されている。	別のSDカードで試してください。	—
	SDカードを正しくフォーマットしていない。	本機でSDカードの初期化(フォーマット)を行ってください。	G-21
“ビデオモードに対応していません。”	ビデオモードに対応していないiPodを接続している。	ビデオモードに対応していないのでiPodでビデオの再生はできません。	—
“USB機器を接続してください。”	USB機器が接続されていないまたはiPodが接続されている。	本機に対応しているUSB機器を使用してください。	M-9、 T-19
“対応していない機器が接続されています。”	非対応のUSB機器(USBマウスなど)が接続されている。		
“携帯電話の接続が解除されました。”	携帯電話との接続が切れた。	携帯電話を本機に近づけてください。	—
		対応している電話機を使用していないと接続できません。お使いの携帯電話が対応機種かどうかホームページにてご確認ください。	T-25 アドバイス
“登録できませんでした。”	入力したパスキーが本機に設定されているパスキーと異なる。	本機に設定されているパスキーを確認のうえ、正しいパスキーを入力してください。	S-8
	他のBLUETOOTH機種からの登録が行われている。	ハンズフリーの初期登録を行う際には、誤登録を防ぐために、周囲の他のBLUETOOTH機器の電源はお切りください。	—

必要なとき

用語説明

ATRAC AD

ATRAC Audio Device の略です。ソニーによって開発されたウォークマン®などで採用されているメディアフォーマットです。x-アプリやBeat Jamといったアプリケーションから著作権保護された曲などを転送することができます。

ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略で、高音質、高圧縮を両立させた圧縮技術です。元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

ATRAC3 plus

ATRAC3との互換性を維持しながらさらに圧縮技術を進化させた音声圧縮技術です。

DRM(デジタル著作権管理)

デジタルデータの著作権を保護する技術。音声・映像ファイルの複製を制限することで不正利用を防ぎます。著作権保護された楽曲を再生するには、著作権保護に対応した機器で再生する必要があります。iTunes Storeやmora winといった音楽配信サイトで購入できる楽曲は著作権保護されているものがあります。

ID3タグ/WMAタグ

MP3ファイル、WMAファイルには、ID3タグ、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトルやアーティスト名などを保存できます。ID3タグ、WMAタグに対応したプレイヤーでID3タグ、WMAタグ情報の表示・編集が可能です。


Joliet

Microsoft社が開発したCD上でロングファイル名を扱えるようにした規格です。Jolietではスペースを含む最大64文字までのファイル名に対応したユニコード(文字コード)で記録します。

LB(レターボックス)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像を垂直方向に圧縮することによって、4:3のテレビでも、正規の比率で画像を表示します。画面の上下には、黒い帯が入ります。

OpenMG

ソニー社によって開発されたデジタルコンテンツの著作権管理・保護・配信技術です。(本機では再生中に  マークが表示されます。)

SDHC

SDアソシエーションによって規格化されたSDメモリーカードの上位規格で、4GB以上の記録が可能。転送速度も高速化され、「CLASS2 (2 MB/s)」「CLASS4 (4 MB/s)」「CLASS6 (6 MB/s)」「CLASS10 (10 MB/s)」をそれぞれ最低の保証速度としています。

SDカード

小型、軽量のIC記録メディアです。“SDカード”対応機器で画像や音楽などのデータを記録することができます。1枚の“SDカード”に異なる種類のデータを混在して記録することができます。

VBR

「Variable Bit Rate(可変ビットレート)」の略です。一般的にはCBR(固定ビットレート)が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

VTR

市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部機器の出力を入力する機能です。VTR端子から入力された映像や音は、VTRソースに切り替えることにより、本システムを使って見たり、聞くことができます。

アスペクト比

画面の縦、横のサイズの比率のことです。アスペクト比には、おもに4:3と16:9の2種類があります。

エンコーダ

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をするソフトウェアです。

エンコード

データを一定の規則に基づいて符号化(データの圧縮や暗号化など)をすることです。エンコードを行うソフトウェアをエンコーダと呼びます。

音楽配信サイト

音楽を有料または無料でダウンロード提供するインターネット上のサービスサイト(ホームページ)です。

カスタマイズ

お客様の好みや使いかたにあわせて機能を設定しなおすことです。

コピーコントロールCD / レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。



サンプリング周波数

アナログ信号からデジタル信号への変換(AD変換)を1秒間に何回行うかを表す数値のことです。

視聴制限

DVDビデオの機能の1つで、プレーヤー側(本機)で設定している視聴制限レベルに応じて、DVDビデオの再生が制限されます。制限のしかたはディスクによって異なり、全く再生ができない場合や不快な場面をとばして再生する場合などがあります。

※視聴制限が収録されていないDVDビデオもあり、この場合は、再生を制限することはできません。

字幕放送

画面上に、セリフなどの字幕を表示できる放送です。

本機では、字幕をOFFにしたり、字幕の言語を切り替えたりできます。

受信レベル

アンテナから入ってくる電波の質(信号と雑音の比率)です。

受信チャンネルや天候、季節、時間帯、受信している地域、車のある場所、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを、“セッション”と言います。本機は、同じディスクに音楽データとMP3データが混在する場合、最初のセッションに記録されているデータしか再生できません。(ディスクによっては再生できない場合もあります。)

セッションをクローズした後に、データを追加した場合は、第2セッション以降に書き込まれるので、本機では再生できません。

タイトル、チャプター

DVDビデオに収録されている内容は、いくつかの大きな区切り(タイトル)に分かれている場合があります。

また、1つのタイトルは、いくつかの小さな区切り(チャプター)に分かれている場合があります。各タイトルに付けられた番号をタイトル番号と呼び、各チャプターに付けられた番号をチャプター番号と呼びます。

地上デジタルテレビ放送／ワンセグ

・地上デジタルテレビ放送

2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタルテレビ放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。

デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質・高音質で楽しめます。

くっきりはっきりした高画質のHDTV(高精細度テレビ)や、文字や画像などのデータ放送があります。

※本機はハイビジョン放送画質には対応していません。

・ワンセグ

地上デジタルテレビ放送による携帯受信機向け放送サービスです。

データ放送

お客様が見たい情報を選んで画面に表示させることができます。例えばお客様のお住まいの地域の天気予報を、いつでも好きなときに表示させることができます。また、テレビ放送に連動したデータ放送もあります。

著作権

著作者の財産的利益を保護するための権利です。著作権の内容については、著作権法で具体的に定められています。著作権を侵害した場合は、損害賠償の責任が生じるほか、著作権法に定める刑事罰が適用されることもあります。

ディエンファシス

録音時にあらかじめ決められた特性で高域部のレベルを上げて処理することをプリエンファシスと言い、プリエンファシスは再生時に録音時とは逆の特性で高域部のレベルを下げる処理を行います。この再生時の処理のことをディエンファシスと呼びます。

デバイスアドレス

機器が最初から持つそれぞれの固有のアドレス(12桁の英数字)です。パスキー入力を行って接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは変更できません。

トラック

CDに収録されている曲の区切り(1曲分)をトラックと呼びます。各トラックに付けられた番号をトラック番号と呼びます。

パスキー

BLUETOOTH接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。BLUETOOTH機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれの数字(パスキー)を入力する必要があります。

パラメーター

プログラムの動作を決定する数値や文字を表します。

パン&スキャン(P&S)

16:9のワイド画像をアスペクト比4:3の普通のテレビに表示するときの方法の1つです。ワイド画像の左右をカットして、4:3のテレビで表示します。

ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps(bit per second)です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式(MP3など)での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音になります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません。)

ポッドキャスト

インターネットを使って配信されている音声データを誰でも気軽に好きなときに聞くことができるしくみで、iPodなどのオーディオプレーヤーと組み合わせると、音声・動画ファイルの最新データを自動的に蓄積することができます。

マストストレージクラス

正式名称はUSBマストストレージクラスといい、USB接続された周辺機器を外部ドライブとして認識させる仕組みのことです。デジタルカメラ関連製品でよく使われています。

マルチビュー放送

1チャンネルで主番組・副番組の複数映像が送られる放送です。例えば野球放送などでは主番組は通常の野球放送、副番組はそれぞれのチームをメインにした放送が行われます。

ルートフォルダ

ツリー型ディレクトリ構造の最上層ディレクトリにあるフォルダのことをさします。

1125i(1080i)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに1125本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。走査線数は現行テレビ放送の525本の倍以上の1125本もあるため、細部まできれいに表現され臨場感豊かな映像になります。現行のBS放送と同等の解像度です。

525i(480i)

デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を半分に分けて交互に流すインターレース(飛び越し走査)方式です。現行のテレビ放送や一部のBS放送と同等の解像度です。

750p(720p)

デジタルハイビジョン放送(HD)の1つで、1/60秒ごとに750本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないのので、チラツキが少なくなります。

525p(480p)

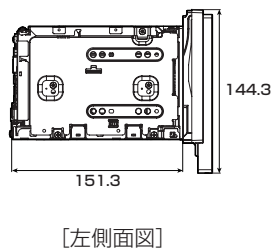
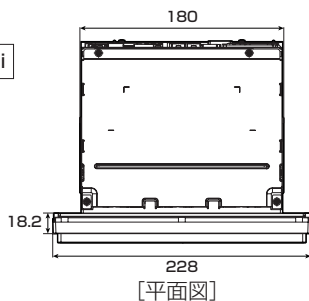
デジタル標準テレビ放送(SD)の1つで、1/60秒ごとに525本の走査線を同時に流すプログレッシブ(順次走査)方式です。インターレース方式のように交互に流さないのので、チラツキが少なくなります。

構成内容

外形寸法図(単位：mm)

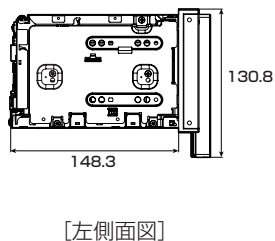
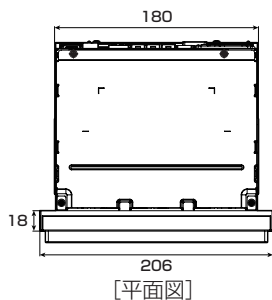
本体

VXM-145VFI

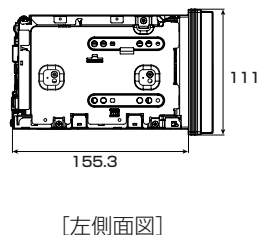
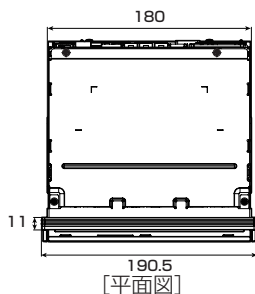


必要なとき

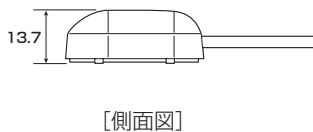
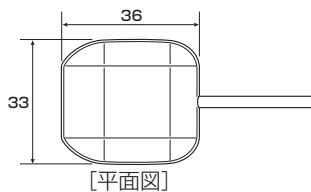
VXM-145VFEI



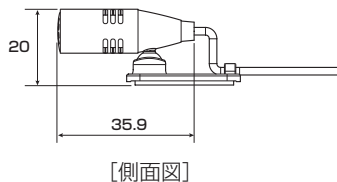
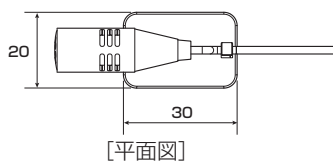
VXM-145VFI



GPS アンテナ



マイク



主な仕様

モニター部

種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
画面サイズ	[VXM-145VFNi] 9 V型 [VXM-145VFEi] 8 V型 [VXM-145VFi] 7 V型
使用光源	LED

地上デジタルテレビ部

受信チャンネル	UHF : 13~52チャンネル
放送方式	地上デジタル放送方式(日本) 12セグ/ワンセグ
アンテナ入力端子	専用端子

ナビゲーション部

GPS アンテナ	マイクロストリップ 平面アンテナ
受信周波数	1575.42 MHz(C/Aコード)
受信方式	パラレル16チャンネル
受信感度	-145 dBm
位置更新時間	0.25秒
フォーマット	オリジナルメモリー フォーマット

CD部

周波数特性	20~20,000 Hz
S/N比	75 dB以上
高調波ひずみ率	0.1%以下(1 kHz)

ラジオ・チューナー部

回路方式	AM/FM/MPX ラジオPLL方式
受信周波数	FM 76.0~90.0 MHz AM 522~1629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μ V) AM 37 dB(μ V)
S/N比	FM 55 dB(30 kHz L.P.F.使用) AM 50 dB(30 kHz L.P.F.使用)
ステレオ セパレーション	FM 30 dB(30 kHz L.P.F.使用)
歪率	FM 0.3% AM 0.5%

DVD部

対応ディスク	DVD ビデオ
読み取り方式	非接触光学式読み取り (半導体レーザー使用)
周波数特性	20 Hz~20,000 Hz
S/N比	80 dB以上
高調波ひずみ率	0.1%以下(1 kHz)
ダイナミックレンジ	80 dB以上

入出力端子

電源入力端子	24ピン専用コネクター
VTRコード接続端子	8ピン専用コネクター
リアモニター接続端子	7ピン専用コネクター
GPSアンテナ入力端子	GPSコネクター
ラジオ入力端子 (VICS入力端子)	3ピン専用コネクター (ラジオ入力端子と共用)
ETC端子	5ピン専用コネクター
リアカメラ接続端子	8ピン専用コネクター
フロント/コーナーカメラ接続端子	7ピン専用コネクター
USB端子	4ピン専用コネクター
車両信号入力端子	3ピン専用コネクター
地上デジタルテレビアンテナ入力端子	GT13専用コネクター
マイク入力端子	ミニジャック
LUF入力端子	4ピン専用コネクター
HDMI入力端子	タイプEコネクター

その他

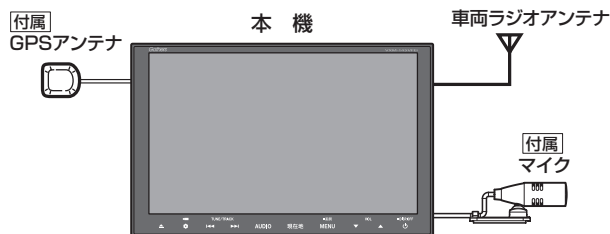
供給電源電圧	DC12 V
最大出力	50 W×4 ch(15.2 V)
外形寸法	[VXM-145VFNi] 228×144.3×169.5 mm [VXM-145VFEi] 206×130.8×166.3 mm [VXM-145VFi] 190.5×111×166.3 mm (幅×高さ×奥行) ※突起部は除く。
質量(本体のみ)	[VXM-145VFNi] 2.7 kg [VXM-145VFEi] 2.6 kg [VXM-145VFi] 2.5 kg

※仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。

※モニター部の画面サイズのV型(9 V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

別売品(システムアップ)について



必要
な
と
き

- ← ① **別売** ETC車載器 (ナビ連動タイプ)
- ← ② **別売** リアカメラ/リアワイドカメラ
※車両標準装備の場合があります。
- ← ③ **別売** フロントカメラ
- ← ④ **別売** コーナーカメラ (2ビュー)
- ← ⑤ **別売** USB接続ジャック [音] M-9、N-13
- ← ⑥ **別売** USBメモリーデバイスコード [音] M-9
- ← ⑦ **別売** iPod接続コード [音] N-13
- ← ⑧ **別売** VTRコード / **別売** HDMI接続コード [音] R-3
- ← ⑨ **別売** AUX接続コード [音] R-3
- ← ⑩ 地上デジタルテレビ放送用
フィルムアンテナ
- ← ⑪ **別売** リア席モニター
- ← ⑫ **別売** オーディオ リモコン スイッチ [音] T-38
※車両標準装備の場合があります。

- ① ETC車載器(ナビ連動タイプ)
- ② リアカメラ/リアワイドカメラ
- ③ フロントカメラ
- ④ コーナーカメラ(2ビュー)
- ⑤ USB接続ジャック

USB機器やiPodを再生する場合に必要です。

- ⑥ USBメモリーデバイスコード
- ⑦ iPod接続コード
- ⑧ VTRコード/HDMI接続コード

市販のビデオカメラなどを接続する場合に必要です。

※VTRコードはiPodで映像を再生させる場合にも必要となります。

- ⑨ AUX接続コード

市販のポータブルオーディオ機器などを接続する場合に必要です。

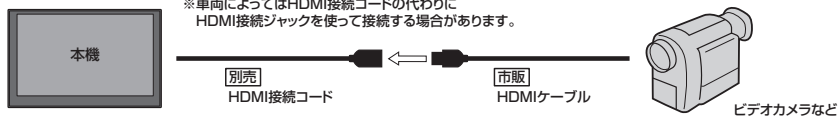
- ⑩ 地上デジタルテレビ放送用フィルムアンテナ
- 地上デジタルテレビ放送を受信する場合に必要です。
- ⑪ リア席モニター
- ⑫ オーディオ リモコン スイッチ

※本機で使用できる別売品については、お買い上げのHonda販売店におたずねください。

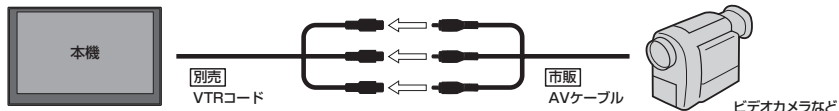
別売品(システムアップ)について

■ ビデオカメラなどを使う

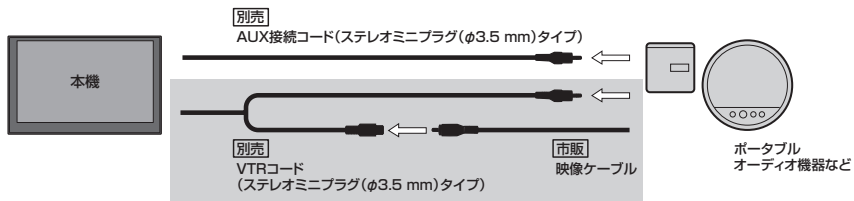
HDMIケーブル接続の場合



AVケーブル接続の場合

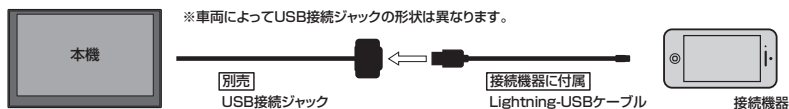


■ ポータブルオーディオ機器などを使う

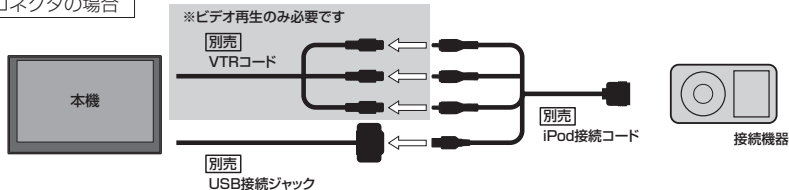


■ iPod/iPhoneを使う

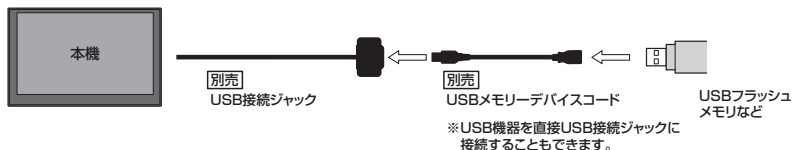
Lightning コネクタの場合



Dock コネクタの場合



■ USB 機器を使う



保証／アフターサービスについて

■保証について

- 保証書に記載された「販売会社印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。




■アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき …… まず、本書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき …… 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 …… 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 …… 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品 …… 製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

必要なとき

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。



商標など

- BLUETOOTHおよびBLUETOOTHロゴは、米国Bluetooth SIG, Incの登録商標です。
-  はDVDフォーマット ロゴ ライセンシング株式会社の登録商標(米国・日本他)です。
-  ETCは一般財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。
- 本製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- "NaviCon" は株式会社デンソーの登録商標です。
-  およびマップコードは株式会社デンソーの登録商標です。
- 本製品はコピー防止機能を採用しており、ロヴィ社が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・画像情報をMPEG-4 Visual規格に準拠して(以下、MPEG-4ビデオ)記録すること。
 - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオ、または、MPEG LAからライセンスを受けた提供者から入手したMPEG-4ビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。

Made for

 iPod  iPhone

- "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, iTunes, Siri and Siri Eyes Free are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Lightning is a trademark of Apple Inc.
- iOS 商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- SD、SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- "WALKMAN®" "ウォークマン®" はソニー株式会社の登録商標、"ATRAC3plus"、"ATRAC Advanced Lossless" は、ソニー株式会社の商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- x-アプリ、SonicStage、Media Go、Content Transferはソニー株式会社の商標または登録商標です。

- 歌詞ピタはソニー株式会社の商標です。
- 「mora」およびモーラの名称は株式会社レーベルゲートの登録商標または商標です。
-  vic^s は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- タウンページは、NTT 東日本およびNTT 西日本の商標です。
- The terms HDMI and HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC in the United States and other countries.
-  は SRS Labs, Inc. の商標です。
- CS Auto 技術は SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は株式会社 ACCESS の NetFront Browser を搭載しています。

ACCESS™ NetFront® Browser

ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、日本国、米国、およびその他の国における株式会社 ACCESS の登録商標、または商標です。

© 2013 ACCESS CO.,LTD. ALL rights reserved.

- 本機は ARIB (電波産業会) 規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本機を法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

さくいん

あ 行

アフターサービス	T-93
案内スタート	D-12
案内ストップ	D-12
イコライザー設定	H-16
イコライザー表示	J-2, K-2, L-2, M-2, N-2, O-8
一般情報 (FM 多重放送)	E-6
一般情報放送局 (FM 多重放送)	E-6
一般優先	D-3, D-11, D-19
ウォークマン®	T-20
迂回探索	D-16
映像調整 (明るさ / コントラスト / 色の濃さ / 色合い調整)	H-10
映像の表示について	H-2
エリア更新 / エリア選局 / エリア表示 (FM / AM ソース)	J-5
オーディオ リモコン スイッチ	T-38
オーディオを OFF する	H-3
オプションボタンの設定をする	G-2
主な仕様	T-90
音楽 / 画像の切り替え	H-9
音質 (イコライザー調整)	H-16
音声案内について	T-12
音声案内の音量調整 (ナビゲーション)	F-19
音声案内の詳細設定 (ナビゲーション)	F-19
高速走行時の音声切替	F-20
合流案内 / 踏み切り案内	F-20
専用レーン案内	F-20
VICS 案内	F-21
音声案内をやめる (ナビゲーション)	F-19
音声はそのまま画面を消す	H-13
音声はそのままナビゲーションを 表示する	H-9
オンラインアップデート (オンライン検索)	I-10
オンライン検索	I-10, K-5, L-14, L-21
音量調整 (オーディオモード)	H-8

か 行

カーマーク設定	F-16
外形寸法	T-89
回転ボタン	M-11
各部のなまえとはたらき	
BLUETOOTH Audio	O-8
CD・MP3 / WMA	K-2
Digital TV	Q-7

DVD	P-2
FM / AM	J-2
iPod	N-2
Music Rack	L-2
SD	M-2
USB	M-2
VTR / AUX / HDMI	R-2
パネル部	A-11
画質調整	H-10
初期値に戻す	H-13
カスタムアップデート (個別更新)	I-10, I-12
画像再生 (USB / SD 機器)	M-10
画像ファイル	M-10
画像を回転させる / リストより画像を選ぶ	M-11
スライドショーを表示する	M-10
画像ファイル (JPEG) について	T-30
カメラ	
フロントカメラ / コーナーカメラ設定	G-6
リアカメラ映像設定	G-13
画面を消す	H-13
キー操作音設定	G-19
軌跡	
削除する	F-34
表示 / 非表示	F-33
季節連動	F-4
基本操作	
SD カードを入れる / 取り出す	A-16
映像の表示について	H-2
オーディオを OFF する	H-3
ソース選択	H-2
ディスクを入れる / 取り出す	A-16
距離優先	D-3, D-11
緊急放送 (TV)	Q-14
クイック ルート探索	D-2, D-6
経路地に設定	D-9
経路地の入れ替え	D-10
経路地の変更 / 削除	D-10
経路地をスキップする	D-14
経路地を追加	D-9
現在地表示	B-8
現在地マーク	
位置を変更する	F-17
マークの種類を設定する	F-16
現在のルートを表示	D-12
高音質モード (録音)	I-5
交通情報	J-8
交通情報 (VICS 情報)	E-3, E-4
交通情報 (VICS 情報) 表示レベル	E-4
コーナーカメラ映像を表示する	G-6

故障かな?と思ったら	T-60
個人情報の取り扱いについて	T-5
コピー防止機能付CD	T-16
小文字に変換	A-18

さ行

再生できるディスク	T-15
再生モード	H-5
再探索	D-17, D-18, D-20
削除	
軌跡を削除	F-34
自宅を削除	F-30
ハンズフリー	
携帯電話を削除	S-5
発着履歴を削除	S-23
評価履歴を削除	E-17
サラウンドの設定	H-18
サンプリング周波数	T-28
市街地図	
収録エリア	T-52
時間規制道路を考慮	D-20
時間連動	F-4
自車マーク	
位置を変更する	F-17
種類を設定する	F-16
システムアップ(別売品)	T-91
施設詳細	C-4
施設情報	
ジャンルから探す	C-12
周辺にある施設から探す	C-8
表示できる施設	C-10
名称で探す[名称50音]	C-2
自宅	B-12, D-6, G-2
自宅の位置修正	F-29
自宅登録	B-12
自宅へのルートを探索	D-6
自動再探索	D-18
自動録音	I-3
絞込み	C-6
ジャケット写真を登録する	L-17
車速連動音量設定	H-22
ジャンクションビュー(JCTビュー)	F-10
ジャンル(ナビゲーション)	C-12
住所検索	C-6
渋滞情報	E-5
渋滞地点	D-14
周辺施設検索	C-8

受信モード切替	
(TVの自動→12セグ→ワンセグの切り替え)	Q-10
出発地・経由地・目的地の設定について	T-44
出発地に設定	D-7
出発地の変更	D-7
手動録音	I-3
仕様	T-90
詳細情報ボタン	D-12
初期化	
登録データの初期化	G-21
初期設定一覧	T-2
初期登録設定(BLUETOOTH Audio)	O-2
自律航法とマップマッチング	T-9
スクロール(ナビゲーション)	B-5
スピーカーの設定	H-21
スマートIC	D-18, D-20
スモール連動	F-4
スライドショー	M-10
設定	
ナビゲーション	
3D表示の角度調整	F-3
AUDIO情報の表示設定をする	F-5
ETCの各機能設定	G-3
MAPCODEの表示設定をする	F-5
VICS表示設定	F-18
緯度・経度の表示設定をする	F-5
キー操作音の設定をする	G-19
現在地(自車)マークの種類を設定する	F-16
現在地(自車)マークの位置を変更する	F-17
車速連動音量設定	H-22
地図情報の表示設定をする	F-5
地図色を設定する	F-4
登録地点の表示設定をする	F-5
平均時速を設定する	F-21
メイン画面設定	F-2
ランドマーク表示の設定をする	F-15
リアカメラ映像設定	G-13
ルート案内画面の設定をする	F-7
ハンズフリー初期登録設定	S-2
設定ルート	D-12
選局	
TV	Q-7
VICS	E-8
ラジオ	J-3
選曲	
タッチパネル部	
BLUETOOTH Audio	O-9
CD・MP3/WMA	K-4
iPod	N-3

- ・ Music Rack L-3
- ・ USB 機器 / SD M-3
- 標準キーのボタンで選曲する H-4
- 選曲モード L-5, M-5, N-4, O-10
- 全曲録音 I-4
- 選択曲録音 I-4
- ソース選択 H-2

た 行

- タイトル情報更新 I-10
- 代表地点 B-12
- 探索開始 D-4, D-8
- 探索条件 D-3, D-11, D-18
- 地図
 - 市街地図の収録エリア T-52
 - 地図画面の表示について A-6
 - 地図ソフトについて T-40
 - 地図に表示される記号 T-50
 - 地図の色を設定する F-4
 - 表示(方位)を切り替える B-4
 - 見かた B-2
 - 右画面に地図を表示する B-14
- 地図を拡大 / 縮小する B-7
- 地図をスクロール(地図を動かす) B-5
- 地点
 - 位置修正 F-29
 - 削除する F-30
 - 登録する B-13
 - 並び替えをする F-27
 - 編集 F-22
- 地名入力 C-6
- 中継局 / 系列局サーチ(TV) Q-11
- 昼夜切替 B-10, H-12
- 著作権について A-8
- 続きメモリー機能(DVD) P-4
- ディスクを入れる / 取り出す A-16
- ディスプレイの角度調整 A-16
- データベース I-7, K-2
- データベースについて(Gracenote) T-36
- データを初期化
 - Music Rack I-6
 - SDカード / 登録データ / 学習結果 / 出荷状態に戻す G-21
 - ハンズフリー(アドレス帳) S-21
- テナント情報 B-11
- デモ走行 D-15
- デモ走行中止 D-15

- 問い合わせ(miniB-CASカード) T-35
- 動画ファイル(MPEG4 / H.264)について T-31
- 動作モード(音楽 / 画像 / 動画)切替 H-9
- 盗難多発地点案内 F-13
- 道路切替 B-10
- 登録
 - 携帯電話登録 S-2
 - 地点を登録する B-13
 - 登録地点の編集 F-22
 - 並び替えをする F-27
- 登録ルート B-9, D-13
- 道路メイン(地図カスタマイズ) F-4
- 独立情報番組(FM多重放送) E-6
- 時計表示 H-8
- ドラッグ操作 A-12

な 行

- ナビゲーション画面を表示する H-9
- ナビ設定 F-1
- 入力
 - 文字 / 数字の入力方法 A-18

は 行

- パーソナルHPと同期 F-32
- ハイウェイモード B-15, F-9
- パスキー(BLUETOOTH) O-2, O-6, O-7, S-9
- バックライト(画面を消す) H-13
- 早戻し / 早送り H-4
- ハンズフリー
 - BLUETOOTH 情報を見る S-8
 - 初期登録設定 S-2
 - ・ 携帯電話登録 S-2
 - ・ 携帯電話のメモリーを本機に登録する S-11
 - ・ 携帯電話の割り当てを切り替える S-6
 - ・ 自動接続設定 S-7
 - ・ 通話設定(音量の設定) S-10
 - ・ デバイス名 / パスキー変更 S-9
 - ・ 優先接続設定 S-8
 - 通話中に地図画面を表示する S-23
 - 電話を受ける S-13
 - ・ 着信音量設定 S-13
 - ・ 通話拒否(終了) S-15
 - ・ 通話切替(携帯 ↔ ハンズフリー) S-16
 - ・ 電話に出る S-13
 - ・ トーン入力する S-17
 - ・ 保留にする S-14
 - ・ ミュートする S-15

電話をかける	S-18
・アドレス帳から	S-21
・電話番号から	S-18
・リダイヤルから	S-19
・履歴から	S-20
登録した携帯電話の詳細情報を見る	S-5
登録した携帯電話を削除する	S-5
発着履歴を削除する	S-23
微調整をする(地図をスクロールする)	B-6
ビットレート	T-28
表示項目	
MAPCODE/地図情報/AUDIO情報/	
緯度・経度/登録地点表示	F-5
表示できる施設	C-10
標準モード(録音)	I-5
ピンチ操作	A-12, B-7
フェード・バランス調整	H-14
フェリーを優先	D-18
フォルダ(オーディオ関係)	K-2, T-27
複数探索	B-11, D-4, D-8
複数ルート探索	D-3, D-8
プリセット機能(ラジオ)	J-2
フリック操作	A-12, B-5
フロントカメラ映像を表示する	G-6
平均時速設定	F-21
別売品(システムアップ)について	T-91
編集ボタン(Music Rack)	L-2
方面看板	T-42
保証/アフターサービスについて	T-93
保存	
プリセット(保存)する	E-11
プリセット(保存)の上書きをする	E-12
保存したルートの呼び出し/削除をする	D-13
ボタン消	P-2, R-2
本機で再生できるディスク	T-15
本体情報	E-13

ま 行

マーク順	C-16
マーク詳細情報(VICS)	E-5
マップコード	C-17, D-4
マルチセッション	T-29
右画面	
3D表示の角度調整	F-3
地図/情報を表示する	B-14
右画面の設定をする	F-2
右画面にオーディオ画面表示	B-15

右画面表示	B-14
未録音CDを挿入したとき	K-3
メイン画面/右画面の設定をする	F-2
メッセージ表示について	T-79
メニュー画面	A-14
モード切替ボタン	H-9, M-2
目的地	
緯度・経度で目的地を探す	C-19
施設のジャンルから目的地を探す	C-12
住所で目的地を探す	C-6
周辺にある施設から目的地を探す	C-8
地図から目的地を探す	C-18
電話番号で目的地を探す	C-4
登録地点で目的地を探す	C-16
表示できる施設	C-10
マップコードで目的地を探す	C-17
名称で目的地を探す(施設50音)	C-2
郵便番号で目的地を探す	C-18
履歴から目的地を探す	C-7
目的地周辺	C-8
目的地に設定	D-4, D-6, D-7
目的地の入れ替え	D-10
目的地の追加	D-8
目的地の変更	D-7
目的地までのルートを探索する	D-2, D-4, D-6
文字/数字	
入力方法	A-18
文字訂正	A-19

や 行

有料道路	D-5, D-6, D-8, D-12, D-18,
	D-19, E-5, T-13
有料優先	D-3, D-11
用語説明	T-84

ら 行

ラジオ	
FM/AMを切り替える	J-3
エリア選局	J-5
選局する	J-3
操作画面の見かた	J-2
道路交通情報を聞く	J-8
道路交通情報をメモリーする	J-8
プリセットボタンに放送局をメモリーする	J-7
ランドマーク表示設定	F-15
リアカメラ映像を設定する	G-13

カメラ映像について	G-17
警告文の位置を上げる	G-15
リアカメラ映像を表示する	G-13
リアカメラガイドの見かた	G-16
リアカメラガイドを表示する	G-14
リアカメラの次回表示ビュー設定	G-18
リア席モニターについて 別売	T-6
立体アイコン	T-51
リピート/ランダム/スキャン/ シャッフル再生	H-5
ルート案内時の注意点	T-46
自車マークの表示誤差について	T-48
ルート案内設定	F-7
AV画面中の音声案内割り込み設定	F-12
ETCレーン表示	F-8
JCTビュー表示	F-10
交差点拡大図	F-11
交差点情報	F-7
全ルート表示	F-7
盗難多発地点案内	F-13
ハイウェイモード表示	F-9
方面看板表示	F-12
目的地方向表示	F-14
リアル3D表示	F-11
ルート情報表示	F-9
ルート色	F-8
ルート案内をストップ/スタートする	D-12
ルート学習	D-18, D-20
ルート削除	D-13
ルート情報	B-15, F-9
ルート設定	D-2
ルート全表示	D-12
ルート沿い	C-8, C-12
ルート探索	D-3, D-6
ルート探索条件設定	D-18
ルート編集	B-9, D-7, D-8, D-10, D-11
ルート保存	D-13
ルートを変更する	D-7
レベル1(文字)表示	E-4
レベル2(簡易図形)表示	E-4
レベル3(地図)表示	E-4
連動情報番組(FM多重放送)	E-6
ローカルアップデート/ カスタムアップデート	I-10
録音	
録音可能曲数	I-7
録音設定/データ管理について	I-2
録音中止	K-3

録音データの初期化	I-6
録音音質	I-4
録音方法(自動/手動)	I-3

わ 行

ワンセグ	Q-10
------	------

数字・アルファベット

1 ルート探索	D-2, D-3, D-4
3D 地図	B-4
3D 表示の角度調整	F-3
AAC	M-2, T-19, T-26
AV MENU 画面	H-2
BLUETOOTH Audio	
再生/操作画面の見かた	O-8
初期登録設定	O-2
・BLUETOOTH 情報を確認/変更する	O-6
・自動接続設定	O-5
・デバイス名変更	O-6
・登録機器の切り替え	O-4
・登録機器の削除	O-3
・登録機器の情報を見る	O-3
・パスキー変更	O-7
・優先接続設定	O-5
選曲モード選択	O-10
トラックリストより再生	O-9
CD・MP3/WMA	
オンライン検索(CD)	K-5
再生/操作画面の見かた	K-2
トラックリストより再生	K-4
早戻し/早送りをする	H-4
標準キーのボタンで選曲する	H-4
フォルダ選択(MP3/WMA)	K-3
未録音CDを挿入したとき	K-3
リピート/ランダム/スキャン再生	H-5
CD-TEXT 情報	K-2
CD 録音設定	I-3
CPRM 対応	T-15
Digital TV(12セグ/ワンセグ)	
miniB-CAS カードを入れる/取り出す	Q-2
DSP(サラウンドの設定)	H-18
DVD	T-15
DVDの初期設定について	P-18
DVD プレーヤーを使う	P-3
・DVD メニューを使う	P-7
・VRモードディスクの再生	P-16
・音声/字幕言語切替	P-13

- ・サーチ選択(好きな所から再生)……………P-11
- ・再生一時停止……………P-5
- ・再生停止……………P-4
- ・時間表示切替……………P-14
- ・スロー戻し/スロー送りをする……………P-6
- ・タイトルメニューを使う……………P-9
- ・チャプターを戻す/進める……………P-5
- ・リピート再生……………P-15
- 再生/操作画面の見かた……………P-2
- 早戻し/早送りをする……………H-4
- ecoドライブ**
- グラフ表示……………E-16
- 設定する……………E-15
- 評価を開始する……………E-14
- 評価を止める……………E-15
- 右画面に表示する……………B-14
- 履歴を削除する……………E-17
- 履歴を見る……………E-16
- ETC……………T-13**
- ETC情報を見る……………E-2
- 各機能を設定する……………G-3
- 予告案内について……………T-13
- ETC情報……………E-2**
- ETCレーン表示……………T-13**
- ETCレーン表示設定……………F-8**
- FM多重……………E-3, E-4, E-6, E-7**
- GPS**
- GPS受信表示……………B-3
- GPSについて……………T-8
- アンテナについて……………A-7
- 受信しにくい場所について……………T-8
- 受信するまでの時間について……………T-8
- Gracenoteデータベース**
- 初期化……………I-17
- データの書き出しをする……………I-14
- データの取り込みをする……………I-16
- データベースについて……………T-36
- H.264……………M-2, T-31**
- internavi情報……………E-13**
- internavi設定について……………G-2**
- internaviルート……………D-2, D-11**
- iPod**
- iPodを接続する……………N-13
- 再生一時停止……………N-9
- 再生/操作画面の見かた……………N-2
- 選曲モード選択……………N-4
- トラックリストより選曲……………N-3
- 早戻し/早送りをする……………H-4
- ビデオモード(ビデオ再生)……………N-10
- 標準キーのボタンで選曲する……………H-4
- モード切替……………N-10
- リピート/シャッフル再生……………H-5, H-7
- iPod / iPhone対応可能機種……………T-22**
- JPEG……………M-2**
- JPEG(画像ファイル)……………T-30**
- miniB-CASカードについて……………T-35**
- miniB-CASカードを入れる/取り出す……………Q-2**
- MP3……………M-2, T-19, T-26**
- MPEG4……………M-2, T-19, T-31**
- Music Rack……………I-3, I-7, L-2**
- Music Rackソース イメージ図……………L-5
- アルバムリストの編集(曲管理)……………L-11
- ・アルバム削除……………L-18
- ・アルバム情報保存……………L-13
- ・オンライン検索……………L-14, L-21
- ・再生選択(再生させたくない曲の選択)……………L-15
- ・ジャケット写真登録……………L-17
- ・タイトル編集……………L-12
- ・データベース再検索……………L-14, L-21
- お気に入り管理……………L-24
- お気に入り登録……………L-26
- 再生/操作画面の見かた……………L-2
- 使用容量を確認する……………I-9
- 選曲モード選択……………L-6
- トラックリストの編集(曲管理)……………L-19
- ・オンライン検索……………L-21
- ・再生選択(再生させたくない曲の管理)……………L-22
- ・データベース再検索……………L-21
- ・トラック削除……………L-23
- 早戻し/早送りをする……………H-4
- 標準キーのボタンで選曲する……………H-4
- 未録音CDを挿入したとき……………K-3
- リストより再生……………L-3
- 録音データの初期化……………I-6
- NaviCon……………C-20**
- OMA……………T-20**
- QQコール**
- 表示する……………S-24
- 利用する……………S-24
- Quick MENU……………D-6, D-14, J-2,**
- K-2, L-2, M-2, N-2,**
- O-8, P-2, R-2, T-2**
- Quick MENUの設定……………B-9**
- Quick機能……………B-10**
- SDHC……………T-18**
- SDカード……………A-16, T-18**
- SDカードの取り扱いかた……………T-17
- SDカードを入れる/取り出す……………A-16
- 再生可能なデータ(ファイル)について
- (音楽/画像/動画)……………T-26, T-30, T-31

早戻し／早送りをする	H-4
標準キーのボタンで選曲する	H-4
リピート／ランダム／スキャン再生	H-5
SDカードから地点を登録する	F-31
Sound(イコライザー設定)	H-16
Sound ボタン	J-2, K-2, L-2, M-2, N-2, O-8
SRS CS Auto(サラウンドの設定)	H-19
TV	
miniB-CASカードについて	T-35
miniB-CASカードの情報を見る	Q-13
miniB-CASカードの問合せ先	T-35
miniB-CASカードのをテストする	Q-13
今すぐ見る	Q-8
おでかけモード	Q-10
カーソルパネル	Q-9
各部のなまえとはたらき	Q-7
緊急放送(EWS)を見る	Q-14
システム設定	Q-11
・オート放送局サーチ	Q-11
・県域設定	Q-12
・データサービス設定	Q-12
・ホームモードのチャンネル設定	Q-12
・郵便番号設定	Q-12
視聴予約する	Q-8
視聴予約の確認	Q-14
視聴予約の取り消し	Q-14
受信モード	Q-10
情報／設定メニュー	Q-11
初期スキャン／再スキャン	Q-10
初期設定	Q-4
信号切換	Q-10
数字パネル	Q-9
選局パネル	Q-7
デジタルTVメニュー	Q-10
テレビについて	T-33
番組内容	Q-8
番組表	Q-7
プリセット	Q-10
放送局一覧	Q-10
放送メール	Q-13
ホームモード	Q-10
USB	
画像ファイル(JPEG)について	T-30
接続をやめる	M-9
動画ファイル(MPEG4／H.264)について	T-31
早戻し／早送りをする	H-4
標準キーのボタンで選曲する	H-4
リピート／ランダム／スキャン再生	H-5

USB／WALKMAN®	
USB機器を接続する	M-9
選曲モード選択	M-5
リストより再生(フラッシュメモリ)	M-3
VICS	E-4
VICS情報の受信について	T-11
エリア選局	E-10
概要／お問い合わせ	T-56
緊急情報を見る	E-7
契約約款	T-58
自動選局	E-8
自動選局をやめる	E-9
手動選局	E-9
表示設定	F-18
プリセット(保存)する	E-11
プリセット(保存)の上書き	E-12
プリセット(保存)の呼び出し	E-12
VICS自動再探索	D-20
VICS渋滞情報(矢印表示)	E-5
VICS情報マーク	E-5
VICSタイムスタンプボタン	D-14, E-3, E-5
VICSマーク一覧表	E-5
VRモードディスク	P-16, T-15
VTR／AUX／HDMIを使う	R-1
WMA	M-2, T-19, T-26

- 商品についてのお問い合わせは、お買い求めのHonda販売店または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル ☎0120-663521

(受付時間:9時～12時、13時～17時／

但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く)

発売元 株式会社 ホンダ アクセス
〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元 パナソニック株式会社
オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社
〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地